

# 三菱電機空調冷熱総合管理システム [業務用]

形名

AE-200J

## 取扱説明書

低温 MELTOUCH 機能編

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 使用部品	6
2. ご使用前に	7
3. 使用方法 (基本)	14
4. 使用方法 (応用)	60
5. 修理を依頼する前に	177
6. 試運転	179
7. メンテナンス	204
添付. 追加機能について	205
商標、登録商標について	207

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

# もくじ

	ページ		ページ
安全のために必ず守ること	4	4. 使用方法 (応用)	60
1. 使用部品	6	4-1. (ハイ)クオリティコントローラと コンデンシングユニットの 状態監視と操作	60
1-1. 必要部品	6	4-1-1. 応用の操作	60
1-2. 別売部品	6	4-1-2. 画面の遷移	60
2. ご使用の前に	7	4-1-3. (ハイ)クオリティコントローラの グループ操作	61
2-1. はじめに	7	4-1-4. (ハイ)クオリティコントローラの ユニット操作	64
2-2. 低温機器のグループ構成について	8	4-1-5. コンデンシングユニットの 一覧表示	66
2-3. 製品の機能 (低温機器)	8	4-1-6. コンデンシングユニットの 状態表示	68
2-4. 除湿機のグループ構成について	11	4-1-7. コンデンシングユニットの操作	71
2-5. 製品の機能 (除湿機)	12	4-2. スケジュール (低温機器)	73
3. 使用方法 (基本)	14	4-2-1. 概要	73
3-1. 監視 / 操作	14	4-2-2. 画面の遷移	74
3-1-1. 通常のコマンド	14	4-2-3. Base スケジュール (低温機器)	75
3-1-2. 画面の遷移	14	4-2-4. 週間スケジュール (低温機器)	79
3-1-3. アイコンの表示	15	4-2-5. 年間スケジュール (低温機器)	83
3-1-4. 運転状態のモニター	16	4-2-6. 週間スケジュール・年間スケジュール 強制解除 (強制Baseスケジュール)	86
3-1-5. 操作対象の選択	21	4-3. スケジュール (除湿機)	87
3-1-6. グループ操作画面	22	4-3-1. 概要	87
3-2. 異常発生状態	26	4-3-2. 画面の遷移	89
3-2-1. 異常コード表示画面	27	4-3-3. 当日スケジュール (除湿機)	90
3-2-2. 異常発生中画面	29	4-3-4. 週間スケジュール (除湿機)	92
3-2-3. 異常履歴画面	31	4-3-5. 年間スケジュール (除湿機)	94
3-2-4. AE-200J 本体ブザー出力	32	4-4. エネルギー管理 (低温機器)	96
3-2-5. AE-200J 本体LED 表示	32	4-4-1. 概要	96
3-3. 異常コード一覧	33	4-4-2. エネルギー利用状況 (庫内温度状況)	97
3-3-1. 異常発生中画面	33	4-4-3. ピークカット制御状況	100
3-3-2. 異常履歴画面	35	4-5. ピークカット制御 (低温機器)	102
3-4. プレアラーム (低温機器)	40	4-5-1. 概要	102
3-4-1. 低温機器のプレアラーム発生中 一覧画面	40	4-5-2. 低温機器へのピークカット制御	102
3-4-2. プレアラーム一覧画面	42	4-5-3. 低温機器のピークカット制御の 優先順位	103
3-4-3. 低温機器のプレアラーム履歴画面	43	4-5-4. ピークカット制御の設定	105
3-5. 低温異常メール / 低温復旧メール / 低温定期メール	44	4-6. CSV データの出力操作と帳票ツール (低温機器 / 空調機 / 除湿機)	112
3-5-1. メール設定	44	4-6-1. 帳票機能概要	112
3-5-2. メールフォーマット	52	4-6-2. 帳票機能一覧	116
3-5-3. メール送信履歴	55	4-6-3. 帳票出力の通常操作の流れ	122
		4-6-4. CSV ファイルの取り込み	123
		4-6-5. 帳票出力方法	127
		4-6-6. 初期設定方法	143
		4-6-7. インストール手順	153
		4-6-8. CSV ファイルの詳細	159

---

ページ

<b>5. 修理を依頼する前に</b> .....	<b>177</b>
<b>6. 試運転</b> .....	<b>179</b>
6-1. 最初の電源投入時の設定方法.....	179
6-2. 機器の運転確認.....	181
6-3. 初期設定.....	181
6-3-1. 初期設定画面へのログイン.....	181
6-3-2. 画面のロック.....	185
6-3-3. 現在日時設定.....	186
6-3-4. ライセンス登録.....	187
6-3-5. ユニット情報の設定.....	188
6-3-6. ネットワーク設定.....	193
6-3-7. 空調機のグループ設定.....	197
6-3-8. 低温機器設定.....	198
6-3-9. 冷凍機設定.....	199
6-4. 機能設定 1.....	200
6-4-1. ピークカット制御の設定.....	200
6-4-2. 計測設定.....	200
6-5. 機能設定 2.....	200
6-6. 換気設定.....	200
6-7. ユーザー情報.....	200
6-7-1. 保守ユーザー.....	201
6-7-2. ビル管理者.....	202
<b>7. メンテナンス</b> .....	<b>204</b>
7-1. USB メモリへのデータバックアップ.....	204
7-2. タッチパネル補正.....	204
7-3. ソフトウェアのアップデート手順.....	204
<b>添付. 追加機能について</b> .....	<b>205</b>
<b>商標、登録商標について</b> .....	<b>207</b>

# 安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



## 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 一般事項



## 警告

以下の特殊な環境ではコントローラを使用しないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ

- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ



使用禁止

- ◆性能低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり

改造はしないこと。

- ◆けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

コントローラの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

- ◆工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ◆引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

コントローラを水・液体で洗わないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、USBメモリ・タッチパネルを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- ◆薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



指示を  
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を  
実行



コントローラのカバーを取り付けること。

- ◆ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



## 注意

ガラス部品に損傷するような力を加えないこと。

- ◆ガラス損傷によるけがのおそれあり。



部品端面に触れないこと。

- ◆けが・感電・故障のおそれあり。



先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ◆感電・故障のおそれあり。



コントローラの廃棄は販売店に依頼すること。

- ◆環境破壊のおそれあり。



## 移設・修理をするときに

## 警告

分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆けが・感電・火災のおそれあり。



# 1. 使用部品

## 1-1. 必要部品

本機能をご使用の前に、以下の部品を入手してください。

No.	品名	入手方法		備考
		WIN <sup>2</sup> K <sup>※1</sup>	販売店 <sup>※2</sup>	
1	取扱説明書 (PDF)	○		本書
2	AE-200J用 低温 MELTOUCH ライセンス		○	
3	AE-200 帳票ツール	○		
4	ソフトウェアアップデート用 ファイル		○	AE-200Jを最新バージョンへのバージョンアップに使用します。

※1 三菱電機 WIN<sup>2</sup>K サイトから、説明書をダウンロードして、参照してください。

三菱電機 WIN<sup>2</sup>K サイト URL

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/top.do>

※2 お買い上げの販売店に依頼してください。

## 1-2. 別売部品

以下の部品は三菱電機指定の純正品をお使いください。

品名	形名	個数	備考
USB ドア付カバー	PAC-YE72CWL	1 <sup>*</sup>	USB メモリでデータを取り出す場合に使用します。

※ 必要な場合のみ

## 2. ご使用の前に

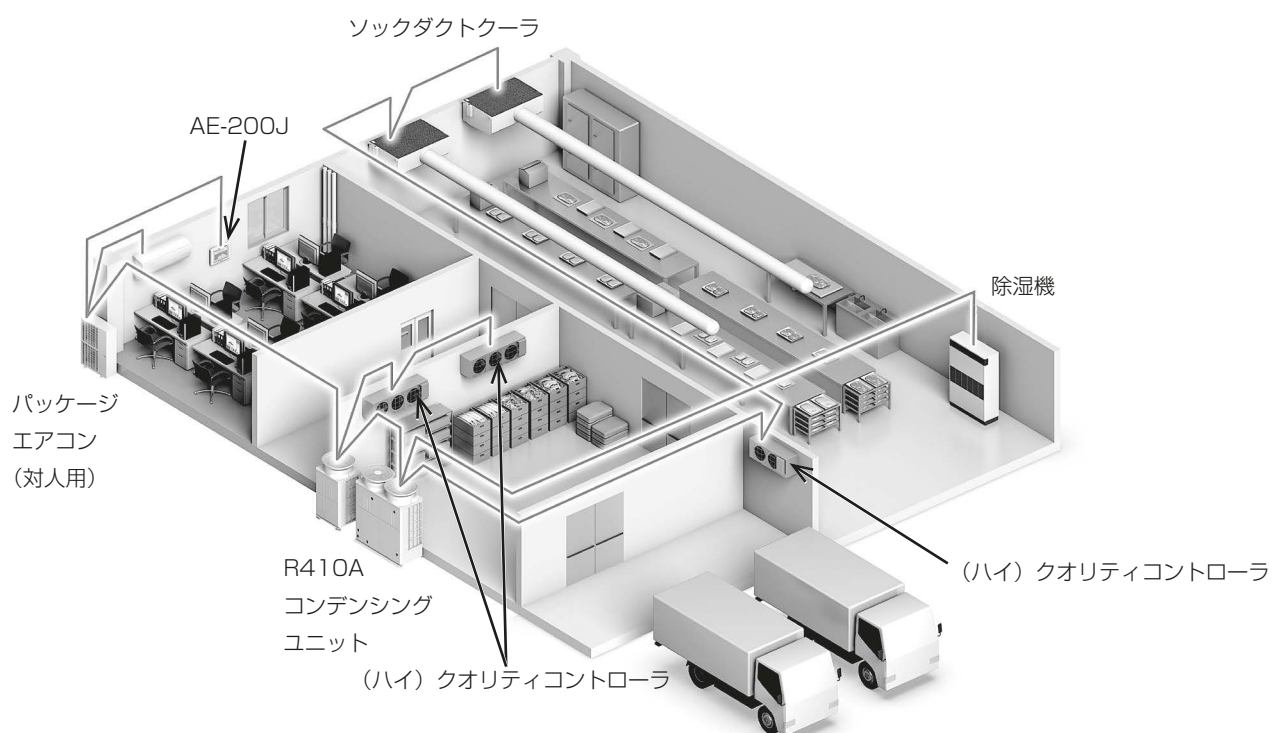
- 本書では、AE-200Jに接続された低温機器（(ハイ)クオリティコントローラ、コンデンシングユニット）および除湿機を状態監視、操作する方法について説明します。AE-200Jの据付け、低温機器以外をご使用になる場合は、AE-200J本体の据付け工事説明書、取扱説明書を参照ください。
- 本製品を含む空調機、低温機器、除湿機、その他関連機器の据付け工事、試運転は、工事店・販売店の資格所有者が実施しております。
- 本製品をお使いいただく前に取扱方法について工事店・販売店から説明を受けてください。その際、本製品を含む空調機、低温機器、除湿機、その他関連機器のシステム構成と本製品の操作方法・安全を確保するための正しい使い方について、販売店から説明を受けてください。
- 本製品の移設や修理は、販売店または専門業者に依頼してください。お客様自身では据付けや修理をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

### 2-1. はじめに

AE-200Jは空調冷熱総合管理システムであり、AE-200J 1台で最大50台の(ハイ)クオリティコントローラ/除湿機と、32台のコンデンシングユニットを制御・監視ができます。

#### お知らせ

- 低温機器/除湿機の監視・操作をする場合は低温MELTOUCHライセンスの登録が必要です。
- 低温機器((ハイ)クオリティコントローラと、コンデンシングユニット)や除湿機はAE-50J/EW-50Jに接続することはできません。
- 低温機器/除湿機が接続されたAE-200Jでは、電力按分課金支援機能を使用することができません。併設の空調機の電力按分課金支援機能を使用する場合は、低温機器/除湿機が接続されるAE-200Jとは別系統のAE-200Jで使用してください。
- 低温機器/除湿機はWebブラウザでの監視・操作はできません。
- 低温機器/除湿機は液晶画面のフロア表示(フロアレイアウト機能を利用したグループアイコン表示)はできません。



## 2-2. 低温機器のグループ構成について

複数室個別システムの場合：1台の(ハイ)クオリティコントローラで一つのグループになります。

同室複数台システムの場合：同一の低温用手元リモコンに接続された2～4台までの(ハイ)クオリティコントローラが一つのグループになります。

複数室個別システム、同室複数台システムの配線や設定については、(ハイ)クオリティコントローラの据付工事説明書を参照ください。

## 2-3. 製品の機能(低温機器)

以下の表にAE-200Jでの低温機器に関する機能を示します。

機能		内容	
通常 機能	設定 操作	(ハイ) クオリティ コントローラ <冷凍冷蔵庫>	
		運転/停止	グループ単位で、「運転」「停止」の操作ができます。
		霜取操作	グループ単位で、「霜取運転」の実行や「霜取運転のリセット(解除)」ができます。
		温度シフト	温度シフト操作を実行したときの、温度のシフト差を設定できます。 また、温度シフト実行時は、グループ単位で操作後、最初の1回のみ設定された温度差分、庫内温度設定を下げた運転をすることができます。
		設定温度	グループ単位で、庫内温度の設定ができます。 機種によって設定できる温度範囲は異なります。
		強制Base スケジュール操作	週間スケジュールまたは年間スケジュールで運転している場合、本日のスケジュールを、グループ単位でBaseスケジュールに切り替えることができます。
		庫内温度差設定	グループ単位で、サーモONとサーモOFFの温度差を設定できます。
		温度シフト差	温度シフト操作を実行したときの温度のシフト差を設定できます。
		高温警報温度差	グループ単位で、高温警報を発報させるための温度差を設定できます。 庫内温度が(庫内設定温度+庫内温度差+高温警報温度差)を超えた状態が、一定時間以上継続すると、高温警報を検知するように設定できます。
		スケジュール設定	グループ単位で、Baseスケジュール、週間スケジュール、年間スケジュールを設定できます。
		リモコン操作禁止 設定	グループ単位で、運転/停止、設定温度の手元リモコン操作禁止または許可を設定できます。
		霜取バックアップ 時間設定	ユニット単位で、霜取バックアップ時間を設定できます。 (分単位) 機種により設定できる範囲は異なります。
予冷運転 (ファン遅延) 時間	ユニット単位で、予冷運転(ファン遅延)時間の設定ができます。 (分単位) 機種により設定できる範囲は異なります。		
水切り停止時間	ユニット単位で、霜取終了後の水切り停止時間を設定できます。 (分単位) 機種により設定できる範囲は異なります。		

		機能	内容	
通常機能	設定操作	コンデンシングユニット <冷凍機>	目標蒸発温度設定	コンデンシングユニットごとの目標蒸発温度を設定できます。 機種により設定できる範囲は異なります。
			目標凝縮温度設定 (ファンコン)※ <sup>1</sup>	コンデンシングユニットごとの目標凝縮温度を設定できます。 機種により設定できる範囲は異なります。
			低圧カット復帰 遅延時間※ <sup>1</sup>	コンデンシングユニットごとの低圧カット復帰遅延時間を設定できます。 機種により設定できる範囲は異なります。
			低圧カットOFF値※ <sup>1</sup>	コンデンシングユニットごとの低圧カットOFF値を設定できます。 また、低圧カットOFF値の「自動」「手動」の切り替えができます。 機種により設定できる範囲は異なります。
			低圧カットON値※ <sup>1</sup>	コンデンシングユニットごとの低圧カットON値を設定できます。 また、低圧カットON値の「自動」「手動」の切り替えができます。 機種により設定できる範囲は異なります。
			異常リセット※ <sup>1</sup>	コンデンシングユニットの異常リセットができます。
	監視	(ハイ) クオリティ コントローラ <冷凍冷蔵庫>	運転状態	ユニット/グループ単位で、運転状態を表示します。
			庫内温度	ユニット/グループ単位で、庫内温度を表示します。
			デマンドレベル (ピークカットの制御レベル)	グループ単位で、ピークカットの制御レベル(OFF、1段警報、2段警報、3段警報、4段警報)を表示します。
			設定温度	グループ単位で、現在の設定温度を表示します。
			スケジュール状態	現在実行されているスケジュールの状態(Baseスケジュール、週間スケジュール、年間スケジュール)を表示します。
			運転詳細	ユニット単位で、現在の運転状態(運転(サーモON、サーモOFF、セットバック、温度シフト、霜取中、強制霜取中)、停止、異常停止)が表示されます。
			異常状態	ユニット単位で、異常状態(異常レベル1~4または異常あり(通信異常など))を表示します。
			OPセンサー※ <sup>1</sup>	ユニット単位で、オプションセンサーの温度を表示します。
			冷凍機アドレス	ユニット単位で、コンデンシングユニットのM-NETアドレスを表示します。
			学習周期霜取時間	ユニット単位で、現在の周期霜取の学習時間を表示できます。(時間単位)
			経過時間	ユニット単位で、霜取周期の経過時間を表示できます。(時間単位)

※<sup>1</sup> インバータ二段スクリュー圧縮機搭載クーリングユニット(AFSV)は、本機能に対応していません。

2. ご使用の前に

		機能	内容	
通常 機能	監視	コンデンシング ユニット <冷凍機>	運転状態	コンデンシングユニットの運転状態(運転、低圧カット停止、停止、異常)を表示できます。
			デマンドレベル (ピークカットの制御 レベル)	コンデンシングユニットごとに、ピークカットの制御レベル(OFF、1段警報、2段警報、3段警報、4段警報)を表示します。
			異常状態	コンデンシングユニットごとで、異常状態(異常レベル1~4または異常あり(通信異常など))を表示します。
			個別運転状態	コンデンシングユニットごとに、運転状態(運転(圧縮機運転、低圧カット停止、容量制御停止)、停止、異常)を表示します。
			運転状態詳細	温度や圧力等を表示できます。
	共通		運転/停止/異常 (ON/OFF LED)	緑点灯…1つ以上の空調機グループが運転しています。 <sup>※2</sup> 消 灯…全空調機グループが停止しています。 <sup>※2</sup> 緑点滅…1つ以上のユニットが異常になっています。
			異常履歴	低温機器の現在発生中の異常と、過去に発生した異常を表示します。
			エネルギー利用状況	(ハイ)クオリティコントローラの庫内温度と設定温度を、折れ線グラフで表示できます。 また、表示する日を設定することができます。
			ピークカット制御状況	ピークカット制御状況と平均電力を表示できます。 省エネピークカット制御ライセンスが必要です。
			エネルギー管理出力	エネルギー管理データをUSBメモリにCSV出力できます。
			外部出力	低温機器に異常が発生したときに、警備会社等や、外部の機器(ブザーやランプ等)に「異常発生」を出力できます。別売の外部入出力アダプタが必要です。
			外部入力	警備会社等や、外部の機器(ブザーやランプ等)への「異常発生」の出力を解除できます。 また、外部接点からの緊急停止信号受信により、(ハイ)クオリティコントローラを停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止することができます。 別売の外部入出力アダプタ(PAC-YG10HA)が必要です。
			本体ブザー出力	低温機器に異常が発生したときに、AE-200J本体のブザーを出力できます。このとき、STATUS LEDがピンク色に点灯します。
			プレアラーム	冷凍機が検知する冷媒不足等のプレアラームの表示と履歴表示を実施します。
			低温メール機能	低温機器の異常発生/復旧およびプレアラームをメールでお知らせします。 利用するには、統合管理ブラウザから各種メール設定が必要です。

※2 低温機器は運転/停止共に消灯状態になります。

機能		内容	
初期 設定 機能	初期設定	現在日時設定	現在日時の設定ができます。
		ライセンス登録	購入したライセンス(低温MELTOUCH)の登録ができます。
		ユニット情報	本体の基本設定ができます。
		ユニット情報2	警報/異常出力の設定、低温機器の制御/温度表示/デマンド制御同期の設定ができます。
		ネットワーク設定	ネットワークに関する設定ができます。
		グループ設定	空調機を冷凍冷蔵庫の一覧画面に表示することができます。
		低温機器設定	(ハイ)クオリティコントローラをグループに登録します。
		冷凍機設定	コンデンシングユニットを登録します。
		低温メール設定機能	統合管理ブラウザから各種メール機能の利用設定ができます。 本機能はAE-200Jでログインした統合管理ブラウザのみ利用できます。
	機能設定1	ピークカット設定	ピークカット方式やデマンドレベルごとの制御内容を設定できます。
		計測設定	環境用計測コントローラの「温度センサー」「湿度センサー」の設定、計量用計測コントローラの「電力量計」「水道量計」などの設定ができます。
	ユーザー情報	保守ユーザー	「保守ユーザーのユーザー名」「パスワード」の設定ができます。
		ビル管理者	「ビル管理者のユーザー名」「パスワード」「利用可能機能」の設定ができます。
	メンテナンス	データバックアップ	設定データをUSBメモリに保存できます。
		データ読み込み	設定データをUSBメモリから読み込むことができます。
エネルギー管理出力		エネルギー管理データをUSBメモリにCSV出力できます。	
タッチパネル補正		タッチパネルのタッチ位置を補正することができます。	
アップデート		ソフトウェアアップデートができます。	

## 2-4. 除湿機のグループ構成について

同一の除湿機用手元リモコンに接続された1～4台までの除湿機が一つのグループになります。

配線や設定については、除湿機の据付工事説明書を参照ください。



## 2-5. 製品の機能 (除湿機)

以下の表に AE-200J での除湿機に関する機能を示します。

		機能	内容
通常 機能	設定 操作	運転/停止	グループ単位/一括で、「運転」「停止」の操作ができます。
		運転モード	グループ単位/一括で、「除湿」「送風」「冷却」「自動」の操作ができます。 機種によって設定できる運転モードは異なります。
		設定温度	グループ単位/一括で、室内温度の設定ができます。 機種によって設定できる温度範囲は異なります。
		設定湿度	グループ単位/一括で、室内湿度の設定ができます。 機種によって設定できる湿度範囲は異なります。
		スケジュール設定	グループ単位で、当日スケジュール、週間1～5スケジュール、年間スケジュールを設定できます。
		スケジュール有効/無効	グループ単位/一括で、スケジュールを実行する/しないを設定できます。
	監視	運転状態	ユニット/グループ単位で、運転状態を表示します。
		室内温度	ユニット単位で、室内温度を表示します。
		室内湿度	ユニット単位で、室内湿度を表示します。
		設定温度	グループ単位で、現在の設定温度を表示します。
		設定湿度	グループ単位で、現在の設定湿度を表示します。
		スケジュール状態	グループ単位で、現在実行されているスケジュールの有無を表示します。
		異常状態	ユニット単位で、異常状態(異常レベル1～4または異常あり(通信異常など))を表示します。
		運転/停止/異常 (ON/OFF LED)	緑点灯…1つ以上の空調機グループが運転しています。 <sup>*1</sup> 消 灯…全空調機グループが停止しています。 <sup>*1</sup> 緑点滅…1つ以上のユニットが異常になっています。
		異常履歴	除湿機の現在発生中の異常と、過去に発生した異常を表示します。
		外部出力	除湿機に異常が発生したときに、警備会社等や、外部の機器(ブザーやランプ等)に「異常発生」を出力できます。別売の外部入出力アダプタが必要です。
		外部入力	外部接点からの緊急停止信号受信により、除湿機を停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止することができます。 別売の外部入出力アダプタ(PAC-YG10HA)が必要です。
		本体ブザー出力	除湿機に異常が発生したときに、AE-200J本体のブザーを出力できます。このとき、STATUS LEDがピンク色に点灯します。
		エネルギー管理出力	エネルギー管理データをUSBメモリにCSV出力できます。
低温メール機能	除湿機の異常発生/復旧をメールでお知らせします。 本機能を利用するにはAE-200Jでログインした統合管理ブラウザから各種メール設定が必要です。		

機能		内容	
初期 設定 機能	初期設定	現在日時設定	現在日時の設定ができます。
		ライセンス登録	購入したライセンス (低温 MELTOUCH) の登録ができます。
		ユニット情報	本体の基本設定ができます。
		ユニット情報2	制御 / 異常出力の設定、温湿度表示の有無の設定ができます。
		ネットワーク設定	ネットワークに関する設定ができます。
		低温機器設定	除湿機をグループに登録します。
	ユーザー情報	保守ユーザー	「保守ユーザー名」「パスワード」の設定ができます。
		ビル管理者	「ビル管理者のユーザー名」「パスワード」「利用可能機能」の設定ができます。
	メンテナンス	データバックアップ	設定データをUSBメモリに保存できます。
		データ読み込み	設定データをUSBメモリから読み込むことができます。
		タッチパネル補正	タッチパネルのタッチ位置を補正することができます。
		アップデート	ソフトウェアアップデートができます。

※1 除湿機は運転 / 停止共に消灯状態になります。

# 3. 使用方法 (基本)

## 3-1. 監視 / 操作

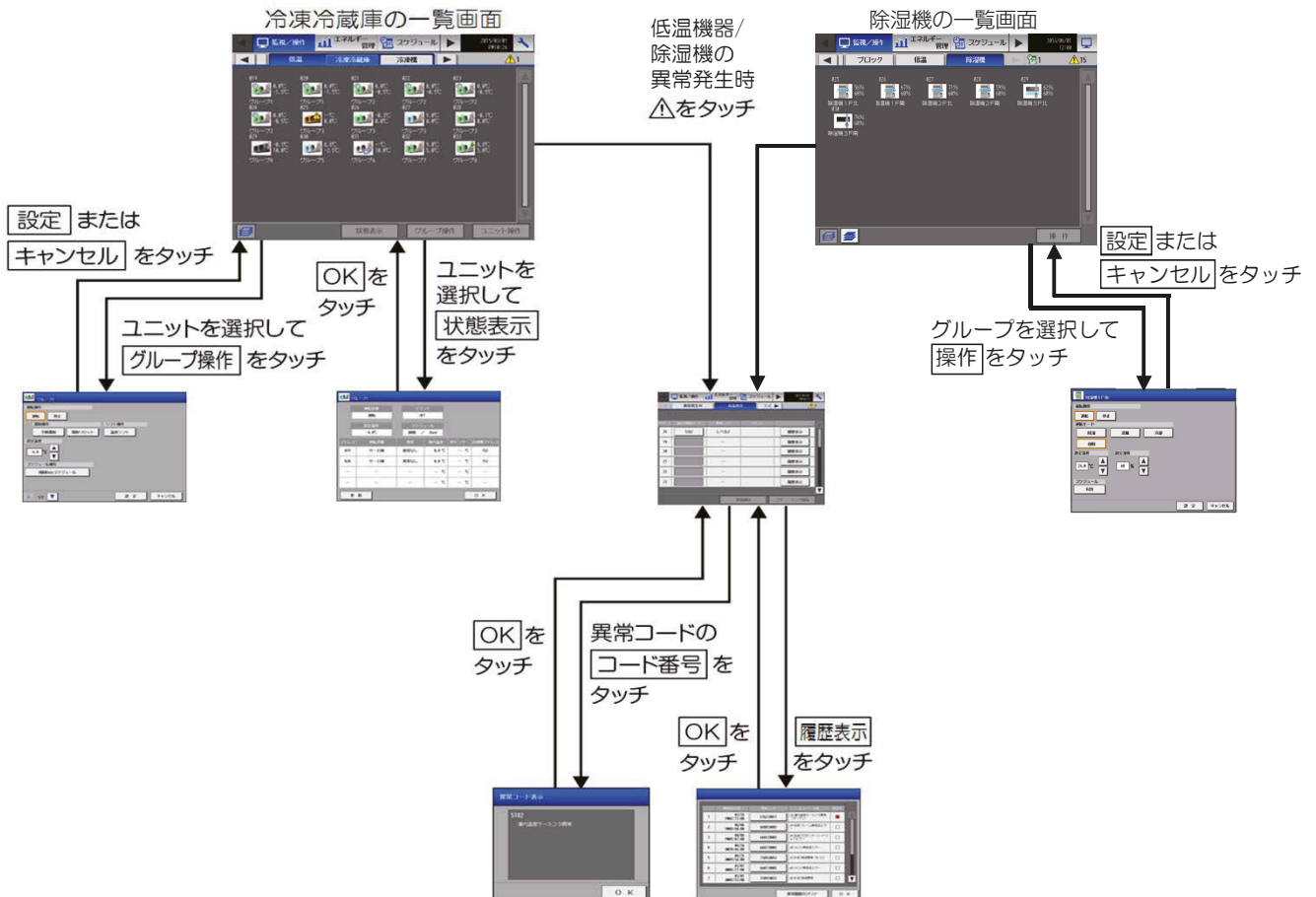
この章では、AE-200Jに接続された低温機器 / 除湿機の状態監視・操作する基本的な使用方法を説明します。

### 3-1-1. 通常の操作

基本的な状態監視・操作を行うときは、次の画面を使用します。

冷凍冷蔵庫の一覧画面	(ハイ) クオリティコントローラの運転状態を一覧表示します。 通常、本機はこの画面で運用します。
冷凍冷蔵庫の状態表示画面	(ハイ) クオリティコントローラの運転状態をグループごとに表示します。
冷凍冷蔵庫のグループ操作画面	(ハイ) クオリティコントローラの運転操作、霜取操作(手動霜取、霜取りセット)、温度シフト操作、設定温度操作、スケジュール操作(強制Baseスケジュール)をグループ別、または一括で行います。
除湿機の一覧画面	除湿機の運転状態を一覧表示します。
除湿機のグループ操作画面	除湿機の運転操作、運転モード操作、設定温度操作、設定湿度操作、スケジュール有効/無効設定をグループ別、または一括で行います。
低温機器 / 除湿機の異常コード表示画面 低温機器 / 除湿機の異常発生中画面 低温機器 / 除湿機の異常履歴画面	低温機器 / 除湿機に関する異常を表示します。

### 3-1-2. 画面の遷移



### 3-1-3. アイコンの表示

冷凍冷蔵庫の一覧画面で(ハイ)クオリティコントローラの運転状態がアイコンとして表示されます。アイコンをタッチし、[状態表示]をタッチすると状態表示画面を、[グループ操作]をタッチすると、グループ操作画面、[ユニット操作]をタッチするとユニット操作画面を表示します。

サーモ ON  (水色)	サーモ OFF  (緑色)	停止 	霜取り中 	異常発生中 ※1 
停止制御中 ※2 	スケジュール制御中 ※3 	省エネ制御中 ※4 	庫内温度の表示 ※4 ※5 	プレアラーム ※6 

※1 異常発生中は「省エネ制御中」や「庫内温度の表示」のアイコンは表示されません。

※2 外部接点からの緊急停止信号を受信した場合に表示されます。

また、(ハイ)クオリティコントローラの設定内容によって、停止または異常発生中アイコンが表示されます。

※3 週間/年間スケジュールで動作している場合に表示されます。週間/年間スケジュールを登録しているだけでは、アイコンは表示されません。

※4 (ハイ)クオリティコントローラに対して、ピークカット制御を実施している場合に表示されます。

また、「省エネ制御中」アイコンは、「庫内温度の表示」アイコンに優先して表示されます。

※5 庫内温度の表示/非表示は初期設定画面で切り替えできます。

※6 冷媒不足検知などのプレアラームを検知した際に表示されます。

また、プレアラーム対応の(ハイ)クオリティコントローラのみ表示されます。

詳細は、(ハイ)クオリティコントローラの据付工事説明書を確認してください。

除湿機の一覧画面で除湿機の運転状態がアイコンとして表示されます。

アイコンをタッチし、[操作]をタッチすると、グループ操作画面を表示します。

サーモ ON  (水色)	サーモ OFF  (緑色)	停止 	霜取り中 	異常発生中 ※1 	停止制御中 ※2 
スケジュール制御中 ※3 	スケジュール無効 	室内温度の表示 ※4  (赤色)	室内湿度の表示 ※4  (青色)	設定温度の表示 ※4  (赤色)	設定湿度の表示 ※4  (青色)

※1 異常発生中は「室内温度の表示」「室内湿度の表示」「設定温度の表示」「設定湿度の表示」のアイコンは表示されません。

※2 外部接点からの緊急停止信号を受信した場合に表示されます。

※3 当日/週間/年間スケジュールで動作している場合に表示されます。

当日/週間/年間スケジュールを登録しているだけでは、アイコンは表示されません。

※4 表示/非表示は初期設定画面で切り替えできます。

### 3-1-4. 運転状態のモニター

(ハイ) クオリティコントローラ/除湿機の状態をアドレス単位でサーモ ON/サーモ OFF/停止/霜取り中/異常発生中/停止制御中のいずれかで表示します。

画面にはアドレス順で表示されます。順序は変更できません。


#### [1] 冷凍冷蔵庫の一覧表示

(ハイ) クオリティコントローラのアイコンがアドレスごとに表示され、運転状態を確認することができます。また、ユニットごとの運転状態の詳細の確認や、ユニット単位、グループ単位での操作ができます。

#### お知らせ

- ・ 空調機/除湿機を接続している場合、冷凍冷蔵庫の一覧画面にアイコンを表示することができます。空調機の設定方法は、「6-3-7. 空調機のグループ設定」を参照ください。除湿機の設定方法は、「6-3-8. 低温機器設定」を参照ください。

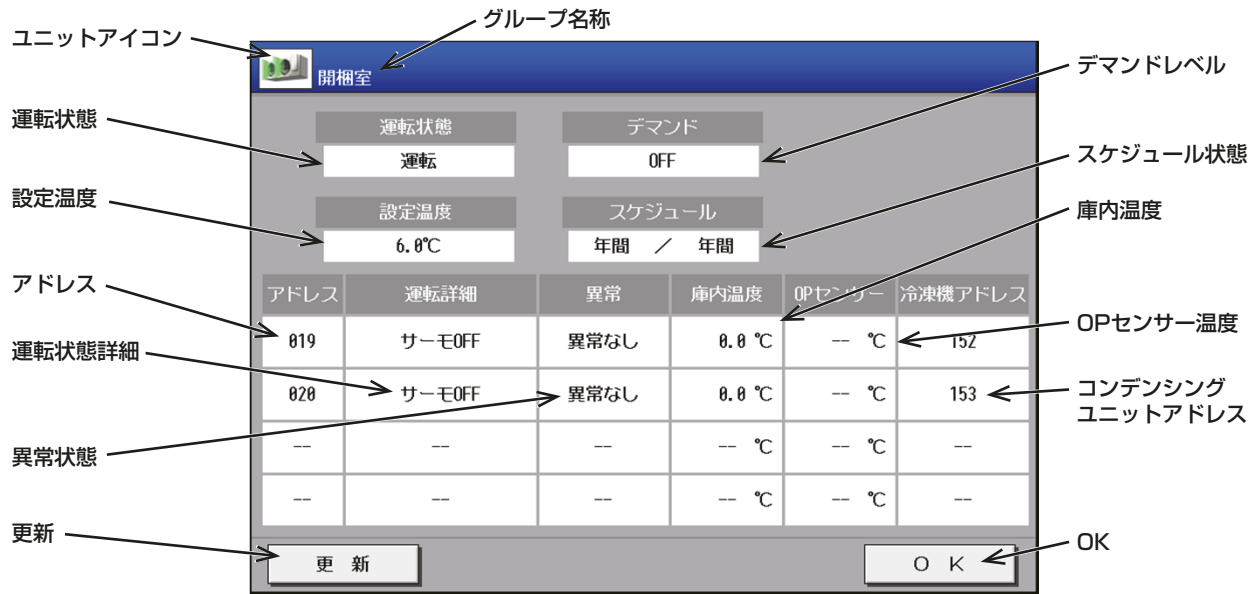


項目	内容
ユニットアイコン	(ハイ) クオリティコントローラの運転状態や異常状態等を表示します。
ユニットアドレス	(ハイ) クオリティコントローラのアドレスを表示します。
グループ名称	<p>ユニットアイコンの下にグループ名称を表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ名称は初期設定で20文字まで登録できますが、冷凍冷蔵庫の一覧画面で表示される名称は、最初の8文字までになります。</li> <li>グループ名称の設定は、<b>[初期設定]</b> - <b>[低温機器設定]</b>で行います。</li> <li>グループ名称が設定されていない場合、<b>[グループ]</b> + グループ番号で表示されます。 例：グループ1、グループ14</li> </ul>
庫内温度	<p>庫内温度を表示します。(0.1℃単位)</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庫内温度の表示/非表示は、<b>[初期設定]</b> - <b>[ユニット情報2]</b>で設定できます。</li> </ul>
設定温度	<p>設定温度を表示します。(0.5℃単位)</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定温度の表示/非表示は、<b>[初期設定]</b> - <b>[ユニット情報2]</b>で設定できます。</li> </ul>
異常発生中 ユニットの台数	<p>AE-200Jの管理下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。 「」をタッチすると、異常発生中画面が表示されます。 異常の発生が低温機器/除湿機のみの場合は低温機器の異常発生中画面、空調機のみの場合は空調機の異常発生中画面、両方発生している場合は低温機器の異常発生中画面が表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異常が発生していない場合は表示されません。</li> <li>AE-200Jの異常発生数は、AE-50J/EW-50J系統の異常発生数も含まれます。</li> </ul>
全選択解除	全てのグループの選択を解除します。
状態表示	<p>1つのグループを選択した状態でタッチすると、冷凍冷蔵庫の状態表示画面が表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループを選択していない場合や、複数のグループを選択している場合はタッチできません。</li> </ul>
グループ操作	<p>1つまたは複数のグループを選択した状態でタッチすると、冷蔵冷凍庫のグループ操作画面が表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループを選択していない場合はタッチ出来ません。</li> </ul>
ユニット操作	<p>1つのユニットを選択した状態でタッチすると、冷凍冷蔵庫のユニット操作画面が表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットを選択していない場合や、複数のグループを選択している場合はタッチできません。</li> </ul>



## [2] 冷凍冷蔵庫の状態表示

冷凍冷蔵庫の一覧画面で、対象のユニットアイコンを選択し、**[状態表示]** をタッチすると、そのグループの運転状態や設定温度、ユニットの運転状態、異常有無、庫内温度等が表示されます。



項目	内容
ユニットアイコン	(ハイ) クオリティコントローラの運転状態や異常状態等を表示します。
グループ名称	選択したグループのグループ名称を表示します。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ名称の設定は、<b>[初期設定]</b> - <b>[低温機器設定]</b> で行います。</li> <li>グループ名称が設定されていない場合、<b>[グループ]</b> + グループ番号で表示されます。 例：グループ1、グループ14</li> </ul>
運転状態	運転または停止を表示します。
デマンドレベル (制御レベル)	ピークカットのデマンドレベル (制御レベル) をOFF、1 段警報 (制御レベル1)、2 段警報 (制御レベル2)、3 段警報 (制御レベル3)、4 段警報 (制御レベル4) で表示します。
設定温度	設定温度を表示します。(0.5℃単位)
スケジュール状態	現在実行されているスケジュールの状態 (Base スケジュール、週間スケジュール、年間スケジュール) が制御スケジュール、霜取スケジュールの順で表示されます。
アドレス	(ハイ) クオリティコントローラのアドレスが表示されます。接続されていない場合は、「-」で表示されます。
運転状態詳細	現在の運転状態 (運転 (サーモON、サーモOFF、セットバック、温度シフト、霜取中、強制霜取中)、停止、異常停止、停止制御中) が表示されます。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>セットバックと温度シフトは、サーモON、サーモOFF より優先して表示されます。</li> </ul>
異常状態	異常が発生しているとき、異常レベル1～4または異常あり (通信異常など) が表示されます。異常が発生していない場合は、異常なしと表示されます。
庫内温度	庫内温度表示ができます。(0.1℃単位)
OP センサー温度 <sup>※1</sup>	オプションセンサーの温度を表示します。 オプションセンサーが接続されていない場合は、「-」を表示します。
コンデンスユニットアドレス	コンデンスユニットのアドレスを表示します。 コンデンスユニットがM-NET上に接続されていない場合、「-」を表示します。
更新	<b>[更新]</b> をタッチすると、最新の状態に更新されます。
OK	<b>[OK]</b> をタッチすると、冷凍冷蔵庫の一覧画面に戻ります。


※1 インバータ二段スクリュー圧縮機搭載クーリングユニット (AFSV) は、本機能に対応していません。



### [3] 除湿機の一覧表示

除湿機のアイコンがアドレスごとに表示され、運転状態を確認することができます。  
また、グループ単位での操作ができます。



項目	内容
ユニットアイコン	除湿機の運転状態や異常状態等を表示します。
ユニットアドレス	除湿機のアドレスを表示します。
グループ名称	<p>ユニットアイコンの下にグループ名称を表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ名称は初期設定で20文字まで登録できますが、除湿機の一覧画面で表示される名称は、最初の8文字までになります。</li> <li>グループ名称の設定は、[初期設定] - [低温機器設定]で行います。</li> <li>グループ名称が設定されていない場合、[グループ] + グループ番号で表示されます。 例：グループ1、グループ14</li> </ul>
温度湿度表示	<p>温湿度の表示設定に応じて、以下の通り表示します。</p> <p>温度常時表示、温度運転中のみ表示：上 室内温度 (0.1℃単位)、 下 設定温度 (0.5℃単位)</p> <p>湿度常時表示：上 室内湿度 (1%単位)、下 設定湿度 (1%単位)</p> <p>温度湿度常時表示、温度湿度運転中のみ表示：上 室内温度 (0.1℃単位)、 下 室内湿度 (1%単位)</p> <p>表示しない：上 表示なし、下 表示なし</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温湿度の表示/非表示は、[初期設定] - [ユニット情報2]で設定できます。</li> </ul>
異常発生中 ユニットの台数	<p>AE-200Jの管理下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。</p> <p>「」をタッチすると、異常発生中画面が表示されます。</p> <p>異常の発生が低温機器/除湿機の場合のみは低温機器の異常発生中画面、空調機の場合のみは空調機の異常発生中画面、両方発生している場合は低温機器の異常発生中画面が表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異常が発生していない場合は表示されません。</li> <li>AE-200Jの異常発生数は、AE-50J/EW-50J系統の異常発生数も含まれます。</li> </ul>
全選択解除	全てのグループの選択を解除します。

### 3. 使用方法 (基本)

項目	内容
全選択	全てのグループを選択します。
操作	1つまたは複数のグループを選択した状態でタッチすると、除湿機のグループ操作画面が表示されます。 <b>お知らせ</b> ・グループを選択していない場合はタッチ出来ません。

### 3-1-5. 操作対象の選択

冷凍冷蔵庫 / 除湿機の一覧画面で、対象のユニットアイコンを選択し（複数選択可）、**[グループ操作]** をタッチすると、そのグループの操作設定画面が表示されます。  
画面にはアドレス順で表示されます。順序は変更できません。

#### [1] アイコンの選択

##### 手順

1. 冷凍冷蔵庫 / 除湿機の一覧で、操作したいグループのユニットアイコンを選択する（複数グループ選択可）。  
選択されたユニットアイコンにはオレンジ色の枠が表示します。  
選択されたユニットと同じグループのユニットアイコンには黄緑色の枠が表示します。選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。全グループの選択を解除するには **[全選択解除]** をタッチしてください。



#### [2] グループ別の操作

##### (1) 一つのグループのみを選択した場合

操作対象のグループ選択後、**[グループ操作]** をタッチすると、そのグループの操作設定画面が表示されます。操作設定については関連ページを参照してください。

「3-1-6. グループ操作画面 [1] 一つのグループのみを選択した場合（低温機器）」

「3-1-6. グループ操作画面 [3] 一つのグループのみを選択した場合（除湿機）」

##### (2) 複数のグループを選択した場合

操作対象のグループ選択後、**[グループ操作]** をタッチすると、そのグループの操作設定画面が表示されます。操作設定については関連ページを参照してください。

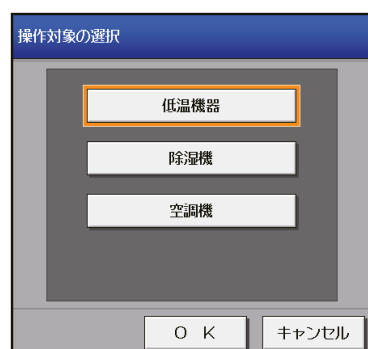
「3-1-6. グループ操作画面 [2] 複数のグループを選択した場合（低温機器）」

「3-1-6. グループ操作画面 [4] 複数のグループを選択した場合（除湿機）」

##### (3) 複数の機種（低温機器、空調機と除湿機）を混在して選択した場合

操作対象のグループ選択後、**[グループ操作]** をタッチすると、機器の種類を選択する画面が表示されます。機器の種類をタッチすると、そのグループの操作設定画面が表示されます。操作設定については関連ページを参照してください。

「3-1-6. グループ操作画面 [5] 複数の機種（低温機器、空調機と除湿機）を選択した場合」



##### お知らせ

- 複数の機種を選択した場合、操作できる項目は **[運転/停止]** に限られます。

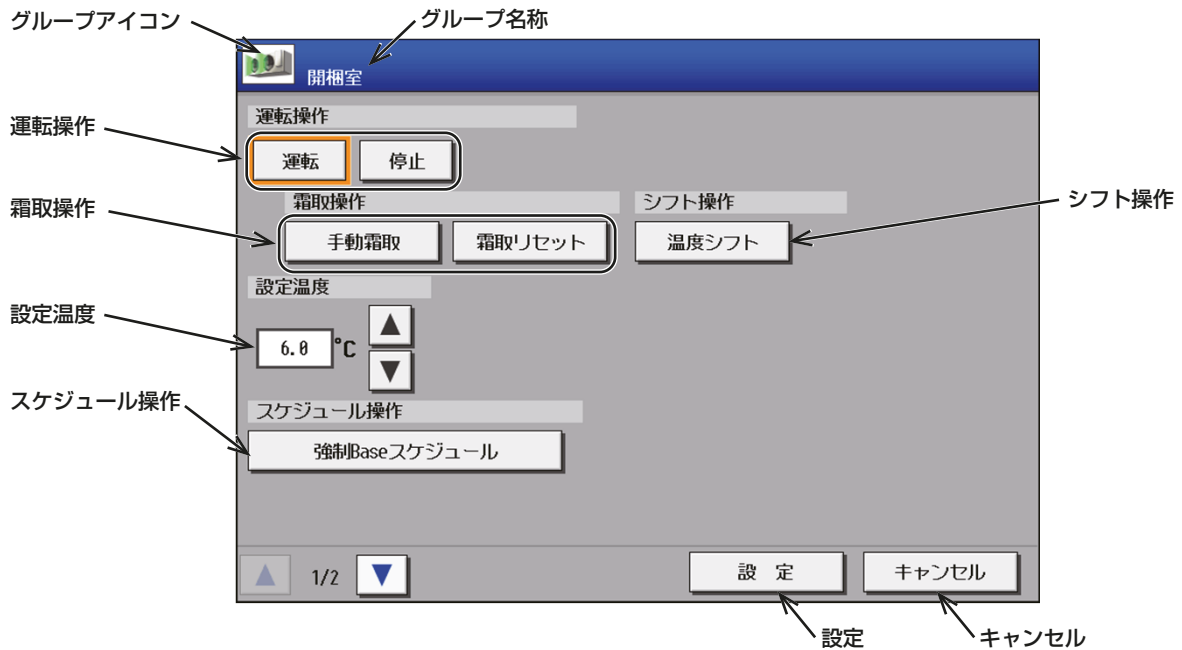
### 3-1-6. グループ操作画面

冷凍冷蔵庫 / 除湿機の一覧画面で、対象のユニットアイコンを選択し、[グループ操作]をタッチすると、そのグループの操作画面が表示されます。操作したい設定を変更し、[設定]をタッチして変更内容を決定します。設定を変更せずに前の画面に戻る場合は、[キャンセル]をタッチします。

**お知らせ**

- 選択されているボタンにはオレンジ色の枠が表示されます。
- 表示は画面を開いたときのもので、表示中に状態変化があったとしても更新されません。

#### [1] 一つのグループのみを選択した場合 (低温機器)



**お知らせ**

- 停止制御中の (ハイ) クオリティコントローラを選択した場合、本画面の操作はできません。

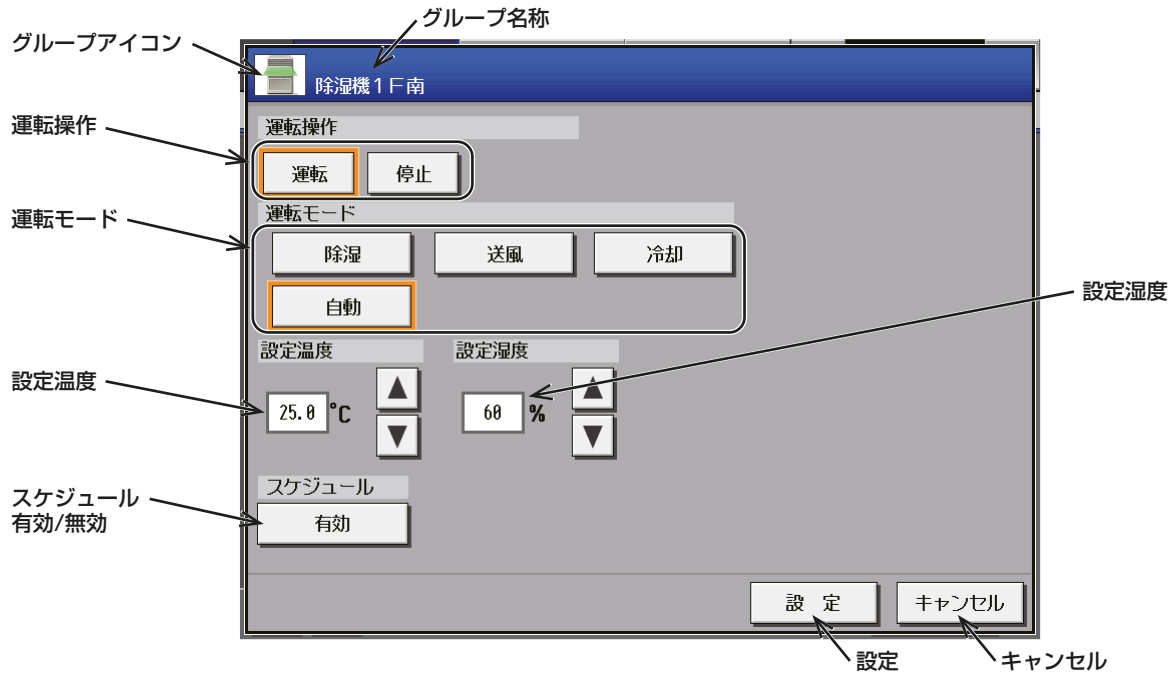
項目	内容
グループアイコン	グループの運転状態や異常状態等を表示します。
グループ名称	ユニットアイコンの下にグループ名称を表示します。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• グループ名称は初期設定で20文字まで登録できますが、冷凍冷蔵庫の一覧画面で表示される名称は、最初の8文字までになります。</li> <li>• グループ名称の設定は、[初期設定] - [低温機器設定]で行います。</li> <li>• グループ名称が設定されていない場合、[グループ] + グループ番号で表示されます。 例：グループ1、グループ14</li> </ul>
運転操作	[運転] または [停止] をタッチして、対象のグループに対して運転 / 停止を切り替えます。
霜取操作	[手動霜取] または [霜取りリセット] を選択します。[手動霜取] をタッチすると霜取り運転を実行します。霜取り運転は、霜取り終了温度設定値または霜取バックアップ時間で設定した時間の、どちらか早いほうで終了します。 [霜取りリセット] をタッチすると霜取り運転が解除 (中止) され、通常運転を再開します。ユニットクーラーに残霜・残氷がないことを確認してから操作してください。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 運転 / 停止が [運転] の場合のみ、操作ができます。</li> <li>• (ハイ) クオリティコントローラが停止しているときは、運転させてから実施してください。</li> <li>• [温度シフト] を選択している場合は、選択することができません。</li> </ul>

項目	内容																				
シフト操作	<p>温度シフト差を設定された状態で<b>[温度シフト]</b>をタッチすると温度シフトを実行します。温度シフトは、1回に限りサーモOFFの温度を温度シフト差だけ下げます。温度シフト差の設定は、「4-1-3. (ハイ) クオリティコントローラのグループ操作」を参照。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転/停止が<b>[運転]</b>の場合のみ、操作ができます。</li> <li>・ (ハイ) クオリティコントローラが停止しているときは、運転させてから実施してください。</li> <li>・ <b>[手動霜取]</b>または<b>[霜取リセット]</b>を選択している場合は、選択することができません。</li> </ul>																				
設定温度	<p><b>[▲▼]</b>をタッチすることで、設定温度を変更できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定範囲</th> <th>温度単位</th> <th>工場出荷時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RBH (高温用)</td> <td>1.0℃～24.0℃</td> <td>0.5℃</td> <td>10.0℃</td> </tr> <tr> <td>RBS (中低温用)</td> <td>-37.0℃～17.0℃</td> <td>0.5℃</td> <td>0.0℃</td> </tr> <tr> <td>RBS+ 超低温サーミスタ</td> <td>-57.0℃～-23.0℃</td> <td>0.5℃</td> <td>-50.0℃</td> </tr> <tr> <td>AFSV用</td> <td>-45.0℃～27.0℃</td> <td>0.5℃</td> <td>-25.0℃</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機種により設定範囲は異なります。</li> <li>・ AFSVはハイクオリティコントローラのSW1-1がON (C&amp;F級)の場合は-40.0℃～10.0℃、SW1-1がOFF (F級)の場合は-40.0℃～-20.0℃の範囲で設定してください。</li> </ul>		設定範囲	温度単位	工場出荷時	RBH (高温用)	1.0℃～24.0℃	0.5℃	10.0℃	RBS (中低温用)	-37.0℃～17.0℃	0.5℃	0.0℃	RBS+ 超低温サーミスタ	-57.0℃～-23.0℃	0.5℃	-50.0℃	AFSV用	-45.0℃～27.0℃	0.5℃	-25.0℃
	設定範囲	温度単位	工場出荷時																		
RBH (高温用)	1.0℃～24.0℃	0.5℃	10.0℃																		
RBS (中低温用)	-37.0℃～17.0℃	0.5℃	0.0℃																		
RBS+ 超低温サーミスタ	-57.0℃～-23.0℃	0.5℃	-50.0℃																		
AFSV用	-45.0℃～27.0℃	0.5℃	-25.0℃																		
スケジュール操作	<p><b>[強制Baseスケジュール]</b>をタッチすると、週間スケジュール、年間スケジュールをBaseスケジュールに変更することができます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制御スケジュールと霜取スケジュールがBaseスケジュールで動作している場合は、選択することができません。</li> </ul>																				
設定	<b>[設定]</b> をタッチすると、設定を確定し、冷凍冷蔵庫の一覧画面に戻ります。																				
キャンセル	<b>[キャンセル]</b> をタッチすると、設定を設定前の状態に戻し、冷凍冷蔵庫の一覧画面に戻ります。																				

## [2] 複数のグループを選択した場合 (低温機器)



[3] 一つのグループのみを選択した場合 (除湿機)



**お知らせ**

- 停止制御中の除湿機を選択した場合、グループ操作画面の操作が禁止されます。

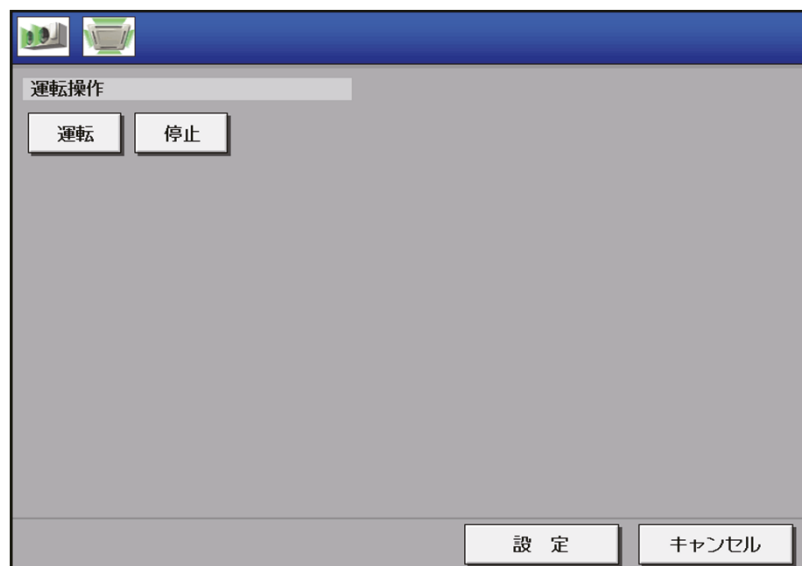
項目	内容						
グループアイコン	グループの運転状態や異常状態等を表示します。						
グループ名称	ユニットアイコンの下にグループ名称を表示します。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ名称は初期設定で20文字まで登録できますが、冷凍冷蔵庫の一覧画面で表示される名称は、最初の8文字までになります。</li> <li>グループ名称の設定は、[初期設定] - [低温機器設定]で行います。</li> <li>グループ名称が設定されていない場合、[グループ] + グループ番号で表示されます。 例：グループ1、グループ14</li> </ul>						
運転操作	[ <b>運転</b> ]または[ <b>停止</b> ]をタッチして、対象のグループに対して運転/停止を切り替えます。						
運転モード操作	[除湿][送風][冷却][自動]から一つを選択します。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>機種により設定可能な運転モードは異なります。</li> </ul>						
設定温度	[▲▼]をタッチすることで、設定温度を変更できます。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>設定範囲</th> <th>温度単位</th> <th>工場出荷時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.0℃～40.0℃</td> <td>0.5℃</td> <td>25.0℃</td> </tr> </tbody> </table> <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷却機能ありの機種のみ設定可能です。</li> <li>運転モードが[冷却][自動]の場合に設定可能です。</li> </ul>	設定範囲	温度単位	工場出荷時	0.0℃～40.0℃	0.5℃	25.0℃
設定範囲	温度単位	工場出荷時					
0.0℃～40.0℃	0.5℃	25.0℃					
設定湿度	[▲▼]をタッチすることで、設定湿度を変更できます。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>設定範囲</th> <th>湿度単位</th> <th>工場出荷時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29%～85%</td> <td>1%</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table> <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運転モードが[除湿][自動]の場合に設定可能です。</li> </ul>	設定範囲	湿度単位	工場出荷時	29%～85%	1%	40%
設定範囲	湿度単位	工場出荷時					
29%～85%	1%	40%					
スケジュール有効/無効	AE-200Jで実行するスケジュール(当日、週間1～5、年間)の有効/無効を設定します。						

項目	内容
設定	[設定] をタッチすると、設定を確定し、除湿機の一覧画面に戻ります。
キャンセル	[キャンセル] をタッチすると、設定を設定前の状態に戻し、除湿機の一覧画面に戻ります。

#### [4] 複数のグループを選択した場合 (除湿機)



#### [5] 複数の機種 (低温機器、空調機と除湿機) を選択した場合





## 3-2. 異常発生状態

低温機器 / 除湿機で異常が発生すると、冷凍冷蔵庫一覧画面の右上に【▲】が表示されます。  
また、異常レベルに応じて、警備会社等や、外部の機器（ブザーやランプ等）に「異常発生」を出力します。  
外部の機器に「異常発生」を出力しているときは、AE-200J本体のブザー出力や、状態 (STATUS) LEDの点灯を行います。

(ハイ)クオリティコントローラ		
異常内容	異常コード (参考)	異常レベル
通信系異常 (リモコン系統)	F0/d0 ~ d03/C0 F0 ~ F04	1
システムコントローラからの指示による緊急停止	FE	1
センサ異常	L0/H0	2
運転中 (冷却 / 霜取) の外部 (コンデンシングユニット) 異常	E0/E1	2
冷えすぎ防止異常	LH	2
高温警報	HC	3
50℃高温警報	HH	4
遠隔緊急停止	99	4

コンデンシングユニット		
異常内容	異常コード (参考)	異常レベル
警報出力「無」	—	1
警報出力「有」かつ一部圧縮機停止	—	2
警報出力「有」かつ全圧縮機停止	—	3

除湿機		
異常内容	異常コード (参考)	異常レベル
通信系異常 (集中系統)	d1 ~ d9	0
通信系異常 (リモコン系統)	F1 ~ F4	1
システムコントローラからの指示による緊急停止	FE	1
ユニット異常	—	2または3

### お知らせ

- ・ 警備会社等や、外部の機器（ブザーやランプ等）への「異常発生」の出力や、AE-200J本体のブザー出力・状態 (STATUS) LEDの点灯は、低温機器 / 除湿機の異常が対象です。空調機の異常に対しては出力を行いません。
- ・ 通信系異常 (集中系統) が発生した場合、警備会社等や、外部の機器（ブザーやランプ等）への「異常発生」の出力はできません。
- ・ 警報出力の「有 / 無」は、コンデンシングユニットの据付工事説明書 警報 (X112) 出力のデフォルト「ON / OFF」に相当します。
- ・ 低温機器 / 除湿機で検出される AE-200J との通信異常は、レベル 0 となります。
- ・ AE-200J で検出される低温機器 / 除湿機との通信異常は、外部信号入力 < 警報出力 (遠方) >、外部出力 < 異常出力 (ブザーランプ) >、LED (STATUS) 点灯は対象外となります。
- ・ リモコン通信異常により除湿機の運転 / 停止を制御する手段が失われる場合は、異常レベル 3 となります。

### 3-2-1. 異常コード表示画面

低温機器 / 除湿機で異常が発生した場合、異常コード表示画面がポップアップで表示されます。発生した異常の異常発生アドレス、異常レベル、異常コード、異常内容を確認してください。

複数の異常が発生した場合、異常レベルが高い異常内容が表示されます。異常レベルが同じ場合は、後から発生した異常が表示されます。

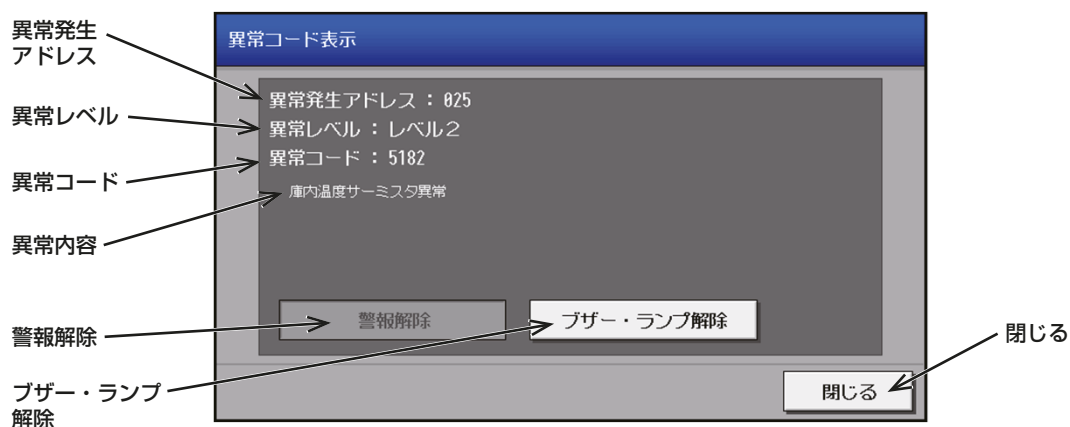
異常コード表示画面は、警報出力(遠方)または異常出力(ブザー・ランプ)が出力されると同時に表示されます。本画面で、警備会社等や、外部の機器(ブザーやランプ等)への「異常発生」の出力を解除することができます。

#### お願い

- 異常レベルに応じて本画面の表示 / 非表示を設定することができますので、設定をしてください。  
「6-3-5. ユニット情報の設定」参照。
- 警報やブザー・ランプを解除せずに異常コード表示画面を閉じた場合は、異常発生中画面から解除してください。詳しくは、「3-2-2. 異常発生中画面」を参照ください。

#### お知らせ

- 本画面が表示されたときは、「異常発生アドレス」、「異常レベル」、「異常コード」、「異常内容」を確認して、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客さま相談窓口(低温機器に別添)に連絡してください。



項目	内容
異常発生アドレス	異常が発生したユニットのアドレスを表示します。 例：アドレス1の場合は、「001」と表示します。
異常レベル	発生した異常の異常レベル1(低)～4(高)を表示します。
異常コード	発生した異常の異常コードを4桁で表示します。
異常内容	発生した異常の異常内容を表示します。
警報解除	タッチすると、「警報を解除してもよろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。 [OK]をタッチすると、警備会社等への警報出力を解除します。 [キャンセル]をタッチすると、警報を解除せずに元の画面に戻ります。 出力されていない場合(解除されている場合)は、タッチできません。 <b>お知らせ</b> ・警報出力の解除は異常発生中画面や外部入力からも可能です。

### 3. 使用方法 (基本)

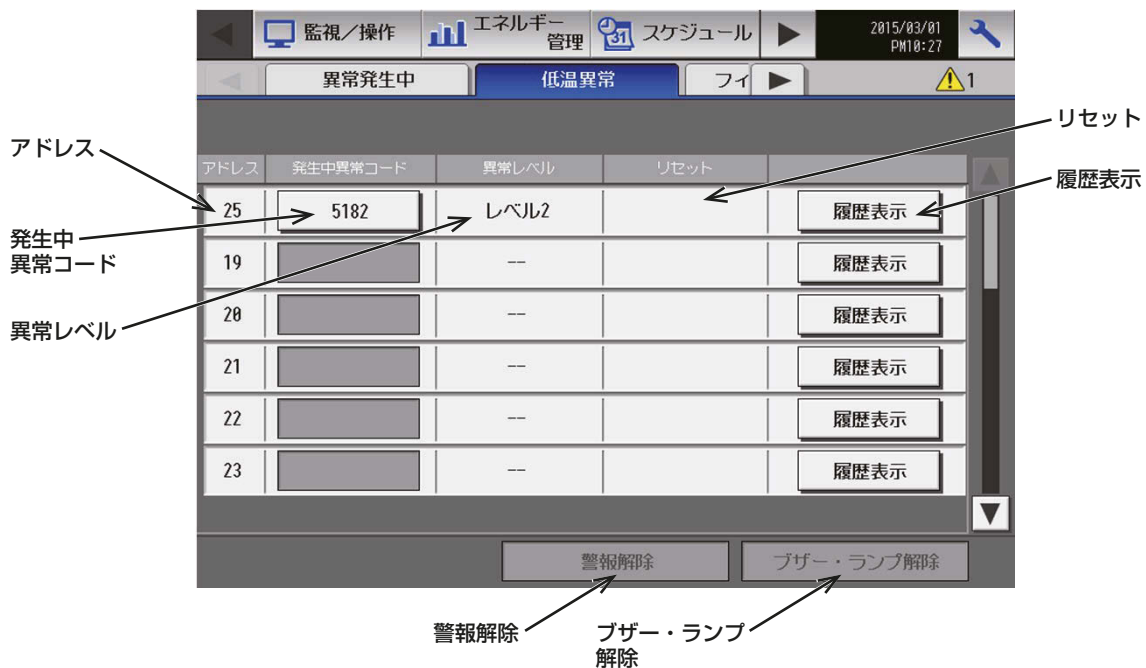
項目	内容
ブザー・ランプ解除	タッチすると「ブザー・ランプ出力を解除してもよろしいですか?」の確認メッセージが表示されます。 [OK] をタッチすると、外部の機器 (ブザーやランプ等) への「異常発生」の出力や、AE-200J 本体のブザー出力や状態 (STATUS) LED の点灯を解除します。 [キャンセル] をタッチすると、解除せずに元の画面に戻ります。 出力されていない場合 (解除されている場合) は、タッチできません。 <b>お知らせ</b> ・ ブザー・ランプ出力の解除は異常発生中画面や外部入力からも可能です。
閉じる	ポップアップ画面を閉じます。

#### **お知らせ**

- ・ 警備会社等や、外部の機器 (ブザーやランプ等) への出力を解除後も、低温機器 / 除湿機で異常状態が継続している場合、毎日 10:00 と 16:00 に再度警報出力を行います。
- ・ 警報会社等への出力は、低温機器 / 除湿機の異常が解消されても、[警報解除] をタッチするか、外部入力により解除されるまで、出力を継続します。
- ・ 外部の機器 (ブザーやランプ等) への出力は、低温機器 / 除湿機の異常状態が解消され、異常レベルが設定値を下回ると、出力が解除されます。


### 3-2-2. 異常発生中画面

メニューの[状態リスト]—[低温異常]をタッチして低温機器/除湿機の異常発生中画面を開きます。  
現在、異常が発生している低温機器/除湿機の一覧が表示されます。  
発生した異常の、異常発生アドレス、異常レベル、異常コード、異常内容を確認してください。



#### お知らせ

- 画面の右上[▲]をタッチしても、低温機器/除湿機の異常発生中画面が表示されます。

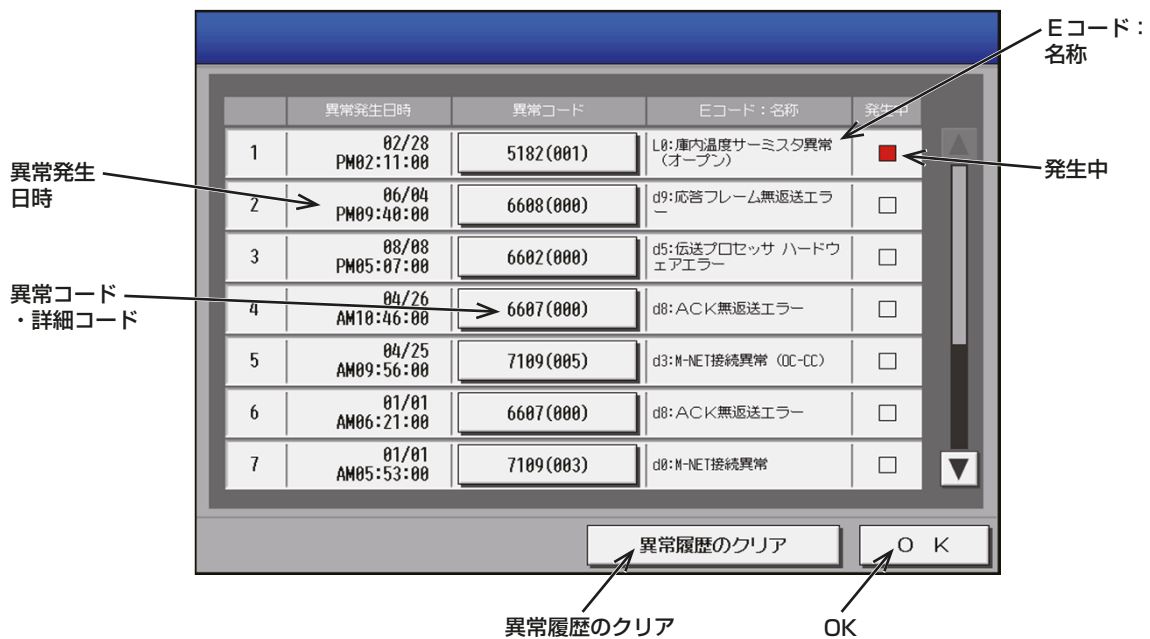
項目	内容
アドレス	アドレスを表示します。 異常が発生しているアドレスが上段に表示されます。
発生中異常コード	発生した異常の異常コードを4桁で表示します。 発生中の異常が複数存在する場合は、最後に発生した異常が表示されます。 発生中異常コードをタッチすると、異常内容の説明が表示されます。 異常が発生していない場合は空白で表示されます。 
異常レベル	発生した異常の異常レベル1 (低) ~ 4 (高) を表示します。 発生中の異常がない場合は、「--」で表示されます。
リセット	[リセット]をタッチすると、コンデンシングユニットの異常がリセットされます。 異常が発生していない場合は、タッチできません。 <b>お知らせ</b> ・ 異常の原因が解消されていない場合は、再度異常を表示します。

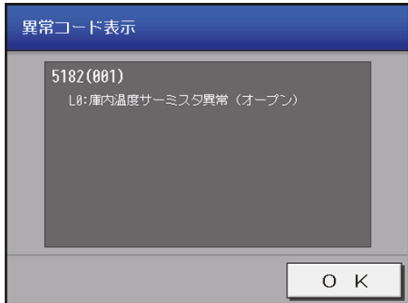
### 3. 使用方法 (基本)

項目	内容
履歴表示	<p>[履歴表示] をタッチすると、そのアドレスの異常履歴画面が表示されます。異常が発生していない場合でも、異常履歴画面を表示することができます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>通信異常の場合、タッチできません。</p>
警報解除	<p>[警報解除] をタッチすると、「警報を解除してもよろしいですか」の確認メッセージが表示されます。</p> <p>[OK] をタッチすると警備会社等への警報出力を解除します。</p> <p>[キャンセル] をタッチすると、警報を解除せずに元の画面に戻ります。警報が出力されていない場合 (解除されている場合) は、タッチできません。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部入力により警報を解除することもできます。</li> </ul>
ブザー・ランプ解除	<p>[ブザー・ランプ解除] をタッチすると「ブザー・ランプ出力を解除してもよろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。</p> <p>[OK] をタッチすると外部の機器 (ブザーやランプ等) への「異常発生」の出力を解除します。</p> <p>[キャンセル] をタッチすると、解除せずに元の画面に戻ります。ブザー・ランプが出力されていない場合 (解除されている場合) は、タッチできません。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部入力によりブザー・ランプを解除することもできます。</li> </ul>

### 3-2-3. 異常履歴画面

低温機器 / 除湿機の異常発生中画面で、**[異常履歴]** をタッチし、低温機器 / 除湿機の異常履歴画面を開きます。(ハイ)クオリティコントローラは最大16件、コンデンシングユニットは最大30件、除湿機は最大16件までの異常履歴が表示されます。



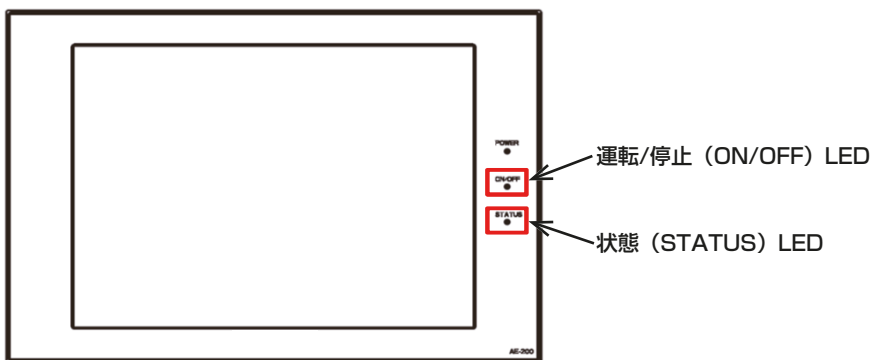
項目	内容
異常発生日時	異常が発生した日時を表示します。
異常コード	発生した異常の異常コードを4桁、詳細コードを3桁で表示します。 <b>[異常コード]</b> をタッチすると、異常内容が表示されます。 
Eコード: 名称	E (エラー) コードと名称を表示します。
発生中	異常発生中は <b>[■]</b> (赤) を表示し、復旧した異常は、 <b>[□]</b> (白) を表示します。
異常履歴のクリア	<b>[異常履歴のクリア]</b> をタッチすると「異常履歴をクリアしてよろしいですか？」の確認メッセージが表示されるので、 <b>[OK]</b> をタッチすると異常履歴がクリアされます。 <b>[キャンセル]</b> をタッチすると、クリアしないで元の画面に戻ります。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>発生中の異常も全て消去されます。(異常は解除されません。)</li> </ul>
OK	<b>[OK]</b> をタッチすると低温機器 / 除湿機の異常発生中画面に戻ります。

### 3-2-4. AE-200J 本体ブザー出力

外部の機器 (ブザーやランプ等) への「異常発生」の出力を行っているとき、AE-200J 本体からブザーが出力されます。解除するには低温機器の異常発生中画面の [ブザー・ランプ解除] または、外部信号により「警報出力解除」を入力してください。

### 3-2-5. AE-200J 本体 LED 表示

異常発生時、AE-200J 本体の運転/停止 (ON/OFF) LED が緑色に点滅します。また、AE-200J 本体のブザーが出力されている間は、状態 (STATUS) LED がピンク色に点灯します。点灯の条件や解除方法は、「3-2-4. AE-200J 本体ブザー出力」と同じです。





### 3-3. 異常コード一覧

低温機器/除湿機で発生する異常コード・詳細コードとその意味を示します。

異常が発生した場合は、異常コード・詳細コードをメモして販売店にお問い合わせください。

#### 3-3-1. 異常発生中画面

異常コード	異常項目
0100	冷凍機異常
0102	高圧圧力開閉器または吐出温度開閉器作動
0141	室外機異常
0202	ヒータ断線異常 (停止)
0302	ヒータ断線異常 (運転継続)
0310	プレアラーム (保守点検異常一括)
0403	シリアル通信異常
1102	吐出管温度異常
1143	高油温異常 / 高段吐出温度サーモ異常
1148	圧縮機巻線温度異常
1152	制御盤内温度異常
1176	吐出 SH 低下異常
1179	モータ壁温低下異常
1202	吐出管温度異常 猶予
1205	サーミスタ異常 猶予
1206	サーミスタ異常 猶予
1209	サーミスタ異常 猶予
1210	サーミスタ異常 猶予
1214	インバータ放熱板温度低下 / サーミスタ回路異常 猶予
1222	サーミスタ異常 猶予
1243	圧縮機シェル油温 異常 猶予
1276	吐出 SH 低下異常
1301	低圧圧力異常 / 低圧圧力センサ異常
1302	高圧圧力異常
1303	油差圧異常
1401	低圧圧力異常 猶予 / 低圧圧力センサ異常 猶予
1402	高圧圧力異常 猶予
1500	液バック保護
1502	液バック異常
1508	LEV 開度異常
1510	ガス漏れ異常
1511	油面レベル異常
1610	ガス漏れ警報
3180	高温警報
3181	冷え過ぎ防止異常
3182	50℃高温警報
3183	低温警報
3722	湿度センサ異常 猶予
4102	欠相異常
4106	伝送電源不良 給電検知 異常
4108	過電流保護 圧縮機 作動
4109	過電流保護 送風機 作動
4115	電源異常 (電源周期信号異常)
4117	圧縮機アンサーバック異常
4118	非常停止異常
4121	高周波対策機器 (アクティブフィルタ) 異常
4126	アナログ入力異常
4152	欠相異常 猶予
4171	高周波対策機器 (アクティブフィルタ) 異常 猶予
4200	圧縮機インバータ異常
4220	インバータ母線電圧異常 (COMP)
4225	インバータ母線電圧異常 (FAN)

### 3. 使用方法 (基本)

異常コード	異常項目
4230	インバータ放熱板温度過熱異常
4240	インバータ過負荷保護
4250	IPM 異常 (COMP)
4255	IPM 異常 (FAN)
4260	インバータ冷却ファン異常
4300	インバータ異常 猶予 (COMP) / シリアル通信異常 猶予 (COMP)
4305	インバータ異常 猶予 (FAN) / シリアル通信異常 猶予 (FAN)
4320	インバータ母線電圧異常 猶予 (COMP)
4325	インバータ母線電圧異常 猶予 (FAN)
4330	インバータ放熱板温度過熱異常 猶予 (COMP)
4340	インバータ過負荷保護 猶予 (COMP)
4350	IPM 異常 猶予 (COMP)
4355	IPM 異常 猶予 (FAN)
5101	サーミスタ異常
5102	サーミスタ異常
5103	サーミスタ異常
5104	サーミスタ異常
5105	サーミスタ異常
5106	サーミスタ異常
5107	サーミスタ異常
5108	サーミスタ異常
5109	サーミスタ異常
5110	サーミスタ異常
5111	サーミスタ異常
5112	サーミスタ異常
5182	サーミスタ異常
5185	サーミスタ異常
5186	サーミスタ異常
5201	圧力センサ異常
5202	圧力センサ異常
5203	圧力センサ異常
5204	圧力センサ異常
5205	圧力センサ異常
5301	電流センサ異常 / 電流センサ回路異常
5401	湿度センサ異常
5407	湿度センサ異常
6102	遠隔緊急停止
6103	システムコントローラからの指示による緊急停止
6106	2 クーラシステム異常
6500	通信異常一括
6600	アドレス二重定義エラー
6601	極性未設定エラー
6602	伝送プロセッサ ハードウェアエラー
6603	伝送路 BUSY エラー
6606	不正電文長エラー
6607	ACK 無返送エラー
6608	応答フレーム無返送エラー
6812	リモコン過電流異常 / インバータ放熱板回路異常
6831	リモコン通信異常 (受信なし)
6832	リモコン通信異常 (同期回復)
6833	リモコン通信異常 (通信 H/W)
6834	リモコン通信異常 (スタートビット)
7000	システム設定エラー
7102	接続台数エラー
7105	アドレス設定エラー
7109	接続設定エラー
7113	機能設定異常
7117	機種未設定異常

## 3-3-2. 異常履歴画面

異常コード	詳細コード	異常項目
0100	001	E0：冷凍機異常（霜取運転時以外）負荷側検出
	002	E1：冷凍機異常（霜取運転中）負荷側検出
0102	001	H9：高圧圧力開閉器または吐出温度開閉器作動
0141	001	H4：室外機異常一括 1
0202	000	ヒータ断線異常（停止）
0302	000	ヒータ断線異常（運転継続）
0310	001	cd：プレアラーム（保守点検異常一括）
0403	001	E051：シリアル通信 メイン基板 異常（COMP）
	005	E151：シリアル通信 メイン基板 異常（FAN）
1102	001	E005・H2：吐出昇温防止保護作動
	002	E070：機械式保護器 温度開閉器 作動
	003	高段吐出温度異常
1143	000	E012：高油温異常
	001	温度開閉器 高段吐出温度 作動
1148	001	圧縮機巻線温度異常
1152	001	制御盤内温度異常
1176	001	吐出 SH 低下異常
1179	001	モータ壁温低下異常
1202	000	E007・C1：吐出管温度 異常 猶予
	001	E005・H2：吐出昇温防止保護作動 猶予
1205	001	C8：サーミスタ異常 再熱器入口 猶予
1206	000	C2：サーミスタ異常 膨張弁入口 猶予
1209	000	C4：サーミスタ異常 吸入管温度 猶予
1210	000	C3：サーミスタ異常 冷却器入口 猶予
1214	001	E030：インバータ放熱板温度低下 / サーミスタ回路異常 猶予
1222	000	C6：サーミスタ異常 室内機吸込空気 猶予
1243	000	E010：圧縮機シェル油温 異常 猶予
1276	001	吐出 SH 低下警報
1301	000	E006：低圧圧力センサ異常
	001	低圧圧力異常
	002	L3：低圧圧力 吸込 異常
1302	000	H1：高圧圧力異常
	001	E014：高圧圧力異常 1
	002	E070：機械式保護器 圧力開閉器 作動
	003	E021：高圧圧力異常 2
	005	H3：高圧圧力異常（バックアップ頻発）
1303	001	油差圧異常
1401	000	E006：低圧圧力センサ異常 猶予
	002	L3：低圧圧力 吸込 異常 猶予
1402	000	E022・CH：圧力センサ 高圧 異常 猶予
	001	E014・H1：高圧圧力異常 1 猶予
	005	H3：高圧圧力異常（バックアップ頻発） 猶予
1500	001	E011：液バック保護 1
	002	E011：液バック保護 2
1502	000	L2：液バック異常
1508	000	LEV 開度異常
	001	エコマイザ LEV 開度異常
	002	油冷却 LEV 開度異常
1510	001	ガス漏れ異常
1511	001	油面レベル異常
1610	001	ガス漏れ警報
3180	000	HC：高温警報
3181	000	LH：冷え過ぎ防止異常
3182	001	HH：50℃高温警報
	002	HH：50℃高温警報（システム）
3183	000	低温警報

### 3. 使用方法 (基本)

異常コード	詳細コード	異常項目	
3722	000	C7:湿度センサ 室内機吸込空気 異常 猶予	
4102	001	E001: 欠相異常	
	002	E062: 欠相異常	
4106	000	E004: 伝送電源不良 給電検知 異常	
4108	000	H5: 過電流保護 圧縮機 作動	
	001	圧縮機過電流異常	
4109	000	EF: 過電流保護 送風機 作動	
4115	000	E000: 電源異常 (電源周期信号異常)	
4117	001	圧縮機アンサーバック異常	
4118	001	非常停止異常	
4121	000	E052: 高周波対策機器 アクティブフィルタ異常	
	201	E301: 内蔵 AF 異常 (直流母線過電圧 H/W 検知)	
	202	E302: 内蔵 AF 異常 (IPM エラー)	
	203	E303: 内蔵 AF 異常 (ACCT コネクタ抜け)	
	204	E304: 内蔵 AF 異常 (ACCT センサー回路)	
	205	E305: 内蔵 AF 異常 (DCCT センサー回路)	
	206	E306: 内蔵 AF 異常 (放熱板過熱センサー回路)	
	208	E308: 内蔵 AF 異常 (ACCT 誤配線)	
	209	E309: 内蔵 AF 異常 (欠相 / 逆相)	
	210	E310: 内蔵 AF 異常 (過電流)	
	211	E311: 内蔵 AF 異常 (直流母線過電圧 S/W 検知)	
	212	E312: 内蔵 AF 異常 (直流母線不足電圧)	
	213	E313: 内蔵 AF 異常 (放熱板過熱)	
	214	E314: 内蔵 AF 異常 (電源過電圧)	
	215	E315: 内蔵 AF 異常 (電源不足電圧)	
	216	E316: 内蔵 AF 異常 (電源周波数)	
	218	E318: 内蔵 AF 異常 (ロジック回路)	
	221	E321: 内蔵 AF 異常 (I/F 異常)	
	222	E322: 内蔵 AF 異常 (I/F 異常)	
	4126	001	DC4-20mA 異常
		002	ファン信号線断線異常
	4152	002	E062: 欠相異常 猶予
4171	000	E052: 高周波対策機器 アクティブフィルタ異常 猶予	
	201	E301: 内蔵 AF 異常 (直流母線過電圧 H/W 検知) 猶予	
	202	E302: 内蔵 AF 異常 (IPM エラー) 猶予	
	203	E303: 内蔵 AF 異常 (ACCT コネクタ抜け) 猶予	
	204	E304: 内蔵 AF 異常 (ACCT センサー回路) 猶予	
	205	E305: 内蔵 AF 異常 (DCCT センサー回路) 猶予	
	206	E306: 内蔵 AF 異常 (放熱板過熱センサー回路) 猶予	
	208	E308: 内蔵 AF 異常 (ACCT 誤配線) 猶予	
	209	E309: 内蔵 AF 異常 (欠相 / 逆相) 猶予	
	210	E310: 内蔵 AF 異常 (過電流) 猶予	
	211	E311: 内蔵 AF 異常 (直流母線過電圧 S/W 検知) 猶予	
	212	E312: 内蔵 AF 異常 (直流母線不足電圧) 猶予	
	213	E313: 内蔵 AF 異常 (放熱板過熱) 猶予	
	214	E314: 内蔵 AF 異常 (電源過電圧) 猶予	
	215	E315: 内蔵 AF 異常 (電源不足電圧) 猶予	
	216	E316: 内蔵 AF 異常 (電源周波数) 猶予	
	218	E318: 内蔵 AF 異常 (ロジック回路) 猶予	
	221	E321: 内蔵 AF 異常 (I/F 異常) 猶予	
	222	E322: 内蔵 AF 異常 (I/F 異常) 猶予	
	4200	001	圧縮機インバータ異常
	4220	108	E038: インバータ母線電圧低下保護 (COMP)
		109	E039: インバータ母線電圧上昇保護 (COMP)
110		E040: インバータ母線電圧異常 (COMP)	
111		E041: ロジック異常 (COMP)	
131		E068: インバータ母線電圧低下保護 (COMP)	

異常コード	詳細コード	異常項目
4225	108	E138: インバータ母線電圧低下保護 (FAN)
	109	E139: インバータ母線電圧上昇保護 (FAN)
	111	E141: ロジック異常 (FAN)
	131	E168: インバータ母線電圧低下保護 (FAN)
4230	000	E042: インバータ放熱板温度過熱異常
4240	000	E043: インバータ過負荷保護
4250	101	E031: IPM 異常 (COMP)
	102	E032: 過電流遮断 ACCT 異常 (COMP)
	103	E033: 過電流遮断 DCCT 異常 (COMP)
	104	E034: IPM ショート / 地絡異常 (COMP)
	105	E035: インバータ負荷短絡異常 (COMP)
	106	E036: 過電流遮断 インバータ瞬時値 異常 (COMP)
	107	E037: 過電流遮断 インバータ実行値 異常 (COMP)
4255	101	E131: IPM 異常 (FAN)
	104	IPM ショート地絡異常
	105	負荷短絡異常
4260	000	E044: インバータ冷却ファン異常
4300	001	E051: シリアル通信 メイン基板 異常 猶予 (COMP)
4305	005	E151: シリアル通信 メイン基板 異常 猶予 (FAN)
4320	108	E038: インバータ母線電圧低下保護 猶予 (COMP)
	109	E039: インバータ母線電圧上昇保護 猶予 (COMP)
	110	E040: インバータ母線電圧異常 猶予 (COMP)
	111	E041: ロジック異常 猶予 (COMP)
	131	E068: インバータ母線電圧低下保護 猶予 (COMP)
4325	108	E138: インバータ母線電圧低下保護 猶予 (FAN)
	109	E139: インバータ母線電圧上昇保護 猶予 (FAN)
	111	E141: ロジック異常 猶予 (FAN)
	131	E168: インバータ母線電圧低下保護 猶予 (FAN)
4330	000	E042: インバータ放熱板温度過熱異常 猶予 (COMP)
4340	000	E043: インバータ過負荷保護 猶予
4350	101	E031: IPM 異常 猶予 (COMP)
	102	E032: 過電流遮断 ACCT 異常 猶予 (COMP)
	103	E033: 過電流遮断 DCCT 異常 猶予 (COMP)
	104	E034: IPM ショート / 地絡異常 猶予 (COMP)
	105	E035: インバータ負荷短絡異常 猶予 (COMP)
	106	E036: 過電流遮断 インバータ瞬時値 異常 猶予 (COMP)
	107	E037: 過電流遮断 インバータ実行値 異常 猶予 (COMP)
4355	101	E131: IPM 異常 猶予 (FAN)
	104	IPM ショート地絡異常 猶予
	105	負荷短絡異常 猶予
5101	000	E007・C1: サーミスタ 吐出管温度 異常
	001	サーミスタ モータ室出口壁面温度 異常
5102	001	サーミスタ モータ室入口壁面温度 異常
	002	C2: サーミスタ 膨張弁入口 異常
5103	001	サーミスタ 外気温度 異常
	002	C3: サーミスタ 冷却器入口 異常
5104	001	サーミスタ 圧縮機吐出温度 異常
	002	C4: サーミスタ 吸入管温度 異常
5105	000	E008: サーミスタ 高圧飽和温度 異常
	001	サーミスタ ECO 被冷却側出口温度 異常
5106	000	E026: サーミスタ 外気温度 異常
	001	サーミスタ ECO 冷却側入口温度 異常
	002	C6: サーミスタ 室内機吸込空気 異常
5107	000	E075: サーミスタ 吸入管温度 異常
	001	サーミスタ ECO 冷却側出口温度 異常
5108	000	E060: サーミスタ 液管温度 異常
	001	サーミスタ 油温度 異常
	002	C8: サーミスタ 再熱器入口 異常

### 3. 使用方法 (基本)

異常コード	詳細コード	異常項目
5109	001	サーミスタ 圧縮機吸込温度 点検
5110	001	E030: インバータ放熱板温度低下 / サーミスタ回路異常 / サーミスタ制御盤内温度異常
5111	001	サーミスタ 油冷却器冷却側出口温度 異常
5112	000	E010: サーミスタ 圧縮機シェル油温 異常
5182	001	L0: 庫内温度サーミスタ異常 (オープン)
	002	H0: 庫内温度サーミスタ異常 (ショート)
5185	001	サーミスタ クーラ入口温度 異常 (オープン)
	002	サーミスタ クーラ入口温度 異常 (ショート)
5186	001	クーラ出口温度センサ異常 (オープン)
	002	クーラ出口温度センサ異常 (ショート)
5201	000	E022・CH: 圧力センサ 高圧 異常
5202	000	低圧圧力センサ (冷却器側) 異常
5203	001	低圧圧力センサ (熱源機側) 異常
5204	001	中間圧圧力センサ異常
5205	001	油圧圧力センサ異常
5301	115	E045: 電流センサ ACCT 異常
	116	E046: 電流センサ DCCT 異常
	117	E047: 電流センサ回路 ACCT 異常
	118	E048: 電流センサ回路 DCCT 異常
	119	E049: IPM オープン / ACCT センサ抜け異常
	120	E050: ACCT 誤配線検知異常
5401	001	L4: 湿度センサ異常 (オープン)
	002	H4: 湿度センサ異常 (ショート)
5407	000	C7: 湿度センサ 室内機吸込空気 異常
6102	001	99: 遠隔緊急停止 (クーラ・COMP 共に停止)
	002	99: 遠隔緊急停止 (クーラ・COMP 共に運転継続 (表示のみ))
6103	000	FE: システムコントローラからの指示による緊急停止
	001	FE: システムコントローラからの指示による緊急停止
6106	001	2 クーラシステム異常
6500	000	E200: 通信異常一括
6600	000	E053・d1: アドレス二重定義エラー
6601	000	E063・d4: 極性未設定エラー
6602	000	E054・d5: 伝送プロセッサ ハードウェアエラー
6603	000	E055・d6: 伝送路BUSYエラー
6606	000	E056・d7: 不正電文長エラー
6607	000	E057・d8: ACK無返送エラー
6608	000	E064・d9: 応答フレーム無返送エラー
6812	000	C0: リモコン過電流異常
	001	E030: インバータ放熱板温度低下 / 回路異常
6831	000	F1: リモコン通信異常 (受信なし)
6832	000	F2: リモコン通信異常 (同期回復)
6833	000	F3: リモコン通信異常 (通信 H/W)
6834	000	F4: リモコン通信異常 (スタートビット)
7000	001	E220: 接続台数エラー
	010	E221: OS 単独異常 (システム設定エラー)
	012	E231: TYPE2 値異常 (システム設定エラー)
	014	E222: TYPE4 値異常 (システム設定エラー)
	015	E223: TYPE5 値異常 (システム設定エラー)
	016	E224: TYPE6 値異常 (システム設定エラー)
	020	E225: OS 機種未設定異常 (システム設定エラー)
	021	E226: OC/OS 間機種設定不一致異常 (システム設定エラー)
	032	E232: TYPE2 オープン異常 (システム設定エラー)
	034	E227: TYPE4 オープン異常 (システム設定エラー)
	035	E228: TYPE5 オープン異常 (システム設定エラー)
	036	E229: TYPE6 オープン異常 (システム設定エラー)
	050	E199: インバータリセット異常 (システム設定エラー)
	7102	000

異常コード	詳細コード	異常項目
7105	001	E240 : OC 重複異常 (アドレス設定エラー)
	002	E241 : UC アドレス重複異常 (アドレス設定エラー)
	003	E242 : デフォルト UC アドレス異常 (アドレス設定エラー)
	004	E243 : UC アドレス不連続異常 (アドレス設定エラー)
	005	E244 : M-NET アドレス 2 重異常 (アドレス設定エラー)
	010	E245 : OS 単独異常 (アドレス設定エラー)
7109	001	E201 : 接続設定エラー (コントローラ)
	002	E202 : 接続設定エラー (コントローラ親機重複)
	003	d0 : M-NET 接続異常
	004	d2 : M-NET 接続異常 (CC-CS)
	005	d3 : M-NET 接続異常 (OC-CC)
	006	d3 : M-NET 接続異常 (OC-OS)
	007	F0 : システム異常
7113	001	E255 : ユニット内機種設定不一致異常 (機能設定異常) (COMP)
	005	E355 : ユニット内機種設定不一致異常 (機能設定異常) (FAN)
	014	E250 : TYPE4 値異常 (機能設定異常)
	015	E251 : TYPE5 値異常 (機能設定異常)
	016	E252 : TYPE6 値異常 (機能設定異常)
	020	E253 : OS 機種未設定異常 (機能設定異常)
	021	E254 : OC/OS 間機種設定不一致異常 (機能設定異常)
	031	CC : TYPE1 抵抗値異常 (コントローラ)
7117	012	E263 : TYPE2 オープン異常 (機種未設定異常)
	014	E260 : TYPE4 オープン異常 (機種未設定異常)
	015	E261 : TYPE5 オープン異常 (機種未設定異常)
	016	E262 : TYPE6 オープン異常 (機種未設定異常)
	031	CC : TYPE1 抵抗オープン異常 (コントローラ)



### 3-4. プレアラーム (低温機器)

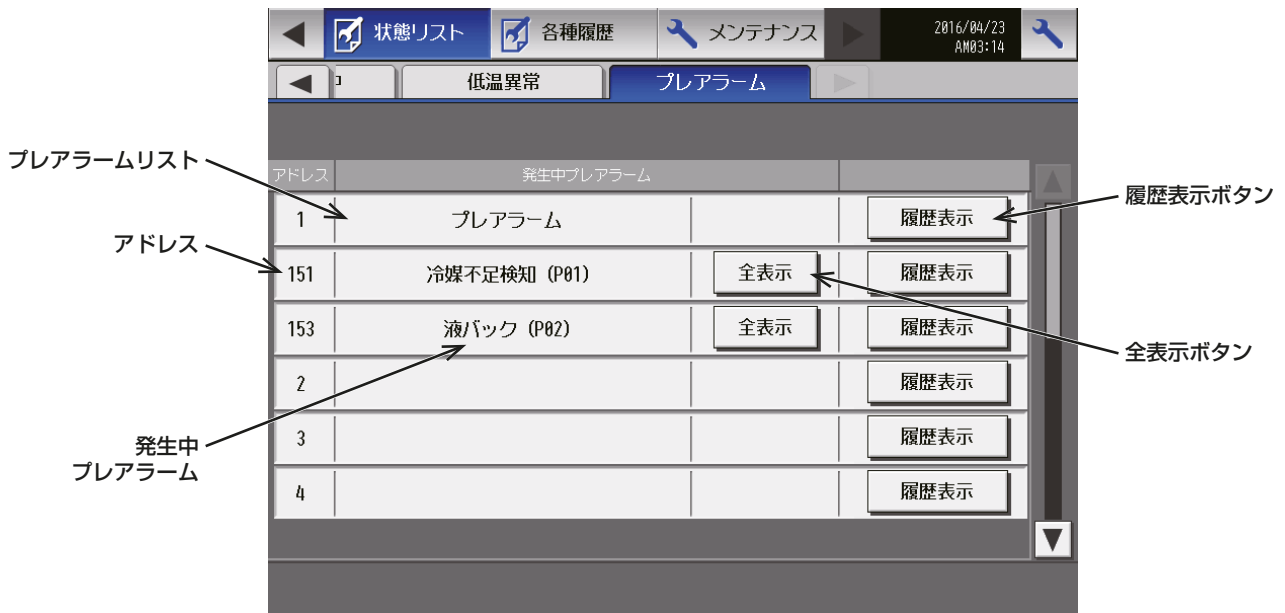
コンデンシングユニットがプレアラームを検知したとき、AE-200は監視画面(冷凍冷蔵庫/冷凍機)にプレアラームアイコンを表示します。

また、低温異常とは別に現在発生中のプレアラームの検知内容と過去の履歴をアドレスごとに表示します。

#### 3-4-1. 低温機器のプレアラーム発生中一覧画面

プレアラーム発生中一覧画面は、現在発生中のプレアラームを確認するための画面であり、プレアラームが発生しているユニットのアドレス、プレアラーム内容を確認することができます。

※ 低温MELTOUCHライセンスが登録されていないときは表示しません。



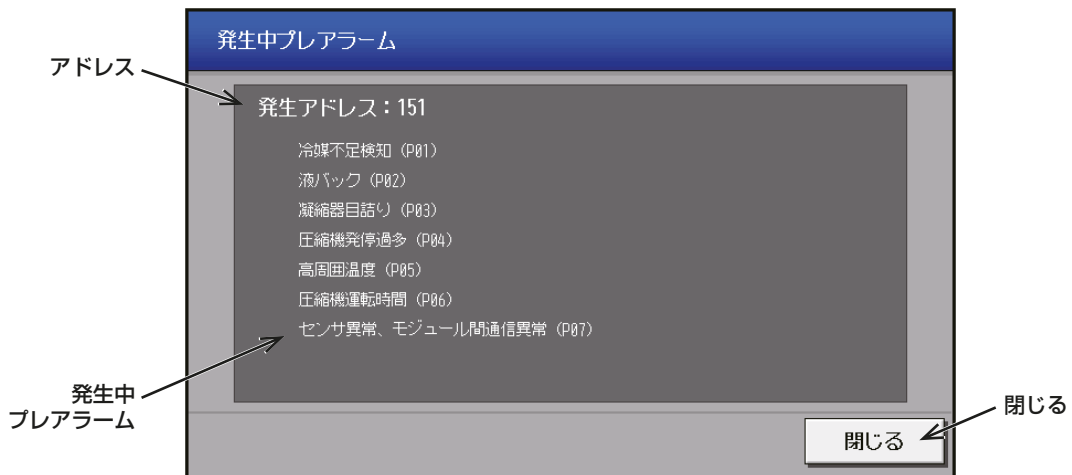
項目	内容
プレアラームリスト	低温機器の発生中プレアラームをリスト表示します。
プレアラームリスト アドレス	アドレスを表示します。 表示順は、プレアラームが発生しているユニットの昇順、異常が発生していないユニットの昇順です。

項目		内容																				
プレアラームリスト	プレアラーム発生中 <sup>※1</sup>	<p>プレアラームを検知したとき、検知したプレアラームとPコードを表示します。コンデンシングユニットに関して、複数のプレアラームが同時に発生している場合、下記の番号が最も小さいプレアラームを表示します。</p> <p>※ (ハイ) クオリティコントローラはPコードの表示はありません。</p> <p>(ハイ) クオリティコントローラ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プレアラーム</td> </tr> </tbody> </table> <p>コンデンシングユニット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>冷媒不足検知 (P01)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>液バック (P02)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>凝縮器目詰り (P03)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>圧縮機発停過多 (P04)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>高周囲温度 (P05)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>圧縮機運転時間 (P06)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>センサ異常、モジュール間通信異常 (P07)</td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目	1	プレアラーム	番号	項目	1	冷媒不足検知 (P01)	2	液バック (P02)	3	凝縮器目詰り (P03)	4	圧縮機発停過多 (P04)	5	高周囲温度 (P05)	6	圧縮機運転時間 (P06)	7	センサ異常、モジュール間通信異常 (P07)
	番号	項目																				
	1	プレアラーム																				
番号	項目																					
1	冷媒不足検知 (P01)																					
2	液バック (P02)																					
3	凝縮器目詰り (P03)																					
4	圧縮機発停過多 (P04)																					
5	高周囲温度 (P05)																					
6	圧縮機運転時間 (P06)																					
7	センサ異常、モジュール間通信異常 (P07)																					
全表示ボタン	<p>タッチすると発生中プレアラーム一覧画面を表示します。</p> <p>プレアラームが発生していない場合は、ボタン非表示となります。</p> <p>※ (ハイ) クオリティコントローラはボタン非表示となります。</p>																					
履歴表示ボタン	<p>タッチすると、タッチしたユニットのプレアラーム履歴画面を表示します。</p> <p>プレアラームが発生していない場合でも、タッチできます。</p>																					

※1 インバータ二段スクリュウ圧縮機搭載クーリングユニット (AFSV) で表示されるのは冷媒不足検知のみです。

### 3-4-2. プレアラーム一覧画面

低温機器のプレアラーム発生中画面で、**[全表示]** をタッチし、プレアラーム一覧画面を表示します。

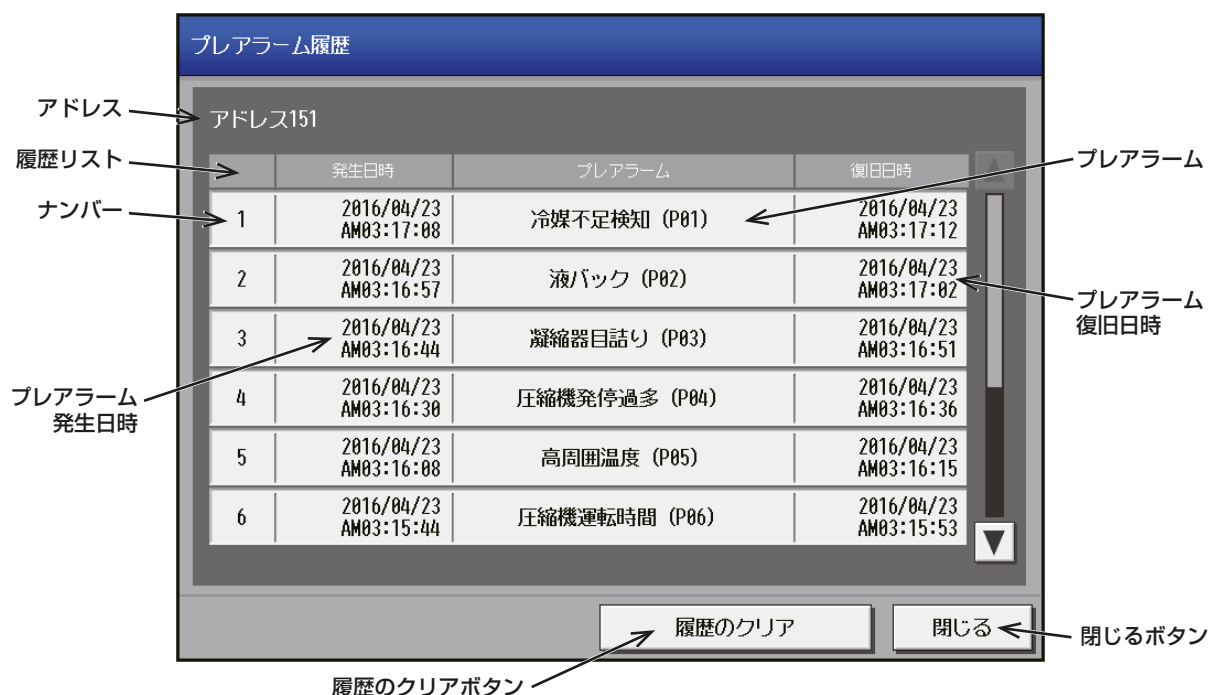


項目	内容																
アドレス	プレアラーム一覧を表示しているユニットの M-NET アドレスを表示します。																
発生中プレアラーム <sup>※1</sup>	<p>発生中のプレアラームを表示します。(1画面に最大8個) 表示する項目の順番は、下記表の番号順(昇順)になります。</p> <p>(ハイ)クオリティコントローラ 表示項目なし</p> <p>コンデンシングユニット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>冷媒不足検知 (P01)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>液バック (P02)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>凝縮器目詰り (P03)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>圧縮機発停過多 (P04)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>高周囲温度 (P05)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>圧縮機運転時間 (P06)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>センサ異常 (P07)</td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目	1	冷媒不足検知 (P01)	2	液バック (P02)	3	凝縮器目詰り (P03)	4	圧縮機発停過多 (P04)	5	高周囲温度 (P05)	6	圧縮機運転時間 (P06)	7	センサ異常 (P07)
番号	項目																
1	冷媒不足検知 (P01)																
2	液バック (P02)																
3	凝縮器目詰り (P03)																
4	圧縮機発停過多 (P04)																
5	高周囲温度 (P05)																
6	圧縮機運転時間 (P06)																
7	センサ異常 (P07)																
閉じる	<b>[閉じる]</b> をタッチすると低温機器のプレアラーム発生中一覧画面に戻ります。																

※1 インバータ二段スクリー圧縮機搭載クーリングユニット (AFSV) で表示されるのは冷媒不足検知のみです。

### 3-4-3. 低温機器のプレアラーム履歴画面

低温機器のプレアラーム発生中画面で、**[履歴表示]** をタッチし、プレアラーム履歴画面を表示します。  
最大 10 件のプレアラーム履歴が表示されます。



項目	内容	
アドレス	プレアラーム履歴を表示しているユニットのM-NETアドレスを表示します。	
履歴リスト	低温機器の各アドレスごとのプレアラーム履歴をリスト表示します。	
履歴リスト	ナンバー	1 から連番で番号を表示します。
	発生日時	プレアラーム発生日時を表示します。
	プレアラーム	モニタしたプレアラームを表示します。 プレアラーム発生中のもので日時が新しい順に表示し、 その後ろに解除されているもので日時が新しい順に表示します。
	復旧日時	プレアラーム復旧日時を表示します。
履歴のクリア	<b>[履歴のクリア]</b> をタッチすると「履歴をクリアしてよろしいですか?」の確認メッセージが表示されるので、 <b>[OK]</b> をタッチすると履歴がクリアされます。 <b>[キャンセル]</b> をタッチすると、クリアしないで元の画面に戻ります。 <b>お知らせ</b> ・発生中のプレアラームを含めた全ての履歴がクリアされます。(プレアラームは解除されません。)	
閉じる	<b>[閉じる]</b> をタッチすると低温機器のプレアラーム発生中一覧画面に戻ります。	

### 3-5. 低温異常メール / 低温復旧メール / 低温定期メール

AE-200J から任意のメールアドレスへ (ハイ) クオリティコントローラ、コンデンシングユニット、除湿機の異常発生時の発報 / 異常復旧通知および (ハイ) クオリティコントローラ、コンデンシングユニットのプレアラームの定期通知を行います。

#### 3-5-1. メール設定

低温異常メール / 低温復旧メール / 低温定期メールを利用するには、統合管理ブラウザから各種メール設定が必要です。

統合管理ブラウザの動作環境は以下のとおりです。

	項目	要件
PC	CPU	1GHz 以上 (推奨 2GHz 以上)
	メモリ	2GB 以上
	画面解像度	1024 × 768 以上 (推奨サイズ 1920 × 1080)
	OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft® Windows® 11 (64bit)*1</li> <li>• Microsoft® Windows® 10 (64bit)*1</li> <li>• Microsoft® Windows® 8.1 (64bit)*1</li> <li>• MacOS® Mojave 10.14 (CSV ダウンロードツールのみ動作保証外です。)</li> </ul>
	ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft™ Edge™ 96</li> <li>• Google Chrome™ Ver.96</li> <li>• Safari® 15</li> </ul>
	Microsoft® Excel®	Microsoft® Excel® 2013(32bit)/2016(32bit)/2019(32bit)
タブレット	Safari® 15	• iPad Air2 (iOS15)

\*1 Pro で動作確認しています。

Microsoft® Internet Explorer® 11 は 2022 年 6 月に Microsoft 社のサポートが終了となります。

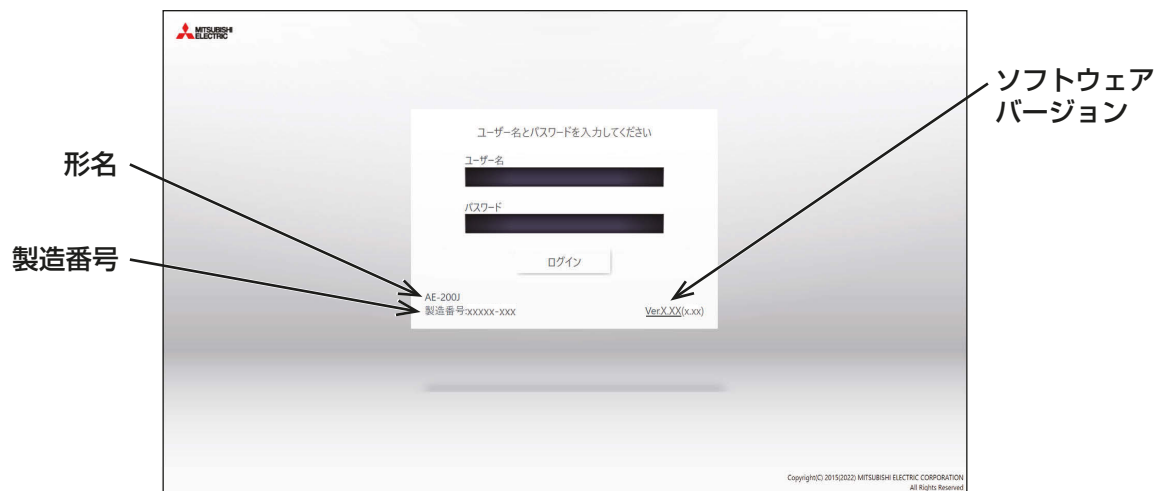
そのため、他のブラウザをご使用ください。

OS、ブラウザは最新バージョンのご利用を推奨します。

#### 手順

1. お使いの Web ブラウザのアドレス欄に以下の Web ページアドレスを入力し、統合管理ブラウザにログインする。Ver.7.98 から、ログイン先の AE-200J の形名と製造番号、ソフトウェアバージョン情報が表示されます。

[http://\(ログイン先のAE-200JのIPアドレス\)/control/index.html](http://(ログイン先のAE-200JのIPアドレス)/control/index.html)

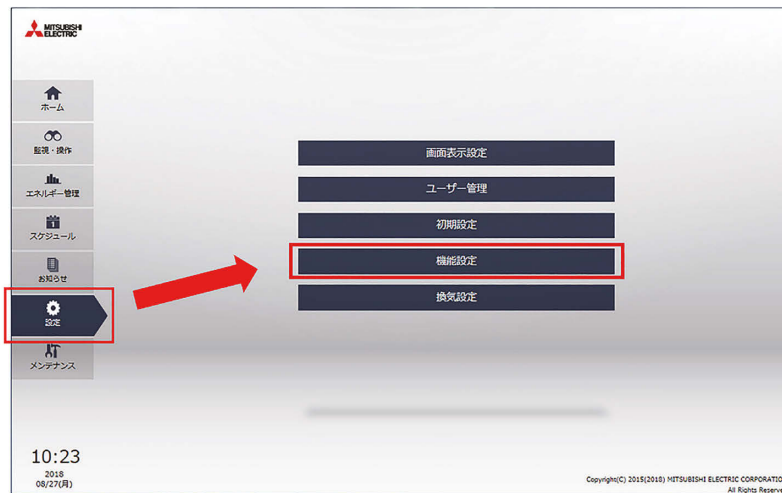


### お知らせ

- 工場出荷時のユーザー名は「administrator」、パスワードは「admin」です。
- ビル管理者以外のユーザーが設定を変更できないように、初期のユーザー名とパスワードを初期値から変更することを推奨します。  
初期のユーザー名とパスワードの変更方法については、「6-7. ユーザー情報」を参照してください。
- 低温メール機能以外の統合管理ブラウザの操作方法については「取扱説明書 統合管理ブラウザ操作編」を参照してください。

### 3. 使用方法 (基本)

2. メニューの[設定] - [機能設定] - [メール設定]をクリックしてメール設定画面を開く。



3. 次ページ以降の [1] ~ [4] の各種メール設定を行う。



## [1] メールサーバ情報

インターネットプロバイダーまたはシステム管理者から入手したメールサーバ情報を入力します。使用する機能によって設定項目が異なります。下表を参照してください。

「送信メールサーバ(SMTP)」および「受信メールサーバ(POP3)」にはIP アドレスまたはホスト名(サーバ名)のいずれかを入力できます。

**お知らせ**

- 送信メールサーバ(SMTP)のポート番号には0～65535の値を設定できます。(工場出荷時：25)
- ポート番号を「587」に設定した場合、**[SMTP認証が必要]**にチェックを入れてください。
- ポート番号を「465」に設定した場合、暗号化方法は「SSL/TLS」を選択してください。

設定が必要な項目

項目	SMTP認証なし	SMTP認証あり
送信メールサーバ ※3	○ IP アドレス またはホスト名	○ ホスト名
送信メールサーバポート	○	○
暗号化方法 ※2	「接続の保護なし」または「SSL/TLS」	
SMTP認証が必要	—	○
受信メールサーバ	—	—
優先DNSサーバ	(○) ※1	○
代替DNSサーバ	(○) ※1	○

※1 「送信メールサーバ(SMTP)」または「受信メールサーバ(POP3)」にホスト名を入力した場合のみ必要。

※2 暗号化を使用しない場合は「接続の保護なし」、暗号化する場合は「SSL/TLS」を選択してください(工場出荷時：「接続の保護なし」)。ただし、TLS1.1以上とSTARTTLSには対応していません。

※3 送信メールサーバは信頼できるサーバのIPアドレスもしくはホスト名を設定してください。



### [3] 低温異常メール / 低温復旧メール設定 (AE-200Jのみ)

(ハイ) クオリティコントローラ、コンデンシングユニット、除湿機に異常が発生した場合、低温異常メールが[低温異常メール設定]で登録したメールアドレスへ送信されます。

また、異常から復旧した際、低温復旧メールが[低温異常メール設定]で登録したメールアドレスへ送信されます。

異常種別(異常レベル1~4と通信異常)ごとに最大10個ずつ、異常/復旧をお知らせするメールアドレスを登録できます。

異常の詳細については本書「3-2. 異常発生状態」を参照してください。

メール設定

対象機器 AE01 第1ビル

サーバ設定 基本設定 メール通信設定 異常メール設定 **低温異常メール設定** 低温定期メール設定

異常種別 通信異常

メールタイトル  
通信異常発生

No.	メールアドレス
1	mitsubishi@ae200.co.jp
2	
3	
4	
5	

1/2

キャンセル OK

#### 手順

1. 「異常種別」から[異常レベル1][異常レベル2][異常レベル3][異常レベル4][通信異常]のいずれかを選択する。
2. [メールタイトル]に低温異常メール機能で使用するタイトルを最大40文字で入力する。

#### お知らせ

・ [メールタイトル]には次の文字は使用できません < > & “ ‘

3. [メールアドレス]に低温異常メールを受信したいメールアドレス(半角・最大60文字)を最大10個まで入力する。
4. [OK]をクリックして入力・設定した内容を保存する。

#### お知らせ

- ・ 「異常種別」ごとにそれぞれメールタイトルや受信メールアドレスを設定することができます。
- ・ メールアドレスを登録していない「異常種別」については、該当する異常が発生しても低温異常メールは送信されないため気をつけてください。

#### [4] 低温定期メール設定 (AE-200Jのみ)

(ハイ)クオリティコントローラ、コンデンシングユニットのプレアラーム発生の有無やプレアラームの情報が毎日、午前 10 時に [低温定期メール設定] で登録したメールアドレスへ送信されます。

メール設定

対象機器 AE01 第1ビル

サーバ設定 基本設定 メール通信設定 異常メール設定 低温異常メール設定 低温定期メール設定

メールタイトル  
低温定期メール

No.	メールアドレス
1	mitsubishi@ae200.co.jp
2	
3	
4	
5	

キャンセル OK 1/2

#### 手順

1. [メールタイトル] に低温定期メール機能で使用するタイトルを最大 40 文字で入力する。

#### お知らせ

- ・ [メールタイトル] には次の文字は使用できません < > & “ ‘
2. [メールアドレス] に低温定期メールを受信したいメールアドレス (半角・最大 60 文字) を最大 10 個まで入力する。
  3. [OK] をクリックして入力・設定した内容を保存する。

## [5] メール試運転方法

### 手順

1. 通信異常等の異常を発生させる。
2. 統合管理ブラウザの[メンテナンス]-[異常メール送信履歴]から“メール送信結果”を確認する。
3. “送信結果OK”の場合、試運転は完了です。送信先のメールアドレスに異常メールが届いているかを確認する。
4. “送信結果NG” (異常発生から約30分後に表示)の場合、下記を確認する。
  - ① ネットワークに問題ないか確認してください。
    - ・ インターネット接続  
お使いのパソコンからインターネットに接続できるか確認してください。
    - ・ 送信メールサーバ/受信メールサーバの稼働状況  
サーバ障害が起きていないかどうか、ご利用中のプロバイダー等やシステム管理者に確認してください。
  - ② メール設定に間違いがないか確認してください。
    - ・ サーバー設定  
送信メールサーバ (SMTP)、送信メールサーバポート、暗号化方法、DNS サーバを確認してください。
    - ・ 基本設定  
メールアドレス、ユーザーID、パスワードの確認
    - ・ 異常メール設定  
送信先メールアドレスの設定確認

※ 併せてサービスハンドブックのV 故障判定 “異常メールが送信されない。”も確認してください。

## 3-5-2. メールフォーマット

### [1] 低温異常メールのフォーマット

低温異常メールは以下のフォーマットで送信されます。

物件名：三菱ビル(000001) 発生日時：2018/12/01 16:18:47 異常発生元：183 異常レベル：2 異常コード：5182 異常検出元：151 状態：発生
--

メールタイトル	本書「3-5-1.[3] 低温異常メール / 低温復旧メール設定 (AE-200Jのみ)」で設定したタイトルが表示されます。
物件名	初期設定ツールで設定したAE-200Jの名称と識別番号が表示されます。名称と識別番号の設定については「取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
発生日時	異常が発生した日時が表示されます。 日時は初期設定ツールで設定した形式になります。日時形式の設定方法については「取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
異常発生元	異常が発生したユニット「(ハイ)クオリティコントローラ、コンデンシングユニット、除湿機」のM-NET アドレスが表示されます。
異常レベル	発生した異常種別 (異常レベル「1～4」または「通信異常」) が表示されます。
異常コード	4桁の異常コードが表示されます。異常コードの詳細については本書「3-3. 異常コード一覧」を参照してください。
異常検出元	異常を発見したユニットのM-NET アドレスが表示されます。 例：M-NET アドレス 183 のコンデンシングユニットで異常が発生し、M-NET アドレス 151 のコンデンシングユニットが発見した場合、異常検出元には 151 が表示されます。
状態	低温異常メールには「発生」が表示されます。

## [2] 低温復旧メールのフォーマット

低温復旧メールは以下のフォーマットで送信されます。

物件名：三菱ビル(000001)  
 復旧日時:2018/12/01 18:20:15  
 異常発生元：172  
 異常レベル：2  
 異常コード：-  
 異常検出元：-  
 状態：復旧

メールタイトル	「本書『3-5-1.[3] 低温異常メール / 低温復旧メール設定 (AE-200Jのみ)』で設定したタイトル」+「復旧」が表示されます。
物件名	初期設定ツールで設定したAE-200Jの名称と6桁の識別番号が表示されます。名称と識別番号の設定方法については「取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
復旧日時	異常から復旧した日時が表示されます。 日時は初期設定ツールでAE-200Jに設定した形式になります。日時形式の設定方法については「取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
異常発生元	異常が発生していたユニット「(ハイ) クオリティコントローラ、コンデンシングユニット、除湿機」のM-NET アドレスが表示されます。
異常レベル	復旧した異常種別 (異常レベル「1～4」または「通信異常」) が表示されます。
異常コード	異常から復旧しているため「- (ハイフン)」が表示されます。
異常検出元	異常から復旧しているため「- (ハイフン)」が表示されます。
状態	低温復旧メールには「復旧」が表示されます。



### [3] 低温定期メールのフォーマット

低温定期メールは以下のフォーマットで送信されます。

物件名：三菱ビル(000001)  
 プレアラーム発生元：001  
 . . .  
 プレアラーム発生元：050  
 プレアラーム発生元：151  
 プレアラームコード：P01,P02,P03,P04,P05,P06,P07

プレアラームが発生している場合

物件名：三菱ビル(000001)  
 プレアラーム発生なし

プレアラームが発生していない場合

メールタイトル	本書「3-5-1.[3] 低温異常メール / 低温復旧メール設定 (AE-200Jのみ)」で設定したタイトルが表示されます。
物件名	初期設定ツールで設定した AE-200J の名称と 6 桁の識別番号が表示されます。名称と識別番号の設定方法については「取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
プレアラーム発生元	メール送信時点でプレアラームが発生しているユニット「(ハイ)クオリティコントローラ、コンデンシングユニット」の M-NET アドレスが表示されます。
プレアラームコード	メール送信時点でユニットに発生しているプレアラームコード P01 ~ P07 が表示されます。プレアラームコードの詳細については本書「3-4-1. 低温機器のプレアラーム発生中一覧画面」を参照してください。

#### お知らせ

- プレアラーム発生元 001 ~ 050「(ハイ)クオリティコントローラ」はプレアラームコードが表示されません。
- 各ユニットの M-NET アドレス設定範囲は以下のとおりです。

ユニット		記号	最大接続台数	M-NET アドレス設定範囲
(ハイ)クオリティコントローラ	親機・メイン	CC	50	01 ~ 50
	子機・メイン	CS		
	親機・サブ	CC		
コンデンシングユニット	親機	OC	32	151 ~ 182
	子機 1	OS1	32	183 ~ 214
	子機 2	OS2	32	215 ~ 246
R410A インバータ二段スクルーケーリングユニット(コンデンシングユニット)	—	OC	32	151 ~ 182
除湿機	—	DU	50	01 ~ 50
R410A ホットガスデフロスト対応スクロールクーリングユニット	親機	OC	32	151 ~ 182
	子機 1	OS1	32	183 ~ 214

### 3-5-3. メール送信履歴

統合管理ブラウザから低温異常メール / 低温復旧メール / 低温定期メールの送信履歴を確認することができます。

#### 手順

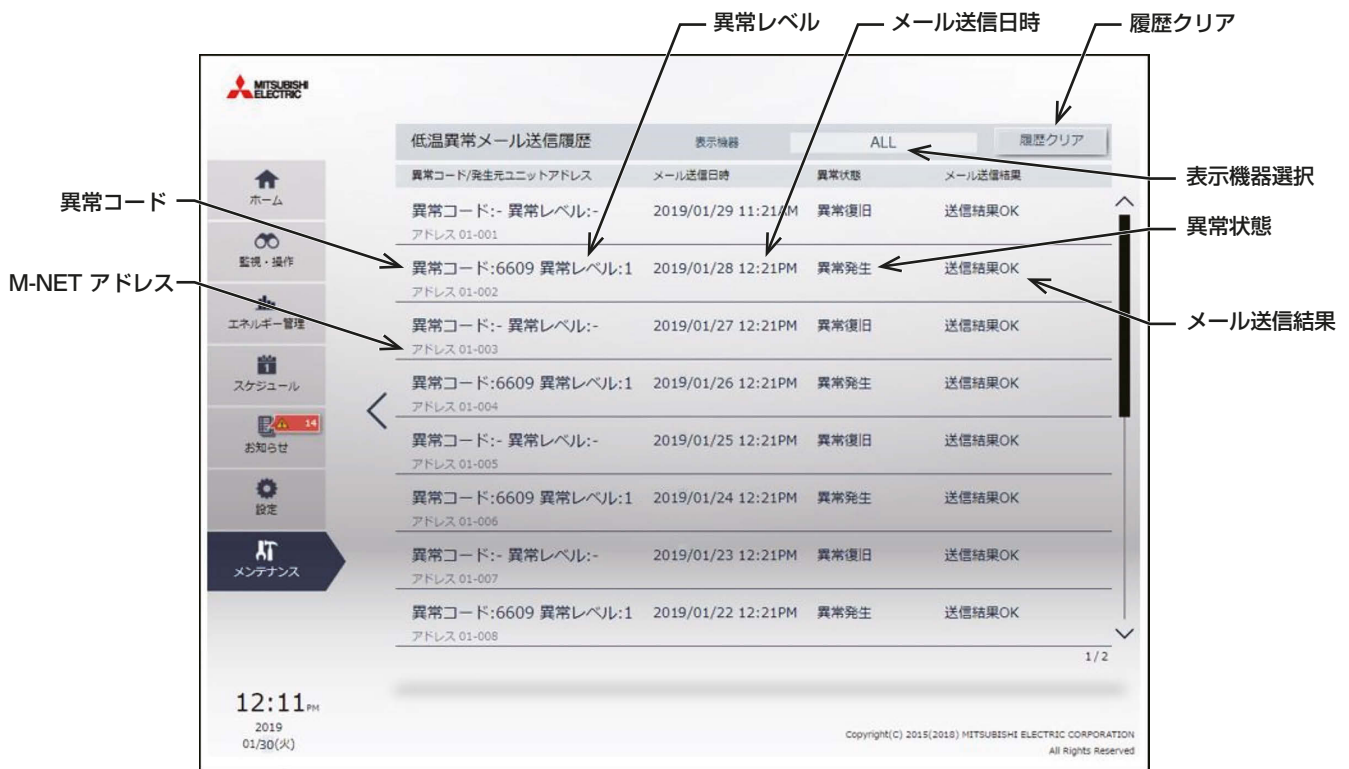
1. 統合管理ブラウザを開き、メニューの [メンテナンス] – [低温異常メール送信履歴] または [低温定期メール送信履歴] をクリックして開く。



### 3. 使用方法 (基本)

各種メール送信履歴の詳細は以下 [1] ~ [2] のとおりです。

#### [1] 低温異常メール / 低温復旧メール送信履歴



低温異常メール / 低温復旧メールの送信履歴は [低温異常メール送信履歴] から確認できます。

項目	低温異常メール送信履歴	低温復旧メール送信履歴
異常コード	異常 4 桁の異常コードが表示されます。	「- (ハイフン)」が表示されます。
M-NET アドレス	異常が発生したユニットのM-NETアドレス (000 ~ 250) が表示されます。	異常から復旧したユニットのM-NETアドレスが表示されます。
異常レベル	発生した異常レベル 1 ~ 4 のいずれかが表示されます。AE-200J と低温機器の間に通信異常が起きた場合は「- (ハイフン)」が表示されます。	復旧した異常レベル 1 ~ 4 のいずれかが表示されます。通信異常復旧の場合は「- (ハイフン)」が表示されます。
メール送信日時	低温異常メールが送信された日時が表示されます。日付は初期設定ツールでAE-200J に設定した形式になります。	低温復旧メールが送信された日時が表示されます。日付は初期設定ツールでAE-200J に設定した形式になります。
異常状態	「異常発生」が表示されます。	「異常復旧」が表示されます。
メール送信結果	送信成功したメールは「送信結果 OK」、送信失敗したメールは「送信結果 NG」が表示されます。	
表示機器選択	低温異常メール送信履歴の表示をAE-200J 1 台ごとに切り替えることができます。	
履歴クリア	クリックすると消去確認のダイアログボックスが表示され、「はい」を選択すると、現在表示している低温異常メール送信履歴が消去されます。	

**お知らせ**

- メール機能を利用していない、送信履歴をすべて履歴クリアしたなど、低温異常メール/低温復旧メール送信履歴が存在しない場合は以下の画面が表示されます。



[2] 低温定期メール送信履歴



項目	低温定期メール送信履歴
メール送信日時	低温定期メールが送信された日時が表示されます。日付は初期設定ツールでAE-200Jに設定した形式になります。
メール送信結果	送信成功したメールは「送信結果OK」、送信失敗したメールは「送信結果NG」が表示されます。
表示機器選択	低温異常メール送信履歴の表示をAE-200J 1台ごとに切り替えることができます。
履歴クリア	クリックすると消去確認のダイアログボックスが表示され、「はい」を選択すると、現在表示している低温異常メール送信履歴が消去されます。

**お知らせ**

- メール機能を利用していない、送信履歴をすべて履歴クリアしたなど、低温定期メール送信履歴が存在しない場合は以下の画面が表示されます。

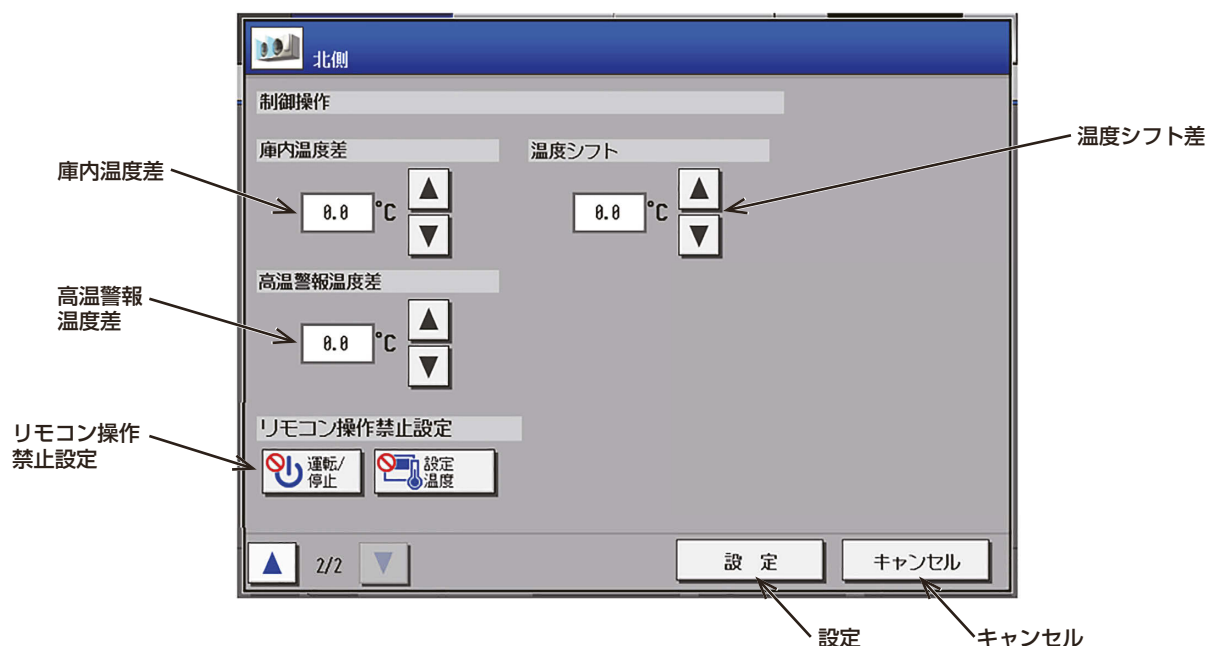






### 4-1-3. (ハイ) クオリティコントローラのグループ操作

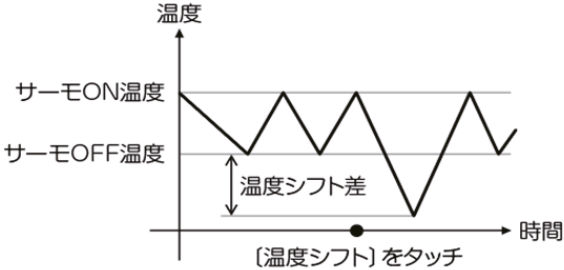
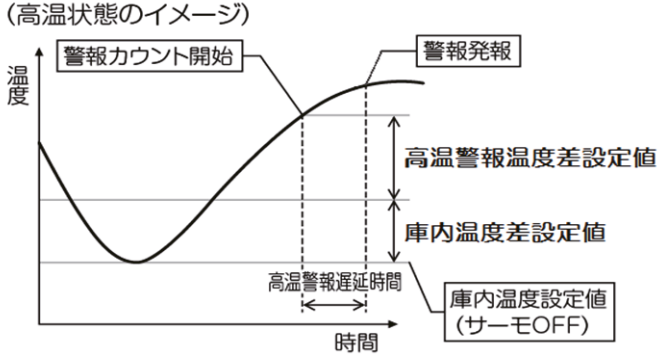
冷凍冷蔵庫の一覧画面で、操作したいグループのユニットアイコンを選択し、[グループ操作]をタッチすると、そのグループの操作設定画面が表示されます。▼をタッチし、2ページ目を表示すると、現在の設定内容が確認できます。















#### お知らせ

- ・ 制御操作を実施する場合は、ユニット情報2画面で、「制御操作」を[利用する]に設定してください。(「6-3-5. ユニット情報の設定」)
- ・ 複数グループを一度に操作することはできません。
- ・ 1ページ目を操作する場合、「3-1-6. グループ操作画面」を参照ください。
- ・ 停止制御中の(ハイ)クオリティコントローラを選択した場合、本画面の操作はできません。

項目	内容						
庫内温度差	<p>[▲▼]をタッチすることで、サーモONとサーモOFFの温度差を設定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定範囲</th> <th>温度単位</th> <th>工場出荷時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5°C～5.0°C</td> <td>0.5°C</td> <td>3.0°C</td> </tr> </tbody> </table> <p>庫内設定温度と庫内温度差の関係</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ショートサイクル防止機能のため、庫内温度差を小さくした場合でも、冷凍冷蔵庫の負荷の程度によっては、サーモON点を超える場合があります。ショートサイクル防止時間の出荷時設定は圧縮機停止より約3分間です。</li> </ul>	設定範囲	温度単位	工場出荷時	0.5°C～5.0°C	0.5°C	3.0°C
設定範囲	温度単位	工場出荷時					
0.5°C～5.0°C	0.5°C	3.0°C					

項目	内容						
<p>温度シフト差</p>	<p>[▲▼] をタッチすることで、温度シフト運転時の温度シフト差を設定します。</p> <table border="1" data-bbox="545 219 1078 282"> <thead> <tr> <th>設定範囲</th> <th>温度単位</th> <th>工場出荷時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.0℃～ 10.0℃</td> <td>0.5℃</td> <td>0.0℃</td> </tr> </tbody> </table>  <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温度シフトを実行するには、グループ操作画面の1ページ目にある「シフト操作」を実施します。(「3-1-6. グループ操作画面」)</li> <li>温度シフトは、1回に限りサーモOFFの温度を温度シフト差だけ下げます。</li> </ul>	設定範囲	温度単位	工場出荷時	0.0℃～ 10.0℃	0.5℃	0.0℃
設定範囲	温度単位	工場出荷時					
0.0℃～ 10.0℃	0.5℃	0.0℃					
<p>高温警報温度差</p>	<p>[▲▼] をタッチすることで、高温警報を行うための高温警報温度差を設定します。庫内温度が (庫内設定温度 + 庫内温度差 + 高温警報温度差) 以上を一定時間連続して経過すると、高温警報を検知します。</p> <table border="1" data-bbox="545 922 1078 985"> <thead> <tr> <th>設定範囲</th> <th>温度単位</th> <th>工場出荷時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.0℃～ 60.0℃</td> <td>0.5℃</td> <td>0.0℃</td> </tr> </tbody> </table>  <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高温警報を検知したときに、警報出力または異常出力を行うことができます。設定方法は、「6-3-5. ユニット情報の設定」および、「6-3-6. ネットワーク設定」を参照ください。</li> <li>停止時および、運転開始後3時間以内は高温警報を検知しません。</li> <li>高温警報温度差が0℃の場合は、高温警報を検知しません。</li> <li>高温警報遅延時間の設定は、(ハイ) クオリティコントローラの据付工事説明書を参照ください。</li> </ul>	設定範囲	温度単位	工場出荷時	0.0℃～ 60.0℃	0.5℃	0.0℃
設定範囲	温度単位	工場出荷時					
0.0℃～ 60.0℃	0.5℃	0.0℃					

項目	内容									
リモコン操作禁止設定	<p data-bbox="485 174 1469 241">[運転/停止] または [設定温度] を 1 回タッチするごとに、設定した項目の手元リモコン操作が許可または禁止に切り替わります。</p> <table border="1" data-bbox="485 248 1040 443"> <thead> <tr> <th data-bbox="485 248 632 286"></th> <th data-bbox="632 248 836 286">操作許可</th> <th data-bbox="836 248 1040 286">操作禁止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="485 286 632 365">運転/停止</td> <td data-bbox="632 286 836 365"> 運転/停止</td> <td data-bbox="836 286 1040 365"> 運転/停止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 365 632 443">設定温度</td> <td data-bbox="632 365 836 443"> 設定温度</td> <td data-bbox="836 365 1040 443"> 設定温度</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="485 456 608 488"><b>お知らせ</b></p> <ul data-bbox="496 501 1469 721" style="list-style-type: none"> <li>• 他の画面からこの画面を開いたときは [運転/停止][設定温度] とともに現在の禁止/許可設定が表示されます。</li> <li>• 工場出荷時の初期設定では [運転/停止][設定温度] とともに許可に設定されています。</li> <li>• 2015年9月以降発売の(ハイ)クオリティコントローラとの接続時のみ本機能を利用できます。</li> </ul>		操作許可	操作禁止	運転/停止	 運転/停止	 運転/停止	設定温度	 設定温度	 設定温度
	操作許可	操作禁止								
運転/停止	 運転/停止	 運転/停止								
設定温度	 設定温度	 設定温度								
設定	[設定] をタッチすると、設定を確定し、冷凍冷蔵庫の一覧画面に戻ります。									
キャンセル	[キャンセル] をタッチすると、設定を設定前の状態に戻し、冷凍冷蔵庫の一覧画面に戻ります。									

### 4-1-4. (ハイ) クオリティコントローラのユニット操作

(ハイ) クオリティコントローラごとに操作 (霜取バックアップ時間、予冷運転 (ファン遅延) 時間、水切り停止時間) を行います。また、学習周期霜取時間、経過時間を表示します。

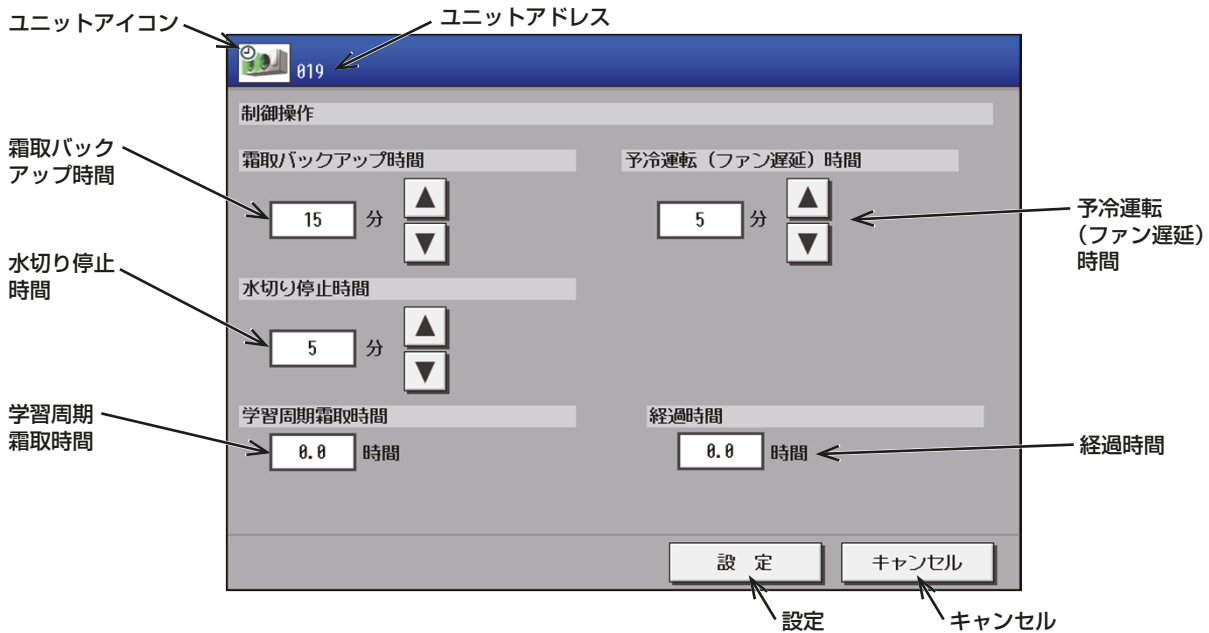
#### [1] 設定内容の確認

##### 手順

1. 冷凍冷蔵庫の一覧画面で、操作したいユニットアイコンを選択する。  
 選択されたユニットアイコンにはオレンジ色の枠が表示します。選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。
2. [ユニット操作] をタッチする。  
 (ハイ) クオリティコントローラの操作設定画面が表示され、現在の設定が確認できます。



#### [2] 操作方法



#### お知らせ

- 制御操作を実施する場合は、ユニット情報2画面で、「制御操作」を [利用する] に設定してください。(「6-3-5. ユニット情報の設定」)
- 複数グループを一度に操作することはできません。

項目	内容			
ユニットアイコン	(ハイ) クオリティコントローラの運転状態や異常状態等を表示します。			
ユニットアドレス	(ハイ) クオリティコントローラのアドレスを表示します。			
霜取バックアップ時間	[▲▼] をタッチすることで、霜取バックアップ時間を変更できます。			
		設定範囲	温度単位	工場出荷時
	AFSV	10分～120分	1分	70分
	上記以外	10分～60分	1分	30分または60分
<b>お知らせ</b>				
• 機種により設定範囲は異なります。				

項目	内容												
水切り停止時間／ 予冷運転 (ファン遅延) 時間	<p>[▲▼] をタッチすることで、霜取終了後の水切り停止時間と、水切り停止時間終了後の予冷運転 (ファン遅延) 時間を変更できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定範囲</th> <th>温度単位</th> <th>工場出荷時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水切り停止時間</td> <td>0分～30分</td> <td>1分</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>予冷運転 (ファン遅延) 時間</td> <td>2分～5分</td> <td>1分</td> <td>3分</td> </tr> </tbody> </table>		設定範囲	温度単位	工場出荷時	水切り停止時間	0分～30分	1分	3分	予冷運転 (ファン遅延) 時間	2分～5分	1分	3分
	設定範囲	温度単位	工場出荷時										
水切り停止時間	0分～30分	1分	3分										
予冷運転 (ファン遅延) 時間	2分～5分	1分	3分										
学習周期 霜取時間	<p>現在の周期霜取の学習時間を表示します。 霜取時間は、前回の霜取に要した時間をもとに、次回の霜取開始時間を自動で変更します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>前回霜取時間</th> <th>次回の霜取開始</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20分未満</td> <td>0.1時間遅らせません。</td> </tr> <tr> <td>20～50分</td> <td>開始時間は変更しません。</td> </tr> <tr> <td>50分以上</td> <td>0.1時間早くします。</td> </tr> </tbody> </table>	前回霜取時間	次回の霜取開始	20分未満	0.1時間遅らせません。	20～50分	開始時間は変更しません。	50分以上	0.1時間早くします。				
前回霜取時間	次回の霜取開始												
20分未満	0.1時間遅らせません。												
20～50分	開始時間は変更しません。												
50分以上	0.1時間早くします。												
経過時間	周期霜取の経過時間を表示します。												
設定	[設定] をタッチすると、設定を確定し、冷凍冷蔵庫の一覧画面に戻ります。												
キャンセル	[キャンセル] をタッチすると、設定を設定前の状態に戻し、冷凍冷蔵庫の一覧画面に戻ります。												

### 4-1-5. コンデンスユニットの一覧表示

[監視/操作]—[低温]—[冷凍機] をタッチすると、冷凍機の一覧画面が表示され、コンデンスユニットの運転状態をアドレスごとに確認することができます。



コンデンスユニットのアイコン

停止	異常 ※1	運転	低圧OFF	省エネ制御中 ※2	プレアラーム ※3
(灰色)		(水色)	(緑色)		

※1 異常発生中は「省エネ制御中」のアイコンは表示されません。

※2 コンデンスユニットに対して、ピークカット制御を実施している場合に表示されます。

※3 冷媒不足検知などのプレアラームを検知した際に表示されます。






また、プレアラーム対応のコンデンスユニットのみ表示されます。

詳細は、コンデンスユニットの据付工事説明書を確認してください。

#### お知らせ

- ・ R404Aのコンデンスユニットは表示されません。

項目	内容
ユニットアイコン	コンデンスユニットの運転状態や異常状態等を表示します。
ユニットアドレス	コンデンスユニットのアドレスを表示します。
ユニット名称	<p>コンデンスユニットアイコンの下にコンデンスユニット名称を表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンデンスユニット名称は初期設定で20文字まで登録できますが、冷凍機の一覧画面で表示される名称は、最初の8文字までになります。</li> <li>・ コンデンスユニット名称の設定は、[初期設定]—[冷凍機設定]で行います。</li> <li>・ コンデンスユニット名称が設定されていない場合、[冷凍機]+アドレス番号で表示されます。 例：冷凍機 151、冷凍機 170</li> </ul>

項目	内容
低圧圧力	<p>低圧圧力を表示します。(0.001MPa単位)</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圧力センサの異常や通信異常の場合は、「--」で表示されます。</li> </ul>
外気温度	<p>外気温度を表示します。(0.1℃単位)</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温度センサの異常や通信異常の場合は、「--」で表示されます。</li> <li>コンデンシングユニットの運転状態により実際の外気温度と異なる場合があります。</li> </ul>
異常発生中 ユニットの台数	<p>AE-200J/AE-50J/EW-50Jの管理下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。</p> <p>「」をタッチすると、異常発生画面が表示されます。</p> <p>異常の発生が低温機器のみの場合は低温機器の異常発生画面、空調機のみの場合は空調機の異常発生中画面、両方発生している場合は低温機器の異常発生画面が表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異常が発生していない場合は表示されません。</li> <li>AE-200Jの異常発生数は、AE-50J/EW-50J系統の異常発生数も含みます。</li> </ul>
アイコン凡例	<p>アイコンの凡例を表示します。</p> <p> 停止  異常  運転  低圧OFF</p> <p>停止：灰色、異常：橙色、運転：水色、低圧OFF：緑色で表示されます。</p>
圧力単位	<p>低圧圧力の単位を表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圧力単位は、[初期設定]—[ユニット情報]で設定された形式で表示されます。</li> </ul>
状態表示	<p>コンデンシングユニットを選択した状態でタッチすると、冷凍機の状態表示画面が表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンデンシングユニットを選択していない場合はタッチできません。</li> </ul>
操作	<p>コンデンシングユニットを選択した状態でタッチすると、冷凍機の操作画面が表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンデンシングユニットを選択していない場合はタッチできません。</li> </ul>

### 4-1-6. コンデンスユニットの状態表示

冷凍機の一覧画面で、対象のコンデンスユニットアイコンを選択し、[状態表示] をタッチすると、そのコンデンスユニットの状態表示画面が表示され、運転状態の詳細を確認することができます。

1 ページ目

Unit Name: 冷凍機(南) 153

運転状態	デマンド	異常
運転	1段警報	異常なし

	No. 1	No. 2	No. 3
個別運転状態	運転	容量制御停止	--

	全体	No. 1	No. 2	No. 3
運転状態詳細	低圧圧力	0.564MPa	0.564MPa	0.572MPa
	高圧圧力	3.144MPa	1.150MPa	3.144MPa
	高圧飽和温度換算値	52.5°C	14.9°C	52.5°C
	液管温度	29.6°C	29.6°C	9.4°C
	吐出温度	84.1°C	84.1°C	101.1°C
	吸入温度	-0.6°C	-0.6°C	18.9°C
	外気温度	11.9°C	11.9°C	11.0°C

Buttons: 更新, OK

2 ページ目

	全体	No. 1	No. 2	No. 3
運転状態詳細	低圧飽和温度換算値	-5.5°C	-5.2°C	--
	目標蒸発温度	10.0°C	10.0°C	10.0°C
	目標凝縮温度	--	--	--
	FAN出力	47%	0%	--

Buttons: 更新, OK



## 3 ページ目

The screenshot shows a control panel for a refrigeration unit (冷凍機) with the following data:

項目	全体	No. 1	No. 2	No. 3
シェル温度		34.6°C	59.6°C	--
INV直流電流		0.0A	0.0A	--
INV直流電圧		289.0V	0.0V	--
圧縮機運転周波数 (仮)		40Hz	0Hz	--
圧縮機運転周波数 (実)	20Hz	20Hz	0Hz	--
INJ LEV開度		58	53	--
アキュームレベル		1	0	--

Buttons: 更新 (Update), OK

Labels: 運転状態 (Operational Status), デマンド (Demand), 異常 (Abnormality), No. 1, No. 2, No. 3, シェル温度 (Shell Temperature), INV直流電流 (INV DC Current), INV直流電圧 (INV DC Voltage), 圧縮機運転周波数 (仮) (Compressor Operating Frequency (Assumed)), 圧縮機運転周波数 (実) (Compressor Operating Frequency (Actual)), INJ LEV開度 (INJ LEV Opening), アキュームレベル (Accumulator Level).

運転状態詳細

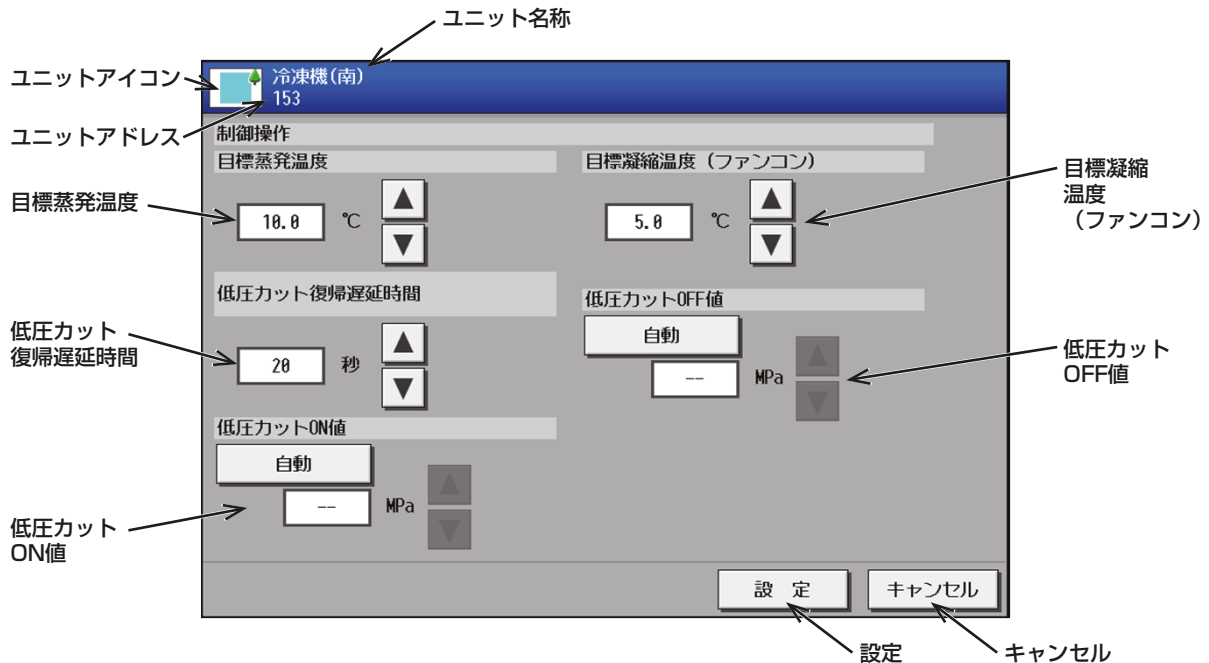
項目	内容
ユニットアイコン	コンデンシングユニットの運転状態や異常状態等を表示します。
ユニットアドレス	コンデンシングユニットのアドレスを表示します。
ユニット名称	<p>コンデンシングユニットアイコンの下にコンデンシングユニット名称を表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンデンシングユニット名称は初期設定で20文字まで登録できますが、冷凍機の一覧画面で表示される名称は、最初の8文字までになります。</li> <li>コンデンシングユニット名称の設定は、[初期設定] - [冷凍機設定]で行います。</li> <li>コンデンシングユニット名称が設定されていない場合、[冷凍機] + アドレス番号で表示されます。 例：冷凍機 151、冷凍機 170</li> </ul>
運転状態	コンデンシングユニットの運転状態 (運転、低圧カット停止、停止、異常) を表示できます。
デマンドレベル (制御レベル)	ピークカットの制御レベル (OFF、1 段警報、2 段警報、3 段警報、4 段警報) を表示します。
異常状態	異常が発生しているとき、異常レベル 1～4 または異常あり (通信異常など) が表示されます。異常が発生していない場合は、異常なしと表示されます。
個別運転状態	コンデンシングユニットごとに、運転状態 (運転 (圧縮機運転、低圧カット停止、容量制御停止)、停止、異常) を表示します。

4. 使用方法 (応用)

項目	内容																																																																												
<p>運転状態詳細</p>	<p>冷凍機の運転状態の詳細を表示します。それぞれのデータ項目に対して、「全体」「No.1」「No.2」「No.3」を表示します。</p> <p>「全体」：コンデンシングユニットを制御するための代表値  「No.1」：コンデンシングユニットのNo1ユニットの運転状態詳細  「No.2」：コンデンシングユニットのNo2ユニットの運転状態詳細  「No.3」：コンデンシングユニットのNo3ユニットの運転状態詳細  各項目の表示内容を以下に示します。</p> <p>※ 異常や通信異常等でモニタできない場合は「-」で表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="507 474 1449 1108"> <thead> <tr> <th>データ項目</th> <th>全体</th> <th>個別</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低圧圧力</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>MPa、PSI、kgf/cm<sup>2</sup> のいずれか ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>高圧圧力</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>MPa、PSI、kgf/cm<sup>2</sup> のいずれか ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>高圧飽和温度換算値</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>℃ / °F ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>液管温度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>℃ / °F ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>吐出温度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>℃ / °F ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>吸入温度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>℃ / °F ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>外気温度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>℃ / °F ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>低圧飽和温度換算値</td> <td></td> <td>○</td> <td>℃ / °F ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>目標蒸発温度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>℃ / °F ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>目標凝縮温度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>℃ / °F ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>FAN 出力</td> <td></td> <td>○</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シェル温度※<sup>2</sup></td> <td></td> <td>○</td> <td>℃ / °F ※<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>INV 直流電流※<sup>2</sup></td> <td></td> <td>○</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>INV 直流電圧</td> <td></td> <td>○</td> <td>V</td> </tr> <tr> <td>圧縮機運転周波数 (仮)</td> <td></td> <td>○</td> <td>Hz</td> </tr> <tr> <td>圧縮機運転周波数 (実)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>Hz</td> </tr> <tr> <td>INJ LEV (インジェクション電子膨張弁) 開度※<sup>2</sup></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アキュームレベル※<sup>2</sup></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※<sup>1</sup> 圧力、温度の単位は【初期設定】－【ユニット情報】で設定できます。  (「6-3-5. ユニット情報の設定」)</p> <p>※<sup>2</sup> インバータ二段スクリー圧縮機搭載クーリングユニット(AFSV)は、本機能に対応していません。</p>	データ項目	全体	個別	単位	低圧圧力	○	○	MPa、PSI、kgf/cm <sup>2</sup> のいずれか ※ <sup>1</sup>	高圧圧力	○	○	MPa、PSI、kgf/cm <sup>2</sup> のいずれか ※ <sup>1</sup>	高圧飽和温度換算値	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>	液管温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>	吐出温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>	吸入温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>	外気温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>	低圧飽和温度換算値		○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>	目標蒸発温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>	目標凝縮温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>	FAN 出力		○	%	シェル温度※ <sup>2</sup>		○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>	INV 直流電流※ <sup>2</sup>		○	A	INV 直流電圧		○	V	圧縮機運転周波数 (仮)		○	Hz	圧縮機運転周波数 (実)	○	○	Hz	INJ LEV (インジェクション電子膨張弁) 開度※ <sup>2</sup>		○		アキュームレベル※ <sup>2</sup>		○	
	データ項目	全体	個別	単位																																																																									
	低圧圧力	○	○	MPa、PSI、kgf/cm <sup>2</sup> のいずれか ※ <sup>1</sup>																																																																									
	高圧圧力	○	○	MPa、PSI、kgf/cm <sup>2</sup> のいずれか ※ <sup>1</sup>																																																																									
	高圧飽和温度換算値	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>																																																																									
	液管温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>																																																																									
	吐出温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>																																																																									
	吸入温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>																																																																									
	外気温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>																																																																									
	低圧飽和温度換算値		○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>																																																																									
	目標蒸発温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>																																																																									
	目標凝縮温度	○	○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>																																																																									
	FAN 出力		○	%																																																																									
	シェル温度※ <sup>2</sup>		○	℃ / °F ※ <sup>1</sup>																																																																									
	INV 直流電流※ <sup>2</sup>		○	A																																																																									
	INV 直流電圧		○	V																																																																									
	圧縮機運転周波数 (仮)		○	Hz																																																																									
	圧縮機運転周波数 (実)	○	○	Hz																																																																									
	INJ LEV (インジェクション電子膨張弁) 開度※ <sup>2</sup>		○																																																																										
	アキュームレベル※ <sup>2</sup>		○																																																																										
更新	【更新】をタッチすると、最新の計測値に更新されます。																																																																												
OK	【OK】をタッチすると、冷凍機の一覧画面に戻ります。																																																																												

### 4-1-7. コンデンスユニットの操作

冷凍機の一覧画面で、対象のコンデンスユニットアイコンを選択し、[操作]をタッチすると、そのコンデンスユニットの操作画面が表示され、現在の設定内容が確認できます。



#### お知らせ

- ・ 制御操作を実施する場合は、ユニット情報2画面で、「制御操作」を[利用する]に設定してください。(「6-3-5. ユニット情報の設定」)
- ・ 複数のコンデンスユニットを一度に操作することはできません。

項目	内容
ユニットアイコン	コンデンスユニットの運転状態や異常状態等を表示します。
ユニットアドレス	コンデンスユニットのアドレスを表示します。
ユニット名称	<p>コンデンスユニットアイコンの下にコンデンスユニット名称を表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンデンスユニット名称は初期設定で20文字まで登録できますが、冷凍機の一覧画面で表示される名称は、最初の8文字までになります。</li> <li>・ コンデンスユニット名称の設定は、[初期設定] - [冷凍機設定]で行います。</li> <li>・ コンデンスユニット名称が設定されていない場合、[冷凍機] + アドレス番号で表示されます。 例：冷凍機 151、冷凍機 170</li> </ul>
目標蒸発温度	[▲▼]をタッチすることで、目標蒸発温度を設定します。
目標凝縮温度 (ファンコン) ※1	[▲▼]をタッチすることで、目標凝縮温度 (ファンコン) を設定します。
低圧カット 復帰遅延時間※1	[▲▼]をタッチすることで、低圧カット復帰遅延時間を設定します。

#### 4. 使用方法 (応用)

項目	内容
低圧カットOFF値 /低圧カットON値※1	<p>[<b>自動/手動</b>]をタッチすることで、「自動」または「手動」を設定します。目標蒸発温度で制御させる場合は、「自動」に設定してください。</p> <p>「手動」に設定した場合、[<b>▲▼</b>]をタッチすることで、低圧カットOFF値と低圧カットON値を設定します。</p> <p><b>お願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低圧カットON値と低圧カットOFF値の最小差がコンデンシングユニットには設けられています。最小差以下の設定をされた場合には低圧カットON値が優先されますので、設定後に再確認をしてください。</li> </ul>
設定	<p>[<b>設定</b>]をタッチすると、設定を確定し、冷凍機の一覧画面に戻ります。</p>
キャンセル	<p>[<b>キャンセル</b>]をタッチすると、設定を設定前の状態に戻し、冷凍機の一覧画面に戻ります。</p>

※1 インバータ二段スクリュー圧縮機搭載クーリングユニット (AFSV) は、本機能に対応していません。

## 4-2. スケジュール (低温機器)

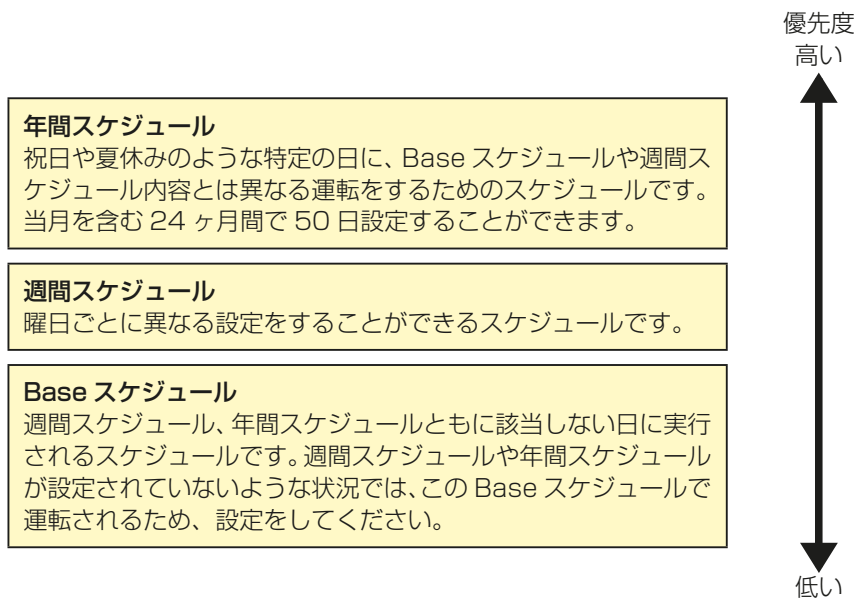
### 4-2-1. 概要

(ハイ) クオリティコントローラのグループごとにBaseスケジュール、週間スケジュール、年間スケジュールの設定ができます。

スケジュール運転により、通常運転開始、セットバック運転開始、霜取運転開始ができます。

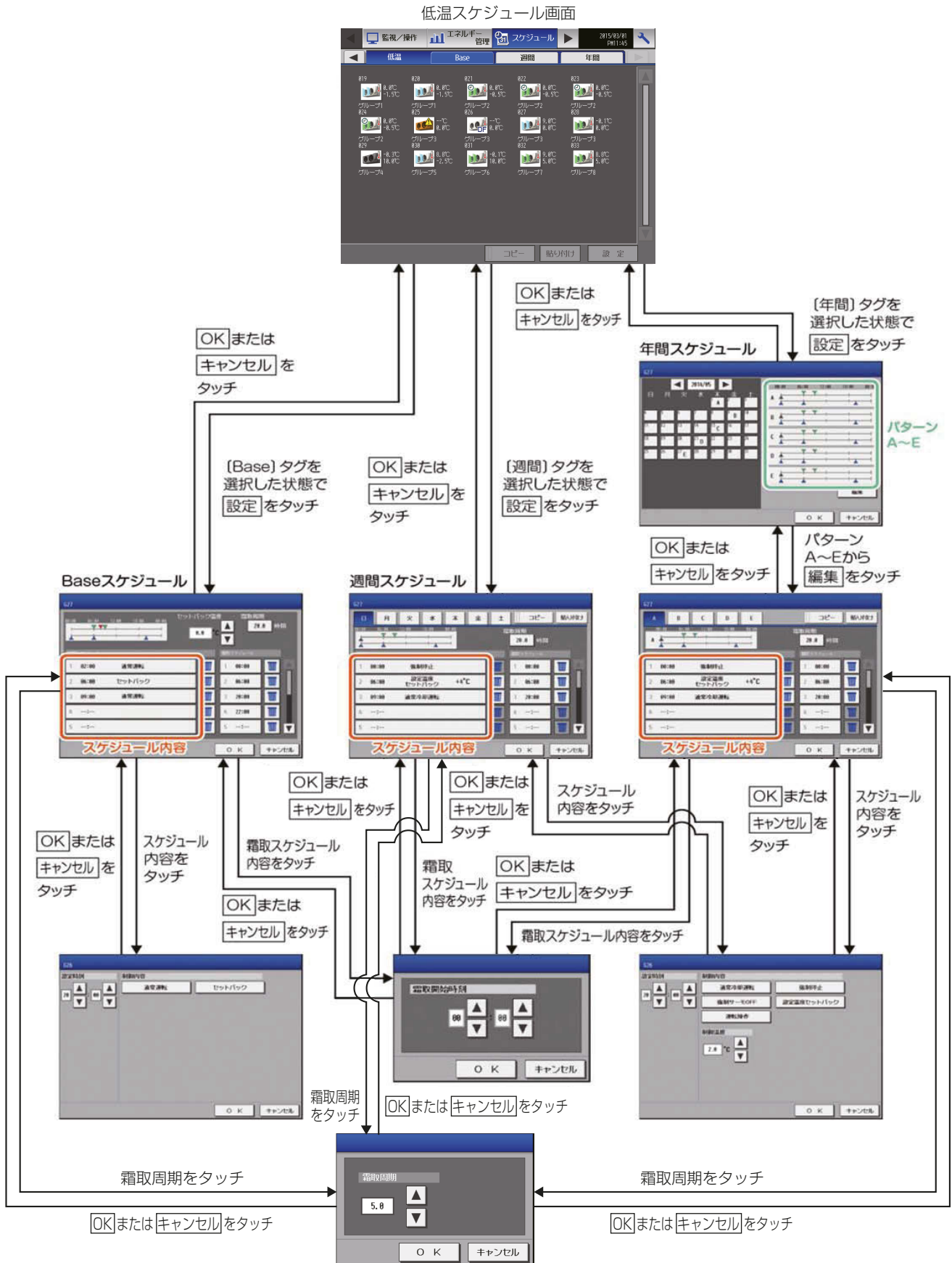
#### お知らせ

- スケジュールの期間が重なる場合は、下図のとおり、優先度が最も高いスケジュールが実行されます。



- スケジュールの期間は、空調機 / 低温機器 / 除湿機それぞれに設定する必要があります。
- 週間スケジュール・年間スケジュールは前日23:55までに設定を行ってください。
- 当日のスケジュールを変更したい場合は、Baseスケジュールを変更した後、強制Baseスケジュール操作を行ってください。  
変更したBaseスケジュールは翌日以降もそのままとなるため、翌日にBaseスケジュールの設定を元に戻してください。

### 4-2-2. 画面の遷移





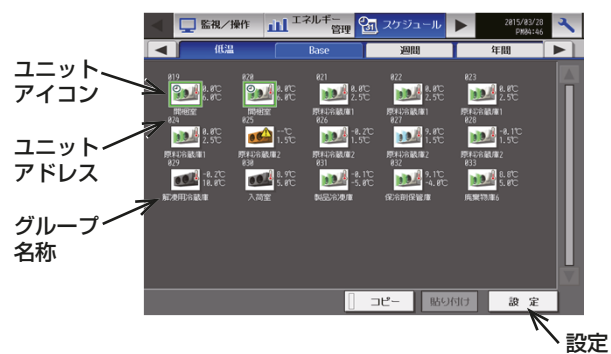
## [1] 設定内容の確認

## 手順

1. メニューの[スケジュール]—[Base]をタッチする。  
「Baseスケジュール」画面が表示します。
2. Baseスケジュール画面で、設定したいグループのユニットアイコンを選択する。  
選択されたグループのユニットアイコンには黄緑色の枠が表示します。選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。
3. [設定]をタッチする。  
Baseスケジュール設定画面が表示し、現在の設定が確認できます。

スケジュール簡易表示部のアイコン

- ▼ (青色)：通常運転
- ▼ (橙色)：セットバック
- ▲ (青色)：霜取運転

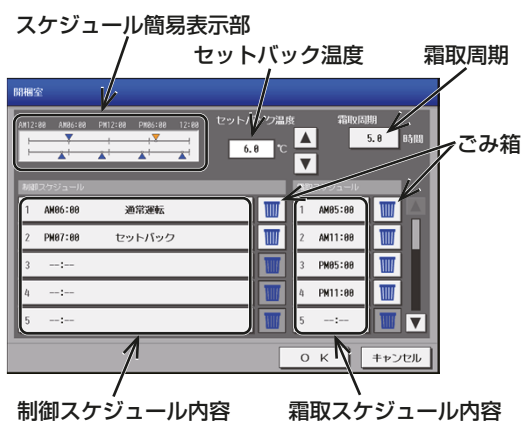




## [2] 制御スケジュールの設定

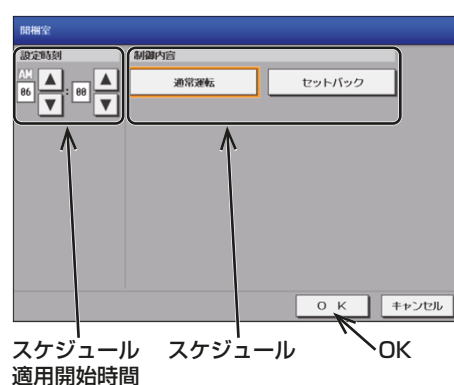
## 手順

1. 制御スケジュール内容の中で、設定するスケジュールの行をタッチする。  
制御スケジュール内容設定画面が表示します。



2. スケジュール適用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、[OK] をタッチする。

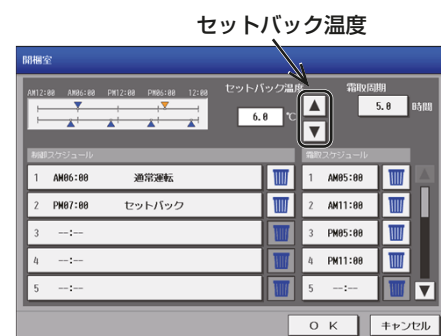
設定項目	制御内容
通常運転	セットバック中のユニットの運転モードを通常運転に変更します。
セットバック	運転中のユニットに対し、セットバック温度で設定した値だけユニットの設定温度を上げます。



3. Baseスケジュール設定画面で、セットバック温度の[▲▼]をタッチし、セットバック温度を設定する。

## お知らせ

- BaseスケジュールでサーモOFF運転を継続したい場合は、セットバック温度を0°Cにすることで、セットバック期間中の運転を、サーモOFFとすることができます。ただし、庫内温度が上がっても冷却運転を開始しません。



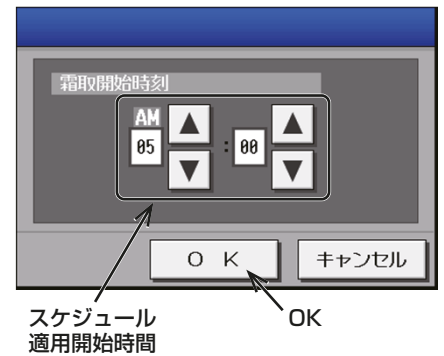
### [3] 霜取スケジュールの設定

#### 手順

1. 霜取スケジュール内容の中で、設定するスケジュールの行をタッチする。  
霜取スケジュール時刻設定画面が表示します。
2. スケジュール適用開始時刻を設定し、[OK] をタッチする。

#### お知らせ

- (ハイ) クオリティコントローラの霜取開始方式が「時刻霜取」の場合に有効となります。
- インバータ二段スクリーウ圧縮機搭載クーリングユニット (AFSV) 用ハイクオリティコントローラで「温度差」もしくは「周期&温度差」いずれかの霜取方式を設定している場合は、霜取スケジュールを操作できますが、設定は反映されません。



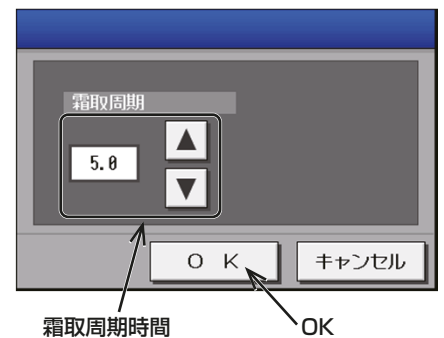
### [4] 霜取周期の設定

#### 手順

1. Baseスケジュール設定画面で、[霜取周期] をタッチする。  
霜取周期設定画面が表示します。
2. 霜取周期を設定し、[OK] をタッチする。

#### お知らせ

- (ハイ) クオリティコントローラの霜取開始方式が「周期霜取」の場合に有効となります。
- 霜取開始方式の設定方法は、(ハイ) クオリティコントローラの据付工事説明書を参照ください。



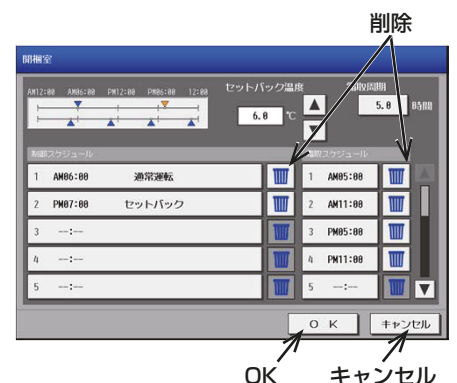
### [5] スケジュールの保存

#### 手順

1. スケジュール内容を全て設定した後、[OK] をタッチする。  
スケジュール設定が保存します。  
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル] をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

#### お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [ ] をタッチしてください。



## [6] スケジュールを別のグループにコピーする

### 手順

1. Baseスケジュール画面でコピーしたいグループのユニットアイコンを選択し、[コピー]をタッチする。
2. 他のグループのユニットアイコンを選択し、[貼り付け]をタッチする。



### 4-2-4. 週間スケジュール(低温機器)

週間スケジュールを使用することで、曜日ごとに異なるスケジュール設定を行うことができます。

通常冷却運転開始時刻	通常の冷却運転を開始する時刻です。
強制停止開始時刻	運転を強制的に停止させる時刻です。
強制サーモ OFF 開始時刻	運転を強制的にサーモ OFF させる時刻です。
設定温度セットバック開始時刻	設定温度を設定した値だけ増加させる、セットバックを開始する時刻です。
運転操作時刻	運転停止中の(ハイ)クオリティコントローラの運転を開始します。
霜取開始時刻	霜取運転を開始する時刻です。 (ハイ)クオリティコントローラの霜取開始方式が「時刻霜取」の場合に有効となります。
霜取周期	霜取運転を開始する周期(次回霜取までの液電磁弁積算 ON 時間)です。 (ハイ)クオリティコントローラの霜取開始方式が「周期霜取」の場合に有効となります。

1日の中で最大12個の時刻を設定できます

- インバータ二段スクリー圧縮機搭載クーリングユニット(AFSV)用ハイクオリティコントローラで「温度差」もしくは「周期&温度差」いずれかの霜取方式を設定している場合は、霜取スケジュールを操作できますが、設定は反映されません。
- 週間スケジュール、年間スケジュールの設定がない場合は、Baseスケジュールが動作します。
- 霜取運転開始方式を「時刻」に設定しても、霜取開始時刻を設定していない場合には霜取運転を行いません。
- 制御スケジュールの設定を行う場合、1行目のスケジュールは0:00固定となります。必ず0:00のスケジュール設定を行ってください。また、0:00のスケジュールを削除する場合は、0:00以外のスケジュールを全て削除してから、削除操作を行ってください。
- 週間/年間スケジュールは、各グループごとに曜日、カレンダーごとのスケジュールを保持しています。

### お知らせ

- 霜取開始方式の設定方法は、(ハイ)クオリティコントローラの据付工事説明書を参照ください。

## [1] 設定内容の確認

## 手順

1. メニューの[スケジュール]—[週間]をタッチする。  
「週間スケジュール」画面が表示します。
2. 週間スケジュール画面で、設定したいグループのアイコンを選択する。  
選択されたユニットのアイコンには黄緑色の枠が表示します。選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。
3. [設定]をタッチする。  
週間スケジュール設定画面が表示します。  
確認したい曜日をタッチすると、現在の設定が確認できます。



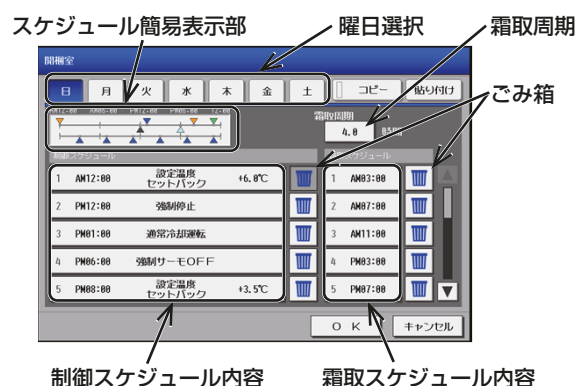
スケジュール簡易表示部のアイコン

- ▼ (青色)：通常冷却運転
- ▲ (黒色)：強制停止
- ▲ (水色)：強制サーモ OFF
- ▼ (オレンジ色)：設定温度セットバック
- ▼ (緑色)：運転操作
- ▲ (青色)：霜取運転

## [2] 制御スケジュールの設定

### 手順

1. 制御スケジュール内容の中で、設定するスケジュールの行をタッチする。  
制御スケジュール内容設定画面が表示します。



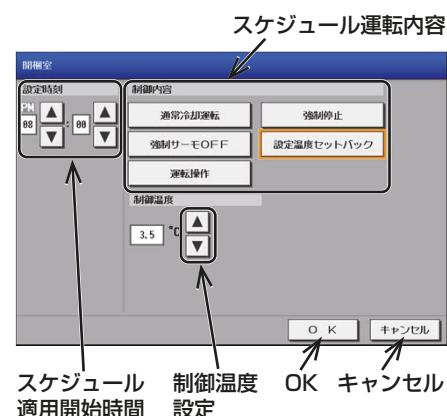
2. スケジュール適用開始時刻、スケジュール運転内容、制御温度設定を設定し、[OK] をタッチする。

設定項目	制御内容
通常冷却運転	強制停止 / 強制サーモ OFF / 設定温度セットバック中のユニットの運転モードを通常冷却運転に変更します。
強制停止※1	運転中のユニットに対し、強制停止を実施します。
強制サーモ OFF※2	運転中のユニットに対し、サーモ OFF 運転を実施します。
設定温度セットバック	運転中のユニットに対し、制御温度で設定した値だけユニットの設定温度を上げます。
運転操作※3	手元操作で停止させたユニットを運転させます。

※1 手元リモコン運転スイッチのON/OFFは不可です。

※2 手元リモコン運転スイッチのON/OFFは可能です。

※3 強制停止中のユニットに対し、運転操作を実施しても運転状態にはなりません。通常冷却運転を実施することで、運転状態になります。



### お知らせ

- 00:00の開始時刻は固定しています。また、運転操作は選択することができません。
- 1日の中で、最大12時刻(00:00の固定時刻含む)まで設定することができます。
- 制御スケジュールが何も設定されていないときはBaseスケジュールで運転します。

### [3] 霜取スケジュールの設定

#### 手順

1. 霜取スケジュール内容の中で、設定するスケジュールの行をタッチする。  
霜取スケジュール時刻設定画面が表示します。
2. スケジュール適用開始時刻を設定し、[OK] をタッチする。

#### お知らせ

- (ハイ) クオリティコントローラの霜取開始方式が「時刻霜取」の場合に有効となります。
- 霜取スケジュールが何も設定されていないときはBaseスケジュールで運転します。
- インバータ二段スクリーン圧縮機搭載クーリングユニット (AFSV) 用ハイクオリティコントローラで、「温度差」もしくは「周期&温度差」の霜取方式を設定している場合は、霜取スケジュールを操作できますが、設定は反映されません。



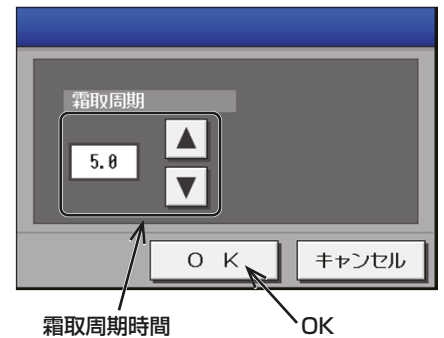
### [4] 霜取周期の設定

#### 手順

1. 週間スケジュール設定画面で、[霜取周期] をタッチする。  
霜取周期設定画面が表示します。
2. 霜取周期を設定し、[OK] をタッチする。

#### お知らせ

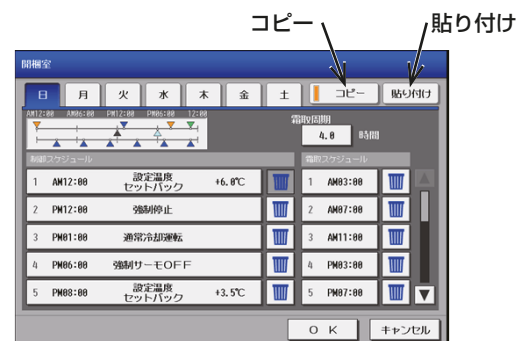
- (ハイ) クオリティコントローラの霜取開始方式が「周期霜取」の場合に有効となります。



### [5] スケジュールを別の曜日にコピーする

#### 手順

1. 週間スケジュール画面でコピーしたい曜日を選択し、[コピー] をタッチする。
2. 他の曜日を選択し、[貼り付け] をタッチする。



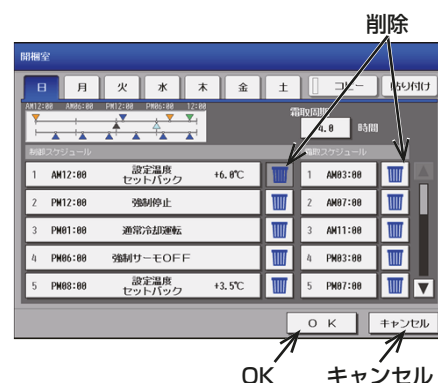
## [6] スケジュールの保存

### 手順

1. スケジュール内容を全て設定した後、[OK] をタッチする。  
スケジュール設定が保存します。  
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合は、[キャンセル] をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

### お願い

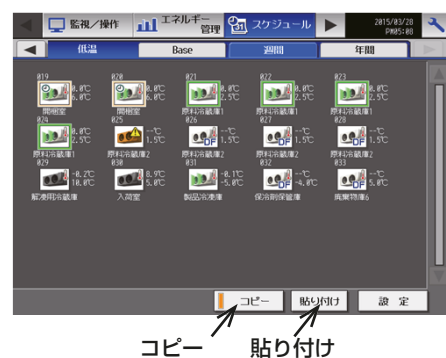
- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑️] をタッチしてください。



## [7] スケジュールを別のグループにコピーする

### 手順

1. 週間スケジュール画面でコピーしたいグループのユニットアイコンを選択し、[コピー] をタッチする。
2. 他のグループのユニットアイコンを選択し、[貼り付け] をタッチする。



## 4-2-5. 年間スケジュール(低温機器)

創立記念日や夏季休暇のような特定の日に、Baseスケジュールや週間スケジュール内容とは異なる運転をするためのスケジュールです。

### お知らせ

- 当月を含む24ヶ月間で50日設定することができます。

## [1] 設定内容の確認

### 手順

1. メニューの[スケジュール]—[年間]をタッチする。  
「年間スケジュール」画面が表示します。
2. 年間スケジュール画面で、設定したいグループのアイコンを選択する。  
選択されたユニットのアイコンには黄緑色の枠が表示します。選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。





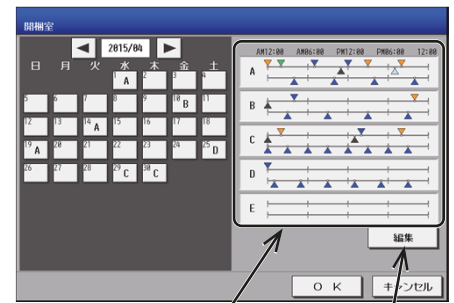
3. [設定] をタッチする。

年間スケジュール設定画面が表示し、各日付に設定されているパターン (A~E) が確認できます。

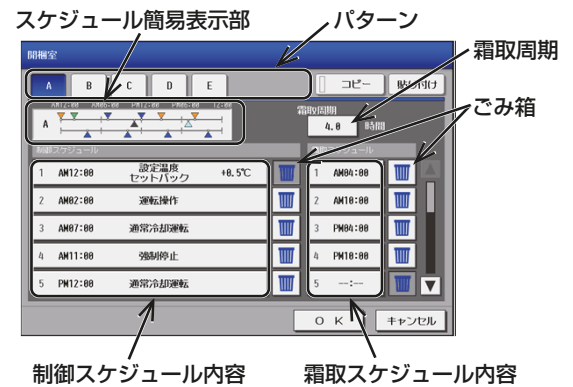
スケジュール簡易表示部のアイコン

- ▼ (青色) : 通常冷却運転
- ▲ (黒色) : 強制停止
- ▲ (水色) : 強制サーモ OFF
- ▼ (橙色) : 設定温度セットバック
- ▼ (緑色) : 運転操作
- ▲ (青色) : 霜取運転

4. 年間スケジュール設定画面で、パターン (A~E) をタッチするか、[編集] をタッチする。パターン設定画面が表示します。確認したいパターンをタッチすると、現在の設定が確認できます。



パターン (A~E) 編集



制御スケジュール内容 霜取スケジュール内容

[2] 制御スケジュールの設定

制御スケジュールの設定方法は、週間スケジュールと同様のため、「4-2-4. 週間スケジュール (低温機器)」を参照ください。

[3] 霜取スケジュールの設定

霜取スケジュールの設定方法は、週間スケジュールと同様のため、「4-2-4. 週間スケジュール (低温機器)」を参照ください。

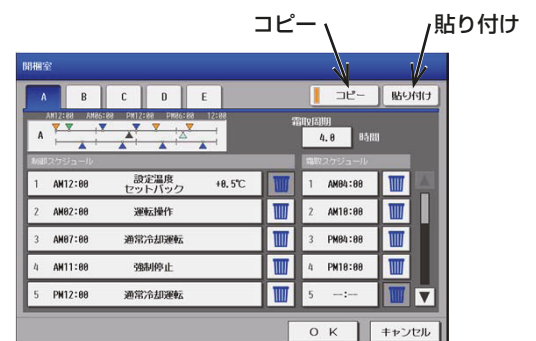
[4] 霜取周期の設定

霜取周期の設定方法は、週間スケジュールと同様のため、「4-2-4. 週間スケジュール (低温機器)」を参照ください。

[5] スケジュールを別のパターンにコピーする

**手順**

1. 年間スケジュール画面でコピーしたいパターンを選択し、[コピー] をタッチする。
2. 他のパターンを選択し、[貼り付け] をタッチする。





## [6] スケジュールの保存

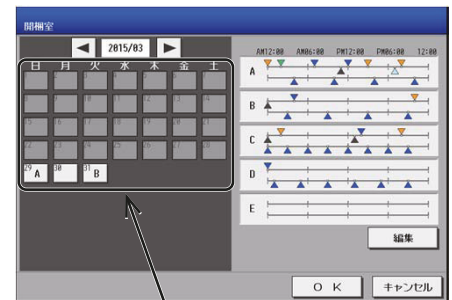
スケジュールの保存方法は、週間スケジュールと同様のため、「4-2-4. 週間スケジュール (低温機器)」を参照ください。

## [7] パターン割り当て日の設定

設定したスケジュールパターンを、祝日や夏季休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

### 手順

1. カレンダーの [日付] を割り当てたいパターンが表示されるまでタッチする。  
(パターンの表示は、A → B → C → D → E → 空白 → A → … の順です) 解除したい場合は、空白を選択します。



日付

## [8] スケジュールを別のグループにコピーする

スケジュールを別のグループにコピーする方法は、週間スケジュールと同様のため、「4-2-4. 週間スケジュール (低温機器)」を参照ください。

### 4-2-6. 週間スケジュール・年間スケジュール強制解除 (強制 Base スケジュール)

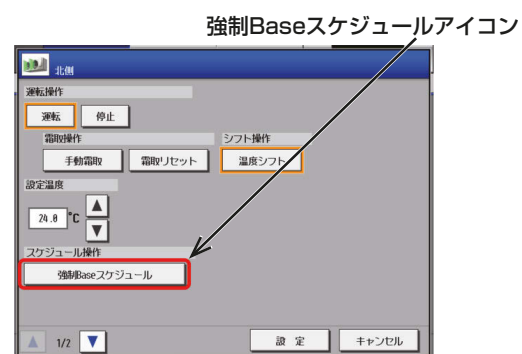
週間スケジュールまたは年間スケジュールで運転している場合、本日のスケジュールをグループ単位で Base スケジュールに切り替えることができます。

**手順**

1. 冷凍冷蔵庫一覧で、操作したいグループのユニットアイコンを選択し、グループ操作をタッチします。



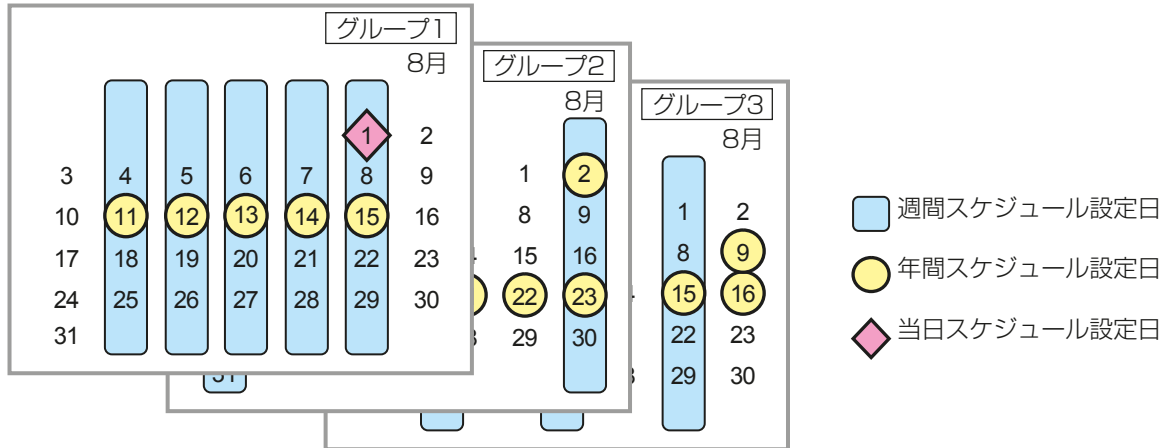
2. 強制 Base スケジュールアイコンをタッチします。



## 4-3. スケジュール (除湿機)

### 4-3-1. 概要

除湿機のグループごとに週間スケジュール(5パターン)、年間スケジュール(5パターン、50日分)、当日スケジュール(当日のみ有効)の設定ができます。また、1日に24回の運転スケジュールを設定できます。スケジュール運転により、運転/停止、運転モード、設定温度、設定湿度の変更ができます。



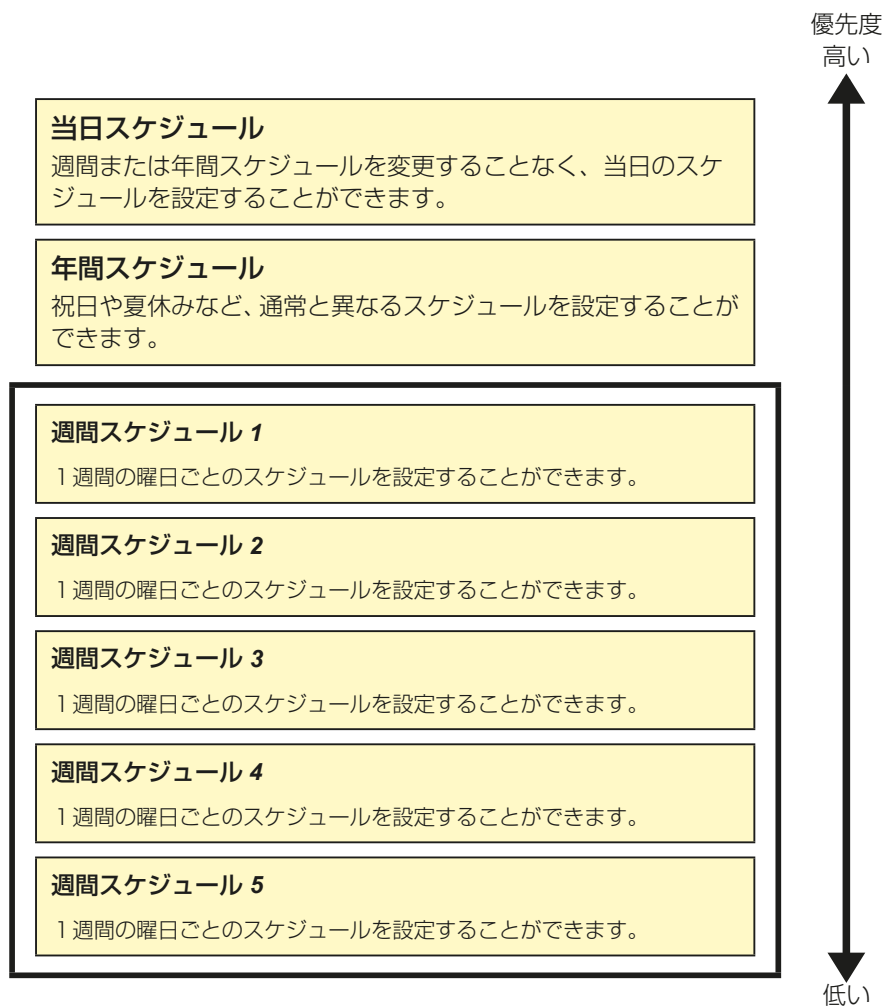
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
							週間スケジュール1 (特別)				
						週間スケジュール2 (夏期)					週間スケジュール4 (冬期)
			週間スケジュール5 (春期)								
								週間スケジュール3 (秋期)			

#### お知らせ

- 上記の図は、各週間スケジュール設定の期間が以下の日付に設定されている場合の例を示したものです。
  - 週間スケジュール1: 8月1日～8月20日
  - 週間スケジュール2: 6月16日～9月15日
  - 週間スケジュール3: 9月16日～11月15日
  - 週間スケジュール4: 11月16日～3月15日
  - 週間スケジュール5: 3月16日～6月15日
- 週間スケジュール1～5のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されません。たとえば、週間スケジュール1と週間スケジュール2が重なる場合は、週間スケジュール1が優先されます。

## 4. 使用方法 (応用)

- スケジュールの期間が重なる場合は、下図のとおり、優先度の最も高いスケジュールが実行されます。



- スケジュールの期間は、空調機 / 低温機器 / 除湿機用それぞれに設定する必要があります。



### 4-3-3. 当日スケジュール(除湿機)

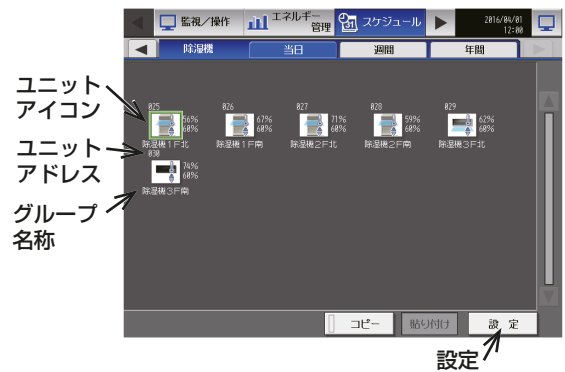
当日スケジュールを使用することで、当日だけ動作するスケジュールを設定することができます。1日の中で最大24時刻設定できます。

運転停止	[ <b>運転</b> ][ <b>停止</b> ]から一つを選択します。						
運転モード	[ <b>除湿</b> ][ <b>送風</b> ][ <b>冷却</b> ][ <b>自動</b> ]から一つを選択します。 <b>お知らせ</b> ・機種により設定可能な運転モードは異なります。						
設定温度	[ <b>▲▼</b> ]をタッチすることで、設定温度を変更できます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定範囲</th> <th>温度単位</th> <th>工場出荷時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.0℃～40.0℃</td> <td>0.5℃</td> <td>25.0℃</td> </tr> </tbody> </table> <b>お知らせ</b> ・冷却機能ありの機種のみ設定可能です。 ・運転モードが[ <b>冷却</b> ][ <b>自動</b> ]の場合に設定可能です。	設定範囲	温度単位	工場出荷時	0.0℃～40.0℃	0.5℃	25.0℃
設定範囲	温度単位	工場出荷時					
0.0℃～40.0℃	0.5℃	25.0℃					
設定湿度	[ <b>▲▼</b> ]をタッチすることで、設定湿度を変更できます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定範囲</th> <th>湿度単位</th> <th>工場出荷時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29%～85%</td> <td>1%</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table> <b>お知らせ</b> ・運転モードが[ <b>除湿</b> ][ <b>自動</b> ]の場合に設定可能です。	設定範囲	湿度単位	工場出荷時	29%～85%	1%	40%
設定範囲	湿度単位	工場出荷時					
29%～85%	1%	40%					

#### [1] 設定内容の確認

##### 手順

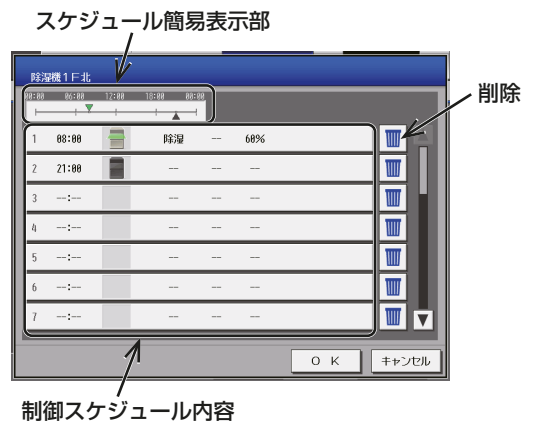
1. メニューの[スケジュール]—[当日]をタッチする。  
「当日スケジュール」画面が表示します。
2. 当日スケジュール画面で、設定したいグループのユニットアイコンを選択する。  
選択されたグループのユニットアイコンには黄緑色の枠が表示します。選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。



3. [**設定**]をタッチする。  
当日スケジュール設定画面が表示し、現在の設定が確認できます。

スケジュール簡易表示部のアイコン

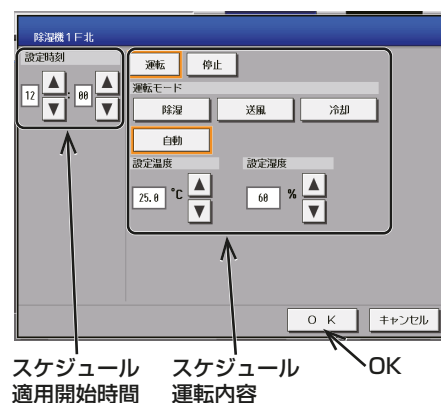
- ▼ (緑色)：運転
- ▲ (黒色)：停止
- ：その他イベント



## [2] 制御スケジュールの設定

### 手順

1. 制御スケジュール内容の中で、設定するスケジュールの行をタッチする。  
制御スケジュール内容設定画面が表示します。
2. スケジュール適用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、[OK]をタッチする。



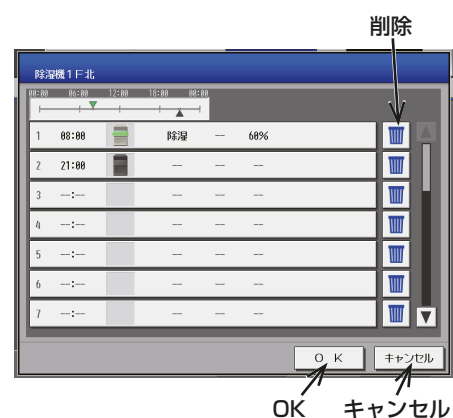
## [3] スケジュールの保存

### 手順

1. スケジュール内容を全て設定した後、[OK]をタッチする。  
スケジュール設定が保存します。  
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル]をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

### お願い

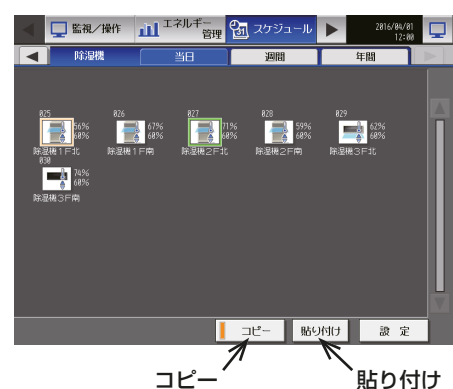
- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑️] をタッチしてください。



## [4] スケジュールを別のグループにコピーする

### 手順

1. 当日スケジュール画面でコピーしたいグループのユニットアイコンを選択し、[コピー]をタッチする。
2. 他のグループのユニットアイコンを選択し、[貼り付け]をタッチする。



### 4-3-4. 週間スケジュール(除湿機)

週間スケジュールを使用することで、曜日ごとに異なるスケジュール設定を行うことができます。

#### [1] 適用期間を設定する (季節設定)

##### 手順

1. メニューの[スケジュール]—[週間]をタッチする。  
「週間スケジュール」画面が表示します。
2. 週間スケジュール画面で、季節設定 [ 31 ] をタッチする。

##### お知らせ

- 高度設定画面の「スケジュール 季節設定」は空調機専用の設定です。除湿機はスケジュール季節設定を無効にしても、週間スケジュール (季節設定) が動作します。

3. 各週間スケジュールを有効とする期間を入力する。  
画面左の[  /  ]をタッチすることで、その週間スケジュール設定の有効、無効を切り替えられます。

- : 有効  
 : 無効

##### お知らせ

- 週間スケジュール (季節設定) は空調機と除湿機それぞれで設定する必要があります。
- 週間スケジュール設定 1～5のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されます。たとえば、週間スケジュール設定 1と週間スケジュール設定 2が重なる場合は、週間スケジュール 1が優先されます。
- 11/01～03/31のように、年をまたいだ期間を設定することもできます。



季節設定



前ページ 次ページ

#### [2] 設定内容の確認

##### 手順

1. 週間選択をタッチし、確認したい週間スケジュールの番号を選択する。
2. 週間スケジュール画面で、設定したいグループのアイコンを選択する。  
選択されたユニットのアイコンには黄緑色の枠が表示します。選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。





### 3. [設定] をタッチする。

週間スケジュール設定画面が表示し、現在の設定が確認できます。

スケジュール簡易表示部のアイコン

- ▼ (緑色) : 運転
- ▲ (黒色) : 停止
- : その他イベント



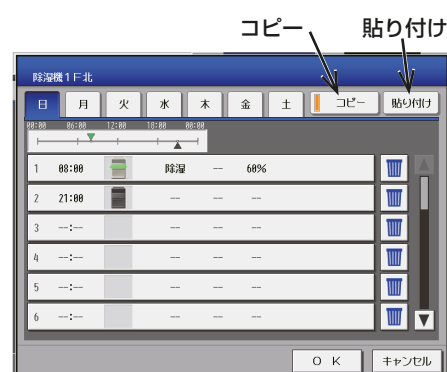
### [3] 制御スケジュールの設定

制御スケジュールの設定方法は、当日スケジュールと同様のため、「4-3-3. 当日スケジュール (除湿機)」を参照ください。

### [4] スケジュールを別の曜日にコピーする

#### 手順

1. 週間スケジュール画面でコピーしたい曜日を選択し、[コピー] をタッチする。
2. 他の曜日を選択し、[貼り付け] をタッチする。



### [5] スケジュールの保存

スケジュールの保存方法は、当日スケジュールと同様のため、「4-3-3. 当日スケジュール (除湿機)」を参照ください。

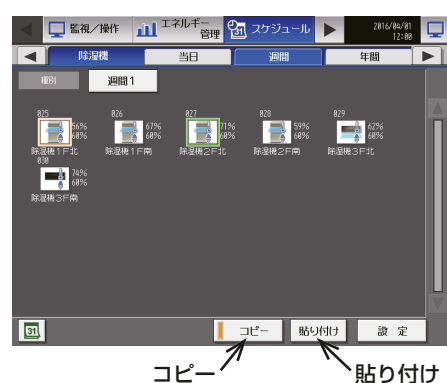
### [6] スケジュールを別のグループにコピーする

#### 手順

1. 当日スケジュール画面でコピーしたいグループのユニットアイコンを選択し、[コピー] をタッチする。
2. 他のグループのユニットアイコンを選択し、[貼り付け] をタッチする。

#### お知らせ

- [週間1] ~ [週間5] の異なるスケジュール間でのコピーはできません。



### 4-3-5. 年間スケジュール(除湿機)

創立記念日や夏季休暇のような特定の日に、週間スケジュール内容とは異なる運転をするためのスケジュールです。

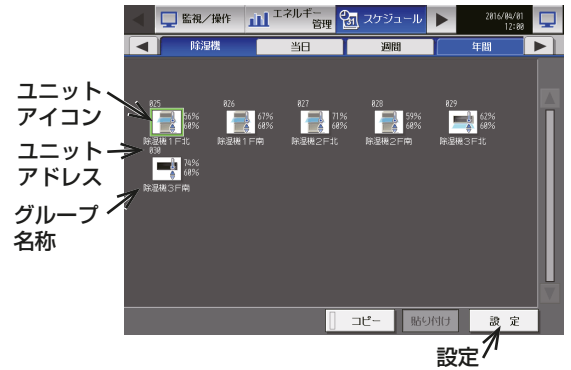
#### お知らせ

- 当月を含む24ヶ月間で50日設定することができます。

#### [1] 設定内容の確認

##### 手順

1. メニューの[スケジュール]—[年間]をタッチする。  
「年間スケジュール」画面が表示します。
2. 年間スケジュール画面で、設定したいグループのユニットアイコンを選択する。  
選択されたグループのユニットアイコンには黄緑色の枠が表示します。選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。



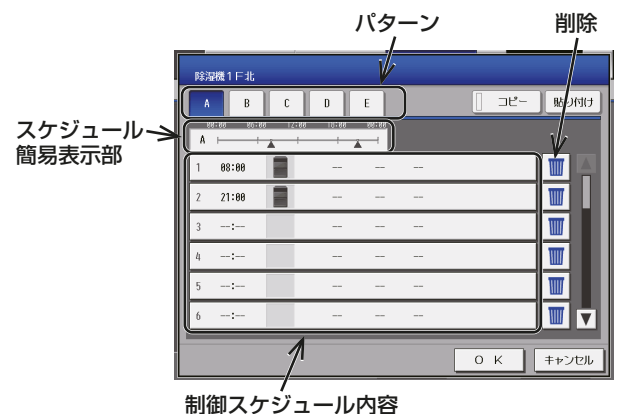
3. [設定]をタッチする。  
年間スケジュール設定画面が表示します。各日付に設定されているパターン(A~E)が確認できます。

スケジュール簡易表示部のアイコン

- ▼ (緑色)：運転
- ▲ (黒色)：停止
- ：その他のイベント



4. 年間スケジュール設定画面で、パターン(A~E)をタッチするか、[編集]をタッチする。  
パターン設定画面が表示します。
5. 確認したいパターンをタッチする。  
現在の設定が確認できます。



## [2] 制御スケジュールの設定

制御スケジュールの設定方法は、当日スケジュールと同様のため、「4-3-3. 当日スケジュール (除湿機)」を参照ください。

## [3] スケジュールを別のパターンにコピーする

### 手順

1. 年間スケジュール画面でコピーしたいパターンを選択し、[コピー]をタッチする。
2. 他のパターンを選択し、[貼り付け]をタッチする。



## [4] スケジュールの保存

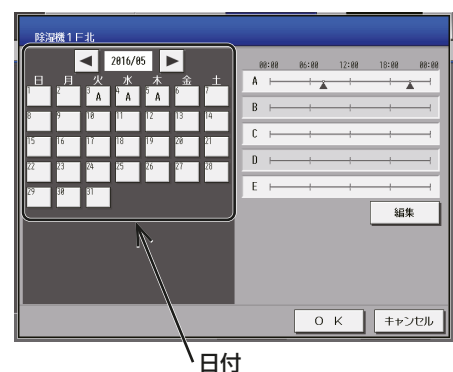
スケジュールの保存方法は、当日スケジュールと同様のため、「4-3-3. 当日スケジュール (除湿機)」を参照ください。

## [5] パターン割り当て日の設定

設定したスケジュールパターンを、祝日や夏季休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

### 手順

1. カレンダーの[日付]を割り当てたいパターンが表示されるまでタッチする。  
(パターンの表示は、A→B→C→D→E→空白→A→・・・の順です) 解除したい場合は、空白を選択します。



## [6] スケジュールを別のグループにコピーする

スケジュールを別のグループにコピーする方法は、当日スケジュールと同様のため、「4-3-3. 当日スケジュール (除湿機)」を参照ください。

## 4-4. エネルギー管理 (低温機器)

### 4-4-1. 概要

#### [1] エネルギー利用状況 (庫内温度状況)

低温機器のエネルギー利用状況画面では、(ハイ)クオリティコントローラの設定温度と庫内温度を折れ線グラフで表示します。日付指定で(ハイ)クオリティコントローラごとのデータを表示し、温度を確認することができます。

また、他の(ハイ)クオリティコントローラのエネルギー利用状況を併せて表示し、比較することができます。

[エネルギー管理] - [エネルギー利用状況] をタッチしてエネルギー利用状況画面を表示します。

#### お知らせ

- ・ エネルギー管理出力画面から取り出す5分単位データのCSVファイルのみ帳票ツールに使用可能です。
- ・ エネルギー利用状況画面、ピークカット制御状態画面から取り出したCSVファイルは帳票ツールに使用できません。
- ・ 除湿機はエネルギー管理機能に対応していません。
- ・ 低温機器ごとの電力使用量は、グラフ表示できません。
- ・ 停電が発生した場合、停電の期間に加えて最大30分間のデータが失われます。

#### お願い

- ・ 万が一のAE-200Jの故障時に備え、定期的に本画面の[CSV出力]もしくはエネルギー管理出力画面の[CSV出力] ([4-6. CSVデータの出力操作と帳票ツール(低温機器/空調機/除湿機)])により、CSV形式でファイルを保存することを推奨します。

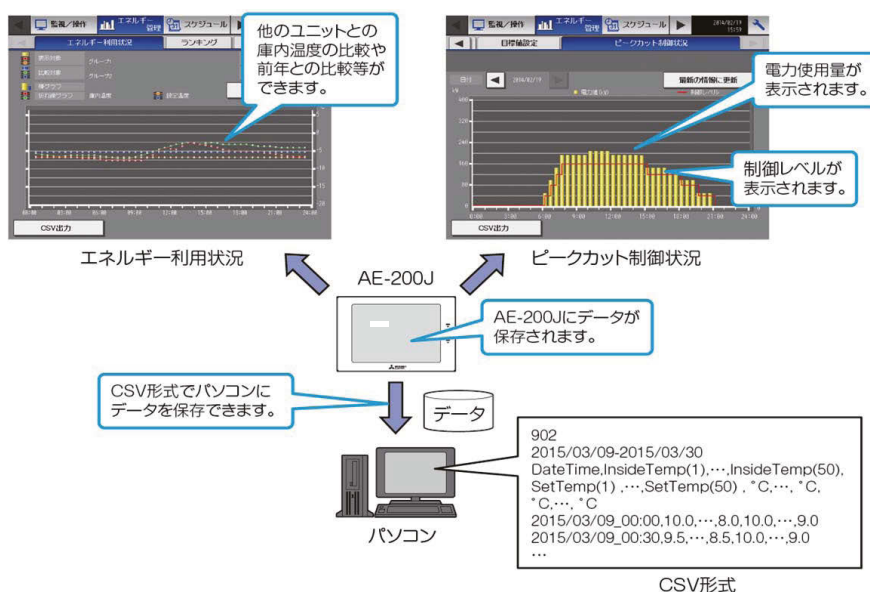
#### [2] ピークカット制御状況

ピークカット制御状況画面では、現在までの平均電力(30分間(デマンド値))のグラフおよび、ピークカット制御レベル(0~4)のグラフを表示します。

デマンド値の推移状況、最大値および、ピークカット制御レベル推移により日常の省エネ状況を確認することができます。また、ピークカット制御状況を見て、各ピークカット制御レベルの設定値(電力値)の調整が行えます。

#### お知らせ

- ・ 除湿機はピークカット制御機能に対応していません。
- ・ ピークカット制御を行うには、別途、省エネピークカット制御ライセンスの登録が必要です。
- ・ ピークカット制御の設定は、[機能設定1] - [ピークカット]で行ってください。
- ・ 平均消費電力のグラフは[機能設定1] - [ピークカット]のピークカット設定画面でピークカット方式が「電力量カウントPLC」または「計量用計測コントローラ」に設定されている場合のみ表示されます。
- ・ 平均電力の表示は、過去の実績が表示されます。平均電力は1時間の前半30分間と後半30分間の値です。
- ・ 停電が発生した場合、停電の期間に加えて最大30分間のデータが失われます。



## 4-4-2. エネルギー利用状況(庫内温度状況)

## [1] グラフの表示

**手順**

1. [表示切替] をタッチする。  
表示項目設定画面が表示します。
2. 表示項目の設定をする。

**お知らせ**

- エネルギー利用状況画面以外の画面からエネルギー利用状況画面を表示させたとき、または、[表示切替] をタッチし表示項目設定画面で [OK] をタッチしたときに、画面を更新して表示します。  
グラフ表示は、データの保存が毎正時00分におこなわれるため、毎正時00分経過後に新しいデータでグラフが表示されます。
- 空調機に関する項目を表示する場合は、AE-200J 本体の取扱説明書を参照ください。



#### 4. 使用方法 (応用)

項目	内容										
表示期間	<p>[日] を選択します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低温機器では [月]、[年] は使用できません。</li> <li>グラフに表示されるのは、AE-200J の電源が入っていた間のデータのみです。AE-200J の電源が切れていた間のデータは表示されません。</li> </ul>										
表示単位	<p>グラフを表示する対象の単位に [アドレス]、[グループ] を選択します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低温機器では [ブロック] は使用できません。</li> </ul>										
表示対象	表示対象	<p>グラフを表示する対象のアドレス番号、またはグループ番号を選択します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計量用パルス入力の値を表示する場合は、最上段の [PI] を選択してください。</li> </ul>									
	日付	<p>グラフを表示するデータの日付を指定します。</p> <p>過去24ヶ月前まで指定することができます。</p>									
比較対象	表示対象	<p>比較する対象のアドレス番号、またはグループ番号を選択します。(画面は表示対象と同じです。)</p>									
	日付	<p>グラフを表示するデータの日付を指定します。(画面は表示対象と同じです。)</p> <p>過去24ヶ月前まで指定することができます。</p>									
折れ線グラフ	<p>折れ線グラフに表示する項目を選択します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">表示対象</th> <th style="width: 33%;">表示項目</th> <th style="width: 33%;">表示単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ハイ) クオリティ</td> <td>設定温度 (°C) (°F) ※1</td> <td>アドレス、グループ</td> </tr> <tr> <td>コントローラ</td> <td>庫内温度 (°C) (°F) ※1</td> <td>アドレス、グループ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 毎時00分、30分の温度数値が表示されます</p>		表示対象	表示項目	表示単位	(ハイ) クオリティ	設定温度 (°C) (°F) ※1	アドレス、グループ	コントローラ	庫内温度 (°C) (°F) ※1	アドレス、グループ
表示対象	表示項目	表示単位									
(ハイ) クオリティ	設定温度 (°C) (°F) ※1	アドレス、グループ									
コントローラ	庫内温度 (°C) (°F) ※1	アドレス、グループ									

#### 3. [OK] をタッチする。

元の画面に戻ります。

グラフ領域に表示対象のデータと比較対象のデータが、折れ線グラフで表示します。

#### **お知らせ**

- 対象データが存在しない場合、グラフは表示されません。

項目	内容												
グラフ領域	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;"></th> <th style="width: 33%;">表示対象</th> <th style="width: 33%;">比較対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庫内温度</td> <td> (赤色)</td> <td> (緑色)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設定温度</td> <td> (赤色)</td> <td> (緑色)</td> </tr> <tr> <td> (橙色) ※1</td> <td> (青色) ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 庫内温度と設定温度を同時に表示する場合</p>			表示対象	比較対象	庫内温度	 (赤色)	 (緑色)	設定温度	 (赤色)	 (緑色)	 (橙色) ※1	 (青色) ※1
		表示対象	比較対象										
庫内温度	 (赤色)	 (緑色)											
設定温度	 (赤色)	 (緑色)											
	 (橙色) ※1	 (青色) ※1											
	<p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「比較対象」を選択しなかった場合は、「表示対象」で選択された項目のデータのみがグラフに表示されます。</li> <li>表示対象と比較対象の折れ線グラフが重なった場合は、表示対象が前面に表示されます。</li> <li>現在時刻の設定変更によりデータが存在しない時間帯がある場合は、その期間のデータは表示されません。また、現在時刻の設定変更により、時刻の重複が発生した場合は、新しいほうのデータがその重複期間のデータとしてグラフに表示されます。</li> <li>通信異常やセンサー異常でデータが取得できなかった場合は表示されません。グラフの線はデータ取得できなかった時刻の前後の期間は表示されません。</li> </ul>												

## [2] CSV出力

[CSV出力] をタッチすると、表示されている計測データを CSV 形式で出力します。  
 選択された日付範囲により、以下に示すファイル名と形式で出力されます。

### 手順

1. USBメモリ差込口にUSBメモリを挿す。
2. 保存したいデータを表示した状態で [CSV出力] をタッチする。

USBメモリの以下の場所に、CSVファイルを出力します。

#### ■ファイル出力先

USBメモリのルートフォルダに

¥ (AE-200J の製造番号) ¥OperationalData¥EnergyManagement

のフォルダが作成され、このフォルダ内に CSV ファイルが出力されます。

#### ■ファイル名

##### 「比較対象」で比較対象を選択した場合

EM\_DailyTrend\_(YYYY)-(MM)-(DD)\_(表示対象)\_(00)\_(yyyy)-(mm)-(dd)\_(比較対象)\_(00)\_(折れ線グラフ種類 1)\_(折れ線グラフ種類 2).csv

##### 「比較対象」で比較対象を選択しない場合

EM\_DailyTrend\_(YYYY)-(MM)-(DD)\_(表示対象)\_(00)\_(折れ線グラフ種類 1)\_(折れ線グラフ種類 2).csv

項目	内容
(YYYY)	開始年
(MM)	開始月
(DD)	開始日
(表示対象)	<ul style="list-style-type: none"> <li>表示単位がアドレスの場合 "A" + M-NET アドレス (001 ~ 050) + "_" + "00"</li> <li>表示単位がグループの場合 "G" + グループ番号 (001 ~ 050) + "_" + "00"</li> </ul>
(yyyy)	終了年
(mm)	終了月
(dd)	終了日
(比較対象)	<ul style="list-style-type: none"> <li>表示単位がアドレスの場合 "A" + M-NET アドレス (001 ~ 050) + "_" + "00"</li> <li>表示単位がグループの場合 "G" + グループ番号 (001 ~ 050) + "_" + "00"</li> </ul>
(折れ線グラフ種類 1) (折れ線グラフ種類 2)	L10 : 設定温度 L11 : 庫内温度 B00 : 選択無し

### お知らせ

- 本章で出力される CSV ファイルは、帳票ツールでは使用しません。

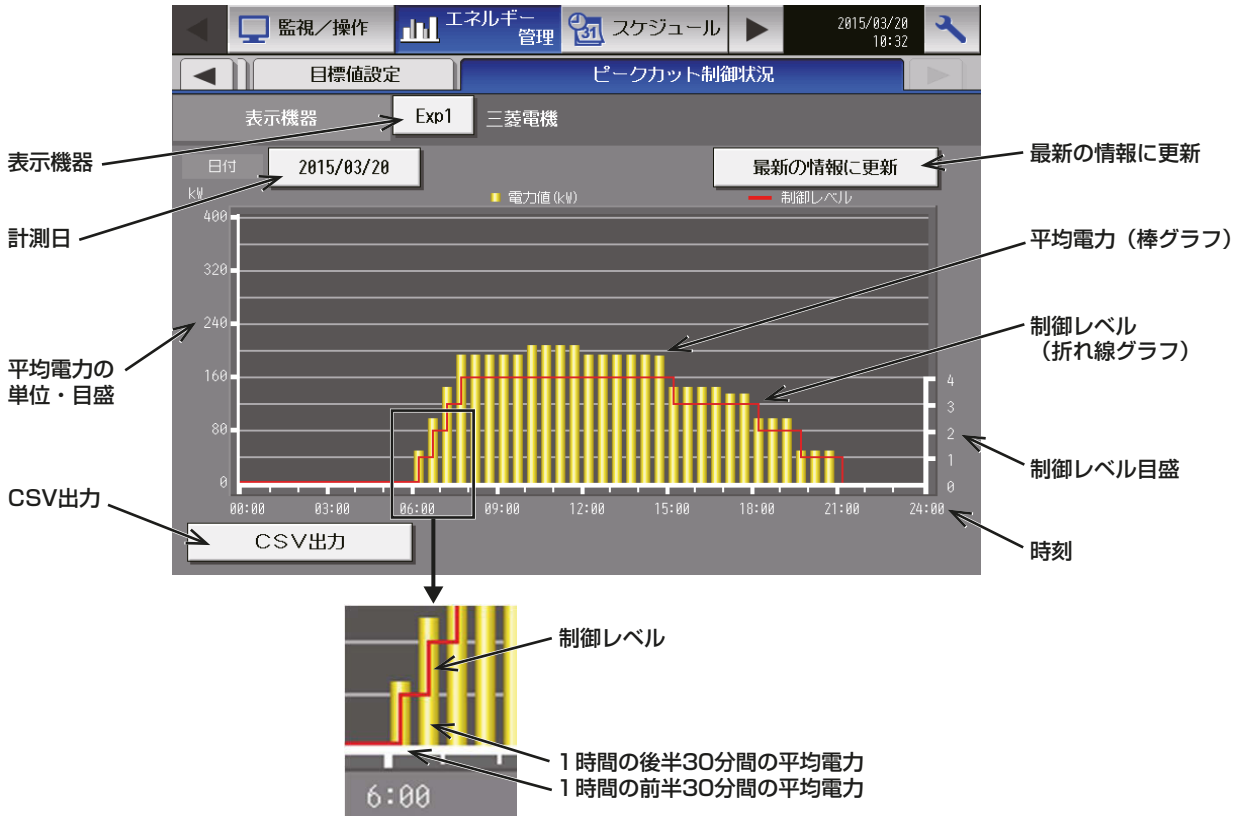


### 4-4-3. ピークカット制御状況

#### [1] グラフの表示

**お知らせ**

- ・ 省エネピークカット制御ライセンスが登録されていない場合は、画面は表示されません。
- ・ 詳細は、AE-200J 本体の取扱説明書を参照ください。



項目	内容
表示機器	AE-200Jのデータを表示するには [AE]、各 AE-50J/EW-50Jのデータを表示するには [Exp1] ~ [Exp4] を選択してください。
計測日	計測日を選択します。 <b>お知らせ</b> ・ データは当日を含む過去 24 ヶ月分が表示可能です。
平均電力	平均電力 (kW) が、30分単位で棒グラフで表示されます。 <b>お知らせ</b> ・ 30分ごとにグラフが表示されます。 ・ 毎時0分を経過した時点で、前の30分~59分までの30分間の平均電力が、毎時30分を経過した時点で、前の00分から29分までの30分間の平均電力が表示されます。 ・ 平均消費電力のデータは、毎時00分と30分に保存されます。したがって停電が発生した場合は、停電の期間に加えて最大30分間のデータが失われます。
制御レベル	ピークカット制御レベルが折れ線グラフで表示されます。
最新の情報に更新	タッチすると最新の計測データを表示します。

**お知らせ**

- ・ 平均消費電力のグラフは、[機能設定1] - [ピークカット]のピークカット設定画面で、ピークカット方式が「電力量カウントPLC」または「計量用計測コントローラ」に設定されている場合のみ表示されます。



## [2] CSV出力

[CSV出力] をタッチすると、表示されている計測データをCSV形式で出力します。  
選択された日付範囲により、以下に示すファイル名と形式で出力されます。

### 手順

1. カバーを外し、USBメモリ差込口にUSBメモリを挿す。
2. 保存したいデータを表示した状態で [CSV出力] をタッチする。  
USBメモリの以下の場所に、CSVファイルを出力します。

#### ■ファイル出力先

USBメモリのルートフォルダに

¥(AE-200Jの製造番号)¥OperationalData¥EnergyManagement¥Peakcut  
のフォルダが作成され、このフォルダ内にCSVファイルが出力されます。

#### ■ファイル名

Peakcut\_(yyyy)-(mm)-(dd).csv

ファイル名の内容	形式
(yyyy)	「計測日」で指定した年
(mm)	「計測日」で指定した月
(dd)	「計測日」で指定した日

#### ■ファイル形式

詳細は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

### お知らせ

- 本章で出力されるCSVファイルは、帳票ツールでは使用しません。

## 4-5. ピークカット制御 (低温機器)

### 4-5-1. 概要

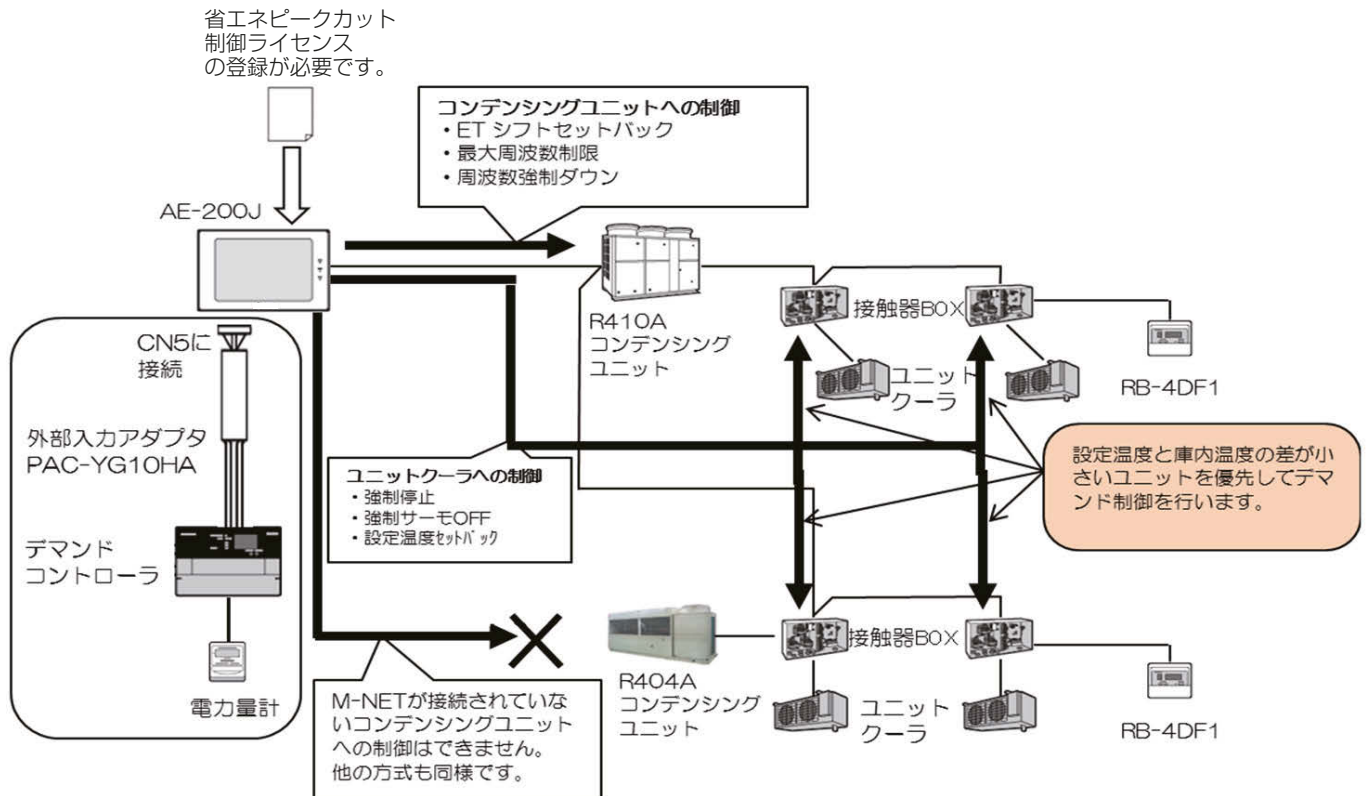
省エネピークカット制御ライセンスを登録することで、選択されたピークカット方式に従い、デマンドレベルや電力量値を取得して制御レベル(1~4)を決定し、(ハイ)クオリティコントローラとコンデンシングユニットに対して、制御レベルに合わせたピークカット制御を行います。

#### お願い

- 故障や伝送線の断線、設定内容等により、デマンド値が契約電力を超過した場合、当社は一切責任を負いません。了承のうえ、利用してください。
- 瞬時停電または、停電等の災害によりAE-200J、デマンド入力PLC、電力量カウントPLC、計量用計測コントローラ、デマンドコントローラ、E-Energy等への給電が絶たれた際は、AE-200Jによる低温機器のピークカット制御が停止、ならびに、デマンドレベルがリセットし、復電後正常なピークカット制御に戻るまで時間を要するので、低温機器の使用電力がデマンド値を超過するおそれがあります。したがって、ピークカットの機能を利用される場合は、無停電電源装置 (UPS) を設置することを推奨します。

### 4-5-2. 低温機器へのピークカット制御

AE-200Jで低温機器、空調機に対してピークカット制御を行うことができます。空調機へのピークカット制御を使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

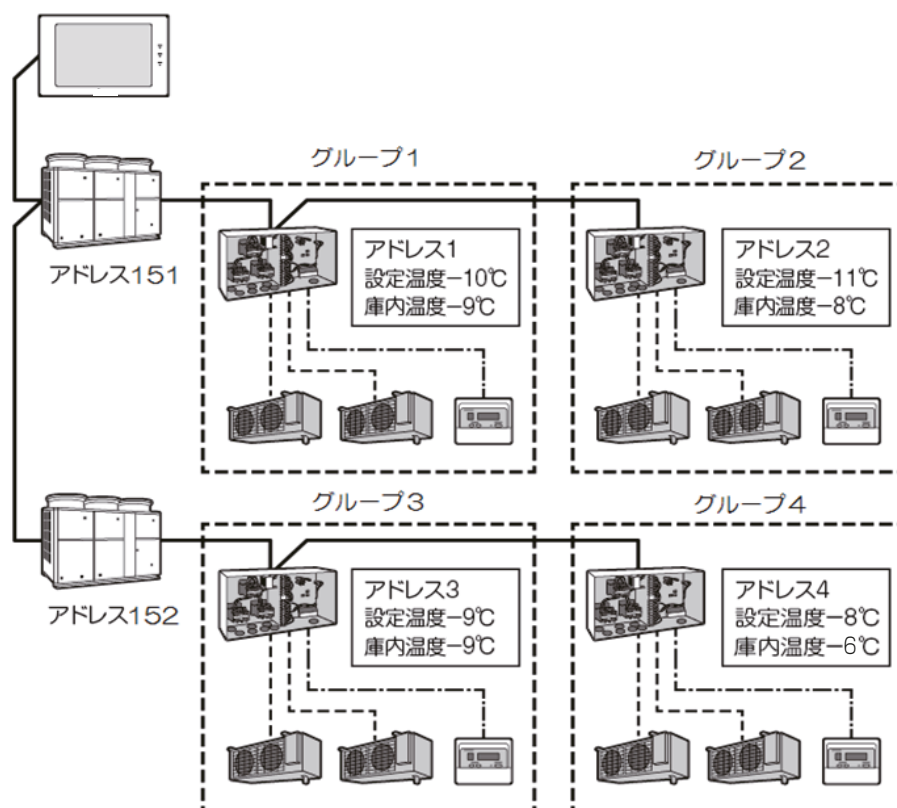


#### お知らせ

- 除湿機は本機能に対応していません。

### 4-5-3. 低温機器のピークカット制御の優先順位

低温機器のピークカット制御は、「設定温度」－「庫内温度 (吸込温度)」の差で判断した優先順位により、制御を実行します。



上図の状況での温度差は以下の通りです。

グループ1：設定温度－庫内温度＝－10－(－9)＝－1

グループ2：設定温度－庫内温度＝－11－(－8)＝－3

グループ3：設定温度－庫内温度＝－9－(－9)＝0

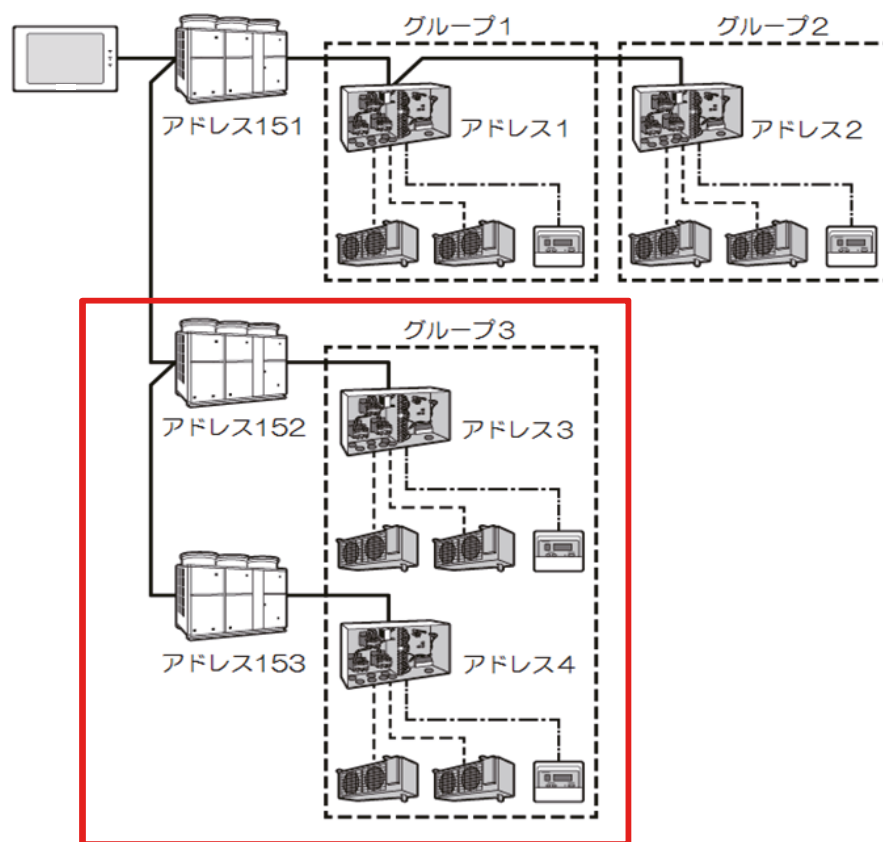
グループ4：設定温度－庫内温度＝－8－(－6)＝－2

以上から優先順位 (温度余裕が大きい順) はグループ3、グループ1、グループ4、グループ2の順になります。制御を実施するグループに接続されたコンデンシングユニットにも制御が実行されます。

ピークカット 制御の順番	グループ	(ハイ) クオリティ コントローラアドレス	コンデンシング ユニットアドレス
1	3	3	152
2	1	1	151
3	4	4	152
4	2	2	151

**お知らせ**

- 同一グループ内に、複数の(ハイ)クオリティコントローラや、コンデンシングユニットがある場合は、同時に制御が実行されます。  
下記の図の場合でグループ3に制御を実行する場合、アドレス3、4の(ハイ)クオリティコントローラと、アドレス152、153のコンデンシングユニットに対して制御が実行されます。



#### 4-5-4. ピークカット制御の設定

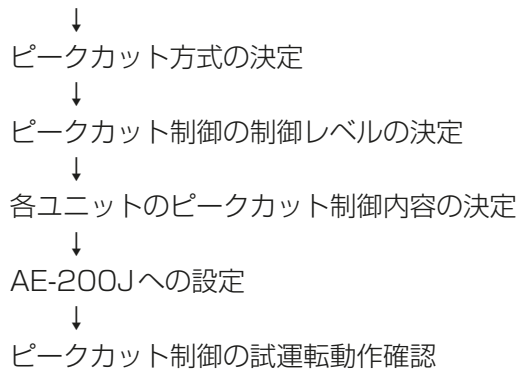
省エネピークカット制御ライセンスを登録することで、選択されたピークカット方式に従い、デマンドレベルや電力量値を取得して制御レベル(1~4)を決定し、(ハイ)クオリティコントローラとコンデンシングユニットに対して、制御レベルに合わせたピークカット制御を行います。

##### お願い

- ・ 設定完了後、関連機器が正しく接続され、ピークカット制御可能となっていることを試運転で確認してください。
- ・ ピークカット機能を使用するには、省エネピークカット制御ライセンスが必要です。「ライセンス登録」画面で、ライセンスが正しく登録されていることを確認してください。  
(詳細については、「6-3-4. ライセンス登録」参照)

#### [1] ピークカット制御の設定の流れ

省エネピークカット制御ライセンスの登録 (「6-3-4. ライセンス登録」参照)




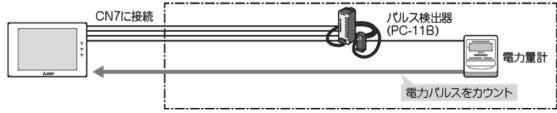

##### お願い

- ・ 設定内容については、お客様と相談して決定してください。

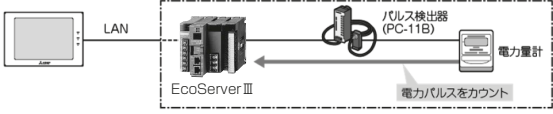
#### [2] ピークカット方式の決定

下記の中からピークカット方式を決定します。

ピークカット制御の実行には、AE-200J/AE-50J/EW-50J に電力量計のパルス、もしくはデマンドレベルを入力する必要があります。各方式の必要部材を以下にまとめます。

No.	ピークカット制御方式	必要部材	備考
1	外部接点入力方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネピークカット制御ライセンス</li> <li>・ 外部入力アダプタ</li> <li>・ デマンドコントローラ</li> </ul> 	デマンドコントローラからの制御レベル信号を、直接 AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力する方式。
2	計量用計測コントローラ方式 (計量用パルス入力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネピークカット制御ライセンス</li> <li>・ パルス検出器</li> </ul> 	計量用パルス入力 (電力パルスを直接 AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力) を使用して、AE-200J/AE-50J/EW-50J が制御レベルを予測する方式。
3	計量用計測コントローラ方式 (計量用計測コントローラ入力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネピークカット制御ライセンス</li> <li>・ 計量 MC</li> <li>・ パルス検出器</li> </ul> 	電力パルスを計量 MC に入力し、AE-200J/AE-50J/EW-50J が制御レベルを予測する方式。

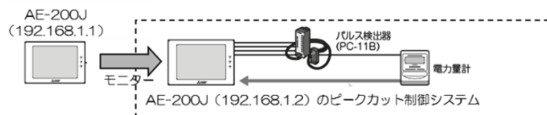
#### 4. 使用方法 (応用)

No.	ピークカット制御方式	必要部材	備考
4	EcoServer III 接続方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネピークカット制御ライセンス</li> <li>EcoServer III</li> <li>パルス検出器</li> </ul> 	電力パルスを EcoServer III に入力し、EcoServer III が予測した制御レベルを LAN 経由で AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力する方式。EcoServer III で 10 台の AE-200J/AE-50J/EW-50J と接続できます。

#### お知らせ

- 他の AE-200J/AE-50J/EW-50J のピークカット制御レベルを参照する方式です。

#### 他の AE



- ※1 LAN 接続している AE-200J/AE-50J/EW-50J のうち、No. 1 ~ 4 のいずれかのピークカット方式を使っている AE-200J/AE-50J/EW-50J が必ず 1 台以上ある場合に限り採用できる方式です。
- ※2 他の AE-200J/AE-50J/EW-50J のピークカット制御レベルを参照 (モニタ) 時間に最大 1 分の遅れが出るため、ピークカット制御のタイミングが遅くなる点をご理解のうえ、導入してください。

### [3] ピークカット制御の制御レベルの決定

制御レベルごとにピークカット制御を実行する電力を決定します。

#### お願い

- ピークカット制御を行うことにより、庫内が不冷とならないよう、制御を実行する電力を設定してください。最初は制御を実行する電力を高い値に設定し、動作状況により調整することを推奨します。
- 電力使用機器のシステム構成や建物の室内環境により、適正値は異なります。建物の電力使用状況に応じて決定してください。

## [4] ピークカット制御内容の決定

各ユニットのピークカット制御内容の設定を下記のような表を用いて設定します。

部屋番号	2	3	64		
部屋名	原料冷蔵庫 1	原料冷蔵庫 2	製品冷凍庫		
(ハイ) クオリティ コントローラアドレス	001	003	022		
コンデンシング ユニットアドレス	151	—	155		
庫内設定温度	0℃	-5℃	-25℃		
庫内温度差	3℃	3℃	3℃		
高温警報温度差	10℃	10℃	15℃		
許容できる上限温度	5℃	3℃	-15℃		
ピークカット制御可否	×	○	○		
制御 レベル	レベル 1	制御内容	なし	なし	最大周波数制限
		制御値	—	—	50%
		制御時間	—	—	15 分
	レベル 2	制御内容	なし	設定温度セットバック	周波数強制ダウン
		制御値	—	3℃	95%
		制御時間	—	15 分	5 分
	レベル 3	制御内容	なし	設定温度セットバック	設定温度セットバック
		制御値	—	5℃	8℃
		制御時間	—	15 分	15 分
	レベル 4	制御内容	なし	強制停止	強制停止
		制御値	—	—	—
		制御時間	—	5 分	5 分

### 手順

- ①に各機器(部屋)がどのような冷却制御なのか庫内設定温度、庫内温度差、高温警報温度差を記入する。
- ②に各機器(部屋)の許容できる上限温度とピークカット制御可否を記入する。
- ③に各機器(部屋)の制御レベルに応じたピークカット制御の制御内容、制御値、時間を記入する。

設定できる内容は以下の通りです。

(ハイ) クオリティコントローラ			コンデンシングユニット		
制御内容	制御値の設定範囲	制御時間	制御内容	制御値の設定範囲	制御時間
設定温度 セットバック	0.5 ~ 10.0℃ (0.5℃刻み)	5 ~ 30 分 (5 分刻み)	ET シフト セットバック	0.5 ~ 10.0℃ (0.5℃刻み)	5 ~ 30 分 (5 分刻み)
強制 サーモ OFF	—		最大周波数制限	50 ~ 95% (5% 刻み)	
強制停止	—		周波数強制ダウン	50 ~ 95% (5% 刻み)	

## [5] ピークカット方式の設定

設定方法は、AE-200J 本体の取扱説明書を参照ください。

## [6] 空調機設定

使用する場合は、AE-200J 本体の取扱説明書を参照ください。



## [7] 低温機器設定

(ハイ) クオリティコントローラの  
ピークカット制御の設定

▲ をタッチ  
▼ をタッチ

コンデンシングユニットの  
ピークカット制御の設定

ピークカット制御内容  
をタッチ

OK または  
キャンセル をタッチ

表示するグループが  
変更されます

ピークカット制御内容  
をタッチ

OK または  
キャンセル をタッチ

表示するアドレスが  
変更されます

画面右上の [ ] をタッチして、ログインしてください。ログイン方法については、「6-3-1. 初期設定画面へのログイン」を参照ください。

[機能設定1]—[ピークカット] をタッチして、ピークカット設定画面の [低温] をタッチします。  
(ハイ)クオリティコントローラ、コンデンシングユニットのピークカット制御を設定後、[設定保存] をタッチして、設定を AE-200J に保存します。

## [お願い]

- 設定完了後、関連機器が正しく接続され、ピークカット制御可能となっていることを試運転で確認してください。
- ピークカット機能を使用するには、省エネピークカット制御ライセンスが必要です。「ライセンス登録」画面で、ライセンスが正しく登録されていることを確認してください。  
(詳細については、「6-3-4. ライセンス登録」参照)

## [お知らせ]

- ビル管理者でログインした場合は、一部の設定が禁止されていることがあります。
- 省エネ制御ライセンスではピークカット制御はできません。
- ライセンスが未登録の場合でも、本機に設定を保存できますが、ライセンス登録時に機能が利用可能になります。ライセンスが未登録の場合は、画面左下に「ライセンス未登録」と表示されます。



## (1) (ハイ)クオリティコントローラのグループ制御設定

各制御レベルでの(ハイ)クオリティコントローラのピークカット制御を設定します。設定はグループ単位となります。選択されたピークカット方式に従い、デマンドレベルや電力量値を取得して制御レベル(0~4)を決定し、(ハイ)クオリティコントローラに対して、制御レベルに合わせたピークカット制御を行います。

### 1 ページ目 (ハイ)クオリティコントローラのピークカット設定



### 手順

- ▲ または ▼ をタッチして、設定する(ハイ)クオリティコントローラのグループを表示する。
- 制御内容の中で、設定する制御レベルの行をタッチする。  
ピークカット設定画面が表示します。

### お知らせ

- すべてのグループに対して、一度に設定を行う場合は、[一括設定]をタッチします。

- 下表を参照して、各制御レベルの制御内容を選択する。  
制御内容で[設定温度セットバック]を選択した場合は、「制御温度」を設定します。  
設定できる温度範囲は、0.5~10.0℃です。

制御内容	説明
設定温度 セットバック	設定温度を「制御温度」だけ増加させます。
強制サーモ OFF	送風運転になります。
強制停止	運転を強制的に停止させます。


### お知らせ

- 設定温度セットバックのみ高温警報を発報時にピークカット制御を解除します。
- 強制停止中はデフロストは実行されません。



4. 各レベルでの制御時間を5分、10分、15分、20分、25分、30分から設定する。
5. 制御内容を設定した後、[OK]をタッチする。  
設定した制御内容を保存します。  
前回保存時から制御内容を変更した場合、[キャンセル]をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。
6. 制御内容を別のグループにコピーする場合は、[コピー]をタッチして選択状態(オレンジ色)とし、対象のグループの画面で[貼り付け]をタッチする。
7. 制御内容を全て設定した後、[設定保存]をタッチする。  
設定した制御内容を保存します。

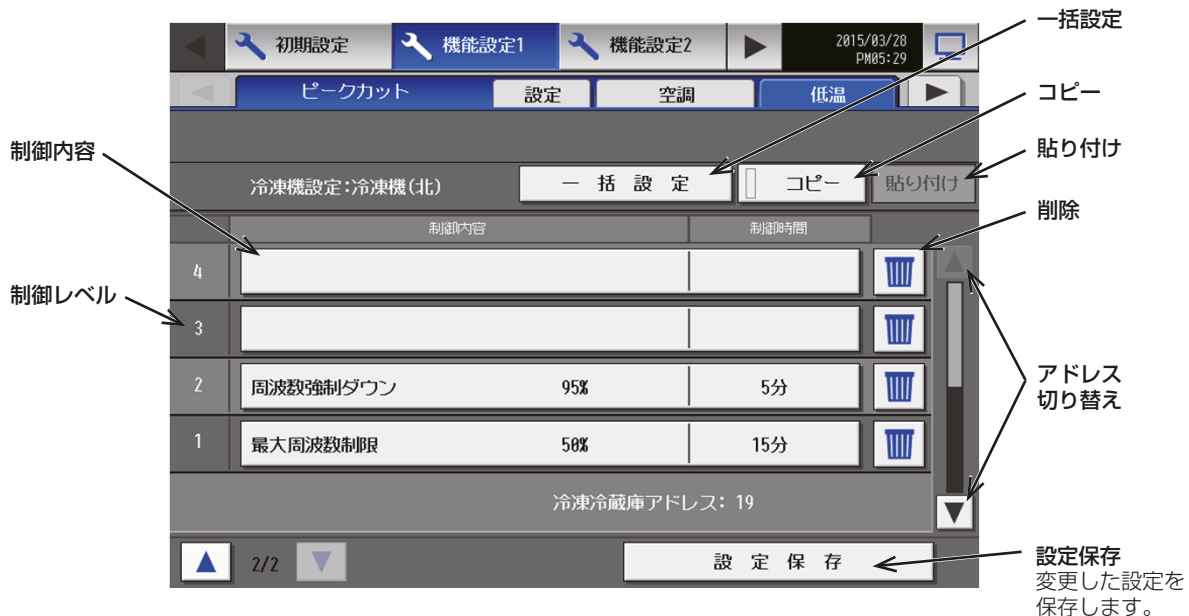
**お願い**

- ・ 設定した制御内容を消去する場合は、対象の行の削除 [  ] をタッチしてください。



**(2) コンデンシングユニットの制御設定**

各制御レベルでのコンデンシングユニットのピークカット制御を設定します。

**2ページ目** コンデンシングユニットのピークカット設定



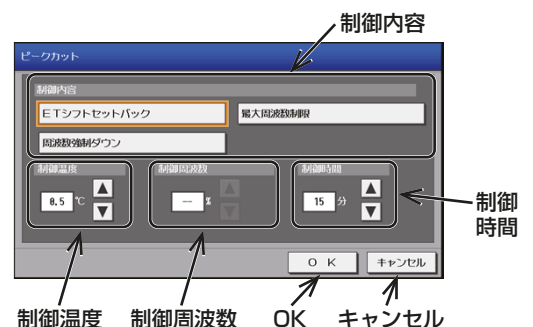
**手順**

1.  または  をタッチして、設定するコンデンシングユニットを表示する。
2. 制御内容の中で、設定する制御レベルの行をタッチする。  
ピークカット設定画面が表示します。

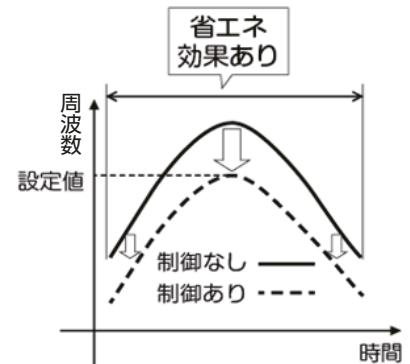
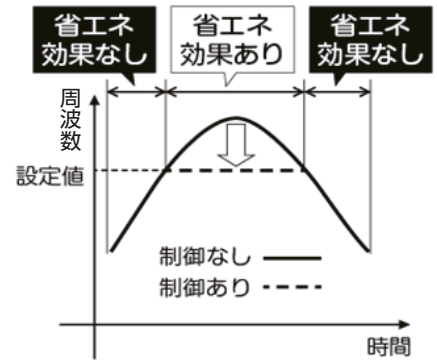
**お知らせ**

- ・ すべてのコンデンシングユニットに対して、一度に設定を行う場合は、[一括設定]をタッチします。

3. 次表を参照して、各制御レベルの制御内容を選択する。  
制御内容で[ETシフトセットバック]を選択した場合は、「制御温度」を設定する。  
設定できる温度範囲は、0.5～10.0℃です。  
制御内容で[最大周波数制限]、[強制周波数ダウン]を選択した場合は、「制御周波数」を設定する。  
設定できる周波数範囲は、50～95%です。



制御内容	説明
ETシフトセットバック	目標蒸発温度をセットバックさせます。
最大周波数制限	<p>圧縮機の最大周波数の上限が、設定した制御周波数以内となるよう制限します。制御周波数が小さいほど、省エネ運転となります。</p> <p><b>お願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大周波数制限の場合、コンデンシングユニットの負荷が低く、設定された周波数以下で運転している場合は、能力制限されません。</li> </ul>
周波数強制ダウン	<p>現状の運転周波数が、設定した制御周波数以内となるよう制限します。制御周波数が小さいほど、省エネ運転となります。</p>



4. 各レベルでの制御時間を5分、10分、15分、20分、25分、30分から設定する。

5. 制御内容を設定した後、**[OK]** をタッチする。

設定した制御内容を保存します。

前回保存時から制御内容を変更した場合、**[キャンセル]** をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

6. 制御内容を別のグループにコピーする場合は、**[コピー]** をタッチして選択状態 (オレンジ色) とし、対象のグループの画面で**[貼り付け]** をタッチする。

7. 制御内容を全て設定した後、**[設定保存]** をタッチする。

設定した制御内容を保存します。

**お願い**

- 設定した制御内容を消去する場合は、対象の行の削除 **[削除]** をタッチしてください。

## [8] ピークカット制御の試運転動作確認

ピークカット制御が動作するか、試運転確認を実施してください。

**お願い**

- 設定完了後、関連機器が正しく接続され、ピークカット制御可能となっていることを試運転で確認してください。

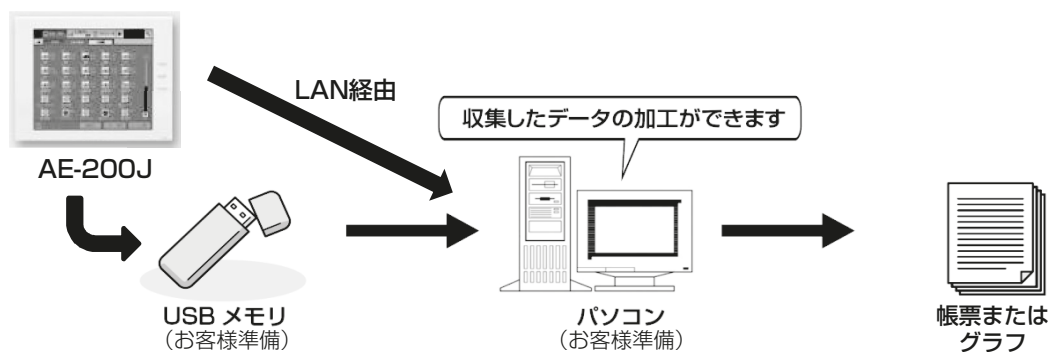
## 4-6. CSV データの出力操作と帳票ツール (低温機器 / 空調機 / 除湿機)

### 4-6-1. 帳票機能概要

帳票ツールを用いて、以下の帳票やグラフを作成できます。

- ・ (ハイ) クオリティコントローラや空調機室内ユニットの庫内 (吸込み) 温度の帳票およびグラフ
- ・ 除湿機の庫内 (吸込み) 温度・庫内 (吸込み) 湿度の帳票およびグラフ
- ・ コンデンスユニットの機器データの帳票

AE-200J の CSV データの取込には 2 種類あり、USB メモリ経由でデータを取り込む方法と LAN 経由でデータを取り込む方法があります。



帳票ツールと AE-200J/AE-50J/EW-50J の Ver の組み合わせで使用できる機能は以下の表のとおりです。

帳票ツール Ver.	AE-200J/AE-50J/EW-50J Ver.		庫内温度帳票			機器データ帳票	CSV データ取込方法	
			(Hi)Q	空調機	除湿機		USB 取込	LAN 取込
1.0/1.1	7.10	AE-200J/ AE-50J/EW-50J	×	×	×	×	×	×
	7.20 ~ 7.80	AE-200J	○	×	×	×	○	×
		AE-50J/EW-50J	×	×	×	×	×	×
2.0/2.1	7.20 ~ 7.35	AE-200J	○	○	×	○	○	×
2.0/2.1		AE-50J/EW-50J	×	○	×	×	○	×
2.0/2.1	7.40 ~ 7.70	AE-200J	○	○	×	○	○	○
2.0/2.1		AE-50J/EW-50J	×	○	×	×	○	○
2.0	7.80 ~ 7.9*	AE-200J	○	○	×	○	○	○
2.1			○	○	○	○	○	○
2.0/2.1		AE-50J/EW-50J	×	○	×	×	○	○

## [1] 庫内温度帳票

以下の帳票およびグラフを作成できます。

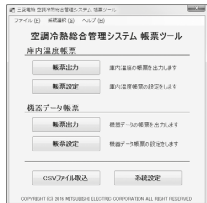
- ・ (ハイ) クオリティコントローラの庫内温度、設定温度、オプションセンサ、外気温度 ※1
- ・ 空調機室内ユニットの吸込み温度、設定温度
- ・ 除湿機の庫内温度、設定温度、庫内湿度、設定湿度

庫内状態管理や日常管理、取引先様への報告など、様々な用途でご使用いただけます。

※1 (ハイ) クオリティコントローラに接続されたコンデンシングユニットが計測した値です。

※2 低温機器と空調機室内ユニットと除湿機は、それぞれ作成できる項目が一部異なります。

### ●帳票ツール画面



### ●庫内温度 日別帳票

温度帳票は中温PACをはじめとする空調機器にも対応

部屋名称	機器名称	系統/M-NET アドレス	設定温度		時間/庫内温度(°C)		
			冷却	暖房	0:00	1:00	2:00
部屋1	機器1	AE-2000 1	-10.0	-	-7.0	-9.0	-11.0
部屋2	機器2	AE-2000 2	10.0	-	11.0	8.0	9.0
部屋3	機器3	AE-2000 3	5.0	-	3.0	8.0	2.0
部屋4	機器4	AE-2000 4	<20.0	-	-22.0	-18.0	-19.0
部屋5	機器5	AE-2000 5	<30.0	-	-32.0	-28.0	-25.0
部屋6	機器6	AE-2000 6	<25.0	-	-23.0	-22.0	-26.0
部屋7	機器7	AE-2000 7	<10.0	-	-7.0	-9.0	-11.0
部屋8	機器8	AE-2000 8	10.0	-	11.0	8.0	9.0
部屋9	機器9	AE-2000 9	5.0	-	3.0		
部屋10	機器10	AE-2000 10	<20.0	-	-22.0		
部屋11	機器11	AE-2000 11	<30.0	-	-32.0		
部屋12	機器12	AE-2000 12	<25.0	-	-23.0		

時間単位は  
時間別(5分単位/日)  
日別(1時間単位/日)  
月別(1日単位/日)  
より選択が可能

庫内温度は  
最高値/最低値/平均値/瞬時値  
より選択が可能

部屋名称・機器名称は帳票ツールの設定画面で  
初期設定・保存が可能

### ●庫内温度 日別グラフ



## [2] 機器データ帳票

R410A インバータコンデンシングユニット\*の圧力や温度などの運転情報の帳票を作成することができます。

フロン排出抑制法の機器点検業務の簡素化が期待できます。

※ M-NET 対応機種のみ

### ●データシート

運転データを帳票化。機器の点検業務の手間を削減。

機器データ (データシート) 日報帳票

機器名称や設置場所等の情報は帳票ツールの設定画面で初期設定・保存が可能

冷媒充填量は冷凍機基板に数値を入力するとCSVによりデータを取得・転記が可能

時間単位は日別(1時間単位)、月別(4回/日単位)、年別(1回/月単位)で選択が可能

冷凍機の圧力、温度などのデータは自動で帳票化(AE-200J対応機種のみ)

異常レベル、アラームは発報状況を転記

データは各時間の瞬時値を転記  
運転停止時のデータは除外する可

帳票ツール設定画面で任意の項目設定可

### ●点検シート

簡易点検で必要な目視点検は点検用のフォーマットを出力。

機器データ (点検シート) 日報帳票

機器名称や設置場所等の情報は帳票ツールの設定画面で初期設定・保存が可能

時間単位は日別(1時間単位/日)、月別(4回/日単位/月)、年別(1回/月単位/年)より選択が可能

霜付き、油にじみなど目視が必要な点検項目は帳票ツール設定画面で任意に設定可能

## ■ AE-200J/AE-50J/EW-50J のバージョンによる対応可否

AE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョンの違いによる対応表は下記の通りです。

○：対応，△一部対応，×：非対応

バージョン	AE-200J	AE-50J	EW-50J
Ver.7.1	×	×	×
Ver.7.2	△※1	△※2	△※2
Ver.7.3	△※1	△※2	△※2
Ver.7.4～7.98	○	△※3	△※3

※1 (ハイ)クオリティコントローラ/空調機の庫内温度帳票とUSB経由のCSVファイル取込が可能

※2 空調機の庫内温度帳票とUSB経由のCSVファイル取込が可能

※3 空調機の庫内温度帳票と空調機のUSB/LAN経由のCSVファイル取込が可能

## ■ パソコン動作環境 (2022年2月時点)

項目	要件
OS	Microsoft® Windows® 11 (64bit) ※7 Microsoft® Windows® 10 (64bit) ※7 Microsoft® Windows® 8.1 (64bit) ※7
必要なアプリケーション	.NET Framework 4.8 以上 ※1 Microsoft Excel 2013(32bit)/2016(32bit)/2019(32bit) ※6
CPU	2.4GHz 以上
メモリ	4GB 以上
動作環境	Windows® 8.1、Windows® 10、Windows® 11 の最低動作環境を満たしていること
画面解像度	1024 × 768 以上
ネットワーク インターフェース	100Base - TX またはその互換インターフェース ※2
サポート言語	日本語
外部インターフェース	USB ポート ※3
必要な周辺機器	マウス キーボード USB メモリ ※3、※4 プリンタ (A3 用紙または A4 用紙を印刷可能) ※5

※1 .NET Framework 4.8 以上がインストールされていない場合、帳票ツールインストール時にダウンロードサイトへ誘導されます。

※2 LAN 経由で CSV ファイルを取込む際に必要

※3 USB2.0 に対応していること

※4 USB 経由で CSV ファイルを取込む際に必要

※5 帳票ツールから帳票を出力する際に必要

※6 Microsoft Excel は 32bit 版をご使用ください。64bit 版では帳票出力が正常に動作しません。

※7 Pro で動作確認しています。OS は最新バージョンのご利用を推奨します。

### お知らせ

- CSV 出力されるファイル名やファイル内の日付形式、区切り文字は初期設定で設定された形式で出力されます。設定方法は「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
- 下記条件を満たす USB メモリを選定し、運用前に正常に動作することを確認の上、使用してください。
- USB2.0 対応していること。
- USB3.0 専用品は使用できません。USB3.0/2.0 兼用品を使用してください。
- FAT32、または FAT(FAT16) 形式でフォーマットされていること。
- セキュリティ機能がないもの、もしくは、セキュリティ機能無しでも使用できるもの。  
ただし、USB メモリ自体にセキュリティ機能 (指紋認証等) を有するものは可能。



#### 4. 使用方法 (応用)

- 下記の表のUSBメモリについて正常に動作することを確認しています。(2021年8月時点)

No.	メーカー	型名	容量
1	Transcend	TS16GJF590K	16GB
2	Transcend	TS32GJF700	32GB
3	Transcend	TS32GJF710S	32GB
4	Transcend	TS32GJF790KBE	32GB
5	Transcend	TS64GJF790KBE	64GB
6	Sony	USM16GRB	16GB
7	Sony	USM8X B	8GB
8	BUFFALO	RUF3-K8G	8GB
9	BUFFALO	RUF3-K8GA	8GB
10	BUFFALO	RUF3-KS32GA-BK.N	32GB
11	TOSHIBA	THN-U202W0160A4	16GB
12	M-Commerce	Biocryptodisk-ISPX	8GB
13	SanDisk	SDCZ33-016G-J57	15GB
14	Silicon Power	SP016GBUF2U02V1K	16GB
15	Silicon Power	SP032GBUF3802V1K	32GB
16	Silicon Power	SP032GBUF3180VITJ	32GB

#### お願い

- 上記を満たすUSBメモリでも、正しく動作しない可能性があります。
- データ書き込み異常が発生した後、別のUSBメモリに変えても正常に書き込めないような場合は、AE-200Jを再起動(電源切→入)してから最初に異常発生したもの以外のUSBメモリで改めて出力を行ってください。

### 4-6-2. 帳票機能一覧

帳票ツールは、庫内温度帳票と機器データ帳票の2種類の帳票を出力できます。

帳票	詳細
庫内(吸込み)温度帳票	(ハイ)クオリティコントローラの庫内温度、設定温度、オプションセンサ、外気温度※1、および空調機室内ユニットの庫内温度、設定温度、および除湿機の庫内温度、庫内湿度、設定温度、設定湿度を出力します。
機器データ帳票	コンデンシングユニットの運転データをデータシートとして出力します。 また、コンデンシングユニットの目視点検を実施するためのシートを点検シートとして出力します。

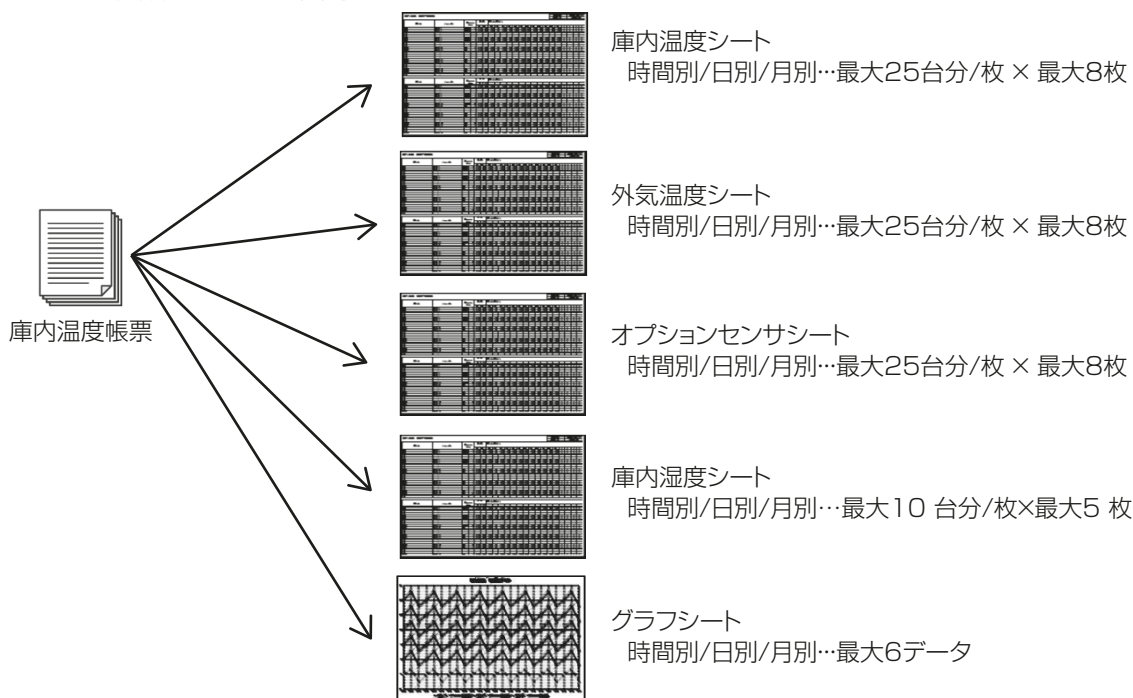
※1 (ハイ)クオリティコントローラに接続されたコンデンシングユニットが計測した値です。

帳票	種別	詳細
庫内温度帳票	時間別	指定した時間から2時間分のデータを5分単位で帳票出力します。
	日別	指定した日から1日分のデータを1時間単位で帳票出力します。
	月別	指定した月から1ヶ月分のデータを1日単位で帳票出力します。
機器データ帳票	日別	指定した日から1日分のデータを1時間単位で帳票出力します。
	月別	指定した月から1ヶ月分のデータを1日単位で帳票出力します。
	年別	指定した年から12ヶ月分のデータを1ヶ月単位で帳票出力します。



## [1] 庫内温度帳票

庫内温度帳票は、庫内温度シート、外気温度シート、オプションセンサシート、グラフシート、庫内湿度シートの5種類のシートを出力します。



### お知らせ

- 庫内温度シート、外気温度シート、オプションセンサシートは、1枚のシートに最大25アドレス分、庫内湿度シートは1枚のシートに最大10アドレス分のデータを出力します。  
AE-200Jシステム内に(ハイ)クオリティコントローラ、空調機室内ユニット、除湿機が26台以上接続されている場合、2枚以上(最大8枚)の庫内温度シート、外気温度シート、オプションセンサシートを出力します。  
AE-200Jシステム内に除湿機が11台以上接続されている場合、2枚以上(最大5枚)の庫内湿度シートを出力します。
- 庫内温度シート、外気温度シート、オプションセンサシート、庫内湿度シートは、「庫内温度帳票」⇒「帳票設定」⇒「ユニット追加画面」の帳票表示のチェックボックスにチェックが入っているユニットをシートに出力します。  
(AE-200Jシステム内で一つもチェックが入っていないシートは出力しません)
- グラフシートは、「庫内温度帳票」⇒「帳票設定」⇒「ユニット追加画面」のグラフ表示のチェックボックスにチェックが入っている項目をグラフとして出力します。  
(AE-200Jシステムごとに最大6データまで出力することができます)

	項目	内容
庫内温度シート 外気温度シート オプションセンサシート 庫内湿度シート	庫内温度	定時 / 平均 / 最高 / 最低 <sup>*2</sup> の庫内温度
	設定温度	毎時または午前8時時点の庫内設定温度 (グループ毎)
	オプションセンサ <sup>*1</sup>	定時 / 平均 / 最高 / 最低 <sup>*2</sup> のオプションセンサーの温度
	外気温度 <sup>*1</sup>	定時 / 平均 / 最高 / 最低 <sup>*2</sup> の外気温度
	庫内湿度 <sup>*3</sup>	定時 / 平均 / 最高 / 最低 <sup>*2</sup> の庫内湿度
グラフシート	庫内温度	定時 / 平均 / 最高 / 最低 <sup>*2</sup> の庫内温度
	外気温度 <sup>*1</sup>	定時 / 平均 / 最高 / 最低 <sup>*2</sup> の外気温度
	オプションセンサ <sup>*1</sup>	定時 / 平均 / 最高 / 最低 <sup>*2</sup> のオプションセンサーの温度
	庫内湿度 <sup>*3</sup>	定時 / 平均 / 最高 / 最低 <sup>*2</sup> の庫内湿度

※1 空調機 / 除湿機には対応していません。

※2 「庫内温度帳票」⇒「帳票設定」⇒「演算方法」で設定変更が可能です。

※3 (ハイ)クオリティコントローラ / 空調機室内ユニットには対応していません。

※4 各シートの「定時」の定義は次に示す表のとおりです。

4. 使用方法 (応用)

帳票項目	定時の定義		
	時間別	日別	月別
庫内温度	指定時刻の 00 分を起点とした 5 分ごとの値	指定日の 0:00 を起点とする各 時 00 分の値	指定月の 1 日を起点とする各日 8:00 の値
外気温度			
オプションセンサ			
設定温度	指定時刻の 00 分	指定日の 8:00 時点の値	指定月 1 日の 8:00 時点の値

(1) 庫内温度シート/外気温度シート/オプションセンサシート/庫内湿度シート

The screenshot shows a detailed data table with several callout boxes providing context:

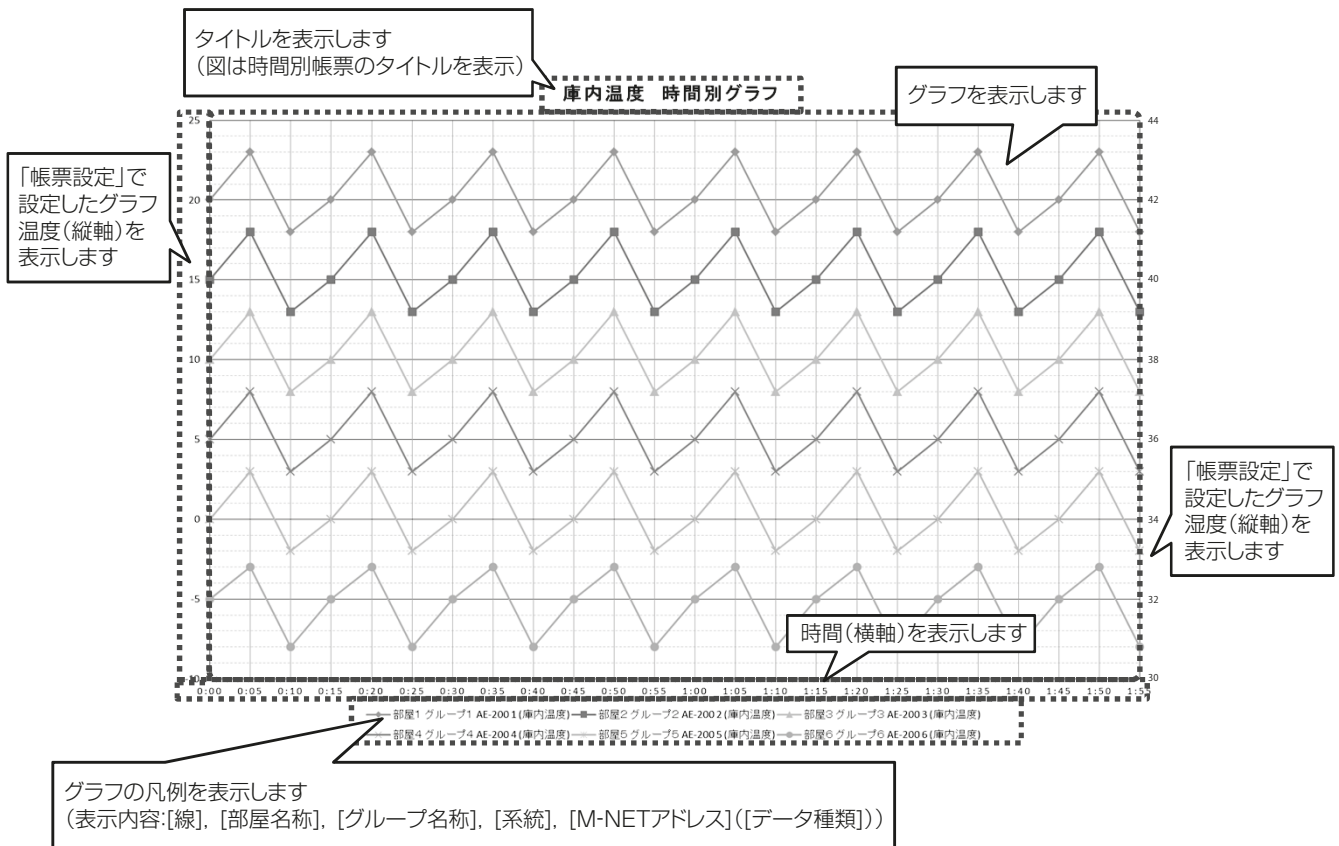
- 各ユニットの接続先と M-NET アドレスを表示します。** (Shows connection destination and M-NET address for each unit.)
- 出力した帳票の期間と帳票を出力した日を表示します** (Shows the period of the output report and the date it was output.)
- タイトルを表示します (図は時間別帳票のタイトルを表示)** (Shows the title, with a note that the figure shows the title of the time-based report.)
- 「帳票設定」の「ユニット設定」で設定した部屋名称を表示します** (Shows the room name set in the 'Unit Setting' of the 'Report Setting').
- 「帳票設定」の「ユニット設定」で設定した機器名称を表示します** (Shows the device name set in the 'Unit Setting' of the 'Report Setting').
- 各ユニットの設定温度を表示します** (Shows the set temperature for each unit.)
- 各ユニットの庫内温度/外気温度/オプションセンサ/庫内湿度を表示します (図は庫内温度を表示)** (Shows the in-warehouse temperature/external temperature/option sensor/in-warehouse humidity for each unit, with a note that the figure shows the in-warehouse temperature.)

**お知らせ**

庫内温度/外気温度/オプションセンサ/庫内湿度シートに表示するユニットの表示順は、下記の①～④に従って決定します。

- ① 「帳票設定」の「ユニット設定」に表示されている部屋 ID の若い番号から順に上から表示します。
- ② 同一部屋 ID のユニットが存在する場合、グループ ID の若い順に上から表示します。
- ③ 同一グループ ID のユニットが存在する場合、接続先の優先度の高い順に上から表示します。  
優先度 高 AE-200 (または EW-50) > Exp1 > Exp2 > Exp3 > Exp4 低
- ④ 同一接続先のユニットが存在する場合、M-NET アドレスの若い順に上から表示します。

## (2) グラフシート

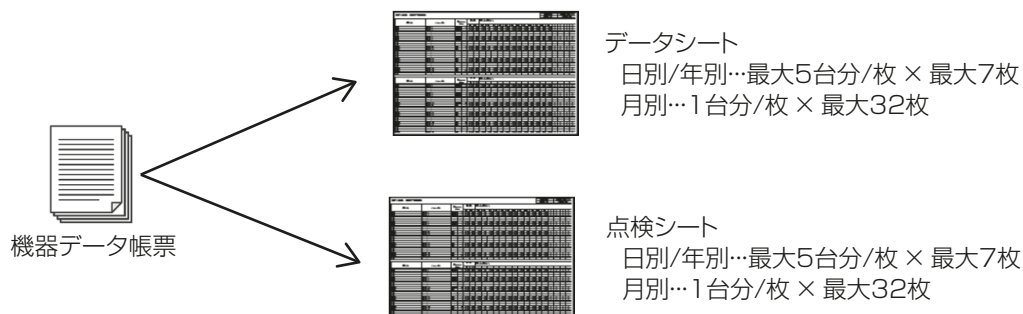
**お知らせ**

- 表示する値が温度のみ、または湿度のみ、もしくはその両方の場合によって、以下のようにグラフ表示が異なります。

温度	湿度	グラフ表示
あり	なし	左縦軸：温度 右縦軸：なし
なし	あり	左縦軸：湿度 右縦軸：なし
あり	あり	左縦軸：温度 右縦軸：湿度

## [2] 機器データ帳票

機器データ帳票は、データシートと点検シートの2種類のシートを出力します。



### お知らせ

- データシート (日別/年別) と点検シート (日別/年別) は、1枚のシートに最大5アドレス分のデータを出力します。  
AE-200Jシステム内にユニットが6台以上接続されている場合、2枚以上のシート (最大7枚) を出力します。
- データシート (月別) と点検シート (月別) は、1枚のシートに1アドレス分のデータを出力します。  
AE-200Jシステム内にユニットが2台以上接続されている場合、2枚以上のシート (最大32枚) を出力します。
- データシートと点検シートは、「機器データ帳票」⇒「帳票設定」⇒「ユニットの追加画面」の帳票表示のチェックボックスにチェックが入っているユニットをシートに出力し、AE-200システム内で一つもチェックが入っていない場合、シートを出力しません。

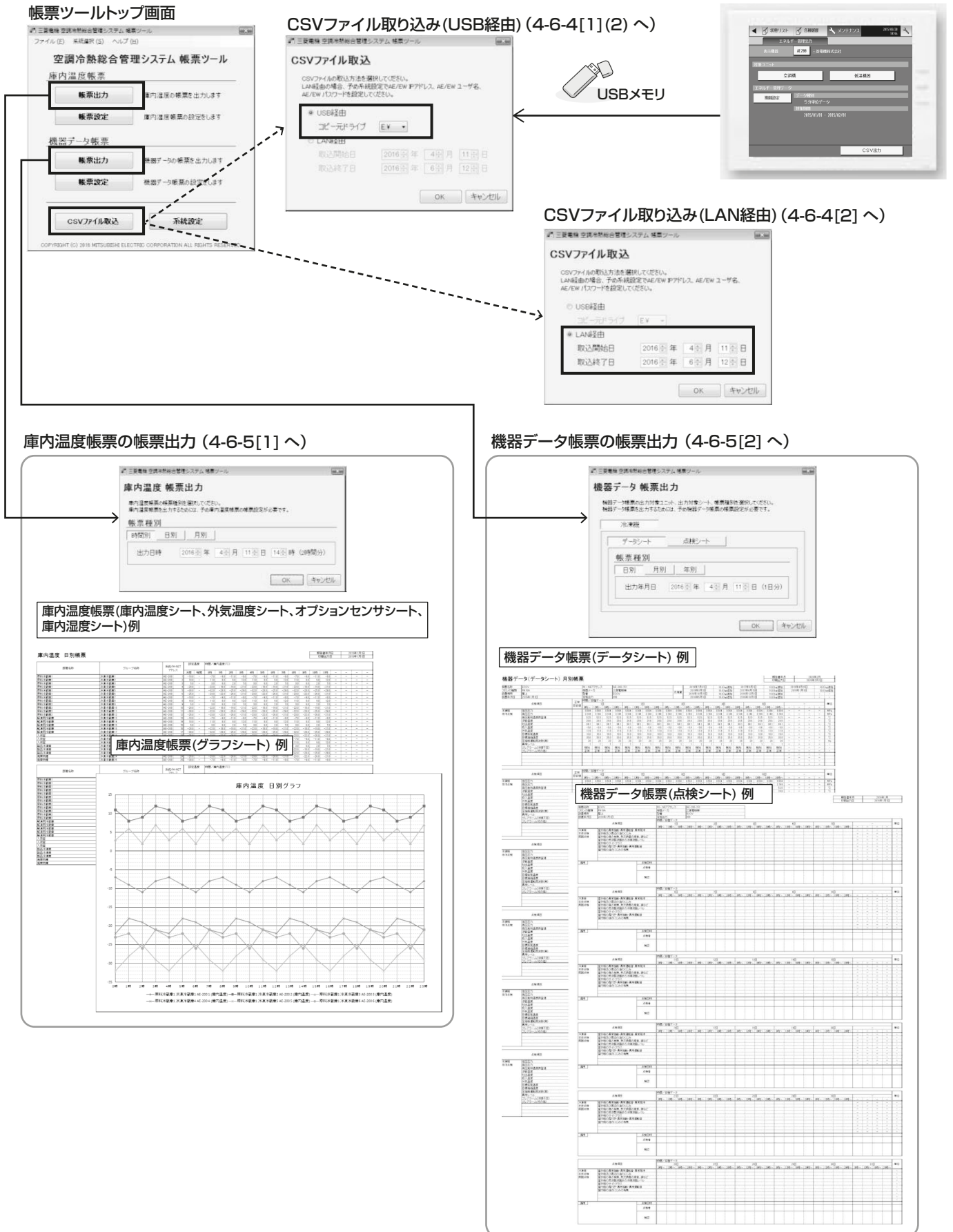
	項目	内容
データシート	高圧圧力	コンデンシングユニットの高圧圧力データ
	低圧圧力	コンデンシングユニットの低圧圧力データ
	高圧飽和温度	コンデンシングユニットの高圧飽和温度データ
	液管温度	コンデンシングユニットの液管温度データ
	吐出温度	コンデンシングユニットの吐出温度データ
	吸入温度	コンデンシングユニットの吸入温度データ
	外気温度	コンデンシングユニットの外気温度データ
	目標蒸発温度	コンデンシングユニットの目標蒸発温度データ
	目標凝縮温度	コンデンシングユニットの目標凝縮温度データ
	圧縮機運転周波数 (実)	コンデンシングユニットの圧縮機運転周波数 (実) データ
	異常レベル	指定出力間隔で、最も大きい異常レベル (数値)
	プレアラーム (冷媒不足)	プレアラーム (冷媒不足) 発生状況
	プレアラーム (その他)	プレアラーム (冷媒不足) 以外の発生状況
	冷媒充填年月日	冷媒を充填した年月日 (yy/mm/dd)
	冷媒充填量	冷媒を充填した量
	その他 (任意項目)	4つの任意項目について、「データシート設定画面」で任意で変更可能
点検シート	室外ユニットの異常振動・異常運転音・異常発停	「データシート設定画面」で任意で変更可能
	室外ユニット及び周辺の油のにじみ	「データシート設定画面」で任意で変更可能
	室外ユニットの傷の有無、熱交換器の腐食、錆など	「データシート設定画面」で任意で変更可能
	室外ユニットの受液器液面計の冷媒液面レベル	「データシート設定画面」で任意で変更可能
	室外ユニットのサイトグラス	「データシート設定画面」で任意で変更可能
	室内ユニットの霜付き・異常振動・異常運転音	「データシート設定画面」で任意で変更可能
	室内ユニットの油のにじみの有無	「データシート設定画面」で任意で変更可能
	その他 (任意項目)	「データシート設定画面」で任意で変更可能



### 4-6-3. 帳票出力の通常操作の流れ

初めてご使用になる場合は、必ず初期設定を実施してください。  
 ([4-6-6. 初期設定方法] 参照)

(4-6-4[1](1)へ)





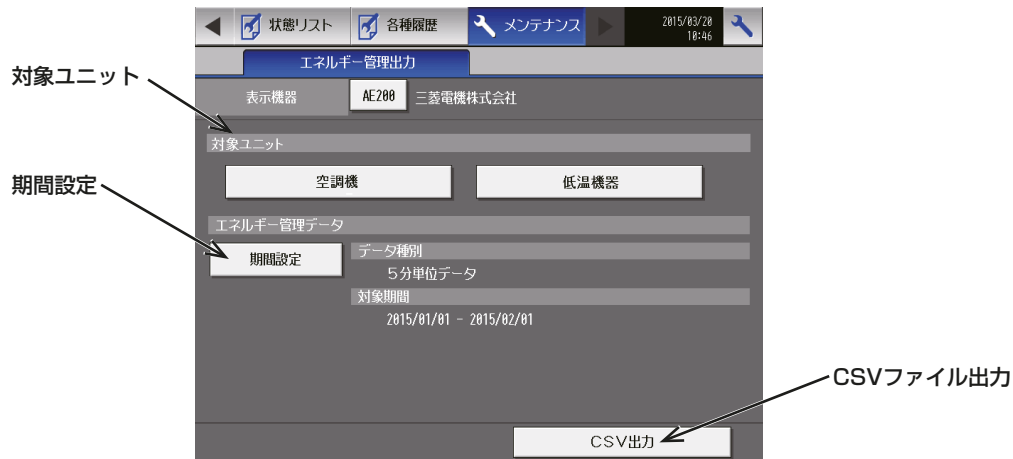
## 4-6-4. CSV ファイルの取り込み

### [1] USB 経由の CSV ファイルの取り込み手順

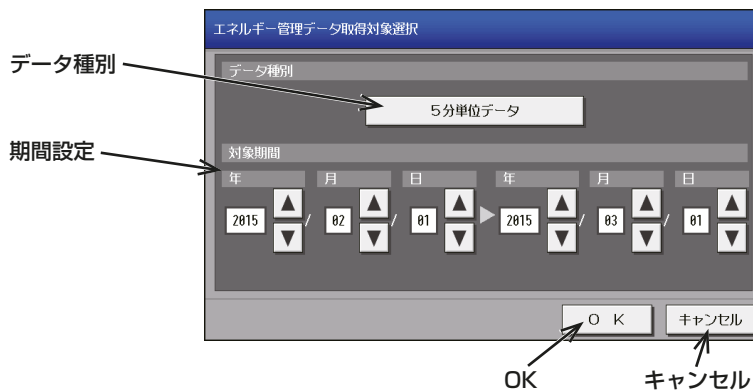
#### (1) CSV ファイルの出力手順

##### 手順

1. AE-200J 本体のメニューの [メンテナンス] - [エネルギー管理出力] をタッチする。  
「エネルギー管理出力」画面を表示します。



2. USB メモリ差込口に USB メモリを挿す。
3. [対象ユニット] を選択し、[期間設定] をタッチする。  
「エネルギー管理データ取得対象選択」画面を表示します。



##### お知らせ

- 除湿機のエネルギー管理出力を行う場合は [対象ユニット] で低温機器を選択してください。
4. データ種別 [5分単位データ] または [30分単位データ] を選択する。  
データ種別ボタンをタッチするごとに、[5分単位データ]、[30分単位データ]、[1日単位データ]、[1ヶ月単位データ]、[1年単位データ]、の順に切り替わります。

##### お知らせ

- 除湿機を含む低温機器に関する 1日単位、1ヶ月単位、1年単位の運転データ CSV ファイルは出力されません。
  - 庫内温度帳票では、(ハイ)クオリティコントローラ/空調機/除湿機の5分単位データ、機器データ帳票ではコンデンシングユニットの30分単位データを使用します。
5. データを取得する期間を指定する。  
[▲] または [▼] をタッチするごとに、数字が1ずつ増減します。

##### お知らせ

- 日付は、[初期設定] - [ユニット情報] で設定された形式で表示されます。
- 既に帳票ツールに取り込み済みの日付でも、帳票ツールは取り込むことができます。  
例：毎月、最大期間の2ヶ月を指定し、帳票ツールに取り込むことができます。

6. [OK] をタッチする。  
「エネルギー管理出力」画面に戻ります。
7. [CSV出力] をタッチする。

**お知らせ**

- USBメモリへ書き込んでいる間は、USBメモリを抜き差ししないでください。
- USBメモリを短い時間で抜き差しした場合、本体がUSBメモリを認識しなくなる場合があります。その場合、本体をリセットする必要があります。
- データ書き込み異常が発生した後、別のUSBメモリに交換しても正常に書き込めないような場合は、AE-200Jを再起動(電源切→入)してから最初に異常発生したもの以外のUSBメモリの確認を改めて行ってください。

USBメモリの以下の場所に、CSVファイルが出力されます。

■ファイル出力先

USBメモリのルートフォルダに

¥(AE-200Jの製造番号)¥OperationalData¥AE¥EnergyManagementRef¥(日付)

のフォルダが作成され、このフォルダ内にCSVファイルが出力されます。

空調機、計量用計測コントローラ、環境用計測コントローラが接続されている場合や、計量用パルス入力を使用している場合は、それらに関するデータが出力されます。詳細は、AE-200J本体の取扱説明書を参照してください。

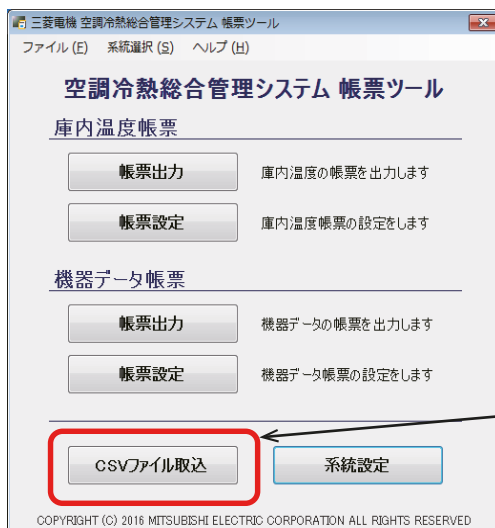
**お知らせ**

- 日付は、[初期設定]—[ユニット情報]で設定された形式で表示されます。

## (2) CSVファイルの取り込み手順

**手順**

1. パソコンにUSBメモリを接続する。
2. 帳票ツールの[CSVファイル取込]をクリックする。

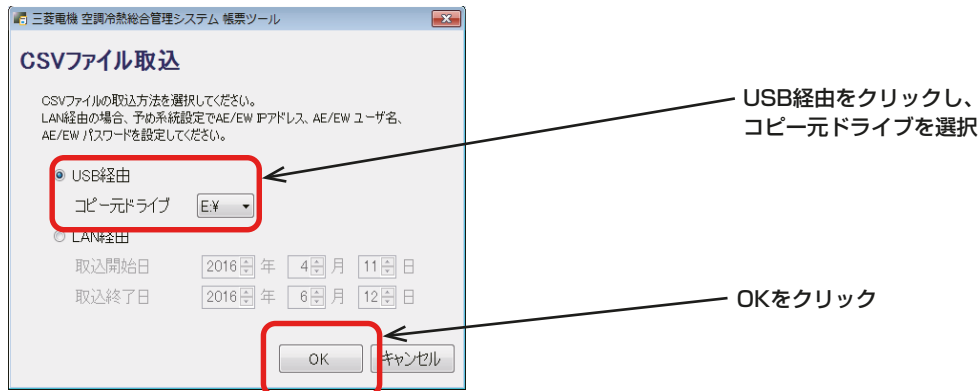


[CSVファイル取込]をクリック



## 3. USBメモリを接続したドライブを選択し、[OK] をクリックする。

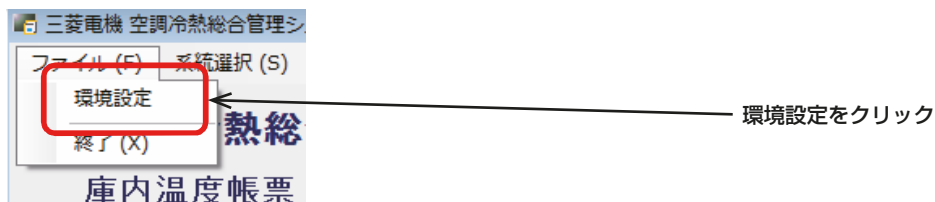
Windows がインストールされているドライブ (例: C ドライブ) に  
 C:\ReportTool\Data\ (AE-200J の製造番号) \OperationalData\EnergyManagementRef\AE\ (日付)  
 のフォルダが作成され、このフォルダ内に USB メモリの CSV ファイルが保存されます。

**お知らせ**

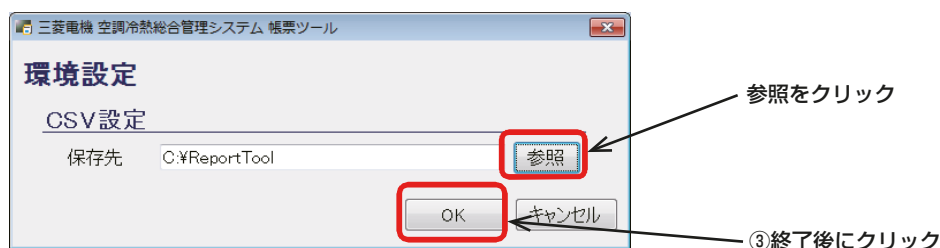
- 系統設定で AE-200J/AE-50J/EW-50J の製造番号が正しく入力されていない場合、警告メッセージが表示されます。  
 [系統設定] をクリックし、正しい製造番号を入力してください。
- CSV ファイルが保存されるフォルダの構成は変更しないでください。
- CSV ファイル保存先を変更したい場合は下記の<環境設定の手順>を実施してください(デフォルトの保存先は「C:\ReportTool」です)。
- CSV ファイルの保存先は、USB メモリ経由・LAN 経由で共通です。

## &lt;環境設定の手順&gt;

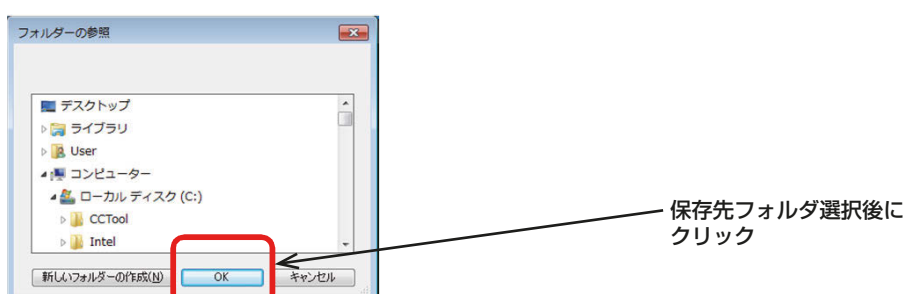
- ① ツールバーのファイル (F) → [環境設定] をクリックする。



- ② 現在の CSV ファイルの保存先が表示されたら [参照] をクリックしフォルダの参照ダイアログを表示する。



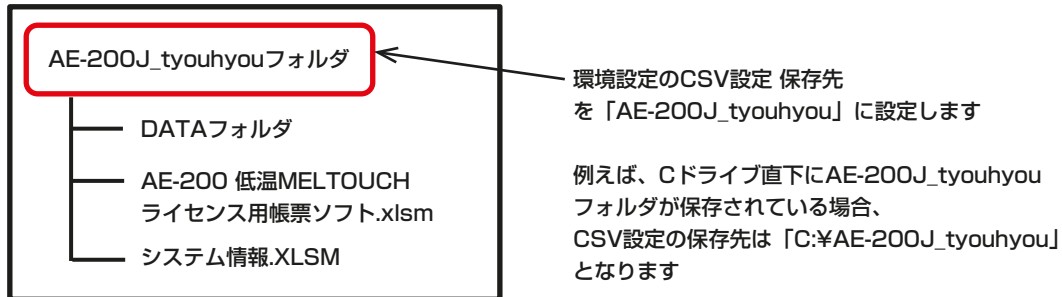
- ③ 保存先フォルダを選択して OK をクリックする (保存先フォルダは USB メモリ経由・LAN 経由で共通です)。



**お知らせ**

- 設定した内容は保存され、即時に適用されます。
- AE-200 低温 MELTOUCH ライセンス用帳票ツール (Ver.1.0/1.1) を使用している方で、過去に取り込んだ CSV ファイルを本ツールで使用する場合、環境設定の CSV 設定 保存先を帳票ツール (Ver.1.0/1.1) が保存されているフォルダに指定してください。  
※帳票ツール (Ver.1.0/1.1) の設定内容は引き継ぎません。本ツールの系統設定画面から再度初期設定を実施してください。

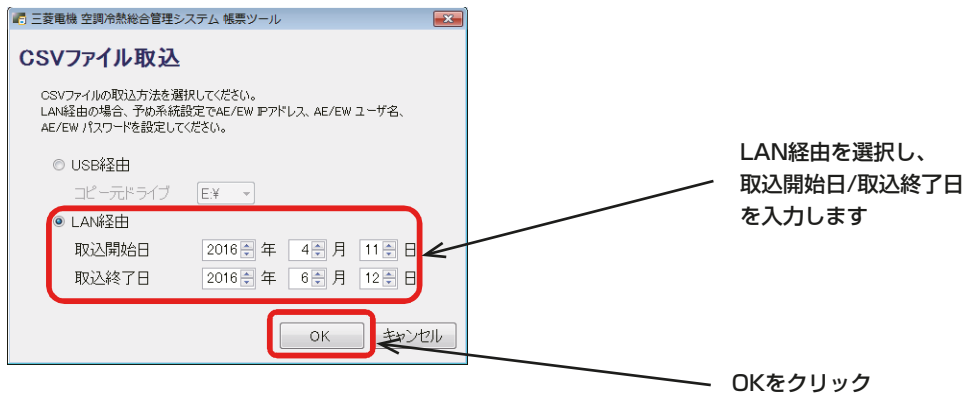
AE-200 低温 MELTOUCH ライセンス用帳票ツール (Ver.1.0/1.1)



**[2] LAN 経由の CSV ファイルの取り込み手順**

**手順**

1. パソコンと AE-200J/AE-50J/EW-50J を LAN ケーブルで接続する。
2. 帳票ツールの **[CSV ファイル取込]** をクリックする。
3. **[LAN 経由]** をクリックして選択する。



4. 取込開始日 / 取込終了日を入力して、**[OK]** をクリックする。

**お知らせ**

- AE-200J/AE-50J/EW-50J から取得できる CSV ファイルは最大 62 日分です。
- 系統設定で AE-200J/AE-50J/EW-50J の製造番号 / IP アドレス / ユーザー名 / パスワードが正しく入力されていない場合、警告メッセージが表示されます。**[系統設定]** から再度入力してください。
- CSV ファイルの保存先を変更したい場合は <環境設定の手順> を参照してください (デフォルトの保存先は「C:¥ReportTool」です)。
- CSV ファイルの保存先は、USB メモリ経由・LAN 経由で共通です。

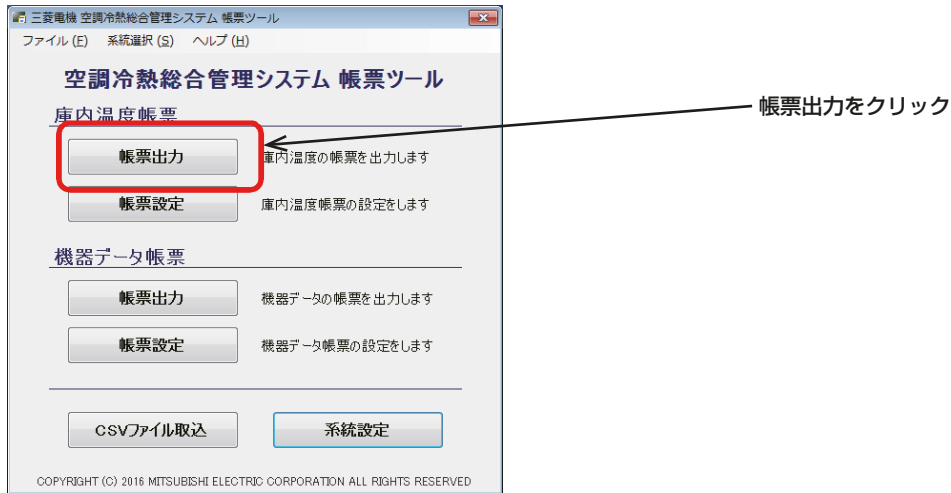
## 4-6-5. 帳票出力方法

### [1] 庫内温度帳票の出力手順

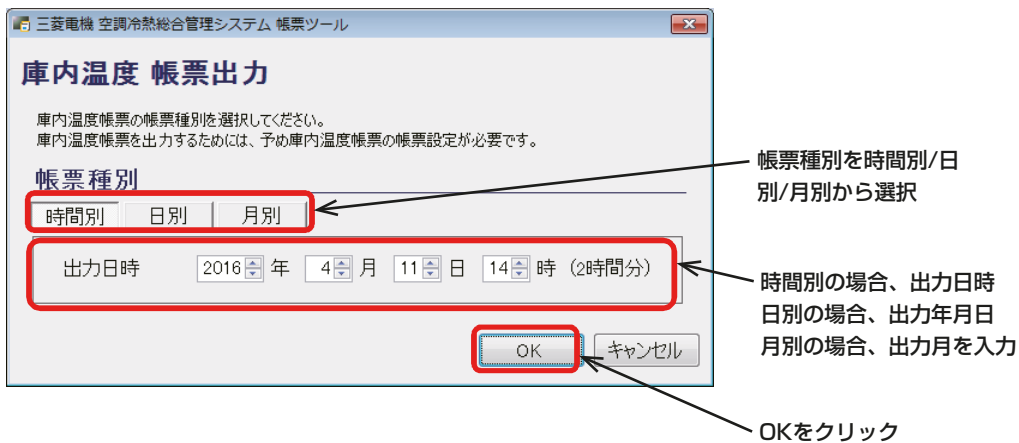
庫内温度帳票を出力するときは、下記手順に従い実施してください。

#### 手順

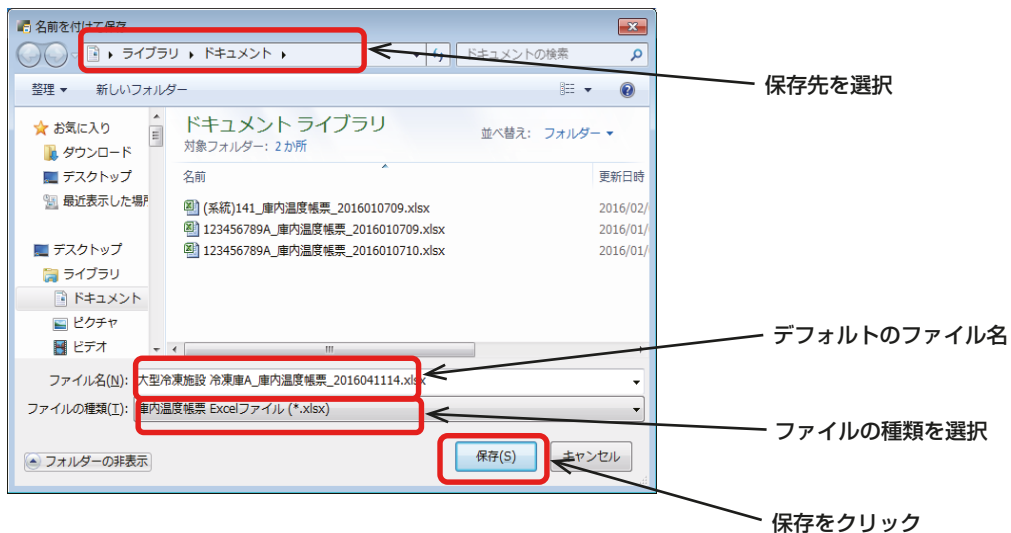
1. 帳票ツールの庫内温度帳票の[帳票出力]をクリックする。



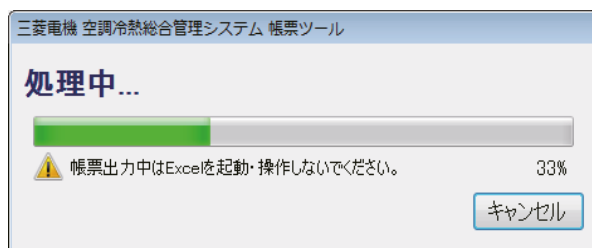
2. 帳票種別を時間別/日別/月別から選ぶ。
3. 出力開始年月日を入力し、[OK]をクリックする。




4. 名前を付けて保存ダイアログが表示されたらファイル名を入力する。
5. ファイルの種類をxlsxとpdfから選択し、[保存]をクリックする。



実行中は下記表示となります。



### お知らせ

- 出力開始月日時が正しく入力されていない場合、警告アイコンと警告メッセージが表示されます。警告に従い再度入力を行ってください。
6. ファイル出力後、帳票ツールの画面の右上の【】ボタンを押す。  
帳票ツールが終了します。  
出力した庫内温度の帳票(時間別/日別/月別)とグラフ(時間別/日別/月別)のサンプルを次ページに示します。











4. 使用方法 (応用)

庫内湿度帳票の出力例

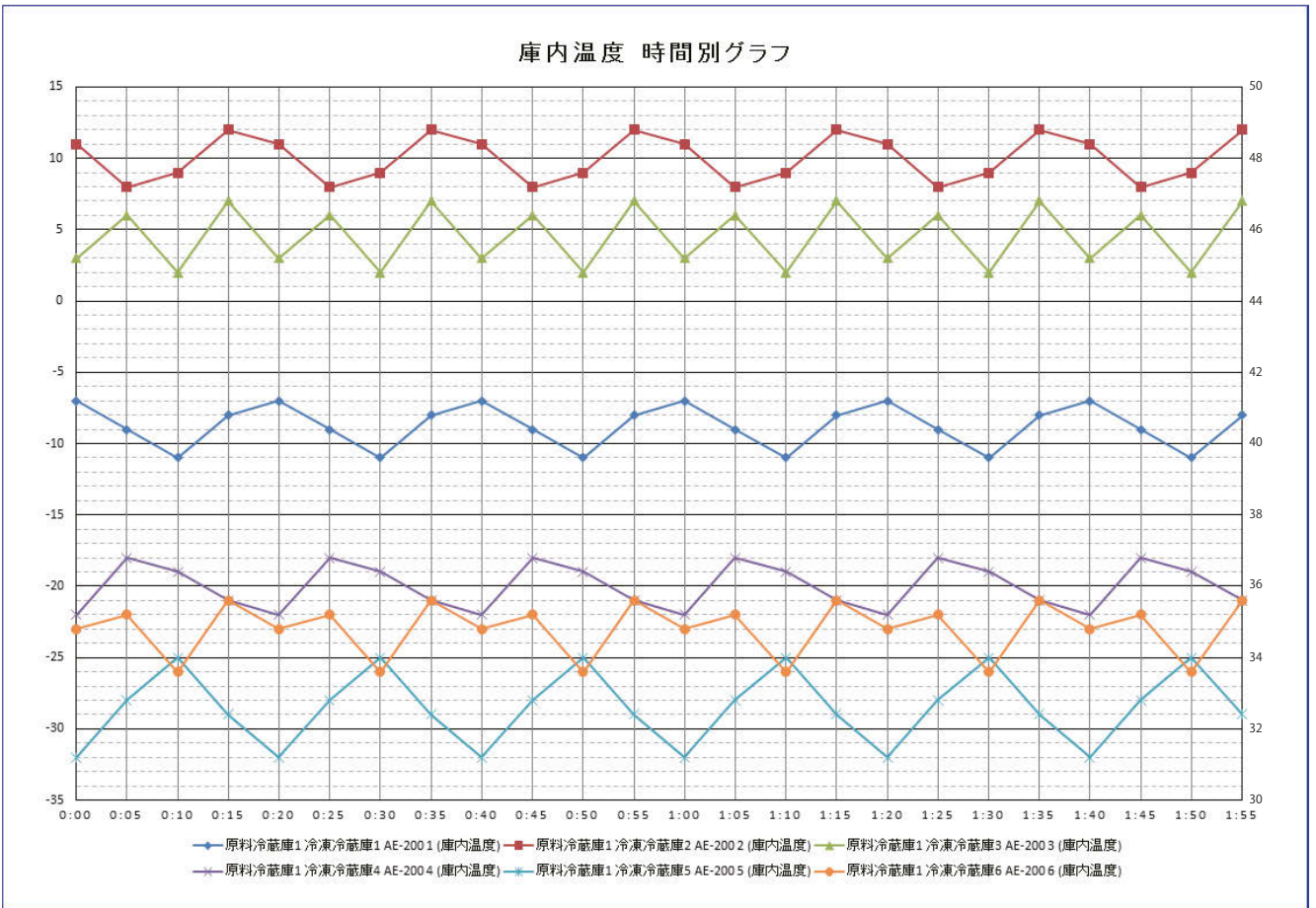
(1) 時間別帳票

庫内湿度 時間別帳票

報告書日時 2018年12月1日 0時~  
印刷出力日 2018年12月28日

部屋名称	グループ名称	系統/MHET アドレス	設定温度 設定湿度	時間/庫内温度(%) 庫内温度(°C)																	
				0:00	0:05	0:10	0:15	0:20	0:25	0:30	0:35	0:40	0:45	0:50	0:55	-	-	-	-		
部屋1	除湿機1	AE-200	40.0 % -10.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-	-
部屋2	除湿機2	AE-200	35.0 % 10.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	-	-	-	-
部屋3	除湿機3	AE-200	35.0 % 5.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	-	-	-	-
部屋4	除湿機4	AE-200	40.0 % -20.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-	-
部屋5	除湿機5	AE-200	40.0 % -30.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-	-
部屋6	除湿機6	AE-200	40.0 % -25.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	-	-	-	-
部屋7	除湿機7	AE-200	30.0 % -10.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	-	-	-	-
部屋8	除湿機8	AE-200	10.0 % 10.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	-	-	-	-
部屋9	除湿機9	AE-200	30.0 % 5.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	-	-	-	-
部屋10	除湿機10	AE-200	30.0 % -20.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	-	-	-	-

部屋名称	グループ名称	系統/MHET アドレス	設定温度 設定湿度	時間/庫内温度(%) 庫内温度(°C)																	
				1:00	1:05	1:10	1:15	1:20	1:25	1:30	1:35	1:40	1:45	1:50	1:55	-	-	-	-		
部屋1	除湿機1	AE-200	40.0 % -10.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-	-
部屋2	除湿機2	AE-200	35.0 % 10.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	-	-	-	-
部屋3	除湿機3	AE-200	35.0 % 5.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	-	-	-	-
部屋4	除湿機4	AE-200	40.0 % -20.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-	-
部屋5	除湿機5	AE-200	40.0 % -30.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-	-
部屋6	除湿機6	AE-200	40.0 % -25.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	-	-	-	-
部屋7	除湿機7	AE-200	30.0 % -10.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	-	-	-	-
部屋8	除湿機8	AE-200	10.0 % 10.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	-	-	-	-
部屋9	除湿機9	AE-200	30.0 % 5.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	-	-	-	-
部屋10	除湿機10	AE-200	30.0 % -20.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	-	-	-	-





(2) 日別帳票

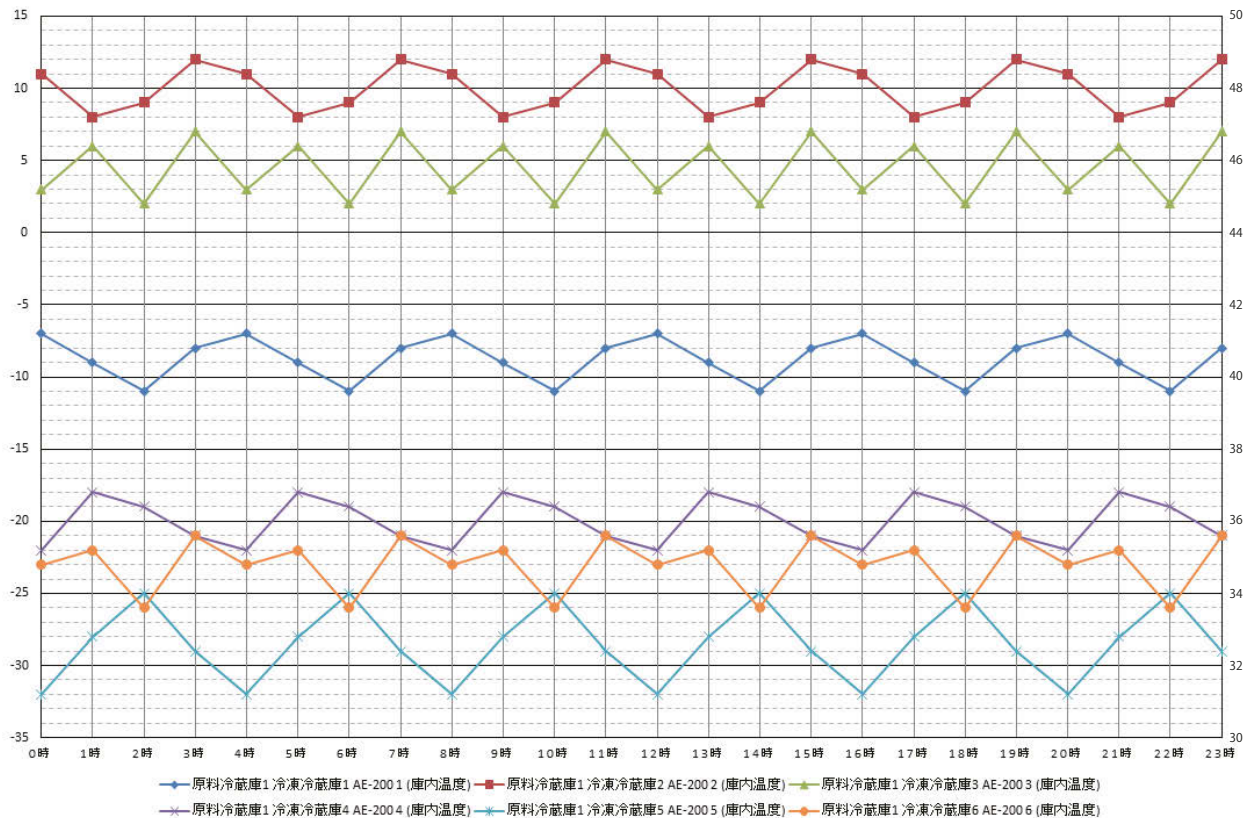
庫内温度 日別帳票

報告書年月日 2018年12月1日  
印刷出力日 2018年12月28日

部屋名称	グループ名称	系統/MHET アドレシ	設定温度 設定温度	時間/庫内温度(%)														
				庫内温度(°C)														
				0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	-	-	-
部屋1	除濕機1	AE-200	40.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-
			-10.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-	-	-
部屋2	除濕機2	AE-200	35.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	-	-	-
			10.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	-	-	-
部屋3	除濕機3	AE-200	35.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	-	-	-
			5.0	3.0	6.0	2.0	7.0	3.0	6.0	2.0	7.0	3.0	6.0	2.0	7.0	-	-	-
部屋4	除濕機4	AE-200	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	-	-	-
			-20.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-	-	-
部屋5	除濕機5	AE-200	40.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-
			-30.0	-32.0	-28.0	-29.0	-32.0	-28.0	-29.0	-32.0	-28.0	-29.0	-32.0	-28.0	-29.0	-	-	-
部屋6	除濕機6	AE-200	40.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	-	-	-
			-25.0	-23.0	-22.0	-26.0	-21.0	-23.0	-22.0	-26.0	-21.0	-23.0	-22.0	-26.0	-21.0	-	-	-
部屋7	除濕機7	AE-200	30.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	-	-	-
			-10.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-	-	-
部屋8	除濕機8	AE-200	30.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	-	-	-
			10.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	-	-	-
部屋9	除濕機9	AE-200	30.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	-	-	-
			5.0	3.0	6.0	2.0	7.0	3.0	6.0	2.0	7.0	3.0	6.0	2.0	7.0	-	-	-
部屋10	除濕機10	AE-200	0.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	-	-	-
			-20.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-	-	-

部屋名称	グループ名称	系統/MHET アドレシ	設定温度 設定温度	時間/庫内温度(%)														
				庫内温度(°C)														
				12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	-	-	-
部屋1	除濕機1	AE-200	40.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-
			-10.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-	-	-
部屋2	除濕機2	AE-200	35.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	-	-	-
			10.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	-	-	-
部屋3	除濕機3	AE-200	35.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	-	-	-
			5.0	3.0	6.0	2.0	7.0	3.0	6.0	2.0	7.0	3.0	6.0	2.0	7.0	-	-	-
部屋4	除濕機4	AE-200	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	-	-	-
			-20.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-	-	-
部屋5	除濕機5	AE-200	40.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	-	-	-
			-30.0	-32.0	-28.0	-29.0	-32.0	-28.0	-29.0	-32.0	-28.0	-29.0	-32.0	-28.0	-29.0	-	-	-
部屋6	除濕機6	AE-200	40.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	-	-	-
			-25.0	-23.0	-22.0	-26.0	-21.0	-23.0	-22.0	-26.0	-21.0	-23.0	-22.0	-26.0	-21.0	-	-	-
部屋7	除濕機7	AE-200	30.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	-	-	-
			-10.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-7.0	-9.0	-11.0	-8.0	-	-	-
部屋8	除濕機8	AE-200	30.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	-	-	-
			10.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	11.0	8.0	9.0	12.0	-	-	-
部屋9	除濕機9	AE-200	30.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	-	-	-
			5.0	3.0	6.0	2.0	7.0	3.0	6.0	2.0	7.0	3.0	6.0	2.0	7.0	-	-	-
部屋10	除濕機10	AE-200	0.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	-	-	-
			-20.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-22.0	-18.0	-19.0	-21.0	-	-	-

庫内温度 日別グラフ



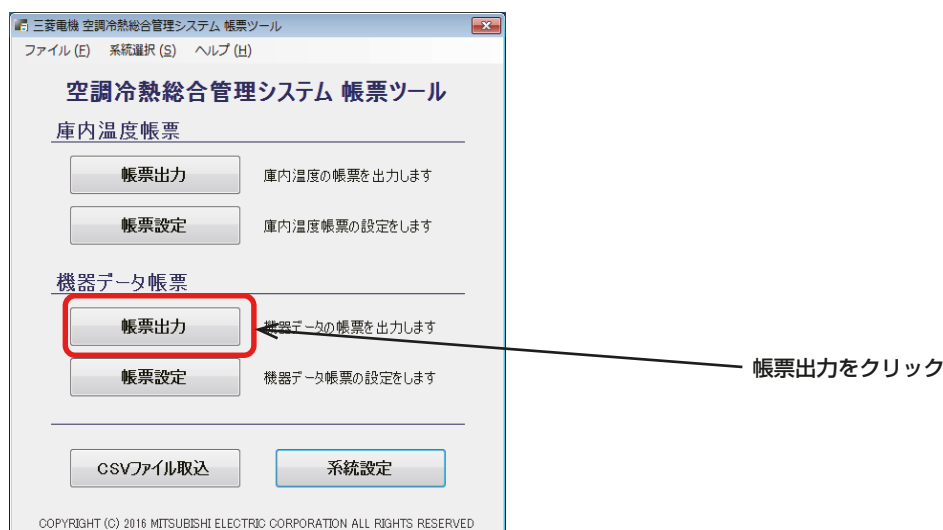


## [2] 機器データ帳票の出力手順

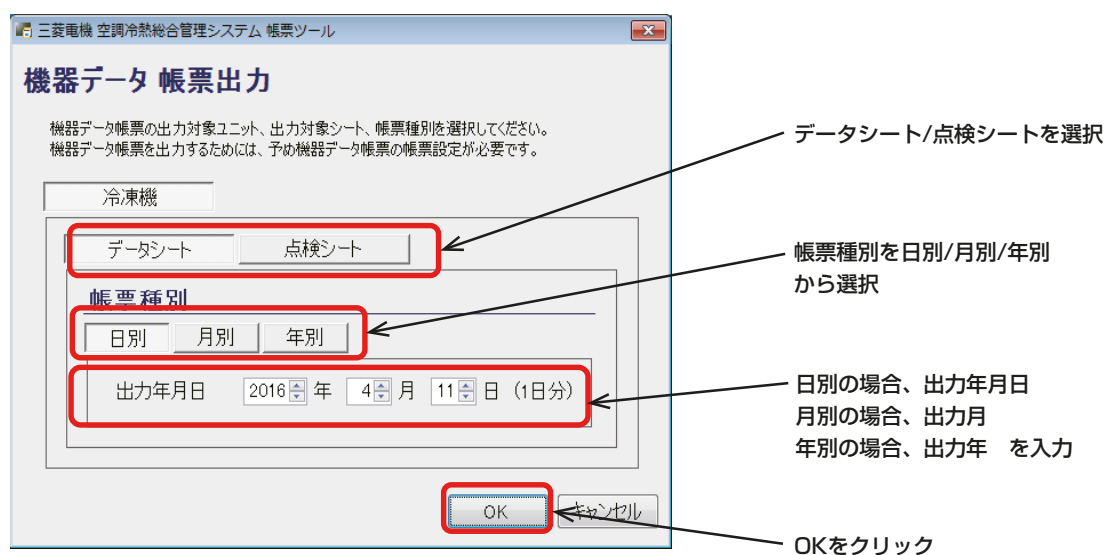
機器データ帳票を出力するときは、下記手順に従い実施してください。

### 手順

1. 帳票ツールの機器データ帳票の[帳票出力]をクリックする。



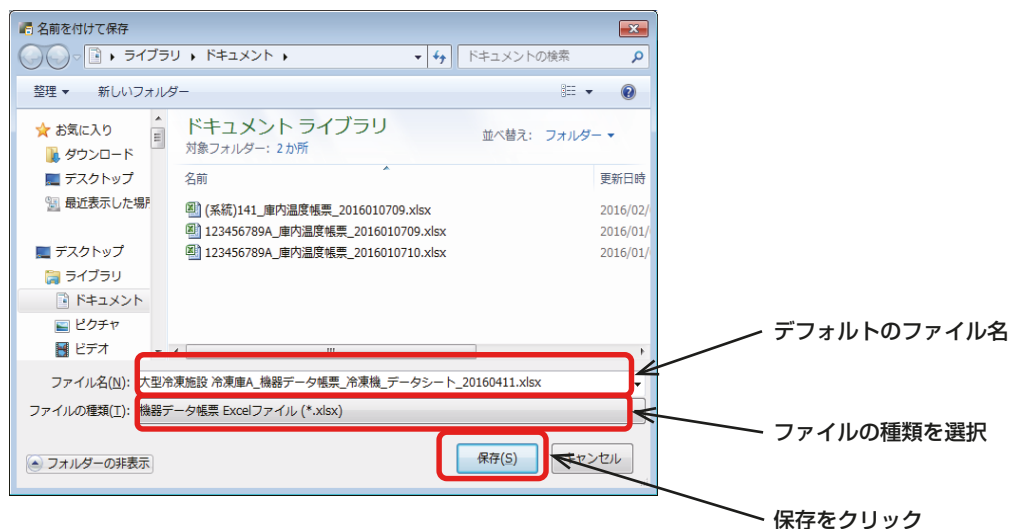
2. シートの種類と帳票種別を選ぶ。
3. 出力開始年月日を入力する。



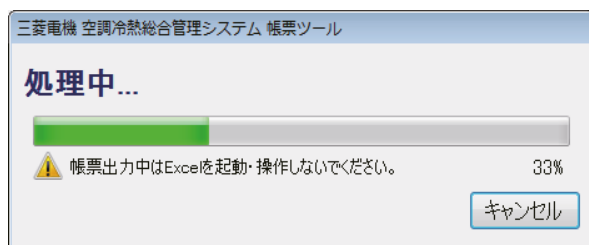
4. [OK] をクリックする。  
名前を付けて保存ダイアログが表示します。

## 4. 使用方法 (応用)


### 5. ファイル名を入力、ファイルの種類をxlsx と pdf から選択し、[保存] をクリックする。



実行中は下記表示となります。



#### お知らせ

- 出力開始年月日が正しく入力されていない場合、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従い再度入力を行ってください。
6. ファイル出力後、帳票ツールの画面の右上の [  ] ボタンを押す。  
帳票ツールが終了します。  
出力した機器データの帳票 (日別/月別/年別) とグラフ (日別/月別/年別) のサンプルを次ページに示します。





# 4. 使用方法 (応用)

## (2) 日別帳票 (点検シート)

機器データ(点検シート) 日別帳票

報告書年月日	2016年1月1日
印刷出力日	2016年1月1日

機器名称 ECOV フロンの種類 R410A 設置場所 屋上 設置年月日 2016年1月1日		M-NETアドレス AE-200-151 機器メーカー 三菱電機㈱ 型番 ECOV 定格出力 999																									
点検項目																											
時間/各種データ																											
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	単位	
本件点検	室外機及び周辺の油のこしみ																										-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など																										-
	室外機の受油器液面計の冷媒液面レベル																										-
	室外機のサイトグラス																										-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音																										-
	室内機の油のこしみの有無																										-
備考		点検日時																									
		点検者																									
		検認																									

機器名称 ECOV フロンの種類 R410A 設置場所 屋上 設置年月日 2016年1月1日		M-NETアドレス AE-200-152 機器メーカー 三菱電機㈱ 型番 ECOV 定格出力 999																									
点検項目																											
時間/各種データ																											
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	単位	
本件点検	室外機及び周辺の油のこしみ																										-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など																										-
	室外機の受油器液面計の冷媒液面レベル																										-
	室外機のサイトグラス																										-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音																										-
	室内機の油のこしみの有無																										-
備考		点検日時																									
		点検者																									
		検認																									

機器名称 ECOV フロンの種類 R410A 設置場所 屋上 設置年月日 2016年1月1日		M-NETアドレス AE-200-153 機器メーカー 三菱電機㈱ 型番 ECOV 定格出力 999																									
点検項目																											
時間/各種データ																											
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	単位	
本件点検	室外機及び周辺の油のこしみ																										-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など																										-
	室外機の受油器液面計の冷媒液面レベル																										-
	室外機のサイトグラス																										-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音																										-
	室内機の油のこしみの有無																										-
備考		点検日時																									
		点検者																									
		検認																									

機器名称 ECOV フロンの種類 R410A 設置場所 屋上 設置年月日 2016年1月1日		M-NETアドレス AE-200-154 機器メーカー 三菱電機㈱ 型番 ECOV 定格出力 999																									
点検項目																											
時間/各種データ																											
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	単位	
本件点検	室外機及び周辺の油のこしみ																										-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など																										-
	室外機の受油器液面計の冷媒液面レベル																										-
	室外機のサイトグラス																										-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音																										-
	室内機の油のこしみの有無																										-
備考		点検日時																									
		点検者																									
		検認																									

機器名称 ECOV フロンの種類 R410A 設置場所 屋上 設置年月日 2016年1月1日		M-NETアドレス AE-200-155 機器メーカー 三菱電機㈱ 型番 ECOV 定格出力 999																									
点検項目																											
時間/各種データ																											
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	単位	
本件点検	室外機及び周辺の油のこしみ																										-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など																										-
	室外機の受油器液面計の冷媒液面レベル																										-
	室外機のサイトグラス																										-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音																										-
	室内機の油のこしみの有無																										-
備考		点検日時																									
		点検者																									
		検認																									



4. 使用方法 (応用)

(4) 月別帳票 (点検シート)

機器データ(点検シート) 月別帳票

報告書年月 印刷出力日	2016年1月 2016年1月1日
----------------	----------------------

機器名称	ECCOV	M-NETアドレス	AE-200-151
制御台数	R410A	機器メーカー	三菱電機
設置場所	屋上	型番	ECCOV
設置年月日	2016年1月1日	定格出力	999

点検項目	時間/各種データ												単位						
	1日			2日			3日			4日				5日					
	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機の受流器液面計の冷凍液面レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機のサイトグラス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の油のこしみの有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

備考	点検日時	
	点検者	
	検認	

点検項目	時間/各種データ												単位						
	6日			7日			8日			9日				10日					
	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機の受流器液面計の冷凍液面レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機のサイトグラス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の油のこしみの有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

備考	点検日時	
	点検者	
	検認	

点検項目	時間/各種データ												単位						
	11日			12日			13日			14日				15日					
	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機の受流器液面計の冷凍液面レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機のサイトグラス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の油のこしみの有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

備考	点検日時	
	点検者	
	検認	

点検項目	時間/各種データ												単位						
	16日			17日			18日			19日				20日					
	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機の受流器液面計の冷凍液面レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機のサイトグラス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の油のこしみの有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

備考	点検日時	
	点検者	
	検認	

点検項目	時間/各種データ												単位						
	21日			22日			23日			24日				25日					
	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機の受流器液面計の冷凍液面レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機のサイトグラス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の油のこしみの有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

備考	点検日時	
	点検者	
	検認	

点検項目	時間/各種データ												単位						
	26日			27日			28日			29日				30日			31日		
	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	08時~	12時~	16時~	
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
周囲点検	室外機の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機の受流器液面計の冷凍液面レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室外機のサイトグラス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	室内機の油のこしみの有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

備考	点検日時	
	点検者	
	検認	





4. 使用方法 (応用)

(6) 年別帳票 (点検シート)

機器データ(点検シート) 年別帳票

報告書年	2016年
印刷出力日	2016年1月1日

機器名称	ECOV	M-NETアドレス	AE-200-151
フロアの種別	R410A	機器メーカー	三菱電機㈱
設置場所	屋上	型番	ECOV
設置年月日	2016年1月1日	定格出力	999

点検項目	時間/各種データ												単位			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停															-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ															-
周囲点検	室外機の風の有無、熱交換器の腐食、錆など															-
	室外機の受液器液面計の冷媒液面レベル															-
	室外機のサイトグラス															-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音															-
	室内機の油のこしみの有無															-
備考	点検日時															
	点検者															
	検認															

機器名称	ECOV	M-NETアドレス	AE-200-152
フロアの種別	R410A	機器メーカー	三菱電機㈱
設置場所	屋上	型番	ECOV
設置年月日	2016年1月1日	定格出力	999

点検項目	時間/各種データ												単位			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停															-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ															-
周囲点検	室外機の風の有無、熱交換器の腐食、錆など															-
	室外機の受液器液面計の冷媒液面レベル															-
	室外機のサイトグラス															-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音															-
	室内機の油のこしみの有無															-
備考	点検日時															
	点検者															
	検認															

機器名称	ECOV	M-NETアドレス	AE-200-153
フロアの種別	R410A	機器メーカー	三菱電機㈱
設置場所	屋上	型番	ECOV
設置年月日	2016年1月1日	定格出力	999

点検項目	時間/各種データ												単位			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停															-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ															-
周囲点検	室外機の風の有無、熱交換器の腐食、錆など															-
	室外機の受液器液面計の冷媒液面レベル															-
	室外機のサイトグラス															-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音															-
	室内機の油のこしみの有無															-
備考	点検日時															
	点検者															
	検認															

機器名称	ECOV	M-NETアドレス	AE-200-154
フロアの種別	R410A	機器メーカー	三菱電機㈱
設置場所	屋上	型番	ECOV
設置年月日	2016年1月1日	定格出力	999

点検項目	時間/各種データ												単位			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停															-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ															-
周囲点検	室外機の風の有無、熱交換器の腐食、錆など															-
	室外機の受液器液面計の冷媒液面レベル															-
	室外機のサイトグラス															-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音															-
	室内機の油のこしみの有無															-
備考	点検日時															
	点検者															
	検認															

機器名称	ECOV	M-NETアドレス	AE-200-155
フロアの種別	R410A	機器メーカー	三菱電機㈱
設置場所	屋上	型番	ECOV
設置年月日	2016年1月1日	定格出力	999

点検項目	時間/各種データ												単位			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
冷凍機	室外機の異常振動・異常運転音・異常発停															-
本体点検	室外機及び周辺の油のこしみ															-
周囲点検	室外機の風の有無、熱交換器の腐食、錆など															-
	室外機の受液器液面計の冷媒液面レベル															-
	室外機のサイトグラス															-
	室内機の霜付き・異常振動・異常運転音															-
	室内機の油のこしみの有無															-
備考	点検日時															
	点検者															
	検認															

**お知らせ**

- ・ ユニット設定で「停止時のデータ」を「集計しない」としたときは、運転停止時のデータを各種データの集計に使用しません。また運転停止が行われた時間帯は空白となる場合があります。

## 4-6-6. 初期設定方法

### [1] 概要

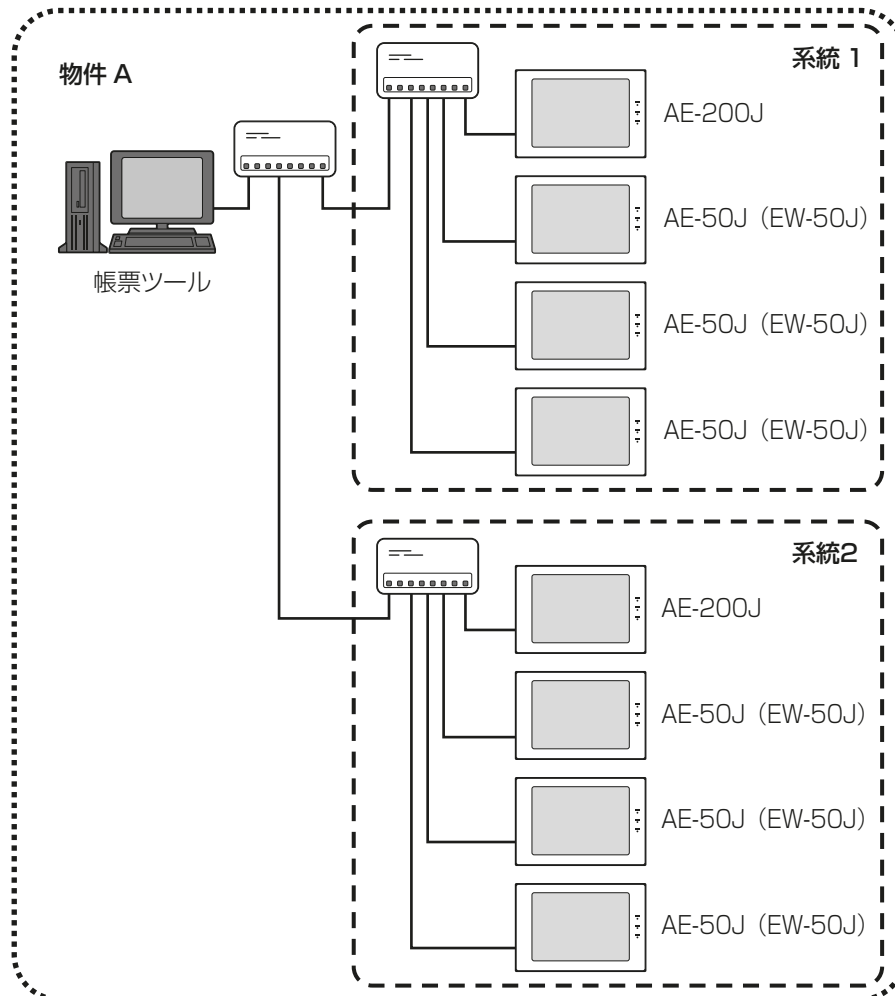
帳票を出力するための準備として、帳票ツールを起動し、帳票ツールの設定（系統設定、庫内温度帳票の帳票設定、機器データ帳票の帳票設定）を実施します。

初回起動時は必ず実施してください。2回目以降からは前回の設定内容を保持します。

帳票ツールは、1つのAE-200Jシステムを1つの系統とし、系統単位で初期設定と帳票出力を行います。

例えば、下記の物件Aの場合、物件内に系統1と系統2の2つの系統が存在するため、帳票ツールでは、2つの系統を設定する必要があります。

また、帳票ツールに設定した系統は、「系統選択(S)」で変更することができます。



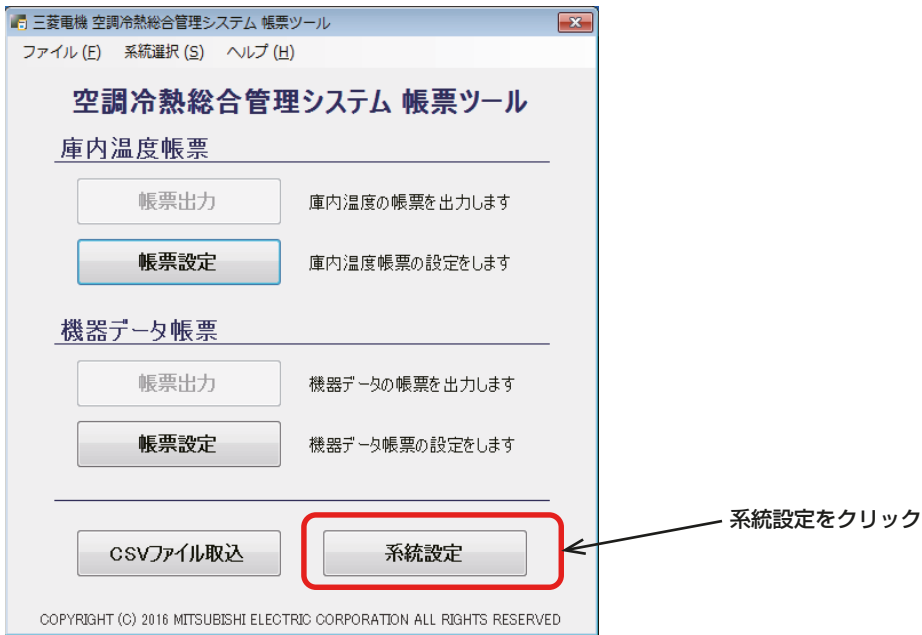
### お知らせ

- 帳票ツールをご使用になる場合は、パソコンの設定は下記としてください。  
下記以外の設定にすると、正しく表示されない場合があります。  
「コントロールパネル」→「ディスプレイ設定」→「画面上の文字を読みやすくします」  
[小 - 100% (既定) (S)]

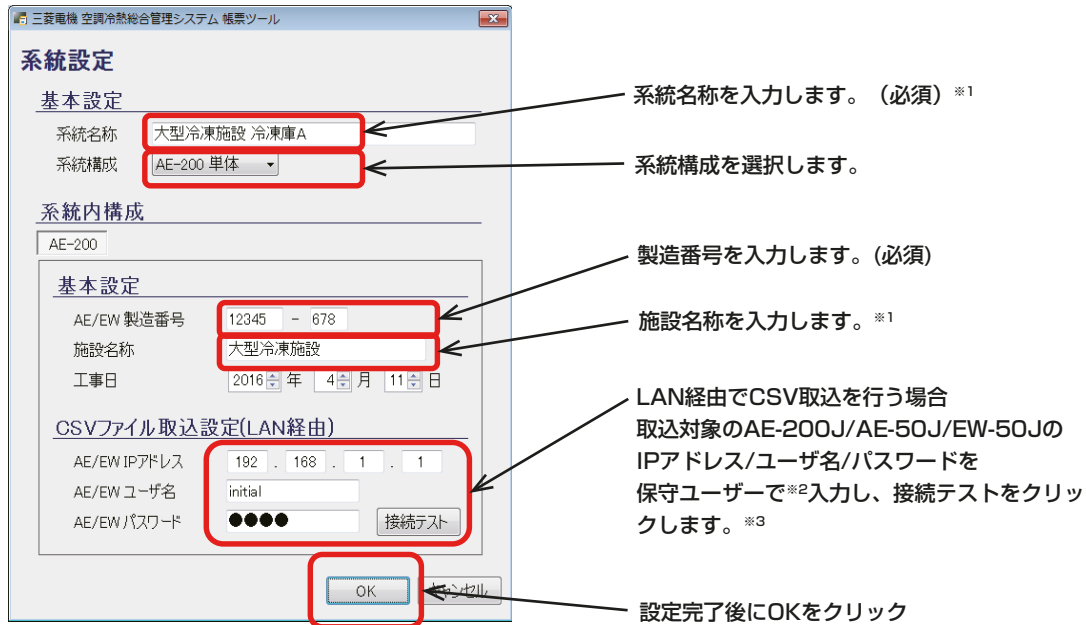
## [2] 系統設定

### 手順

1. [系統設定] をクリックする。



2. 各情報を入力完了後に、[OK] をクリックする。

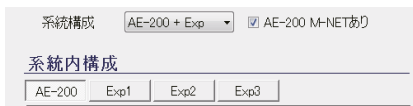


※1 最大20文字まで入力可能です。

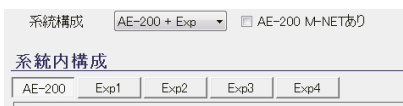
※2 初期ユーザー名：initial  
初期パスワード：init

※3 USBメモリ経由でCSVファイル取込を行う場合、入力の必要はありません。

系統構成：AE-200 +Exp 選択時  
AE-200M-NETあり



系統構成：AE-200 +Exp 選択時  
AE-200M-NETなし

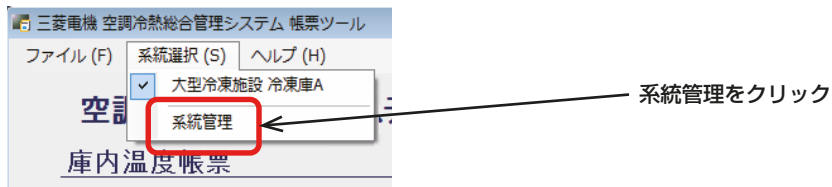


系統構成：EW-50 選択時

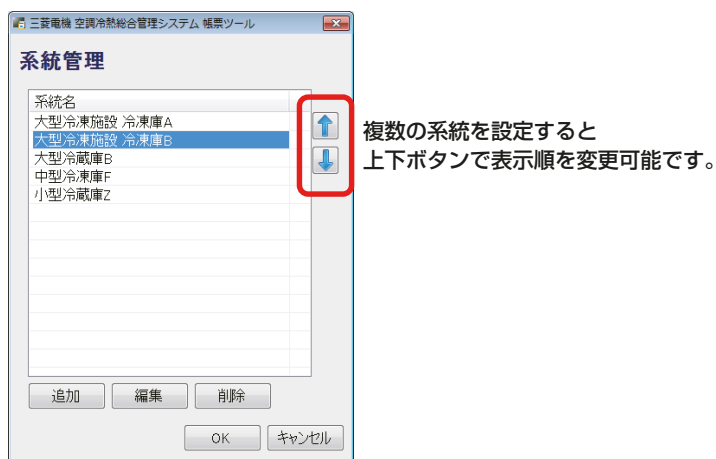
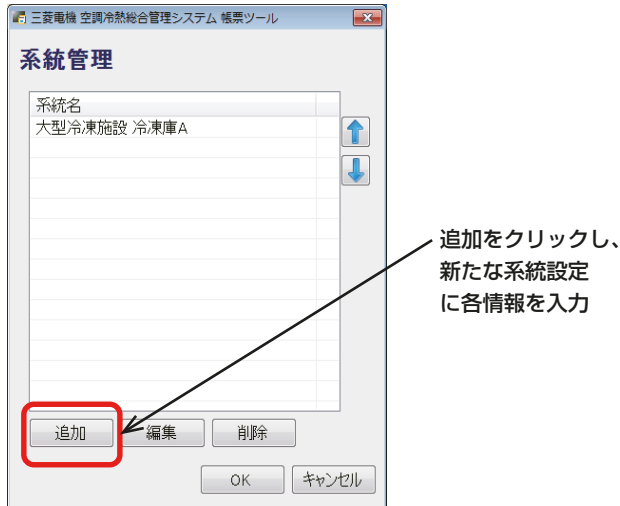


※ 系統に合わせて系統構成を選択し、系統内構成を設定してください。

3. 複数のシステムを管理する場合、メニューバーのシステム選択からシステム管理をクリックする。

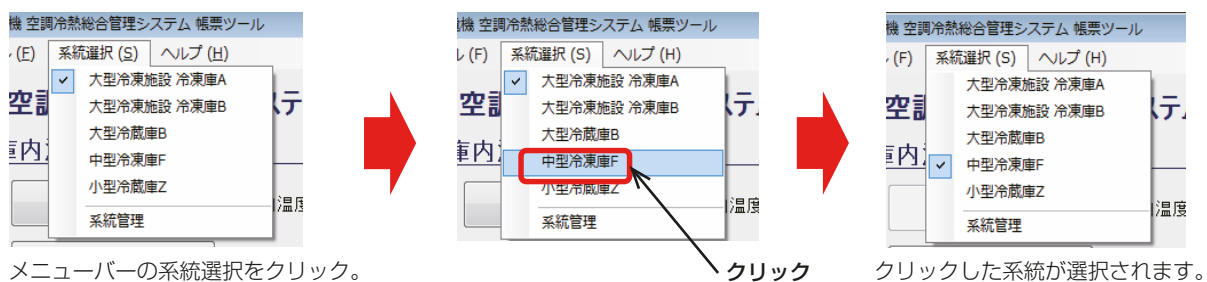


4. システム管理画面で [追加] をクリックする。



システムをダブルクリックするか、  
 選択して [編集] をクリックすると、システム設定を編集できます。  
 またシステムを選択して [削除] をクリックすると、システム設定を削除できます。

<システムの切り替えについて>：メニューバーのシステム選択にて帳票出力するシステムを選択してください。

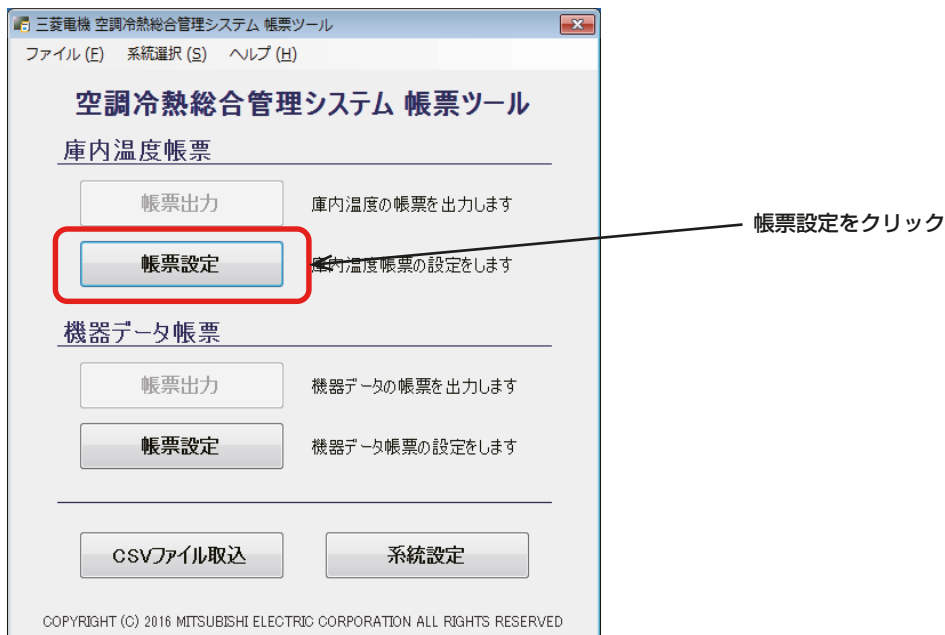


メニューバーのシステム選択をクリック。  
 (現在選択中のシステムにチェックがついています)

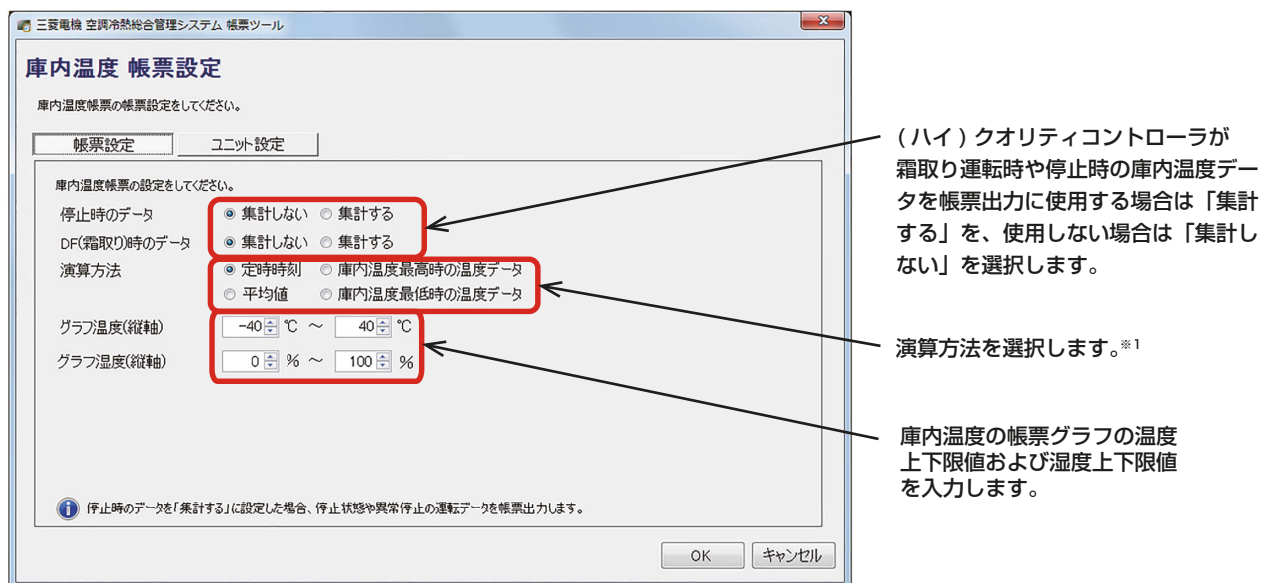
### [3] 庫内温度帳票の帳票設定

#### 手順

1. 庫内温度 [帳票設定] をクリックする。

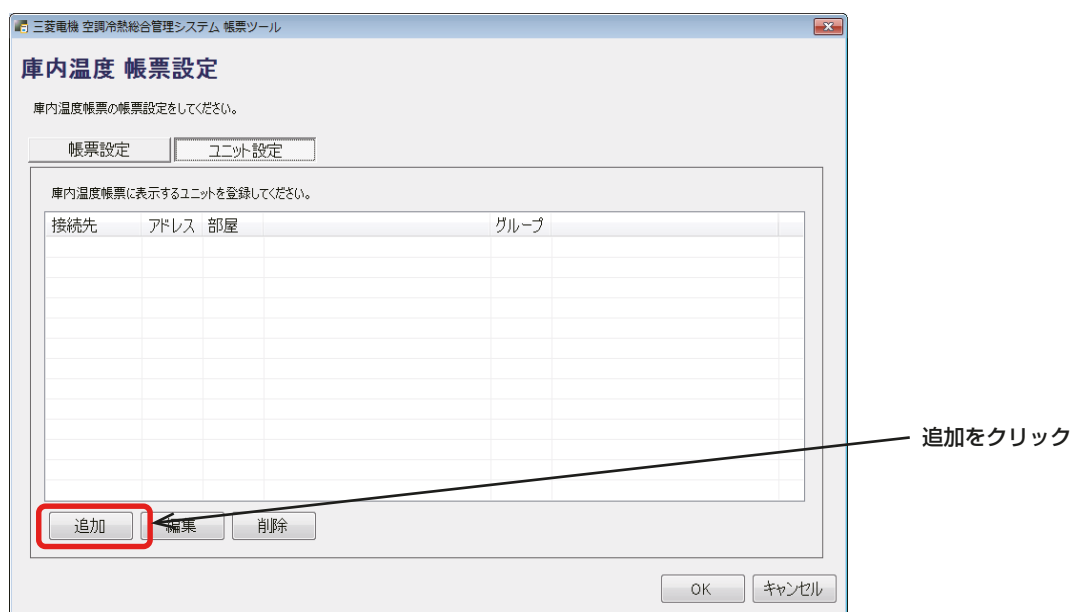
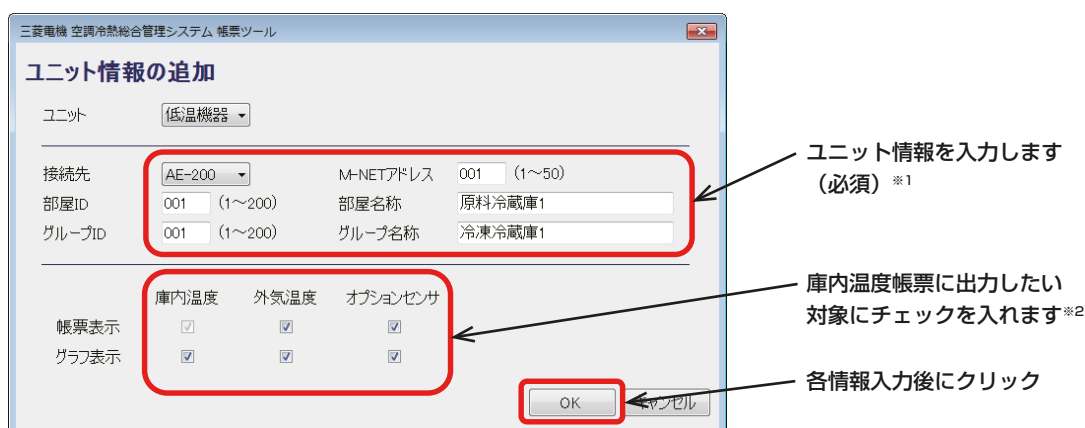


2. 帳票設定にて、各情報を入力し、[ユニット設定] をクリックする。



※1 演算方法で [定時時刻] を選択した場合、帳票のシートごとに「定時」の定義は異なります。詳細は、本書の 118 ページの表を参照してください。

## 3. [追加] をクリックする。

4. ユニット情報の追加にて、各情報を入力完了後に、[OK] をクリックする。  
設定した内容を、ユニット設定の一覧に表示します。

※1 部屋名称とグループ名称は最大20文字まで入力可能です。

※2 グラフ表示は、1システムで最大6つまでチェック可能です。

例えば、庫内温度だけのグラフを表示する場合は6アドレスまで、庫内温度・外気温度・オプションセンサのグラフを表示する場合は2アドレスまでグラフの比較表示が可能です。

**お知らせ**

- グループID、グループ名称はAE-200J/AE-50J/EW-50Jから取得するのではなく、帳票出力用に別途入力が必要です。

庫内温度/外気温度/オプションセンサ/庫内湿度シートに表示するユニットの表示順は、下記の①～④に従って決定します。

- 「帳票設定」の「ユニット設定」に表示されている部屋IDの若い番号から順に上から表示します。
- 同一部屋IDのユニットが存在する場合、グループIDの若い順に上から表示します。
- 同一グループIDのユニットが存在する場合、接続先の優先度の高い順に上から表示します。  
優先度 高 AE-200(またはEW-50) > Exp1 > Exp2 > Exp3 > Exp4 低
- 同一接続先のユニットが存在する場合、M-NETアドレスの若い順に上から表示します。

**ワンポイント**

- 同一グループ内に(ハイ)クオリティコントローラが複数ある場合は、グループ内で一番若いM-NETアドレスの番号をグループIDとしてください。
- 同一部屋内にグループが複数ある場合(グループIDが複数ある場合)は、部屋内で一番若いグループIDの番号を部屋IDとしてください。



## 5. ユニットに空調機や除湿機を追加したい場合は [空調機] または [除湿機] を選択して各情報を入力する。

**お知らせ**

- 設定内容に誤りがある場合、警告アイコンと警告メッセージが表示されます。メッセージに従い再度入力を行ってください。

庫内温度 / 外気温度 / オプションセンサ / 庫内湿度シートに表示するユニットの表示順は、下記の①～④に従って決定します。

- ① 「帳票設定」の「ユニット設定」に表示されている部屋IDの若い番号から順に上から表示します。
- ② 同一部屋IDのユニットが存在する場合、グループIDの若い順に上から表示します。
- ③ 同一グループIDのユニットが存在する場合、接続先の優先度の高い順に上から表示します。  
優先度 高 AE-200 (または EW-50) > Exp1 > Exp2 > Exp3 > Exp4 低
- ④ 同一接続先のユニットが存在する場合、M-NETアドレスの若い順に上から表示します。

**ワンポイント**

- ① 同一グループ内に (ハイ) クオリティコントローラが複数ある場合は、グループ内で一番若いM-NETアドレスの番号をグループIDとしてください。
- ② 同一部屋内にグループが複数ある場合 (グループIDが複数ある場合) は、部屋内で一番若いグループIDの番号を部屋IDとしてください。

## 6. [OK] をクリックする。

設定した内容が保存され、即時に適用されます。

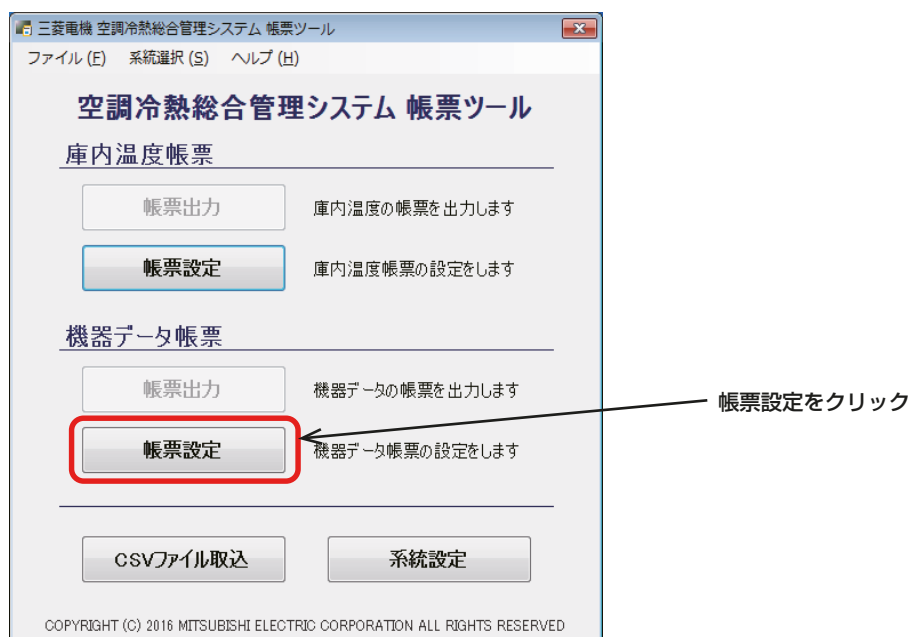
**お知らせ**

- 追加したユニットをダブルクリックするか、選択して [編集] をクリックすると、ユニット情報を編集できます。
- またユニットを選択して [削除] をクリックすると、ユニット情報を削除できます。

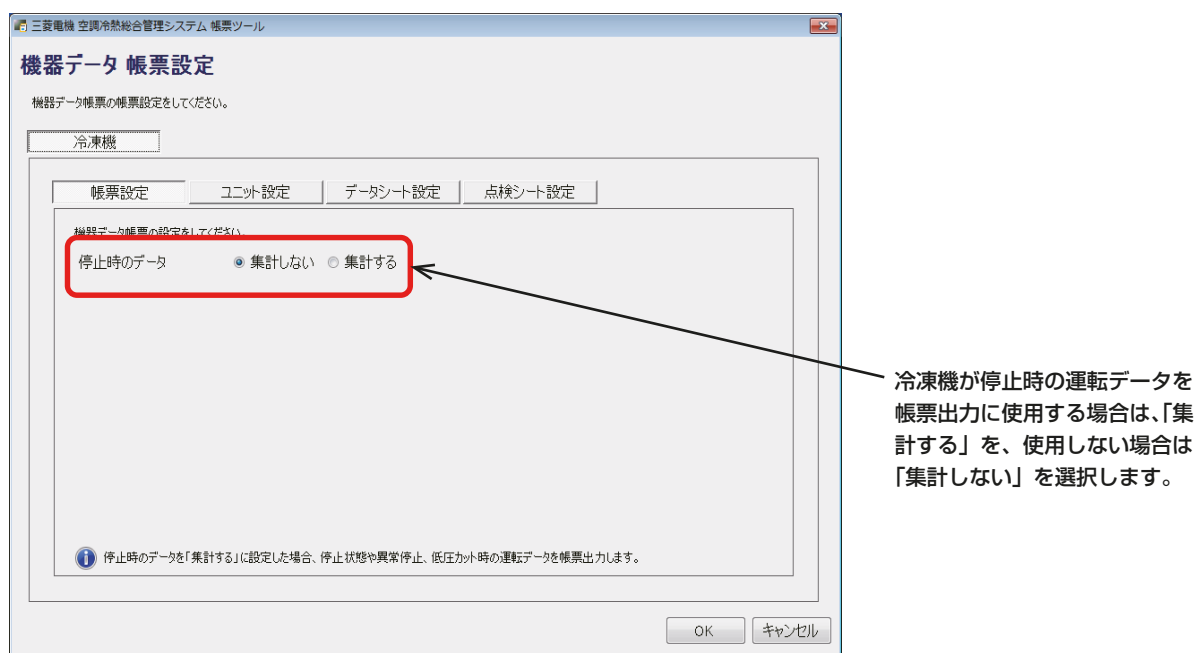
## [4] 機器データ帳票の帳票設定

### 手順

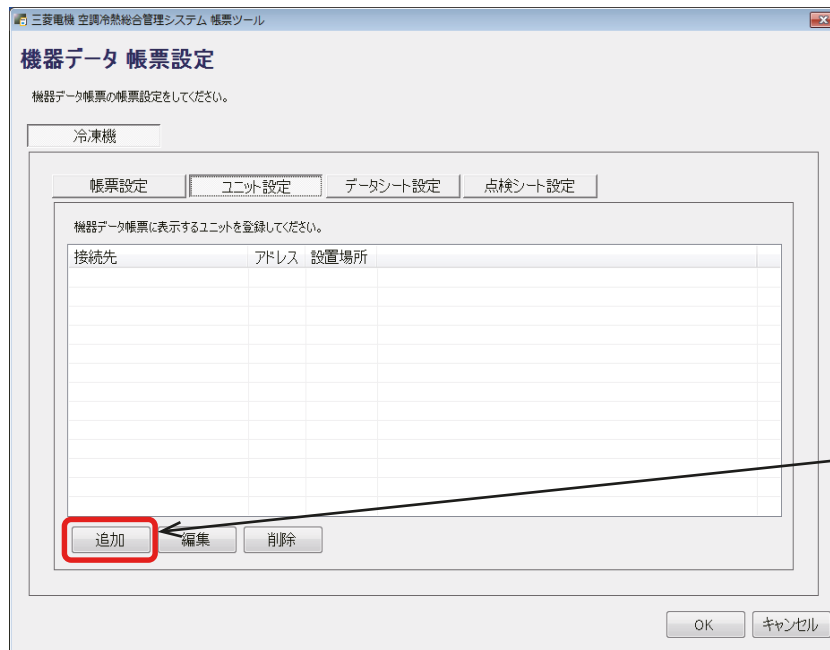
1. 機器データ [帳票設定] をクリックする。



2. 帳票設定にて、各情報を入力して [ユニット設定] をクリックする。  
※ 初回または設定変更時のみ実施します。



## 3. [追加] をクリックする。



4. ユニット情報の追加にて、各情報を入力完了後に、[OK] をクリックする。  
設定した内容は、ユニット設定の一覧に表示します。



※1 設置場所名称は最大20文字まで入力可能です。

※2 機器メーカー、機器名称、定格出力、型番は最大20文字まで入力可能です。  
また、フロンの種類は最大10文字まで入力可能です。

**お知らせ**

データ / 点検シートに表示するユニットの表示順は、下記の①②に従って決定します。

- ① 「帳票設定」の「ユニット設定」に表示されている接続先の優先度の高い順に上から表示します。  
優先度 高 AE-200 > (ハイ)クオリティコントローラ 低
- ② 同一の接続先のユニットが存在する場合、M-NET アドレスの若い順に上から表示します。

**メモ**

- ① 設置場所ごとに設置場所IDを1から順に割り振ってください。
- ② 設置場所IDの番号は、機器データ帳票の並び順には影響しません。

5. 接点接続の冷凍機を追加したい場合は、**[(ハイ)クオリティコントローラ]**を選択して、各情報を入力する。

三菱電機 空調冷熱総合管理システム 帳票ツール

### ユニット情報の追加

接続先 AE-200 M-NETアドレス (151~182)

設置場所ID **(ハイ)クオリティコントローラ** 設置場所名称

機器メーカー 三菱電機(株) 機器名称

定格出力 型番

フロンの種類 設置年月日 年 月 日

帳票表示  出力対象

OK キャンセル

(ハイ)クオリティコントローラを選択します

### お知らせ

- 設定内容に誤りがある場合、警告アイコンと警告メッセージが表示されます。警告に従い再度入力を行ってください。
- 追加したユニットをダブルクリックするか、選択して**[編集]**をクリックすると、ユニット情報を編集できます。またユニットを選択して**[削除]**をクリックすると、ユニット情報を削除できます。

三菱電機 空調冷熱総合管理システム 帳票ツール

### 機器データ 帳票設定

機器データ帳票の帳票設定をしてください。

冷凍機

帳票設定 ユニット設定 データシート設定 点検シート設定

機器データ帳票に表示するユニットを登録してください。

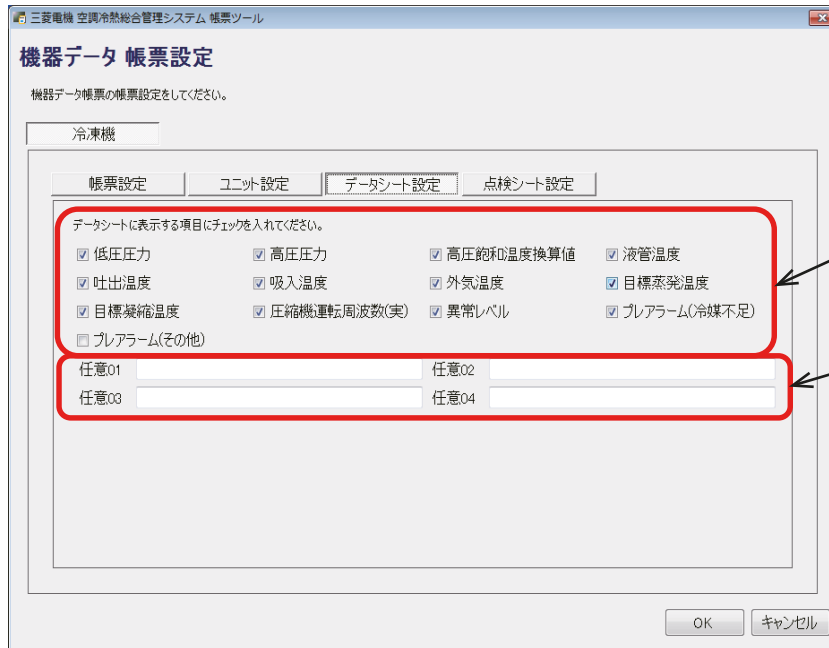
接続先	アドレス	設置場所
AE-200	151	151 部屋番号151-コンデンシングユニット

追加 編集 削除

OK キャンセル

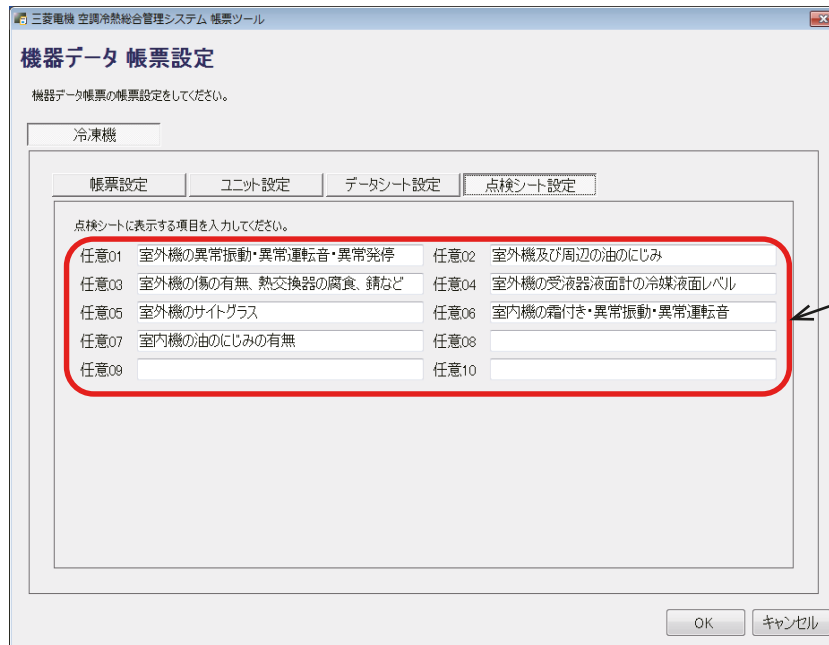
編集/削除をクリック

6. [データシート設定] をクリックする。  
データシート設定が表示します。
7. 機器データ帳票 (データシート) に出力する項目にチェックを入れる。  
任意の項目を出力したい場合、項目名を設定してください。



※1 任意項目は、最大 15 文字まで入力可能です。

8. [点検シート設定] をクリックする。  
点検シート設定が表示します。
9. 機器データ帳票 (点検シート) に出力する項目名を設定する。



※1 任意項目は最大 20 文字まで入力可能です。

10. [OK] をクリックし、設定を完了する。  
設定した内容が保存され、即時に適用されます。

## 4-6-7. インストール手順

帳票を出力するための準備として、帳票ツールのインストールを実施します。

### 帳票ツールをインストールする前に

#### ① .NET Frameworkのインストール

帳票ツールを使用する場合、.NET Framework4.8 以上がインストールされている必要があります。

.NET Framework4.8 未満の場合は、インターネットに接続し、以下のURL から .NET Framework4.8 のインストーラをダウンロードし、インストールしてください。

<https://dotnet.microsoft.com/ja-jp/download/dotnet-framework/net48>

#### ② パソコンのIP アドレス

LAN 経由で帳票出力を行う場合、パソコンのIPアドレスを設定する必要があります。

(USB 経由で帳票出力を行う場合は不要です)

パソコンのIP アドレスは、AE-200J/AE-50J/EW-50J のIP アドレスと同一系統のネットワークアドレスを設定します。

(例えば、AE-200J のIP アドレスが 192.168.1.1 の場合、パソコンのIP アドレスを 192.168.1.101 に設定します。)

#### ③ 帳票ツールが入っているパソコンを別のパソコンに移行する場合、帳票ツール (Ver.2.0/2.1) の設定内容は移行できません。

別のパソコンに移行する場合は新規に帳票ツールをインストールして再度初期設定を実施してください。

過去に取り込んだCSVファイルのバックアップを取る場合、環境設定で指定されているCSVの保存場所にアクセスし取得してください (デフォルトの保存先は「C:\¥ReportTool」です)。

保存場所の確認方法は「4-6-4. CSVファイルの取り込み」の<環境設定の手順> (125 ページ) を参照してください。

#### ④ Microsoft Excel

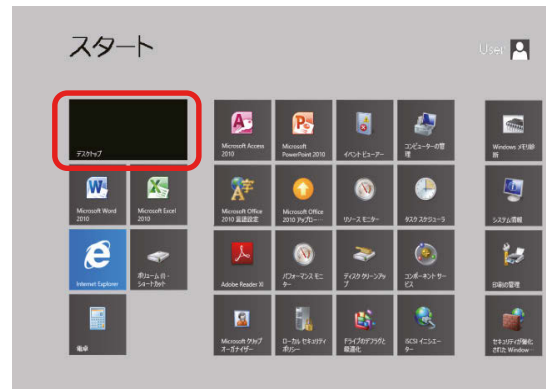
Microsoft Excelは32bit版をインストールしてご使用ください。64bit版では帳票出力が正常に動作しません。もし64bit版がインストールされている場合は、一度64bit版をアンインストールし、32bit版をインストールしてください。インストールされているExcelが32bit版なのか64bit版なのかは下記で確認できます。(Excel2019の場合)

Excelを起動し、「ファイル」メニューから「アカウント」-「Excelのバージョン情報」をクリックします。バージョンが表示され、末尾に「64ビット」又は「32ビット」と表示されます。

## [1] Windows 8.1 の場合

### 手順

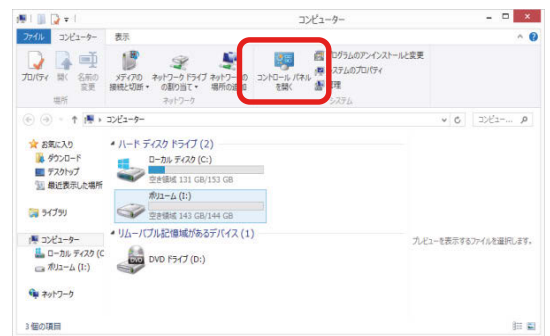
1. スタート画面の [デスクトップ] アイコンをクリックする。



2. デスクトップ画面の [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。



3. ツールバーの [コントロール パネルを開く] をクリックする。



4. [ネットワークと共有センター] アイコンをクリックする。

5. [アダプターの設定の変更] をクリックする。

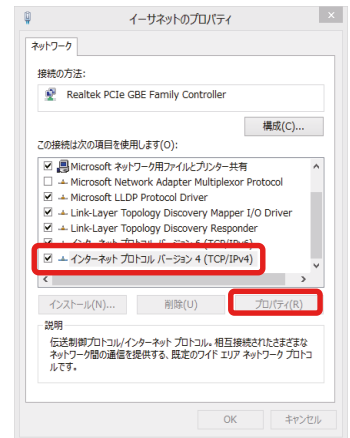




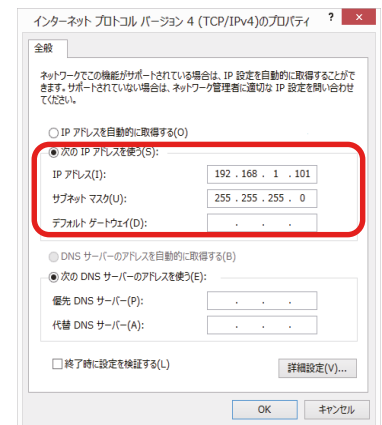
6. [イーサネット]アイコンをダブルクリックする。
7. 「イーサネットの状態」画面で、[プロパティ]をクリックする。



8. [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] をクリックして選択し、[プロパティ] をクリックする。



9. [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] のプロパティ画面で [次の IP アドレスを使う] を選択する。
10. 「IP アドレス」にパソコンの IP アドレス (例: 192.168.1.101) を入力する。
11. 「サブネットマスク」欄に、通常 255.255.255.0 を入力する。
12. 「デフォルトゲートウェイ」欄に、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力する。



### お願い

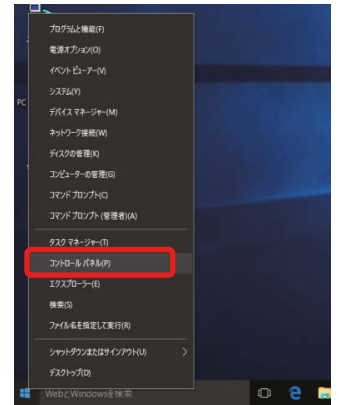
- 設定する IP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、システム管理者に確認してください。

13. [OK] または [閉じる] をクリックする。  
すべての画面が閉じてネットワークの設定が完了します。

## [2] Windows 10、11 の場合

## 手順

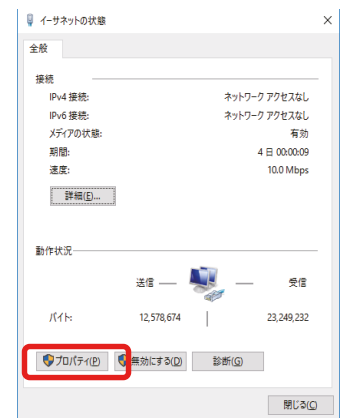
1. 検索ボックスで[コントロール パネル]を検索する。  
コントロールパネルを開きます。



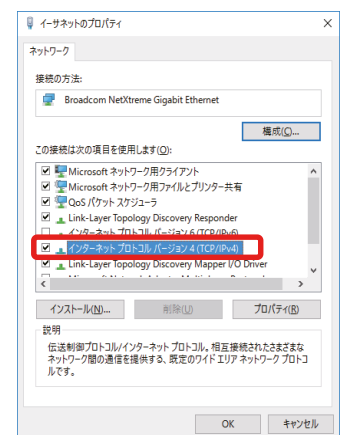
2. [ネットワークと共有センター]アイコンをクリックする。
3. [アダプターの設定の変更]をクリックする。



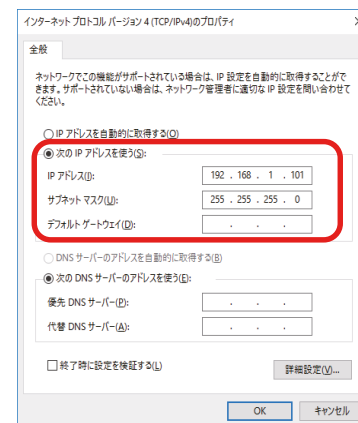
4. [イーサネット] アイコンをダブルクリックする。
5. 「イーサネットの状態」画面で、[プロパティ]をクリックする。



6. [インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)] をクリックして選択し、[プロパティ] をクリックする。



7. [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]のプロパティ画面で[次のIPアドレスを使う]を選択する。
8. 「IP アドレス」にパソコンのIP アドレス (例：192.168.1.101) を入力する。
9. 「サブネットマスク」欄に、通常 255.255.255.0 を入力する。
10. 「デフォルトゲートウェイ」欄に、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力する。



### お願い

- ・ 設定するIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、システム管理者に確認してください。

11. [OK] または [閉じる] をクリックする。  
すべての画面が閉じてネットワークの設定が完了します。

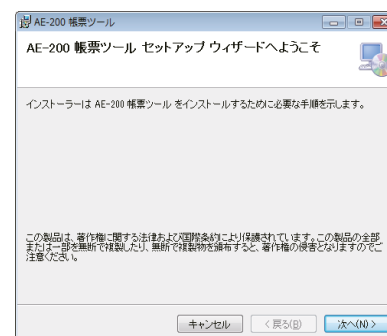
## [3] 帳票ツールのインストール

### お知らせ

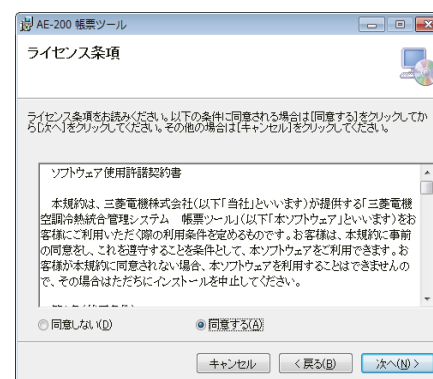
- ・ 帳票ツールは、「暮らしと設備の業務支援サイト WIN<sup>2</sup>K」のAE-200Jのページからインストーラーがダウンロードできます。  
URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/top.do>

### 手順

1. ツールのインストールファイル setupReportTool\_V\*\*\*.msi をダブルクリックする。  
(V\*\*\* はバージョンを示します。)
- 「セットアップウィザード」画面が開きます。
2. [次へ] をクリックする。  
「ライセンス条項」画面が開きます。



3. ライセンス条項を確認する。
4. [同意する] にチェックを入れて [次へ] をクリックする。



「インストール フォルダの選択」画面が開きます。

5. 保存先のフォルダを選択して**[次へ]**をクリックする。  
「インストールの確認」画面が開きます。

**お願い**

- PCにログインの設定をしていて、全てのユーザーが初期設定ツールを使用する場合は、**[すべてのユーザー]**にチェックが入った状態で**[次へ]**をクリックしてください。

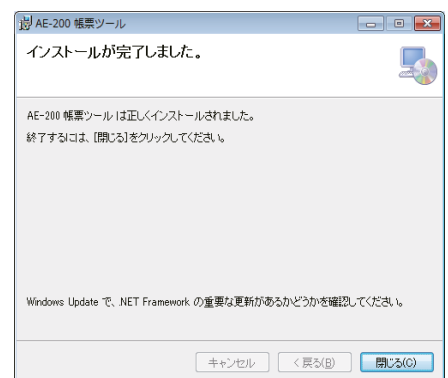
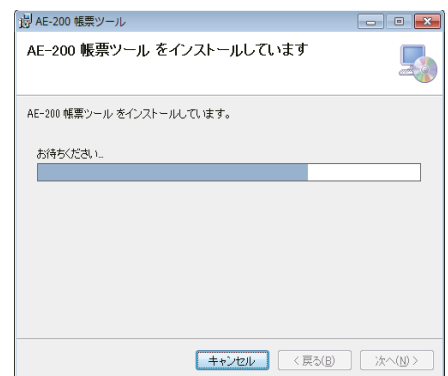
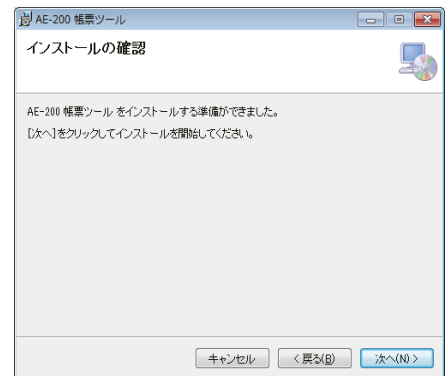
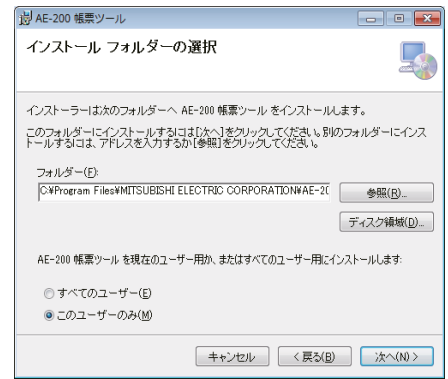
6. **[次へ]**をクリックする。  
インストールが開始します。

AE-200 帳票ツールのインストール進捗状況が表示します。

7. **[閉じる]**をクリックする。  
インストールを完了します。

**お知らせ**

- インストール完了後、デスクトップに帳票ツールのショートカットが作成されます。



## 4-6-8. CSV ファイルの詳細

### [1] 帳票出力に使用する CSV ファイルについて

#### ■ 庫内温度帳票

- (ハイ) クオリティコントローラの5分単位データ  
HiQ\_EnergyManagement\_5MIN\_(YYYY)-(MM)-(DD)\_(yyyy)-(mm)-(dd).csv
- 空調機の5分単位データ  
EnergyManagement\_5MIN\_(YYYY)-(MM)-(DD)\_(yyyy)-(mm)-(dd).csv
- 除湿機の5分単位データ  
DU\_EnergyManagement\_5MIN\_(YYYY)-(MM)-(DD)\_(yyyy)-(mm)-(dd).csv

#### ■ 機器データ帳票

- コンデンシングユニットの30分単位データ  
CU\_EnergyManagement\_30MIN\_(YYYY)-(MM)-(DD)\_(yyyy)-(mm)-(dd).csv
- 冷媒充填量のデータ  
CU\_RefrigerantCharge.csv

ファイルの内容	形式
(YYYY)	開始年
(MM)	開始月
(DD)	開始日
(yyyy)	終了年
(mm)	終了月
(dd)	終了日

#### **お知らせ**

- 下記のデータは帳票出力に使用しません。  
(ハイ) クオリティコントローラの30分単位データ  
HiQ\_EnergyManagement\_30MIN\_(YYYY)-(MM)-(DD)\_(yyyy)-(mm)-(dd).csv  
コンデンシングユニットの5分単位データ  
CU\_EnergyManagement\_5MIN\_(YYYY)-(MM)-(DD)\_(yyyy)-(mm)-(dd).csv  
除湿機の30分単位データ  
DU\_EnergyManagement\_30MIN\_(YYYY)-(MM)-(DD)\_(yyyy)-(mm)-(dd).csv

## [2] 定期的に行う作業

帳票出力するため、定期的に CSV ファイルの出力および取り込みを行います。  
 CSV ファイルを USB メモリに出力せずに、LAN 経由で帳票出力を行う場合も定期的な CSV ファイルの保存を推奨します。

### お願い

- データの保存期間を経過した古いデータは自動的に削除されますので、帳票ツールを使用している場合は、定期的 (1 ヶ月に 1 回程度) に CSV ファイル出力を行い、ファイルを保存することを推奨します。

データ種別	データ保存期間
5 分単位	最新 62 日
30 分単位	最新 800 日

- 万が一の AE-200J/AE-50J/EW-50J の故障時に備え、定期的に CSV ファイル出力を行って、ファイルを保存することを推奨します。
- 表示形式を下記のように設定してください。  
 設定方法は、「6-3-5. ユニット情報の設定」を参照ください。

項目	表示形式
日付形式	yyyy/12/31 (yyyy の部分には現在の年が表示されます。)
温度表示単位	°C
湿度表示単位	%
圧力表示単位	MPa

## [3] CSV ファイル出力内容

「[2] 定期的に行う作業」で取得される CSV ファイルの項目を以下に示します。

○：項目あり、×：項目なし

ユニットの種別	項目	データ種別 (間隔)	
		5分	30分
(ハイ) クオリティ コントローラ	庫内温度	○	○
	設定温度	○	○
	外気温度 *1	○	×
	制御モード	○	×
	制御スケジュール状態	○	×
	霜取スケジュール状態	○	×
	異常レベル	○	×
	オプションセンサ	○	×
	デマンド状態	○	×
	デマンドレベル	○	×
デマンド制御内容	○	×	
コンデンシング ユニット	高圧圧力	○	○
	低圧圧力	○	○
	異常レベル	○	○
	制御モード	○	○
	デマンド状態	○	○
	デマンドレベル	○	○
	デマンド制御内容	○	○
	高圧飽和温度換算値	×	○
	液管温度	×	○
	吐出温度	×	○
	吸入温度	×	○
	目標蒸発温度	×	○
	目標凝縮温度	×	○
	圧縮機運転周波数 (実)	×	○
	プレアラーム (冷媒不足検知)	×	○
	プレアラーム (液バック)	×	○
	プレアラーム (凝縮器目詰り)	×	○
	プレアラーム (圧縮機発停過多)	×	○
	プレアラーム (高周囲温度)	×	○
	プレアラーム (圧縮機運転時間)	×	○
プレアラーム (センサ異常、モジュール間通信異常)	×	○	
外気温度	×	○	
冷媒充填量	アドレス *2	○	○
	封入年月日 1 *2	○	○
	封入量 1 *2	○	○
	封入年月日 2 *2	○	○
	封入量 2 *2	○	○
	封入年月日 3 *2	○	○
	封入量 3 *2	○	○
	封入年月日 4 *2	○	○
	封入量 4 *2	○	○
	封入年月日 5 *2	○	○
	封入量 5 *2	○	○
	封入年月日 6 *2	○	○
	封入量 6 *2	○	○
	封入年月日 7 *2	○	○
	封入量 7 *2	○	○
	封入年月日 8 *2	○	○
	封入量 8 *2	○	○
	封入年月日 9 *2	○	○
	封入量 9 *2	○	○
	封入年月日 10 *2	○	○
封入量 10 *2	○	○	
空調機	冷房設定温度	○	
	暖房設定温度	○	
	室内温度	○	



#### 4. 使用方法 (応用)

○：項目あり、×：項目なし

ユニットの種別	項目	データ種別 (間隔)	
		5分	30分
除湿機	庫内温度	○	○
	庫内湿度	○	○
	設定温度	○	○
	設定湿度	○	○
	制御モード	○	×
	制御スケジュール	○	×
	異常レベル	○	×

※1 (ハイ) クオリティコントローラに接続されたコンデンシングユニットが計測した値です。

※2 データ種別が5分単位、30分単位でも同じデータが出力されます。

#### [4] (ハイ) クオリティコントローラの5分単位データのCSVファイル形式

帳票ツールで使用している (ハイ) クオリティコントローラの5分単位データの CSV ファイルは、以下のファイル形式となっています。

行	項目	形式						
1行目	ファイル区分	550						
2行目	データ範囲	開始日 + "-" + 終了日						
3行目	項目 ※1	"DateTime","InsideTemp(1)",...,"InsideTemp(50)", "SetTemp(1)",...,"SetTemp(50)", "OutdoorTemp(1)",...,"OutdoorTemp(50)", "ControlMode(1)",...,"ControlMode(50)", "ControlSchedule(1)",...,"ControlSchedule(50)", "DefrostSchedule(1)",...,"DefrostSchedule(50)", "ErrorLevel(1)",...,"ErrorLevel(50)", "OptionSensor(1)",...,"OptionSensor(50)", "Demand(1)",...,"Demand(50)", "DemandLevel(1)",...,"DemandLevel(50)", "DemandControl(1)",...,"DemandControl(50)"						
4行目	データ単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>InsideTemp、SetTemp、 OutdoorTemp、OptionSensor</td> <td>℃、ℱ</td> </tr> <tr> <td>ControlMode、 ControlSchedule、DefrostSchedule、 ErrorLevel、Demand、 DemandLevel、DemandControl</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	InsideTemp、SetTemp、 OutdoorTemp、OptionSensor	℃、ℱ	ControlMode、 ControlSchedule、DefrostSchedule、 ErrorLevel、Demand、 DemandLevel、DemandControl	-
項目	単位							
InsideTemp、SetTemp、 OutdoorTemp、OptionSensor	℃、ℱ							
ControlMode、 ControlSchedule、DefrostSchedule、 ErrorLevel、Demand、 DemandLevel、DemandControl	-							
5行目~ 17860 行目	データ ※1、※2、※3、※4	日時と時刻、庫内温度(1)、...、(50)、 設定温度(1)、...、(50)、 外気温度(1)、...、(50)、制御モード(1)、...、(50)、 制御スケジュール状態(1)、...、(50)、 霜取スケジュール状態(1)、...、(50)、 異常レベル(1)、...、(50)、 オプションセンサー(1)、...、(50)、 デマンド状態(1)、...、(50)、 デマンドレベル(1)、...、(50)、 デマンド制御内容(1)、...、(50)						

※1 ()内の数字は、(ハイ) クオリティコントローラのアドレスを表します。ただし、存在するアドレスのみ表示します。

※2 該当するデータが存在しない場合、数値は表示されません。

※3 データは、最大17856件(2ヶ月分)出力されます。

※4 センサーに異常が発生した場合は、正常な値が表示されないことがあります。





## [5] コンデンシングユニットの30分単位データのCSVファイル形式

帳票ツールで使用しているコンデンシングユニットの30分単位データのCSVファイルは、以下のファイル形式となっています。

行	項目	形式										
1行目	ファイル区分	553										
2行目	データ範囲	開始日付 + "-" + 終了日付 ※日付 (yyyy/mm/dd) は、初期設定の日付形式設定に従う										
3行目	項目 ※1	"DateTime, HighPressure (151) . . . HighPressure (182) , LowPressure (151) . . . LowPressure (182) , ConvertedHigh-pressureSaturationTemp (151) . . . (182) , LiquidPipeTemp (151) . . . (182) , DischargeTemp (151) . . . DischargeTemp (182) , SuctionTemp (151) . . . SuctionTemp (182) , OutdoorTemp (151) . . . OutdoorTemp (182) , TargetEvaporatingTemp (151) . . . TargetEvaporatingTemp (182) , TargetCondensingTemp (151) . . . TargetCondensingTemp (182) , CompressorOperatingFrequency(Actual) (151) . . . CompressorOperatingFrequency(Actual) (182) , Pre-alarm(LowRefrigerantChargeDetection) (151) . . . Pre-alarm(LowRefrigerantChargeDetection) (182) , Pre-alarm(LiquidFlooding) (151) . . . Pre-alarm(LiquidFlooding) (182) , Pre-alarm(CondensingUnitClogging) (151) . . . Pre-alarm(CondensingUnitClogging) (182) , Pre-alarm(ExcessiveCompressorOn-off) (151) . . . Pre-alarm(ExcessiveCompressorOn-off) (182) , Pre-alarm(HighAmbientTemperature) (151) . . . Pre-alarm(HighAmbientTemperature) (182) , Pre-alarm(CompressorOperationTime) (151) . . . Pre-alarm(CompressorOperationTime) (182) , Pre-alarm(SensorError/CommunicationErrorAmongModules) (151) . . . Pre-alarm(SensorError/CommunicationErrorAmongModules) (182) , ErrorLevel (151) . . . ErrorLevel (182) , ControlMode (151) . . . ControlMode (182) , Demand (151) . . . Demand (182) , DemandLevel (151) . . . DemandLevel (182) , DemandControl (151) . . . (182) "										
4行目	データ単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HighPressure, LowPressure</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>ConvertedHigh-pressureSaturationTemp, LiquidPipeTemp, DischargeTemp, SuctionTemp, TargetEvaporatingTemp, TargetCondensingTemp, OutdoorTemp</td> <td>℃、°F</td> </tr> <tr> <td>CompressorOperatingFrequency(Actual)</td> <td>Hz</td> </tr> <tr> <td>ErrorLevel, ControlMode, Demand, DemandLevel, DemandControl, Pre-alarm(LowRefrigerantChargeDetection), Pre-alarm(LiquidFlooding), Pre-alarm(CondensingUnitClogging), Pre-alarm(ExcessiveCompressorOn-off), Pre-alarm(HighAmbientTemperature), Pre-alarm(CompressorOperationTime), Pre-alarm(SensorError/CommunicationError AmongModules)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	HighPressure, LowPressure	MPa	ConvertedHigh-pressureSaturationTemp, LiquidPipeTemp, DischargeTemp, SuctionTemp, TargetEvaporatingTemp, TargetCondensingTemp, OutdoorTemp	℃、°F	CompressorOperatingFrequency(Actual)	Hz	ErrorLevel, ControlMode, Demand, DemandLevel, DemandControl, Pre-alarm(LowRefrigerantChargeDetection), Pre-alarm(LiquidFlooding), Pre-alarm(CondensingUnitClogging), Pre-alarm(ExcessiveCompressorOn-off), Pre-alarm(HighAmbientTemperature), Pre-alarm(CompressorOperationTime), Pre-alarm(SensorError/CommunicationError AmongModules)	-
項目	単位											
HighPressure, LowPressure	MPa											
ConvertedHigh-pressureSaturationTemp, LiquidPipeTemp, DischargeTemp, SuctionTemp, TargetEvaporatingTemp, TargetCondensingTemp, OutdoorTemp	℃、°F											
CompressorOperatingFrequency(Actual)	Hz											
ErrorLevel, ControlMode, Demand, DemandLevel, DemandControl, Pre-alarm(LowRefrigerantChargeDetection), Pre-alarm(LiquidFlooding), Pre-alarm(CondensingUnitClogging), Pre-alarm(ExcessiveCompressorOn-off), Pre-alarm(HighAmbientTemperature), Pre-alarm(CompressorOperationTime), Pre-alarm(SensorError/CommunicationError AmongModules)	-											











4. 使用方法 (応用)



## [6] 冷媒充填量のデータのCSVファイル形式

帳票ツールで使用している冷媒充填量データのCSVファイルは、以下のファイル形式となっています。

行	項目	形式						
1行目	ファイル区分	570						
2行目	データ範囲	開始日付 + "-" + 終了日付 ※日付 (yyyy/mm/dd) は、初期設定の日付形式設定に従う						
3行目	項目	"Address, ChargeDate1, RefrigerantCharge1, ChargeDate2, RefrigerantCharge2, ChargeDate3, RefrigerantCharge3, ChargeDate4, RefrigerantCharge4, ChargeDate5, RefrigerantCharge5, ChargeDate6, RefrigerantCharge6, ChargeDate7, RefrigerantCharge7, ChargeDate8, RefrigerantCharge8, ChargeDate9, RefrigerantCharge9, ChargeDate10, RefrigerantCharge10"						
4行目	データ単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RefrigerantCharge1, RefrigerantCharge2, RefrigerantCharge3, RefrigerantCharge4, RefrigerantCharge5, RefrigerantCharge6, RefrigerantCharge7, RefrigerantCharge8, RefrigerantCharge9, RefrigerantCharge10</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>Address, ChargeDate1, ChargeDate2, ChargeDate3, ChargeDate4, ChargeDate5, ChargeDate6, ChargeDate7, ChargeDate8, ChargeDate9, ChargeDate10</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	RefrigerantCharge1, RefrigerantCharge2, RefrigerantCharge3, RefrigerantCharge4, RefrigerantCharge5, RefrigerantCharge6, RefrigerantCharge7, RefrigerantCharge8, RefrigerantCharge9, RefrigerantCharge10	kg	Address, ChargeDate1, ChargeDate2, ChargeDate3, ChargeDate4, ChargeDate5, ChargeDate6, ChargeDate7, ChargeDate8, ChargeDate9, ChargeDate10	-
項目	単位							
RefrigerantCharge1, RefrigerantCharge2, RefrigerantCharge3, RefrigerantCharge4, RefrigerantCharge5, RefrigerantCharge6, RefrigerantCharge7, RefrigerantCharge8, RefrigerantCharge9, RefrigerantCharge10	kg							
Address, ChargeDate1, ChargeDate2, ChargeDate3, ChargeDate4, ChargeDate5, ChargeDate6, ChargeDate7, ChargeDate8, ChargeDate9, ChargeDate10	-							
5行目～ 36 行目	データ ※1、※2	日時、 冷凍機アドレス 封入年月日 (1) (20yy/mm/dd) 封入量 (1) 封入年月日 (2) (20yy/mm/dd) 封入量 (2) 封入年月日 (3) (20yy/mm/dd) 封入量 (3) 封入年月日 (4) (20yy/mm/dd) 封入量 (4) 封入年月日 (5) (20yy/mm/dd) 封入量 (5) 封入年月日 (6) (20yy/mm/dd) 封入量 (6) 封入年月日 (7) (20yy/mm/dd) 封入量 (7) 封入年月日 (8) (20yy/mm/dd) 封入量 (8) 封入年月日 (9) (20yy/mm/dd) 封入量 (9) 封入年月日 (10) (20yy/mm/dd) 封入量 (10)						

※1 存在する冷凍機のアドレスのみを表します。

※2 該当するデータが存在しない場合、数値は表示されません。

#### 4. 使用方法 (応用)

Address	ChargeDate1	RefrigerantCharge1 kg	ChargeDate2	RefrigerantCharge2 kg	ChargeDate3	RefrigerantCharge3 kg
151	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
152	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
153	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
154	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
155	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
156	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
157	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
158	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
159	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
160	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
161	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
162	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
163	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
164	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
165	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
166	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
167	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2
168	2015/12/12	12	2016/1/11	1	2016/2/21	2

### [7] 空調機の5分単位データのCSVファイル形式

帳票ツールで使用している空調機の5分単位データのCSVファイルは、以下のファイル形式となっています。

行	項目	形式										
1行目	ファイル区分	501										
2行目	データ範囲	開始日付+ "-" + 終了日付										
3行目	項目 ※1	"DateTime, Data1(51)・・・Data1(100), Data2(51)・・・Data2(100), Data3(51)・・・Data3(100), OutdoorTemp(51)・・・OutdoorTemp(100), CoolSetTemp(1)・・・CoolSetTemp(50), HeatSetTemp(1)・・・HeatSetTemp(50), RoomTemp(1)・・・RoomTemp(50), MCP1(1)・・・MCP1(50), MCP2(1)・・・MCP2(50), MCP3(1)・・・MCP3(50), MCP4(1)・・・MCP4(50), MCT1(1)・・・MCT1(50), MCT2(1)・・・MCT2(50), MCP1, MCP2, MCP3, MCP4"										
4行目	データ単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OutdoorTemp, CoolSetTemp, HeatSetTemp, RoomTemp</td> <td>℃、°F</td> </tr> <tr> <td>MCT</td> <td>℃、°F、%</td> </tr> <tr> <td>MCP</td> <td>kWh、m<sup>3</sup>、 MJ、--</td> </tr> <tr> <td>Data1, Data2, Data3</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	OutdoorTemp, CoolSetTemp, HeatSetTemp, RoomTemp	℃、°F	MCT	℃、°F、%	MCP	kWh、m <sup>3</sup> 、 MJ、--	Data1, Data2, Data3	—
項目	単位											
OutdoorTemp, CoolSetTemp, HeatSetTemp, RoomTemp	℃、°F											
MCT	℃、°F、%											
MCP	kWh、m <sup>3</sup> 、 MJ、--											
Data1, Data2, Data3	—											
5行目～ 38404 行目	データ ※1、※2、※3、※4	日時、データ1_(51)・・・(100)、データ2_(51)・・・(100) データ3_(51)・・・(100)、外気温度_(51)・・・(100) 冷房設定温度_(1)・・・(50)、暖房設定温度_(1)・・・(50) 室内温度(1)・・・(50) 計量値1_(1)・・・(50)、計量値2_(1)・・・(50)、 計量値3_(1)・・・(50)、計量値4_(1)・・・(50)、 計測MC温湿度1_(1)・・・(50)、 計測MC温湿度2_(1)・・・(50)、 計量値1、計量値2、計量値3、計量値4										

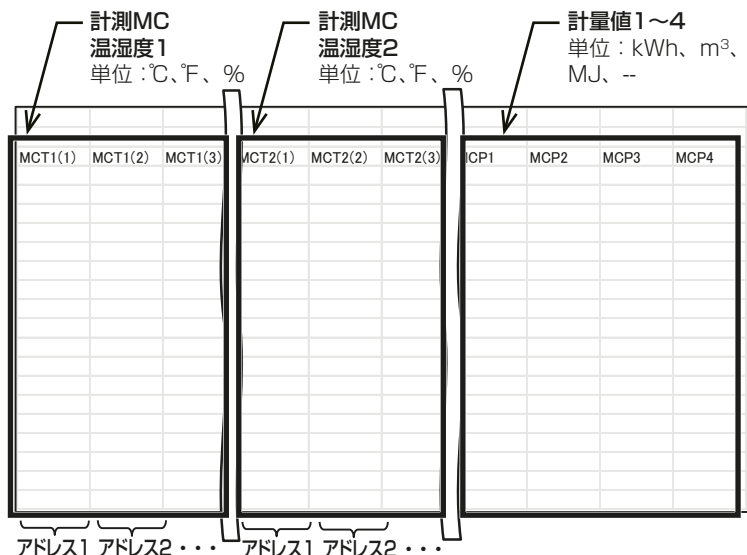
※1 ()内の数字は、空調機のアドレスを表します。ただし、存在するアドレスのみ表示します。

※2 該当するデータが存在しない場合、数値は表示されません。

※3 データは、最大17856件(2ヶ月分)出力されます。

※4 センサーに異常が発生した場合は、正常な値が表示されないことがあります。





### [8] 除湿機の5分単位データのCSV ファイル形式

帳票ツールで使用している除湿機の5分単位データのCSV ファイルは、以下のファイル形式となっています。

行	項目	形式								
1 行目	ファイル区分	5 5 5								
2 行目	データ範囲	開始日付 + "-" + 終了日付								
3 行目	項目 <sup>※1</sup>	"DateTime,InsideTemp(1)", ~, "InsideTemp(50)", "InsideHumidity(1)", ~, "InsideHumidity(50)", "SetTemp(1)", ~, "SetTemp(50)", "SetHumidity(1)", ~, "SetHumidity(50)", "ControlMode(1)", ~, "ControlMode(50)", "ControlSchedule(1)", ~, "ControlSchedule(50)", "ErrorLevel(1)", ~, "ErrorLevel(50)"								
4 行目	データ単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>InsideTemp SetTemp</td> <td>°C (温度摂氏)、°F (温度華氏)</td> </tr> <tr> <td>InsideHumidity SetHumidity</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ControlMode ControlSchedule ErrorLevel</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	InsideTemp SetTemp	°C (温度摂氏)、°F (温度華氏)	InsideHumidity SetHumidity	%	ControlMode ControlSchedule ErrorLevel	—
項目	単位									
InsideTemp SetTemp	°C (温度摂氏)、°F (温度華氏)									
InsideHumidity SetHumidity	%									
ControlMode ControlSchedule ErrorLevel	—									
5 ~ 17860 行目	データ <sup>※1, ※2, ※3, ※4</sup>	日時、庫内温度_(1) ~ (50)、庫内湿度_(1) ~ (50)、設定温度_(1) ~ (50)、設定湿度_(1) ~ (50)、制御モード_(1) ~ (50)、制御スケジュール状態_(1) ~ (50)、異常レベル_(1) ~ (50)								

※1 () 内の数字は、除湿機のアドレスを表します。ただし、存在するアドレスのみ表示します。

※2 該当するデータが存在しない場合、数値は表示されません。

※3 データは、最大 17856 件 (2ヶ月分) 出力されます。

※4 センサーに異常が発生した場合は、正常な値が表示されないことがあります。







## 5. 修理を依頼する前に

現象		原因	処置内容
1	スケジュール設定をした日時に機器が起動しない。	年間スケジュールなど、優先度の高いスケジュール設定と重複している。	低温機器のスケジュール優先度は、高い方から年間、週間、Base の順になります。 除湿機のスケジュール優先度は、高い方から当日、年間、週間1、週間2、週間3、週間4、週間5の順になります。
		スケジュール有効/無効設定が無効に設定されている。	除湿機はスケジュール有効/無効を設定できます。 スケジュール有効/無効を有効に変更してください。
2	USB メモリに初期設定データの出力ができない。	1) USBメモリが正しくセットできていない。 2) USBメモリに空き容量がない。 3) USBメモリがAE-200Jに対応していない。 4) USBメモリを短い時間で抜き差しを行った。	原因 1) ~ 5) を確認してください。 原因 1) USBメモリが奥まで差されているかを確認してください。 原因 2) USBメモリに空き容量があるかを確認し、必要に応じて空き容量を確保してください。(最大64MBytes) 原因 3) 「4-6. CSV データの出力操作と帳票ツール (低温機器 / 空調機 / 除湿機)」に記載している USBメモリで動作することを確認しています。これらの USBメモリが入手できない場合は、下記条件を満たすものを選定し、運用前に動作確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• USB2.0 対応</li> <li>• FAT32, FAT (FAT16) 形式でフォーマットされていること。</li> <li>• セキュリティ機能がないもの、もしくはセキュリティ機能無しでも使用できるもの。</li> </ul> ただし、USBメモリ自体にセキュリティ機能 (指紋認証等) を有するものは可能。 データ書き込み異常が発生した後、別の USBメモリに変えても正常に書き込めないような場合は、AE-200J を再起動 (電源切→入) してから最初に異常発生したもの以外の USBメモリで改めて確認してください。 原因 4) AE-200J を再起動 (電源切→入) してください。 原因 5) USBメモリの書き込み禁止スイッチを解除してください。 詳細は USBメモリの取扱説明書を確認してください。
3	初期設定画面にログインしたが、設定ボタンが押した状態になっていて、操作できない。	1) ビル管理者でログインしているので、設定の権限がない。	原因 1) 保守ユーザのログイン名・パスワードを入力してログインしてください。 管理者ユーザでログインして設定したい場合は、設定の権限を保守ユーザに登録してもらってください。
4	USBメモリから初期設定データが読み込めない。	1) USBメモリが正しくセットできていない。 2) USBメモリの読み込みフォルダが間違えている 3) AE-200Jが対応している USBメモリを使用していない。	原因 1) ~ 3) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) USBメモリが正しくセットされているかを確認してください。 原因 2) 初期設定データを入れたフォルダ名「SetupData」(大文字・小文字も) が正しいか確認してください。 詳細は、AE-200J 本体の取扱説明書を参照ください。 原因 3) 現象 2 の原因 3 を参照
5	停止したはずなのに、勝手にユニットが運転している。	スケジュールの設定により、自動で運転される場合があります。	スケジュール設定により、自動で運転する場合があります。 スケジュールを確認してください。

5. 修理を依頼する前に

現象		原因	処置内容
6	(ハイ) クオリティコントローラ、コンデンシングユニットの操作ができない。	1) 「制御操作」を[利用する]に設定されていない。	原因 1) ユニット情報 2 画面で、「制御操作」を[利用する]に設定してください。詳細は「6-3-5. ユニット情報の設定」参照
7	AE-200J に異常コード「7106」が表示される。	1) AE-200J の低温機器設定画面で設定したアドレスに低温機器 / 除湿機と異なる種類のユニットが接続されている。 2) (ハイ) クオリティコントローラのディップスイッチ 2-7 が正しく設定されていない。	原因 1) 接続されているユニットを確認し、低温機器設定画面で、設定しなおしてください。 原因 2) 冷電製 / 長電製 (ハイ) クオリティコントローラでディップスイッチ 2-7 の設定内容が異なります。下記のように設定してください。 ・冷電製…2-7 を ON ・長電製…2-7 を OFF
8	週間年間スケジュールで動作中、手元リモコンの F モードが解除できない。	週間年間スケジュールで強制停止中、解除するために、通常冷却運転以外のスケジュール設定を行っている。	強制停止を解除するために、通常冷却運転をスケジュール設定してください。 尚、強制停止中に手元リモコンで運転操作をしても、解除することはできません。
9	CSV ファイルのデータ内容が「」（空白）で出力される。	低温機器がセンサ異常または通信異常となっていた。	異常履歴画面から異常の発生有無を確認してください。センサ異常や通信異常が発生していた場合、「」（空白）で出力されることがあります。
10	CSV ファイルで出力されていない日付（時刻）がある。	1) AE-200J が停電していた。 2) AE-200J の時刻を変更した。	原因 1)、2) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) 停電が行われなかったかを確認してください。停電している時間はデータが収集されませんので、日付（時刻）自体が出力されません。 原因 2) AE-200J の時刻を変更しなかったかを確認してください。CSV 出力時間帯を跨いで時刻を変更した場合、データは収集されないため、出力されません。
11	AE-200J に異常コード「7109」が表示される。	1) AE-200J に接続できない。低温機器を接続している。 2) AE-200J の低温機器設定内容と低温機器の構成、設定内容が一致していない。	原因 1)、2) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) 2012 年 8 月以降販売の機器から接続できます。（2012 年 7 月以前販売の機器とは接続できません） 原因 2) 低温機器のアドレス設定と機器構成を確認してください。アドレス登録と機器構成が異なる場合は、設定内容を見直してください。
12	帳票ツールで、「指定期間の CSV ファイルがありません」というエラーメッセージが表示される。	CSV ファイルの取込ができていない。	CSV ファイル取込から指定期間の CSV ファイルの取込を実施してください。 また、以下の原因に当てはまるかを確認してください。 原因 1) 1 日単位、1 ヶ月単位、1 年単位の期間設定で出力した CSV ファイルを取り込んでいる。（除湿機を含む低温機器のデータを CSV 出力する際、期間設定は 5 分単位または 30 分単位を選択してください） 原因 2) 庫内温度帳票作成時、コンデンシングユニットの 30 分単位の CSV ファイルを取り込んでいない。 原因 3) 機器データ帳票作成時、(ハイ) クオリティコントローラ / 空調機 / 除湿機の 5 分単位の CSV ファイルを取り込んでいない。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは、使用を中止し、お買上げの販売店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（低温機器に同梱されている別紙）に連絡してください。

## 6. 試運転

お客様立ち会いで試運転を行ってください。

この章では、低温機器/除湿機の初期設定および試運転について説明します。

低温機器/除湿機以外が接続される場合は、AE-200J本体の取扱説明書も併せて参照ください。

### 6-1. 最初の電源投入時の設定方法

#### 手順

1. 電源投入後、言語選択画面が表示されるので「日本語」または「English」を選択し、[OK]をタッチする。  
現在日時設定画面が表示します。

#### お知らせ

- 電源を入れてから画面が表示されるまでに約1分かかります。
- 初期設定を一度行っている場合は、電源投入後、監視/操作画面が表示されます。

#### お願い

- 画面が表示されるまで、画面をタッチしないでください。

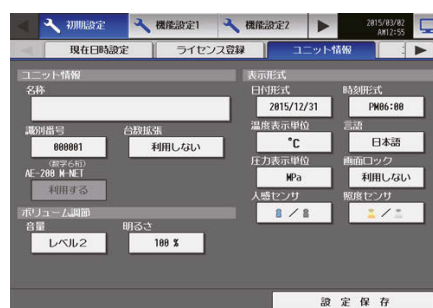
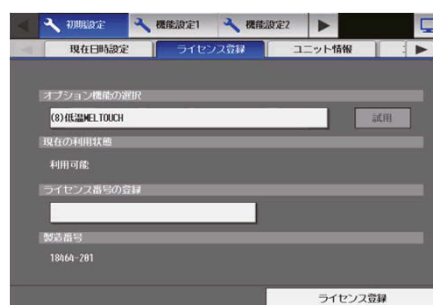
2. 現在日時を設定し、[設定保存]をタッチする。  
「6-3-3. 現在日時設定」参照

#### お願い

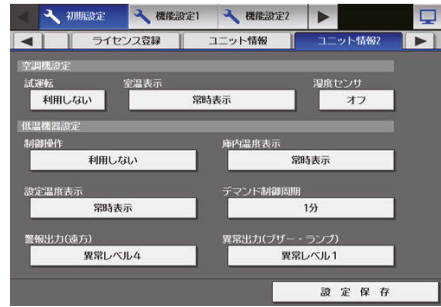
- 初期立ち上げ時は、時刻設定を行ってください。
- [設定保存]をタッチするまでは、設定が保存されませんので、設定完了後、[設定保存]をタッチし、設定を保存してください。

3. [ライセンス登録]をタッチする。
4. 低温MELTOUCHのライセンス番号を入力し、[ライセンス登録]をタッチする。  
「6-3-4. ライセンス登録」参照

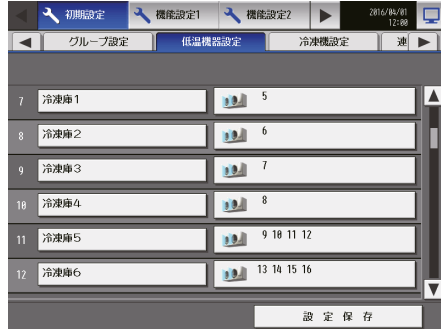
5. [ユニット情報]をタッチする。
6. 必要事項を設定し、[設定保存]をタッチする。  
「6-3-5. ユニット情報の設定」参照



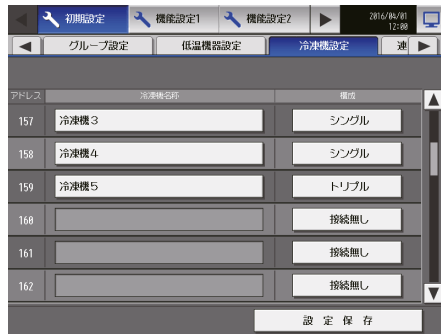
7. [▶] をタッチし、[ユニット情報2] を表示させ、[ユニット情報2] をタッチする。
8. 必要事項を設定し、[設定保存] をタッチする。  
「6-3-5. ユニット情報の設定」参照



9. [▶] をタッチし、[低温機器設定] を表示させ、[低温機器設定] をタッチする。
10. グループ設定をし、[設定保存] をタッチする。  
「6-3-8. 低温機器設定」参照



11. [冷凍機設定] をタッチする。
12. コンデンシングユニットを設定し、[設定保存] をタッチする。  
「6-3-9. 冷凍機設定」参照

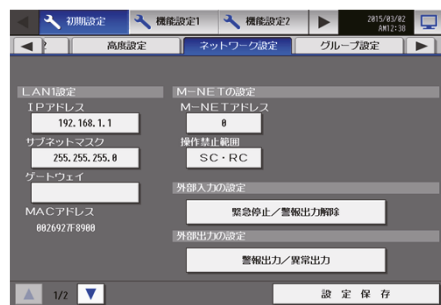



13. 必要に応じて、以下の設定を行う。  
ご使用になる場合は、AE-200J 本体の取扱説明書を参照ください。
  - グループ設定
  - 連動ロスナイ設定
  - ブロック設定
  - フロア設定
  - 計測設定

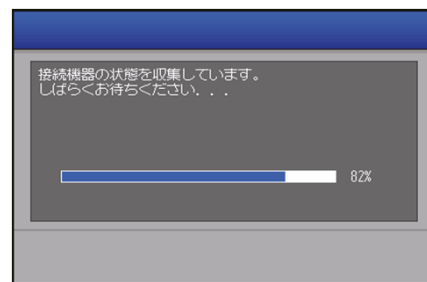
14. [▶] または [◀] をタッチし、[ネットワーク設定] を表示させ、[ネットワーク設定] をタッチする。
15. 必要事項を設定し、[設定保存] をタッチする。  
「6-3-6. ネットワーク設定」参照

**お知らせ**

- LAN 設定を変更した場合は、AE-200J が再起動し、手順 16 はスキップされます。
- 外部入力設定または外部出力設定を変更した場合、画面右上の [ ] をタッチした後に、AE-200J が再起動します。



16. 画面右上の[]をタッチする。  
「監視／操作画面に戻ってもよろしいでしょうか？」が表示します。
17. [はい]をタッチする。  
監視／操作画面に移動し右のようなメッセージが表示します。  
これで初期設定は完了です。



### お知らせ

- 通信異常が発生していない場合は、2～3分で立ち上がりますが、異常が発生している場合、最大5分程度かかる場合があります。
18. 各ユニットの時刻合わせのため、再度現在日時設定画面を表示させて[設定保存]をタッチする。

## 6-2. 機器の運転確認


接続している機器の説明書に従って運転確認を行ってください。

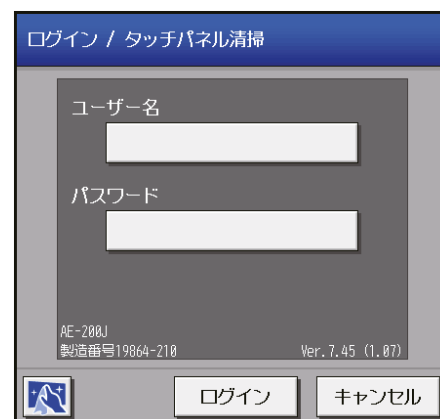
## 6-3. 初期設定

本章に記載していない設定画面は空調機用の機能です。  
ご使用になる場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

### 6-3-1. 初期設定画面へのログイン

#### 手順

1. 画面右上の[]をタッチする。  
ログイン画面が表示します。
2. ユーザー名とパスワードをキーボード画面で入力し、[ログイン]をタッチする。  
初期設定画面が表示します。  
下表に、保守ユーザーとビル管理者の初期ユーザー名、初期パスワード、および使用できる機能を示します。



ユーザー	初期ユーザー名	初期パスワード	使用できる機能
保守ユーザー	initial	init	全ての機能
ビル管理者	administrator	admin	保守ユーザーが[ユーザー情報]画面でアクセス権を与えた項目が使用できます。

**お知らせ**

- 保守ユーザーは、ビル管理者が使用できる機能を指定できます。詳細については、「6-7. ユーザー情報」を参照してください。
- 保守ユーザーおよびビル管理者以外のユーザーが設定を変更できないように、初期のユーザー名とパスワードを初期値から変更することを推奨します。初期のユーザー名とパスワードの変更方法については、「6-7. ユーザー情報」を参照してください。
- ユーザー名とパスワードに使用する文字は大文字/小文字の区別があります。

**お知らせ**

- ログインでのキーボード画面は、下図が表示されます。





## [1] キーボード画面



項目	内容
表示領域	入力した文字を表示します。
矢印	タッチすると、カーソルを移動します。
削除	タッチすると、カーソルの上の文字を削除します。
キーボード	入力用のキーボードです。タッチするとタッチした箇所に表示されている文字が入力されます。
空白	タッチすると、空白が入力されます。
英字 (大文字)	タッチすると英字 (大文字) 入力用キーボードを表示します。
英字 (小文字)	タッチすると英字 (小文字) 入力用キーボードを表示します。
数字・記号	タッチすると数字・記号入力用キーボードを表示します。
手書き入力	タッチすると手書き入力用画面を表示します。
OK	入力した文字を決定し、元の画面に戻ります。
キャンセル	入力した文字をキャンセルし、元の画面に戻ります。

## [2] 手書き入力画面



項目	内容
表示領域	入力した文字を表示します。 ※入力可能な文字数は、各種設定によって異なります。
矢印	タッチすると、カーソルを移動します。
削除	タッチすると、カーソルの上の文字を削除します。
手書き入力領域	文字を入力する領域です。 領域内に入力したい文字を一文字手書きで入力してください。 文字を手書き入力していくと、入力候補文字ボタンに文字が表示されますので、その中から入力したい文字を選択し、タッチして入力してください。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>素早く入力した場合、正確に認識できない場合がありますので、ゆっくりと入力してください。</li> <li>文字の書き順が違っている場合、正確に認識できない場合がありますので、正しい書き順で入力してください。</li> <li>タッチペンなどで文字を書く場合、先が鋭利でないものを使用してください。</li> </ul>
クリア	手書き入力領域をクリアします。
入力候補文字	手書き入力領域に入力した文字を認識し、確度の高い5文字を表示します。 入力したい文字が表示されているボタンをタッチすると、入力文字が確定します。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>入力したい文字が表示されない場合は、クリアボタンを押し、手書き入力領域をクリアし、再度ゆっくりと文字を書いてください。</li> </ul>
過去入力単語	過去に入力した単語が表示されます。 ボタンをタッチすると、タッチしたボタンに表示されている単語が、入力されます。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表示される単語は、初期に登録されている単語および過去に入力し、記憶された単語です。</li> </ul>
空白	タッチすると、空白が入力されます。
英字 (大文字)	タッチすると英字 (大文字) 入力用キーボードを表示します。
英字 (小文字)	タッチすると英字 (小文字) 入力用キーボードを表示します。
数字・記号	タッチすると数字・記号入力用キーボードを表示します。
OK	入力した文字を決定し、元の画面に戻ります。
キャンセル	入力した文字をキャンセルし、元の画面に戻ります。

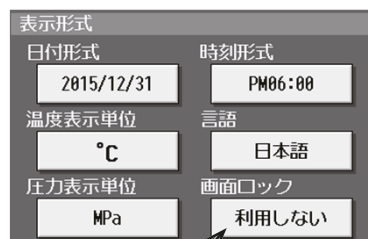
## 6-3-2. 画面のロック

保守ユーザー、ビル管理者以外のユーザーが操作できないようにするために、画面ロックを行います。


### 手順

1. ユニット情報画面の「画面ロック」設定を **[利用する]** に設定する。

バックライトが消灯した際に（3分間操作なしの場合）、画面ロック機能が働きます。



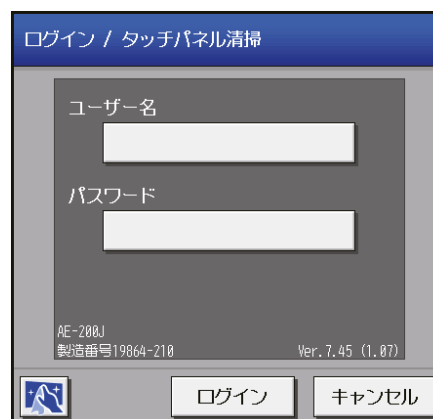
画面ロック

2. すぐに画面ロックをかけるには、ログイン画面で、**[**] をタッチする。

画面ロックを解除するには、ログイン時と同様のユーザー名・パスワードを入力してください。

### お知らせ

- 保守ユーザー用・ビル管理者用どちらでもロック解除できます。



### 6-3-3. 現在日時設定

メニューの【初期設定】→【現在日時設定】をタッチして現在日時設定画面を開きます。  
現在日時を入力後、【設定保存】をタッチします。

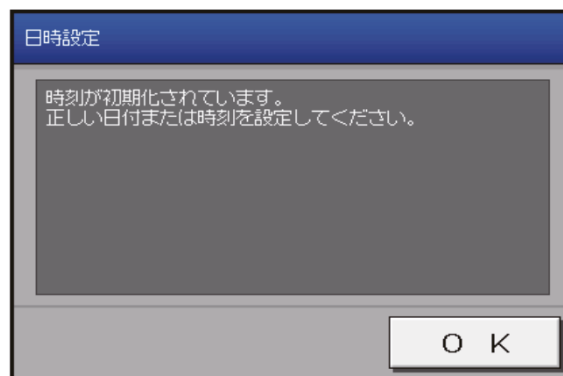
#### お知らせ

- ビル管理者でログインした場合は、現在日時設定の操作が禁止されている場合があります。
- スケジュール運転を行っている場合に現在日時を進めると、飛ばされた時刻のスケジュールは実行されません。また、日をまたいだ変更を行うと、変更後の日のスケジュールが実行されない場合があります。



#### お知らせ

- 時刻が初期化された時のメッセージ表示  
停電などにより、長期間電源が供給されない状況が続いた場合、時刻がリセットされ、電源投入時に下記のメッセージポップアップが表示されます。メッセージが表示されましたら、時刻の設定を再度行ってください。



- この画面は時刻設定を行うまで定期的に表示されます。
- 時刻が初期化された状態で使用した場合、スケジュール機能が正常に動作しません。
- AE-200J を接続し、M-NET1 系統内に複数のシステムコントローラがある場合に日時同期を行います (M-NET 集中管理システム内のスケジュール機能をシステム内で同期するため)。そのため、AE-200J とシステムコントローラの日時に差がある場合、定期的に AE-200J に設定された日時にシステムコントローラの日時が同期します。  
動作：M-NET1 系統内に複数のシステムコントローラがある場合、AE-200J を「マスタ」(工場出荷時) とし、マスタより定期的に M-NET 系統内に日時を発報します。

「マスタ」に接続されているシステムコントローラは「マスタ」からの時刻を受信し、時刻同期を行います。

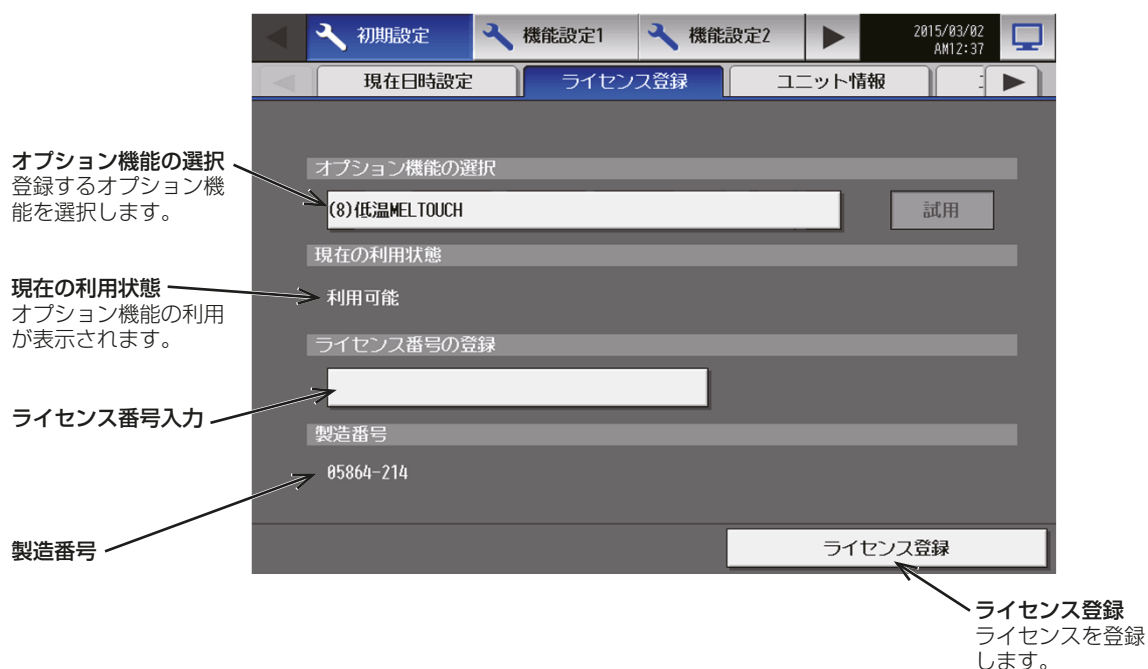
※システムコントローラ：低温機器の場合は（ハイ）クオリティコントローラを示します。

### 6-3-4. ライセンス登録

メニューの [初期設定] - [ライセンス登録] をタッチしてライセンス登録画面を開きます。  
オプション機能とライセンス番号の購入方法については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

#### お知らせ

- ライセンス登録には、現在日時設定が必要です。現在日時設定については、「6-3-3. 現在日時設定」参照
- 低温MELTOUCHライセンスは、AE-200Jでのみ使用できます。
- 低温機器/除湿機をAE-200Jに接続するためには、低温MELTOUCHライセンスが必要です。



#### 手順

1. 「オプション機能の選択」をタッチする。  
「(8) 低温MELTOUCH」を表示します。  
現在の利用状況が「現在の利用状態」に表示されます。
2. 「ライセンス番号の登録」で、ライセンス番号を入力し、[ライセンス登録] をタッチする。  
「現在の利用状態」に「利用可能」が表示されます。  
登録が失敗した場合は、オプション機能とライセンス番号が正しいか確認してください。

#### お知らせ

- アルファベットの「O」と「I」は、ライセンス番号に使用されません。
- ライセンスの登録状態は「現在の利用状況」で確認することができます。  
ライセンス未登録・・・「利用不可」  
ライセンス登録済・・・「利用可能」

### 6-3-5. ユニット情報の設定

メニューの【初期設定】→【ユニット情報】または【ユニット情報2】をタッチします。ここでは本体の設定、表示形式、ボリューム調整、低温機器の制御操作の利用有無、庫内温度・設定温度の表示有無、デマンド制御周期、警報出力（遠方）・異常出力（ブザー・ランプ）の出力条件などの各種基本設定を行います。設定内容入力後は、【設定保存】をタッチします。

#### お知らせ

- ・ビル管理者でログインした場合は、ユニット情報設定の操作が禁止されている場合があります。
- ・低温機器に異常が発生したときに異常コード表示画面を表示させたい場合は、[5] 低温機器設定の警報出力（遠方）、異常出力（ブザー・ランプ）を設定してください。また、異常コード表示画面の詳細は、「3-2-1. 異常コード表示画面」を参照ください。

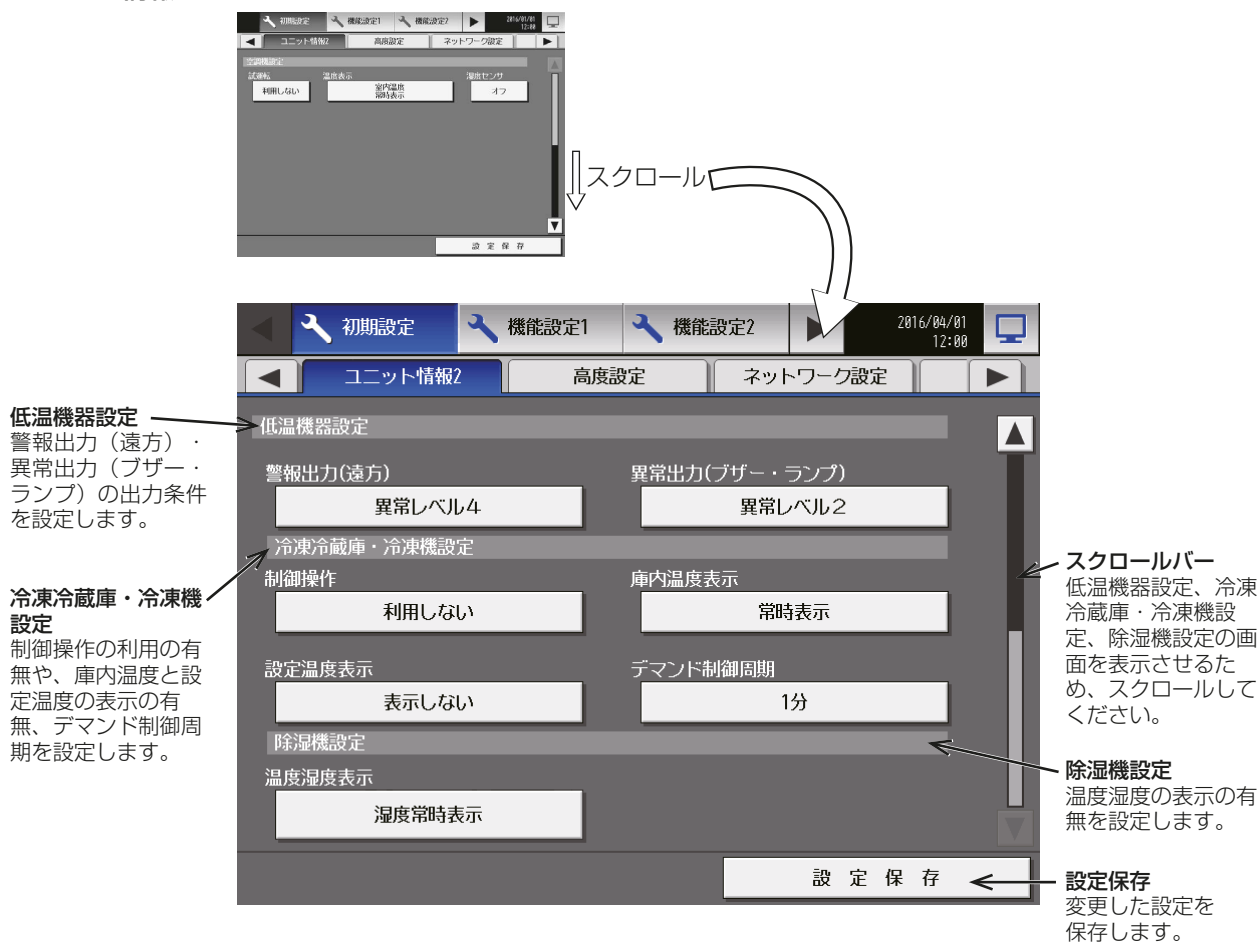
#### ユニット情報

**表示形式**  
表示形式を設定します。

**ボリューム調整**  
音量とバックライトの明るさを設定します。

**設定保存**  
変更した設定を保存します。

## ユニット情報2



### [1] ユニット情報

使用する場合は、AE-200J 本体の取扱説明書を参照ください。

### [2] ボリューム調整

「ボリューム調整」で、音量、明るさを設定します。

#### 手順

1. 「音量」で、画面をタッチしたときの音量（レベル0～3）を選択する。  
（レベル0：無音）

#### お知らせ

- ・ 設定変更はすぐに反映されます。

2. 「明るさ」で、画面の明るさ（70%、80%、90%、100%）を選択する。  
（数値が大きいほど明るくなります。）

#### お知らせ

- ・ 設定変更はすぐに反映されます。



### [3] 表示形式

「表示形式」で、日付や時刻等の表示形式を設定します。

#### 手順

1. 「日付形式」で、年月日の表示形式を選択する。  
ボタンをタッチするたびに **[31/12/yyyy]****[12/31/yyyy]****[yyyy/12/31]** が切り替わります。yyyy の部分には現在の年が表示されます。(例えば **[31/12/yyyy]** は、現在2015年であれば、31/12/2015と表示)
2. 「時刻形式」で、時間の表示形式を選択する。  
ボタンをタッチするたびに、**[18:00]****[PM06:00]** が切り替わります。
3. 「温度表示単位」で、温度単位を選択する。  
ボタンをタッチするたびに、**[°C]****[°F]** が切り替わります。
4. 「言語」で、表示言語を選択する。  
**[言語設定]** ボタンをタッチすると、言語選択画面を表示し、選択された言語に切り替わります。  
低温機器に関する画面は、日本語または英語のみに対応しており、日本語以外を選択した場合は、英語で表示されます。
5. 「圧力単位」で、圧力単位を選択する。  
ボタンをタッチするたびに、**[MPa]****[PSI]****[kgf/cm<sup>2</sup>]** が切り替わります。
6. 「画面ロック」で、**[利用しない]** または **[利用する]** を選択する。  
画面ロック機能を有効にするには、**[利用する]** に設定する。  
「6-3-2. 画面のロック」参照

空調機で人感センサまたは照度センサを使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

### [4] 空調機設定

使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

## [5] 低温機器設定

低温機器と除湿機の警報出力（遠方）・異常出力（ブザー・ランプ）の出力条件を設定します。  
異常コード表示画面は、警報出力（遠方）または異常出力（ブザー・ランプ）が出力されると同時に表示されます。異常コード表示画面の詳細は、「3-2-1. 異常コード表示画面」を参照ください。

### 手順

1. 「警報出力（遠方）」で、異常のレベルによる警報（遠方）の外部信号出力、低温機器の異常コード表示画面の有無を設定する。

外部信号出力を使用しない場合は**【使用しない】**、外部信号出力を使用する場合は、**【異常レベル1】**、**【異常レベル2】**、**【異常レベル3】**、**【異常レベル4】**を選択します。

設定した異常レベルよりも高いレベルが発生した場合、警報出力（遠方）の外部信号が出力します。  
異常コードと異常レベルの関係については、「3-2. 異常発生状態」を参照ください。

異常レベル1（低） < 異常レベル2 < 異常レベル3 < 異常レベル4（高）

**【例】** 警報出力（遠方）を異常レベル3に設定した場合

発生異常レベル	警報出力（遠方）
レベル4	出力
レベル3	出力
レベル2	—
レベル1	—

### お知らせ

- 外部接点出力を使用するには、外部出力の設定を**【警報出力／異常出力】**に設定する必要があります。  
「6-3-6. ネットワーク設定」参照
- 空調機に対しては、異常レベルによる出力の有無は設定できません。

2. 「異常出力（ブザー・ランプ）」で、異常のレベルによって異常（ブザー・ランプ）の外部信号出力、低温機器の異常コード表示画面、本体ブザー出力、本体LED表示の有無を設定する。

これらを使用しない場合は、**【使用しない】**、使用する場合は、**【異常レベル1】**、**【異常レベル2】**、**【異常レベル3】**、**【異常レベル4】**を選択します。

設定した異常レベルよりも高いレベルが発生した場合、出力されます。

異常レベル1（低） < 異常レベル2 < 異常レベル3 < 異常レベル4（高）

**【例】** 異常出力（ブザー・ランプ）を異常レベル2に設定した場合

	異常出力（ブザー・ランプ）
異常レベル4	出力
異常レベル3	出力
異常レベル2	出力
異常レベル1	—

### お知らせ

- 外部接点出力を使用するには、外部出力の設定を**【警報出力／異常出力】**に設定する必要があります。  
「6-3-6. ネットワーク設定」参照
- 空調機に対しては、異常レベルによる出力の有無は設定できません。

## [6] 冷凍冷蔵庫・冷凍機設定

低温機器の制御操作の利用の有無や、庫内温度と設定温度の表示の有無、デマンド制御周期を設定します。

### 手順

1. 「制御操作」で、**[利用しない]**または**[利用する]**を選択する。  
**[利用する]**に設定すると、(ハイ)クオリティコントローラのグループ単位およびアドレス単位での制御設定とコンデンシングユニットの操作が可能となります。  
 「4-1. (ハイ)クオリティコントローラとコンデンシングユニットの状態監視と操作」参照

### お知らせ

- AE-200Jの時刻が午前0時になると**[利用しない]**に戻ります。
2. 「庫内温度表示」で、冷凍冷蔵庫の一覧画面での、庫内温度の表示／非表示設定を行う。  
 温度を常に表示するには**[常時表示]**、運転中だけ表示するには**[運転中表示]**、常に表示しない場合は**[表示しない]**を選択する。
  3. 「設定温度表示」で、冷凍冷蔵庫の一覧画面での、設定温度の表示／非表示設定を行う。  
 温度を常に表示するには**[常時表示]**、常に表示しない場合は**[表示しない]**を選択します。
  4. 「デマンド制御周期」で、ピークカット制御を実行する間隔を設定する。  
 工場出荷時は、**[1分]**に設定されている。ピークカット制御を実行する間隔を短くしたい場合は、**[30秒]**、長くしたい場合は、**[2分]**、**[3分]**、**[5分]**を選択します。

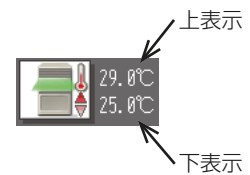
## [7] 除湿機設定

除湿機の温度湿度の表示の有無を設定します。

### 手順

1. 「温度湿度表示」で、除湿機の一覧画面での、室内温度／設定温度／室内湿度／設定湿度の表示／非表示設定を行う。  
 設定内容と表示方法は以下の通りです。

温度湿度設定内容	上表示	下表示	表示条件
温度湿度常時表示	室内温度	室内湿度	常に表示します。
温度湿度運転中のみ表示			運転中のみ表示します。
温度常時表示	室内温度	設定温度	常に表示します。
温度運転中のみ表示			運転中のみ表示します。
湿度常時表示	室内湿度	設定湿度	常に表示します。
表示しない			表示なし



## 6-3-6. ネットワーク設定

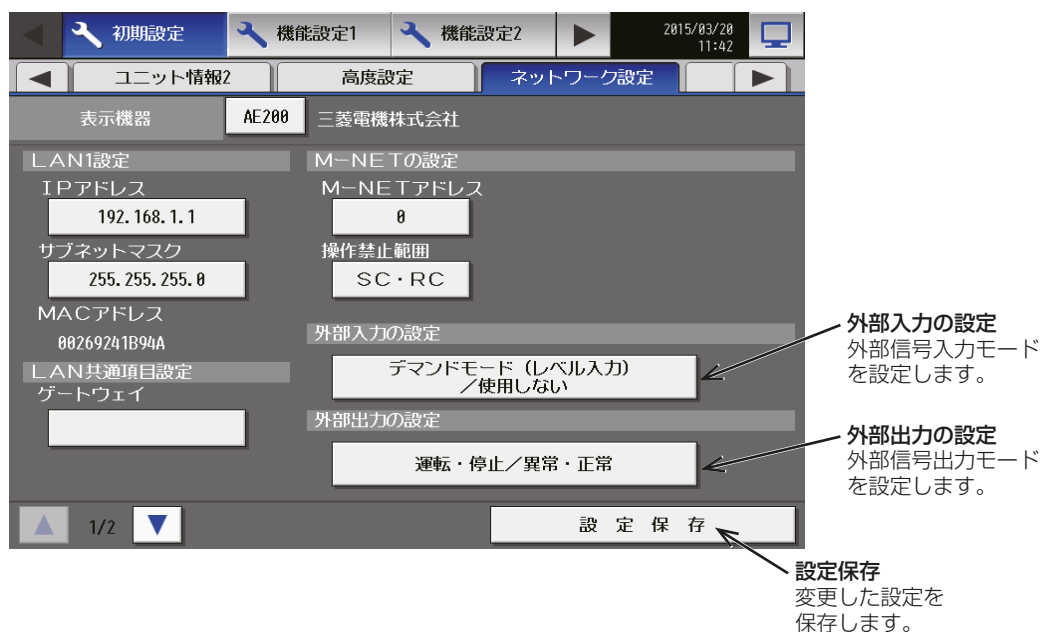
メニューの【初期設定】→【ネットワーク設定】をタッチします。

ここでは、AE-200Jの外部入力設定を行います。設定内容入力後は、【設定保存】をタッチします。

右上の【☒】をタッチすると再起動を行う旨のメッセージが表示されますので、【OK】をタッチして再起動し、変更内容を反映させます。LAN設定、M-NET設定を変更される場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

### お知らせ

- ビル管理者でログインした場合は、ネットワーク設定の操作が禁止されている場合があります。



### [1] LAN1 設定

使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

### [2] M-NET 設定

使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

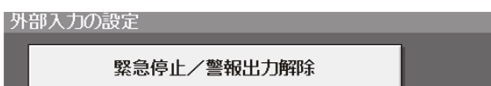
### [3] LAN 共通項目設定

使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

### [4] 外部入力の設定

外部信号入力機能を使用することにより、接続された低温機器を対象に、デマンドレベル、警報出力解除、緊急停止を制御することができます。空調機を対象とした制御については、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

別売の外部入出力アダプター (PAC-YG10HA) が必要です。



### お願い

- 外部入力機能によりピークカット制御をする場合は、別途ライセンスが必要です。ライセンス登録画面で、省エネ制御 (ピークカット) ライセンスが登録されていることを確認してください。  
「6-3-4. ライセンス登録」参照

### お知らせ

- 除湿機はピークカット制御の対象外です。

### 手順

#### 1. 表内の設定モードの中から1つ選択する。

空調機に対する制御については、AE-200J本体の据付工事説明書を参照ください。

－：対象なし

モード	設定モード	機器	用途	制御内容
モード1	デマンドモード (レベル入力) <出荷時設定> ※1	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を1、2、3、4の4段階から選択できます。
			緊急停止	－
			警報出力解除	－
		低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を1、2、3、4の4段階から選択できます。
			緊急停止	－
			警報出力解除	－
		除湿機		制御できません
		DT-R		制御できません
フラインク-ラ		制御できません		
給湯機		制御できません		
モード2	緊急停止モード (レベル入力)	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
			緊急停止	外部接点からの緊急停止信号入力により、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。 空調機は、停止により、スケジュール運転、24時間換気、ナイトパーシ運転が実行されません。
			警報出力解除	－
		低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
			緊急停止	外部接点からの緊急停止信号入力により、(ハイ)クオリティコントローラを停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止します。※2 低温機器は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	－
		除湿機	デマンド	－
			緊急停止	外部接点からの緊急停止信号受信により、除湿機を停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止します。※2 除湿機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	－
		DT-R		制御できません
フラインク-ラ		制御できません		
給湯機		制御できません		

- : 対象なし

モード	設定モード	機器	用途	制御内容
モード3	緊急停止 復元モード (レベル入力)	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
			緊急停止 復元	「緊急停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。 空調機は、停止により、スケジュール運転、24時間換気、ナイトパージ運転が実行されません。 緊急停止解除および復元を行うには上位機器 (Facima BA-system ※3) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	-
		低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
			緊急停止 復元	外部接点からの緊急停止信号受信により、(ハイ)クオリティコントローラを停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止します。※2 低温機器は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除を行うには上位機器 (Facima BA-system ※3) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	-
		除湿機	デマンド	-
			緊急停止 復元	外部接点からの緊急停止信号受信により、除湿機を停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止します。※2 除湿機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除を行うには上位機器 (Facima BA-system ※3) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	-
		DT-R		制御できません
フラインク-ラ		制御できません		
給湯機		制御できません		
モード4	運転/停止 モード (パルス入力)	空調機	デマンド	-
			運転/停止	AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統ごとに接続されている空調機を一括で運転/停止します。手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。 空調機は、停止により、スケジュール運転、24時間換気、ナイトパージ運転が実行されません。
			警報出力解除	-
		低温機器		制御できません
		除湿機		制御できません
		DT-R		制御できません
		フラインク-ラ		制御できません
給湯機		制御できません		
モード5	運転/停止・ 操作禁止/操 作許可モード (パルス入力)	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を3、4の2段階から選択できます。
			運転/停止・ 操作禁止/操 作許可	「運転/停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に接続されている空調機を一括で運転/停止します。 「禁止/許可」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に接続されている空調機の手元リモコンからの操作を禁止/許可します。
			警報出力解除	-
		低温機器		制御できません
		除湿機		制御できません
		DT-R		制御できません
		フラインク-ラ		制御できません
給湯機		制御できません		

モード	設定モード	機器	用途	制御内容
モード6	緊急停止モード・警報解除 (レベル入力)	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を 3、4 の 2 段階から選択できます。
			緊急停止	「緊急停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50J の各系統に接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J 上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。 空調機は、停止により、スケジュール運転、24 時間換気、ナイトページ運転が実行されません。
			警報出力解除	－
		低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を 3、4 の 2 段階から選択できます。
			緊急停止	外部接点からの緊急停止信号受信により、(ハイ)クオリティコントローラを停止し、手元リモコンからの操作と AE-200J からのグループ操作を禁止します。※ 2 低温機器は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	「警報出力解除」入力時は、AE-200J の警報 (遠方) 出力および異常 (ブザー・ランプ) 出力を解除します。
		除湿機	デマンド	－
			緊急停止	外部接点からの緊急停止信号受信により、除湿機を停止し、手元リモコンからの操作と AE-200J からのグループ操作を禁止します。※ 2 除湿機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	「警報出力解除」入力時は、AE-200J の警報 (遠方) 出力および異常 (ブザー・ランプ) 出力を解除します。
	緊急停止モード・警報解除 (レベル入力)	DT-R	制御できません	
		ブライク-ラ	制御できません	
		給湯機	制御できません	
モード7	緊急停止 復元モード・警報解除 (レベル入力)	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を 3、4 の 2 段階から選択できます。
			緊急停止 復元	「緊急停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50J の各系統に接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J 上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。 空調機は、停止により、スケジュール運転、24 時間換気、ナイトページ運転が実行されません。 緊急停止解除および復元を行うには上位機器 (Facima BA-system ※ 3) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	－
		低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を 3、4 の 2 段階から選択できます。
			緊急停止 復元	外部接点からの緊急停止信号受信により、(ハイ)クオリティコントローラを停止し、手元リモコンからの操作と AE-200J からのグループ操作を禁止します。※ 2 低温機器は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除を行うには上位機器 (Facima BA-system ※ 3) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	「警報出力解除」入力時は、AE-200J の警報 (遠方) 出力および異常 (ブザー・ランプ) 出力を解除します。
		除湿機	デマンド	－
			緊急停止 復元	外部接点からの緊急停止信号受信により、除湿機を停止し、手元リモコンからの操作と AE-200J からのグループ操作を禁止します。※ 2 除湿機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除を行うには上位機器 (Facima BA-system ※ 3) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	「警報出力解除」入力時は、AE-200J の警報 (遠方) 出力および異常 (ブザー・ランプ) 出力を解除します。
	緊急停止モード・警報解除 (レベル入力)	DT-R	制御できません	
		ブライク-ラ	制御できません	
		給湯機	制御できません	

※1 外部入力を使用しない場合は、モード1とします。

※2 AE-200Jからの緊急停止に未対応、またはユニット側の緊急停止設定をOFFに設定している(ハイ)クオリティコントローラと除湿機に関しては、緊急停止信号を受信した場合でも停止せず、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作が可能です。

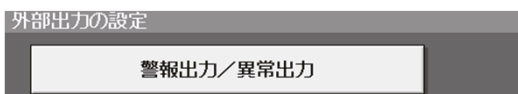
※3 Facima BA-systemについては、三菱電機ビルソリューションズ株式会社にお問い合わせください。



## [5] 外部出力の設定

外部信号出力機能を用いることにより、AE-200Jに接続されている低温機器 / 除湿機の警報や異常をレベル信号で出力します。ユニット情報2画面の警報出力（遠方）および異常出力（ブザー・ランプ）に設定された異常レベル以上の異常が発生すると、「異常発生」が出力されます。

別売の外部入出力アダプター（PAC-YG10HA）が必要です。



### 手順

1. 「警報出力/異常出力」を選択する。  
空調機に対する制御については、AE-200J本体の据付工事説明書を参照ください。

### お知らせ

- 低温機器 / 除湿機が異常になったときのみ、警報出力、異常出力を行います。空調機など他の接続機器の異常では出力されません。詳細は下表を参照してください。

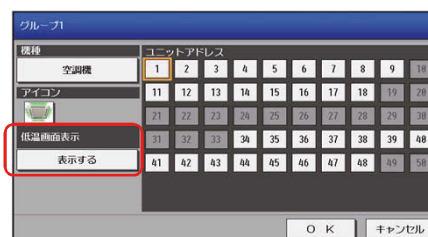
パターン	設定パターン	説明		
パターン2	警報（遠方）出力・ 異常（ブザー・ランプ） 出力	AE-200Jに接続されている全ての機器のうち、下表に従って低温機器・除湿機に異常が発生した際、異常出力します。異常出力は2点あり、「警報（遠方）出力」と「異常（ブザー・ランプ）出力」があります。 「警報（遠方）出力」と「異常（ブザー・ランプ）出力」共に異常レベルを設定でき、1台以上の低温機器・除湿機で発生した異常レベルが、設定したレベル以上の場合に出力します。		
		接続機器	警報（遠方）出力	異常（ブザー・ランプ）出力
		空調機 DT-R ブラインクーラ ファンコイルユニット	出力しません。	出力しません。
		低温機器 除湿機	出力します。*3	出力します。*3
		給湯機 汎用 DC/ 計量 MC/ 環境 MC	出力しません。	出力しません。
*3 通信系異常（例：ACKなしエラー（異常コード6607））は出力しません。				

## 6-3-7. 空調機のグループ設定

使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

### お知らせ

- 空調機を冷凍冷蔵庫の一覧画面で管理したい場合は、低温画面表示を【表示する】に設定してください。

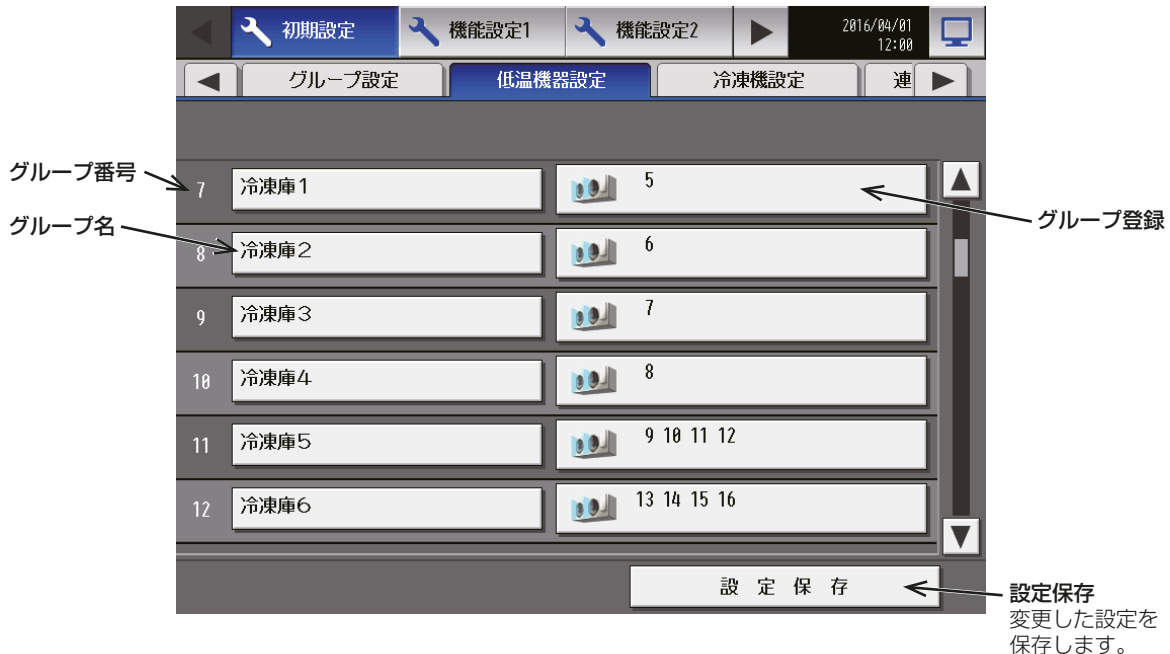


### 6-3-8. 低温機器設定

メニューの【初期設定】→【低温機器設定】をタッチします。AE-200Jに接続される(ハイ)クオリティコントローラ/除湿機のグループ登録を行います。設定内容入力後は、【設定保存】をタッチします。

#### お知らせ

- AE-200Jにのみ(ハイ)クオリティコントローラ/除湿機を接続できます。
- ビル管理者でログインした場合は、一部の設定の操作が禁止されている場合があります。



#### [1] (ハイ)クオリティコントローラ/除湿機のグループ登録

##### 手順

1. 対象グループ番号の右のグループ登録をタッチする。  
ユニットアドレスの選択画面が表示します。
- (ハイ)クオリティコントローラの場合：
2. 「機種」をタッチし、【冷凍冷蔵庫】を選択する。
  3. 「ユニットアドレス」で登録する(ハイ)クオリティコントローラのアドレス番号を選択する。  
選択したアドレスにはオレンジ枠が表示します。選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。

##### お知らせ

- 1グループには最大4台の(ハイ)クオリティコントローラを登録できます。



**除湿機の場合：**

2. 「機種」をタッチし、[除湿機]を選択する。
3. 「アイコン」をタッチし、表示するアイコンを選択する。
4. 「ユニットアドレス」で登録する除湿機のアドレス番号

を選択する。  
 選択したアドレスにはオレンジ枠が表示されます。選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。

**お知らせ**

- ・ 1グループには最大4台の除湿機を登録できます。
- ・ 除湿機を冷凍冷蔵庫の一覧画面で管理したい場合は、低温画面表示を[表示する]に設定してください。

**[2] グループ名称の設定****手順**

1. [グループ名入力]をタッチする。  
 キーボード画面が表示します。
2. グループ名称を入力する。  
 最大20文字まで入力できます(グループアイコンに表示されるのは、最大8文字です)。

**お知らせ**

- ・ 次の文字は使用できません < > & 、

**6-3-9. 冷凍機設定**

メニューの[初期設定]—[冷凍機設定]をタッチします。AE-200Jに接続されるコンデンシングユニットの登録を行います。設定内容入力後は、[設定保存]をタッチします。

**お知らせ**

- ・ AE-200Jにのみコンデンシングユニットを接続できます。
- ・ ビル管理者でログインした場合は、一部の設定の操作が禁止されている場合があります。



---

## [1] コンデンスユニットの登録

### 手順

1. 構成選択をタッチし、コンデンスユニットがシングル機の場合は[シングル]、マルチ機の場合は[マルチ]、トリプル機の場合は[トリプル]を選択する。  
選択を取り消したい場合は[接続無し]を選択します。  
インバータ二段スクリーン圧縮機搭載クーリングユニット (AFSV) の場合、[シングル]を選択します。

## [2] コンデンスユニット名称の設定

### 手順

1. [ユニット入力]をタッチする。  
キーボード画面が表示します。
2. グループ名称を入力する(グループアイコンに表示されるのは、最大8文字です)。  
最大20文字まで入力できます。

### お知らせ

- ・ 次の文字は使用できません < > & 、

---

## 6-4. 機能設定 1

本章に記載していない設定画面は空調機用の機能です。  
使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

### 6-4-1. ピークカット制御の設定

「4-5. ピークカット制御 (低温機器)」を参照ください。

### 6-4-2. 計測設定

使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

---

## 6-5. 機能設定 2

空調機用の機能です。使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

---

## 6-6. 換気設定

空調機用の機能です。使用する場合は、AE-200J本体の取扱説明書を参照ください。

---

## 6-7. ユーザー情報

設定画面のメニューバーより[ユーザー情報]をタッチすると、ユーザー設定画面へ移行します。  
ユーザー設定は保守ユーザーとビル管理者の2種類があります。

保守ユーザー	すべての設定・変更が可能です。
ビル管理者	保守ユーザーから許可された項目のみ設定・変更可能です。

## 6-7-1. 保守ユーザー

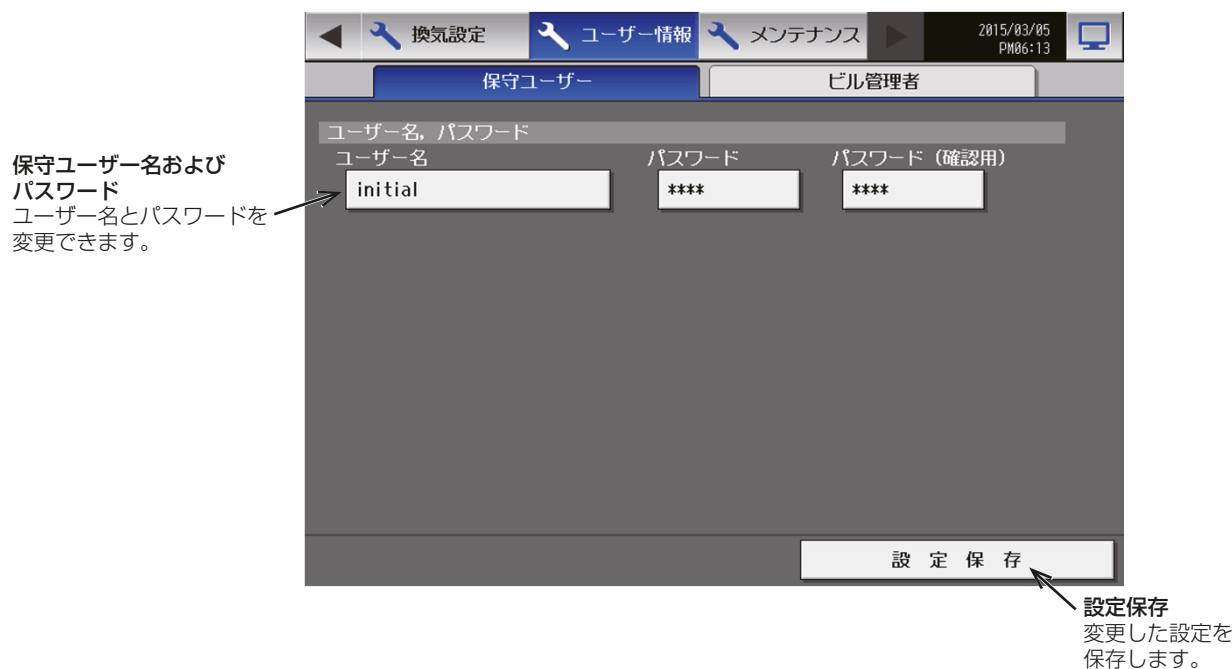
保守ユーザーのユーザー名、パスワードの変更を行いたい場合、設定変更画面の[ユーザー情報]—[保守ユーザー]をタッチし、保守ユーザー設定画面を表示します。

### お知らせ

- 保守ユーザー以外でログインしている場合は表示できません。

### お願い

- 変更したユーザー名・パスワードは忘れないようお気を付けください。  
 忘れた場合は、ログインすることができません。  
 万が一忘れた場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



保守ユーザー名の変更

### 手順

- 「ユーザー名」をタッチする。  
 キーボード画面が表示します。
- ユーザー名の入力を行う。  
 最大20文字まで入力できます。

パスワードの変更

### 手順

- 「パスワード」をタッチする。  
 キーボード画面が表示します。
- 3文字～10文字でパスワードを入力する。
- 「パスワード (確認用)」をタッチし、再度同じパスワードを入力する。

### お知らせ

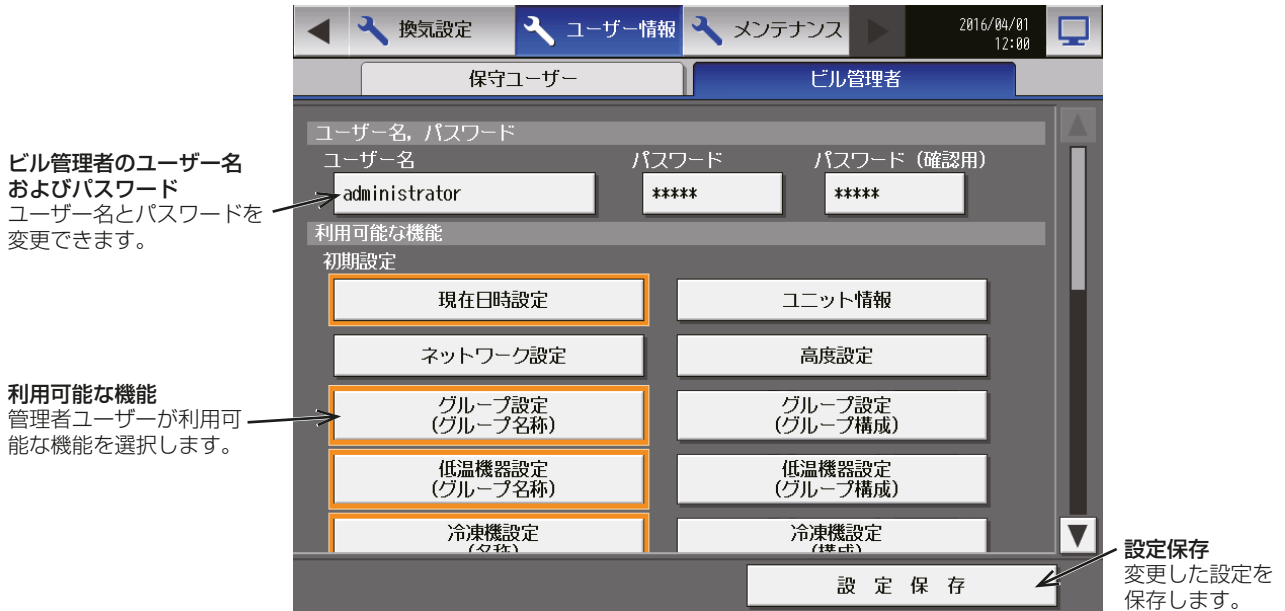
- 画面の表示は、入力文字数分 [\*] が表示されます。
- 大小英文字、数字が使用可能です。大文字と小文字は区別されます。

ユーザー名、パスワードを入力後、設定保存をタッチすると、入力したユーザー名、パスワードに変更されます。

## 6-7-2. ビル管理者

ビル管理者設定画面では、ビル管理者のユーザー名とパスワードを変更したり、ビル管理者の利用可能な機能を制限できます。グループ名称の変更等はビル管理者でも変更できるようにしたいが、本体の設定やネットワーク設定などの基本システム設定は変更されたくない場合などに、このビル管理者設定を利用してください。

メニューの[ユーザー情報]—[ビル管理者]をタッチしてビル管理者設定画面を開きます。



ビル管理者のユーザー名の変更

### 手順

1. 「ユーザー名」をタッチする。  
キーボード画面が表示します。
2. ユーザー名の入力を行う。  
最大20文字まで入力できます。

パスワードの変更

### 手順

1. 「パスワード」をタッチする。  
キーボード画面が表示します。
2. 3文字～10文字でパスワードを入力する。
3. 「パスワード(確認用)」をタッチし、再度同じパスワードを入力する。

### お知らせ

- ・ 画面の表示は、入力文字数分[\*]が表示されます。
- ・ 大小英文字、数字が使用可能です。大文字と小文字は区別されます。

ユーザー名、パスワードを入力後、設定保存をタッチすると、入力したユーザー名、パスワードに変更されます。

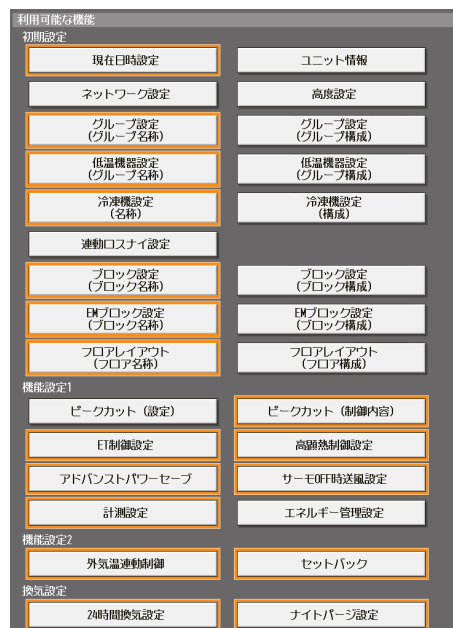
#### 4. ビル管理者で使用できるようにしたい機能をタッチして選択する。

選択した機能にはオレンジ枠が表示されます。選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。

各機能に関する詳しい情報については、下記の表を参照してください。

#### お知らせ

- ビル管理者でログインした場合、現在使用できる機能の確認はできますが、変更はできません。
- 低温機器や除湿機で使用しない機能については、AE-200J 本体の取扱説明書を参照ください。



#### 5. [設定保存] をタッチして変更を保存する。

機能リスト

機能		参照	
初期設定	現在日時設定	「6-3-3. 現在日時設定」参照	
	ユニット情報 <sup>※1</sup>	「6-3-5. ユニット情報の設定」参照	
	ネットワーク設定 <sup>※1</sup>	「6-3-6. ネットワーク設定」参照	
	グループ設定	グループ名称	「6-3-7. 空調機のグループ設定」参照
		グループ構成 <sup>※1</sup>	
	低温機器設定	グループ名称	「6-3-8. 低温機器設定」参照
グループ構成 <sup>※1</sup>			
冷凍機設定	名称	「6-3-9. 冷凍機設定」参照	
	構成 <sup>※1</sup>		
機能設定 1	ピークカット設定	設定 <sup>※1</sup>	
		制御内容	「6-4-1. ピークカット制御の設定」参照
	計測設定	「6-4-2. 計測設定」参照	

※1 工場出荷時、ビル管理者によるこれらの設定は禁止されています。



---

# 7. メンテナンス

---

## 7-1. USB メモリへのデータバックアップ

AE-200J 本体の取扱説明書を参照ください。

---

## 7-2. タッチパネル補正

AE-200J の取扱説明書 操作 (詳細) 編を参照ください。

---

## 7-3. ソフトウェアのアップデート手順

AE-200J の据付工事説明書を参照ください。

# 添付. 追加機能について

追加機能は以下のとおりです。

Version	追加項目		概要	参照
Ver.7.4	プレアラーム機能の追加		冷凍機が検知したプレアラームの検知内容と履歴を表示できます。	3-1-3. アイコンの表示 3-4. プレアラーム (低温機器) 4-1-5. コンデンスユニットの一覧表示
	帳票ツールの機能追加		主な機能追加は下記の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍機の機器データ帳票を追加</li> <li>LAN 経由での CSV ファイルの取込み</li> <li>空調機の庫内温度帳票を追加</li> </ul>	4-6. CSV データの出力操作と帳票ツール (低温機器 / 空調機 / 除湿機)
	接続可能機種 の追加	除湿機	除湿機の操作設定、運転状態の監視ができます。	2-4. 除湿機のグループ構成について 2-5. 製品の機能 (除湿機) 3-1. 監視 / 操作 3-2. 異常発生状態 3-3. 異常コード一覧 4-3. スケジュール (除湿機) 6. 試運転
		インバータ二段 スクリュー圧縮機搭載 クーリングユニット (AFSV)	インバータ二段スクリュー圧縮機搭載クーリングユニット (AFSV) の操作設定、運転状態の監視ができます。	2-2. 低温機器のグループ構成について 2-3. 製品の機能 (低温機器) 3-1. 監視 / 操作 3-2. 異常発生状態 3-3. 異常コード一覧 3-4. プレアラーム (低温機器) 4-1. (ハイ) クオリティコントローラとコンデンスユニットの状態監視と操作 4-2. スケジュール (低温機器) 4-4. エネルギー管理 (低温機器) 4-5. ピークカット制御 (低温機器) 4-6. CSV データの出力操作と帳票ツール (低温機器 / 空調機 / 除湿機) 6. 試運転
Ver.7.6	緊急停止機能の追加		外部接点からの緊急停止信号受信により、(ハイ) クオリティコントローラと除湿機を停止し、手元リモコンからの操作と AE-200J からのグループ操作を禁止することができます。	3-1-3. アイコンの表示 3-1-4. 運転状態のモニター 3-1-6. グループ操作画面 6-3-6. ネットワーク設定

Ver.7.8	帳票ツールの機能追加	除湿機	除湿機の運転データを CSV 出力および庫内温度帳票出力できます。	4-6. CSV データの出力操作と帳票ツール（低温機器 / 空調機 / 除湿機）
	低温機器のリモコン操作禁止機能追加	(ハイ) クオリティコントローラ	(ハイ) クオリティコントローラのグループに対して手元リモコン操作の禁止 / 許可を設定できます。	2-2. 低温機器のグループ構成について 2-3. 製品の機能（低温機器） 4-1. (ハイ) クオリティコントローラとコンデンシングユニットの状態監視と操作 4-1-1. 応用の操作 4-1-3. (ハイ) クオリティコントローラのグループ操作
	低温メール機能追加	(ハイ) クオリティコントローラ、コンデンシングユニット、除湿機	(ハイ) クオリティコントローラ、コンデンシングユニット、除湿機の機器異常および (ハイ) クオリティコントローラ、コンデンシングユニットのプレアラームをメール通知できます。	3-5. 低温異常メール / 低温復旧メール / 低温定期メール 3-5-1. メール設定 3-5-2. メールフォーマット 3-5-3. メール送信履歴
Ver.7.93	低温メール機能の機能追加		メール送信の暗号化方法に SSL/TLS を追加。	3-5-1. メール設定
Ver.7.98	統合管理ブラウザのログイン画面を変更		ログイン画面に製品情報を表示する機能を追加。	3-5-1. メール設定
	Windows® 対応		Windows® 11 搭載の PC を使用できます。	3-5-1. メール設定 4-6-1. 帳票機能概要
	.NET Framework 4.8 対応		.NET Framework 4.8 をサポートします。	4-6-1. 帳票機能概要

# 商標、登録商標について



SDおよびSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



Javaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

- BACnet<sup>®</sup>は、米国暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) の登録商標です。
- Microsoftは米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- OracleおよびJavaは、米国 Oracle Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorerの正式名称は、Microsoft<sup>®</sup> Internet Explorer Internet browserです。
- Microsoft Office Excelは、米国 Microsoft Corporationの商品名称です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> Operating Systemです。
- Androidは、Google LLCの米国およびその他の国における登録商標です。
- Appleは、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Googleは、Google LLCの登録商標です。
- Google Chromeは、Google LLCの米国およびその他の国における登録商標です。
- iOSは、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPadは、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Mac OSは、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Safariは、米国 Apple Inc.の商標または登録商標です。
- Xperiaは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Galaxyは、Samsung Electronics CO.,Ltdの商標または登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

## 愛情点検

●長年ご使用の空調冷熱総合管理システムの点検を！



こんな症状は  
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用  
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

### 三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

## 三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)  
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2022年5月作成

WT07443X12